

ココマII LIXIL 基本タイプ/乾式腰壁基本タイプ フレーム編 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※タイプによって参照する取付説明書が異なります。下記を参照した後に施工を行なってください。

タイプ	基本タイプ			腰壁タイプ		
	オープンテラスタイプ	サイドスルータイプ	ガーデンルームタイプ	オープンテラスタイプ	サイドスルータイプ	ガーデンルームタイプ
略図						
参照取付説明書	ココマII 基本タイプ/ 乾式腰壁タイプ -フレーム編- 取付説明書 (E368) ↓ 【施工終了】	ココマII 基本タイプ/ 乾式腰壁タイプ -フレーム編- 取付説明書 (E368) ↓ ココマII -開口部編- 取付説明書 (E370) ↓ 【施工終了】	ココマII 基本タイプ/ 乾式腰壁タイプ -フレーム編- 取付説明書 (E368) ↓ ココマII 乾式腰壁タイプ -腰壁編- 取付説明書 (E369) ↓ 【施工終了】	ココマII 基本タイプ/ 乾式腰壁タイプ -フレーム編- 取付説明書 (E368) ↓ ココマII 乾式腰壁タイプ -腰壁編- 取付説明書 (E369) ↓ ココマII -開口部編- 取付説明書 (E370) ↓ 【施工終了】	ココマII 基本タイプ/ 乾式腰壁タイプ -フレーム編- 取付説明書 (E368) ↓ ココマII 乾式腰壁タイプ -腰壁編- 取付説明書 (E369) ↓ ココマII -開口部編- 取付説明書 (E370) ↓ 【施工終了】	ココマII 基本タイプ/ 乾式腰壁タイプ -フレーム編- 取付説明書 (E368) ↓ ココマII 乾式腰壁タイプ -腰壁編- 取付説明書 (E369) ↓ ココマII -開口部編- 取付説明書 (E370) ↓ 【施工終了】

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<電気配線工事について>

⚠ 警告

- 接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって、確実にこなしてください。
- 本製品には専用のトランス電源ユニットと電源ケーブルが必要です。AC100Vと直接接続しないでください。
- 電線の接続は有資格者がこなしてください。

<施工の前に>

⚠ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
 - 本製品は、地上階設置用です。2階以上には設置しないでください。
 - 屋根材へ接触する部品へシリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を現場で手配してください。
- | シーリング材メーカー | 品名および品番 |
|-------------------------------|----------|
| 信越化学工業(株) | シーラント72 |
| モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合) | トスシール380 |
| 東レ・ダウコーニング(株) | SE960 |
- 母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損するおそれがあります。
 - 屋根材は、弊社指定品を使用してください。指定品以外を使用した場合、強風による屋根材の飛散や強度低下の原因になります。
 - 寒冷地では凍結破損を防ぐため、竪樋に排水路ヒーター等を取付けるか、排水位置を高い位置に変更してください。
 - 入隅の場合は、「φ4.5×63丸木ネジ」を現場で手配してください。
 - 本製品は躯体に設置してください。ただし躯体に設置せず独立して設置する場合は「施工補助部材」を使用してください。

🔑 ポイント

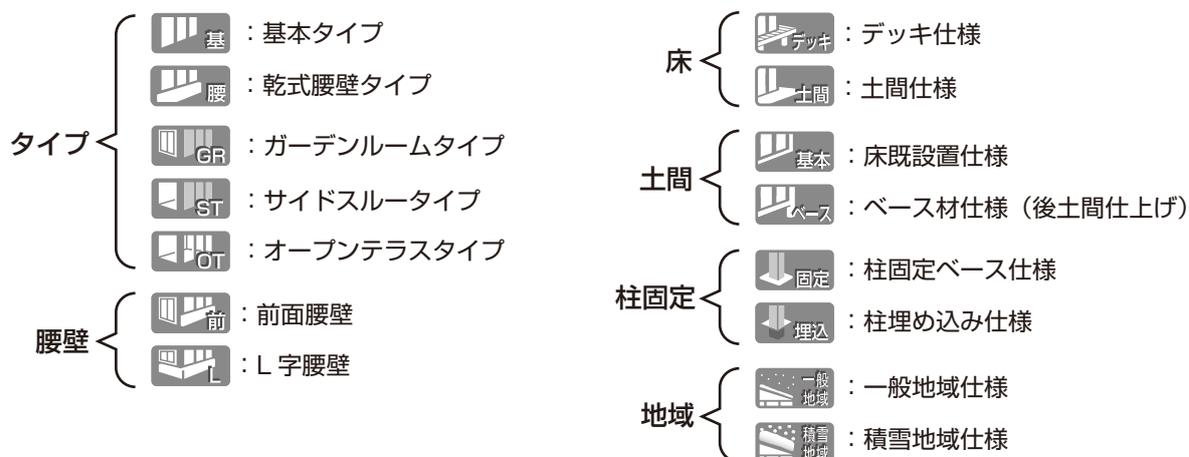
- スプレー式シリコン系潤滑剤は部品箱に同梱のもの、または現場手配してください。またアルコール系シーリング材は、現場で手配してください。
- 必要に応じて、「柱固定用カイモノ」は現場で手配してください。
- 照明を取付ける場合は、必要に応じて、「防水コンセント」、「連結コネクタ」、「PF管」を現場で手配してください。
- 照明を取付ける際に電源スイッチが必要な場合は現場で手配してください。

<施工の前に>

ポイント

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- ココマIIはタイプ（仕様）によって専用の手順が存在します。
本書では、タイプ（仕様）専用の手順を下記の記号で記載していますので施工を行なう前に必ず確認してください。

《記号の意味》



《手順内記載例》

例 1 :

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
 基	 GR	 デッキ			

※上記は、『基本ガーデンルームタイプでデッキ仕様』専用の施工手順を示しています。

例 2 :

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

※上記は、全タイプで施工が必要な場合に記載しています。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - ・φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m (25±5kgf・cm)
 - ・φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m (30±5kgf・cm)

🔑 ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事についてのご注意>

⚠ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

🔑 ポイント

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

INDEX

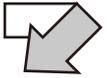
1	施工工程一覧	6	12	フレーム施工	97
2	各部の名称	10	1.	前面ベース受けの取付け	97
	1. ガーデンルームタイプ、サイドスルータイプ	10	2.	前面ベースの取付け	99
	2. オープンテラスタイプ	11	3.	見切り材の取付け	101
3	施工前の重要確認事項	12	4.	側面ベース受けの取付け	102
	1. 本製品の施工について	12	5.	側面ベースの取付け	103
4	梱包明細表	20	6.	スリーブの取付け	104
5	基本寸法	40	7.	中間柱の建込み	107
	1. ガーデンルームタイプ	40	8.	中棧の取付け	108
	2. サイドスルータイプ	44	9.	間柱の建込み	109
	3. オープンテラスタイプ	48	10.	垂木掛けの取付け	110
	4. L字腰壁タイプ	52	11.	桁の取付け	113
6	断面納まり図	54	12.	妻垂木・垂木の取付け	114
	1. ガーデンルームタイプ	54	13.	中骨の取付け	115
	2. オープンテラスタイプ、サイドスルータイプ	62	14.	屋根材の取付け	116
7	柱の位置出し	66	15.	垂木カバーの取付け	117
8	施工前の準備	67	16.	テラス用上枠の取付け	122
	1. 水盛遣方・水糸張り	67	17.	柱カバーの取付け	123
	2. 配線工事 オプション	68	18.	垂木化粧材の取付け	124
9	位置決め施工	70	19.	垂木フタの取付け	129
	1. ベース材と束柱の取付け	70	20.	垂木掛けカバーの取付け	130
	2. 躯体方立の取付け	72	21.	垂木掛けキャップの取付け	131
	3. 土間見切り材の取付け	74	22.	妻梁上部FIXの取付け	132
10	部材の組立て	76	23.	雪下ろし指示シールの貼付け	136
	1. 垂木掛けの組立て	76	24.	コンクリートの流し込み	137
	2. 桁の組立て	78	25.	雨樋の取付け	138
11	柱の建込み	80	26.	施工が完了したら	139
	1. 施工手順の確認	80			
	2. 柱の加工	81			
	3. 雨樋の取付け	88			
	4. 柱取付金具の取付け	90			
	5. 柱スリーブの取付け	91			
	6. 柱の建込み	92			
	7. 入隅の場合	96			

1 施工工程一覧

基本ガーデンルームタイプ、基本サイドスルータイプ



<p>1 ベース材と束柱の取付け</p>	<p>2 躯体方立の取付け</p> <p>※妻梁上部パネルの場合</p>	<p>3 土間見切り材の取付け</p> <p>※ガーデンルームタイプの場合</p>	<p>4 垂木掛けの組立て</p>
<p>5 桁の組立て</p>	<p>6 柱の加工</p>	<p>7 雨樋の取付け</p>	<p>8 柱の建込み</p>
<p>9 前面ベース材の取付け</p>	<p>10 ベースの取付け</p>	<p>11 中間柱の取付け</p>	<p>12 中棧の取付け</p> <p>※前面上下FIXパネルの場合</p>
<p>13 垂木掛けの取付け</p>	<p>14 桁の取付け</p>	<p>15 妻垂木・垂木の取付け</p>	<p>16 中骨の取付け</p>
<p>17 屋根材の取付け</p>	<p>18 垂木カバーの取付け</p>	<p>19 垂木化粧材の取付け</p>	<p>20 垂木フタの取付け</p>
<p>21 垂木掛けカバーの取付け</p>	<p>22 垂木掛けキャップの取付け</p>	<p>23 妻梁上部FIXの取付け</p> <p>※サイドスルータイプに妻梁上部FIX取付けの場合</p>	<p>24 コンクリートの流しこみ</p>
<p>25 雨樋の取付け</p>			



基本オープンテラスタイプ



<p>1 躯体方立の取付け</p> <p>※妻梁上部FIXパネルの場合</p>	<p>2 垂木掛けの組立て</p>	<p>3 桁の組立て</p>	<p>4 柱の加工</p>
<p>5 雨樋の取付け</p>	<p>6 柱の建込み</p>	<p>7 中間柱の建込み</p>	<p>8 垂木掛けの取付け</p>
<p>9 桁の取付け</p>	<p>10 妻垂木・垂木の取付け</p>	<p>11 中骨の取付け</p>	<p>12 屋根材の取付け</p>
<p>13 垂木カバーの取付け</p>	<p>14 テラス用上枠、柱カバーの取付け</p>	<p>15 垂木化粧材の取付け</p>	<p>16 垂木フタの取付け</p>
<p>17 垂木掛けカバーの取付け</p>	<p>18 垂木掛けキャップの取付け</p>	<p>19 妻梁上部FIXの取付け</p> <p>※妻梁上部FIX取付けの場合</p>	<p>20 コンクリートの流しこみ</p>
<p>21 雨樋の取付け</p>			



腰壁ガーデンルームタイプ、腰壁サイドスルータイプ



<p>1 ベース材と束柱の取付け</p>	<p>2 躯体方立の取付け</p> <p>※妻梁上部パネルの場合 ※L字腰壁の場合</p>	<p>3 土間見切り材の取付け</p> <p>※ガーデンルームタイプの場合</p>	<p>4 垂木掛けの組立て</p>
<p>5 桁の組立て</p>	<p>6 柱の加工</p>	<p>7 雨樋の取付け</p>	<p>8 柱の建込み</p>
<p>9 前面ベース材の取付け</p>	<p>10 見切り材の取付け</p> <p>※L字腰壁の場合</p>	<p>11 側面ベース受けの取付け</p> <p>※L字腰壁の場合</p>	<p>12 ベースの取付け</p>
<p>13 中間柱の取付け</p>	<p>14 間柱の取付け</p>	<p>15 垂木掛けの取付け</p>	<p>16 桁の取付け</p>
<p>17 妻垂木・垂木の取付け</p>	<p>18 中骨の取付け</p>	<p>19 屋根材の取付け</p>	<p>20 垂木カバーの取付け</p>
<p>21 垂木化粧材の取付け</p>	<p>22 垂木フタの取付け</p>	<p>23 垂木掛けカバーの取付け</p>	<p>24 垂木掛けキャップの取付け</p>
<p>25 妻梁上部FIXの取付け</p> <p>※サイドスルータイプに妻梁上部FIX取付けの場合</p>	<p>26 コンクリートの流しこみ</p>		



腰壁オープンテラスタイプ

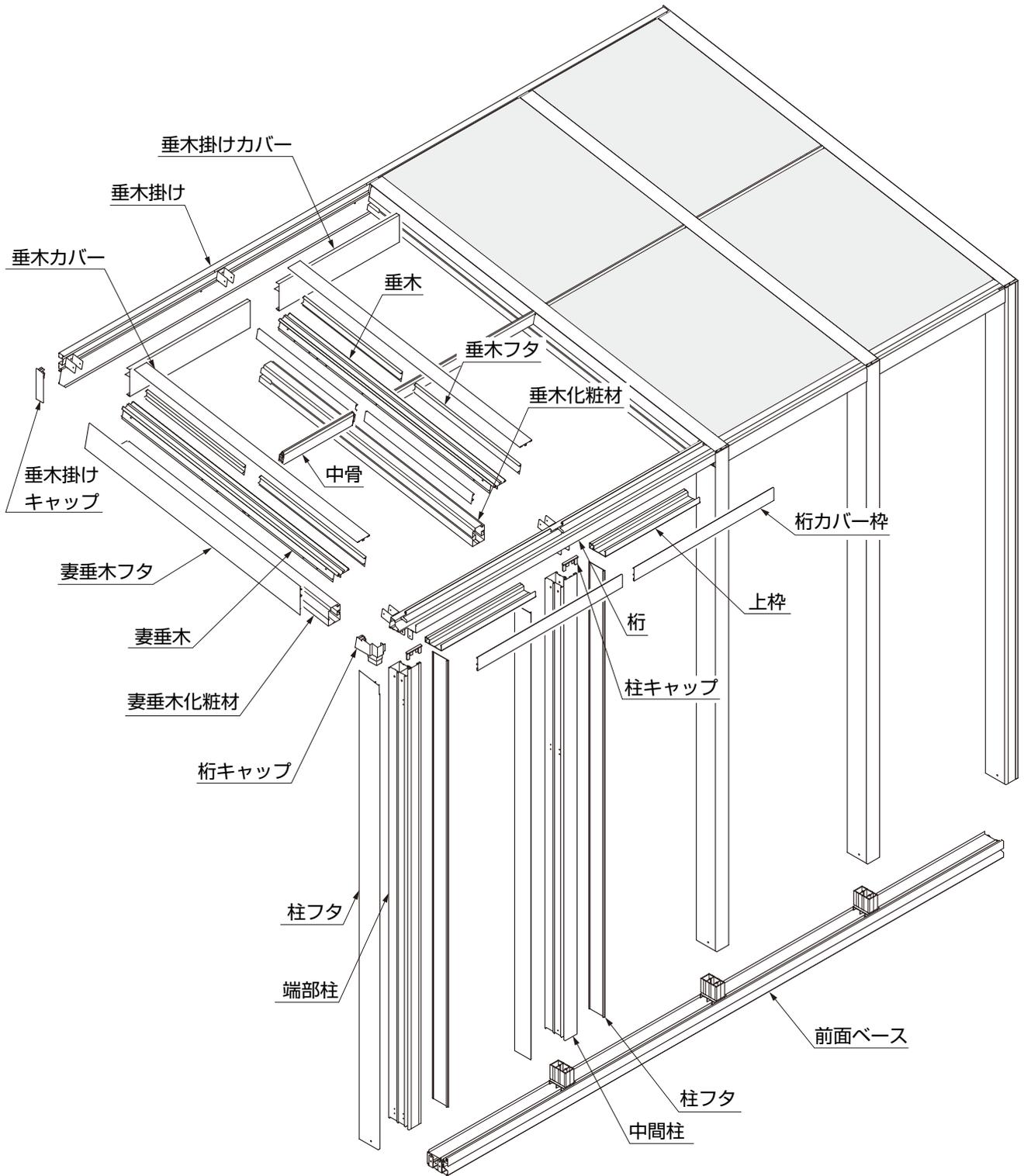


<p>1 ベース材と束柱の取付け</p>	<p>2 躯体方立の取付け</p> <p>※妻梁上部パネルの場合 ※L字腰壁の場合</p>	<p>3 垂木掛けの組立て</p>	<p>4 桁の組立て</p>
<p>5 柱の加工</p>	<p>6 雨樋の取付け</p>	<p>7 柱の建込み</p>	<p>8 前面ベース材の取付け</p>
<p>9 見切り材の取付け</p> <p>※L字腰壁の場合</p>	<p>10 側面ベース受けの取付け</p> <p>※L字腰壁の場合</p>	<p>11 ベースの取付け</p>	<p>12 中間柱の取付け</p>
<p>13 間柱の取付け</p>	<p>14 垂木掛けの取付け</p>	<p>15 桁の取付け</p>	<p>16 妻垂木・垂木の取付け</p>
<p>17 中骨の取付け</p>	<p>18 屋根材の取付け</p>	<p>19 垂木カバーの取付け</p>	<p>20 垂木化粧材の取付け</p>
<p>21 垂木フタの取付け</p>	<p>22 垂木掛けカバーの取付け</p>	<p>23 垂木掛けキャップの取付け</p>	<p>24 妻梁上部FIXの取付け</p> <p>※妻梁上部FIX取付けの場合</p>
<p>25 コンクリートの流しこみ</p>			

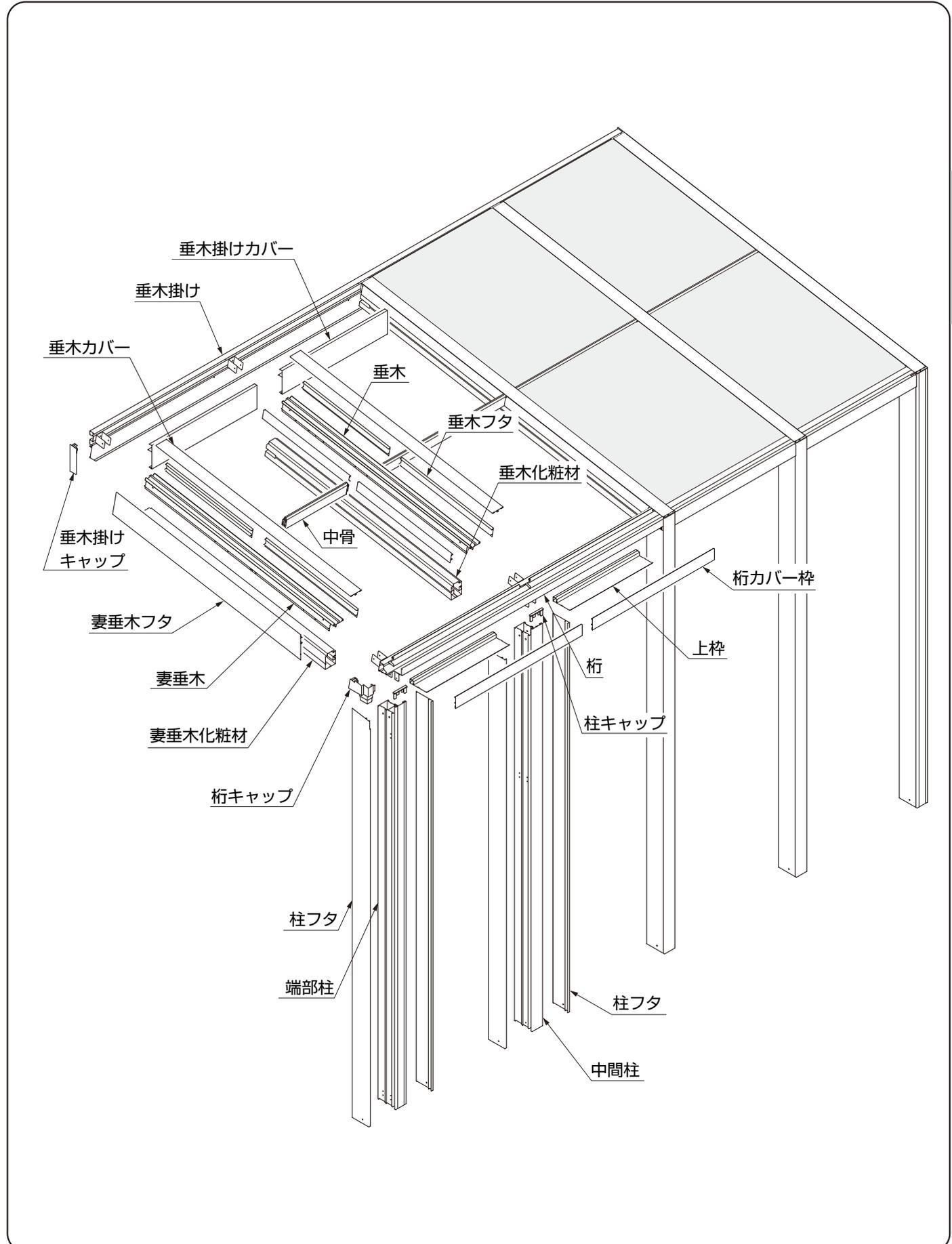


2 各部の名称

1. ガーデンルームタイプ、サイドスルータイプ



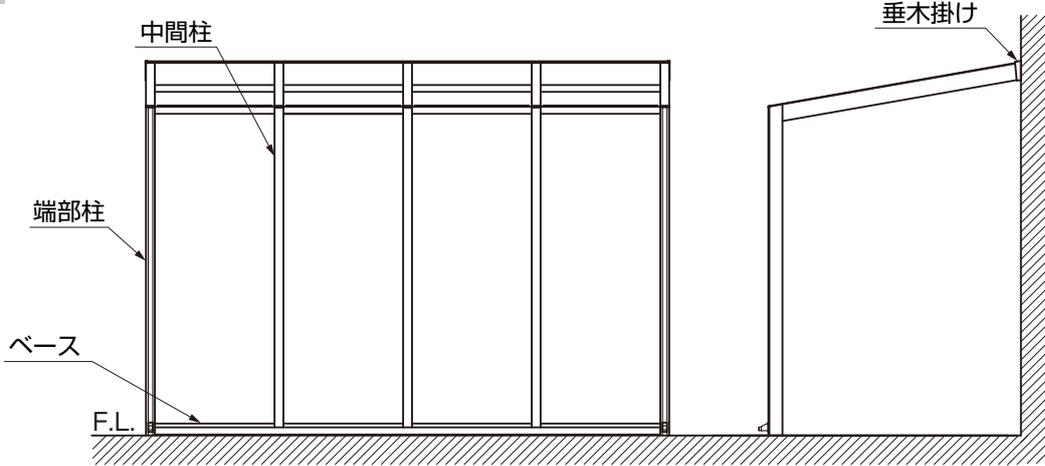
2. オープンテラスタイプ



3 施工前の重要確認事項

1. 本製品の施工について ※施工時には下記の事項を厳守してください。

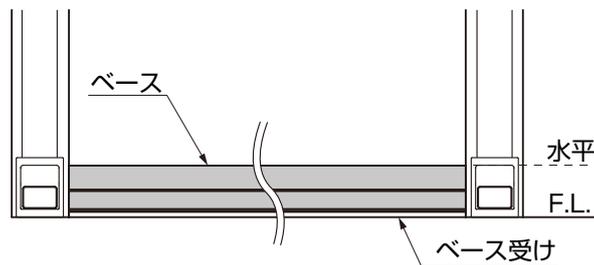
1-1 柱、垂木掛けの取付け



ポイント

- 「5 基本寸法」を参照して柱、垂木掛け等の位置出しを行なってください。

1-2 ベースの取付け

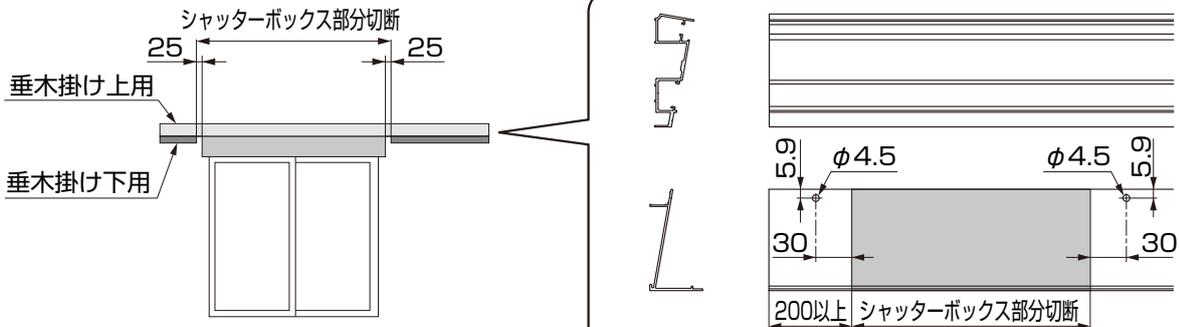


ポイント

- ベースは水平になるように取付けてください。

1-3 垂木掛けの分割利用について

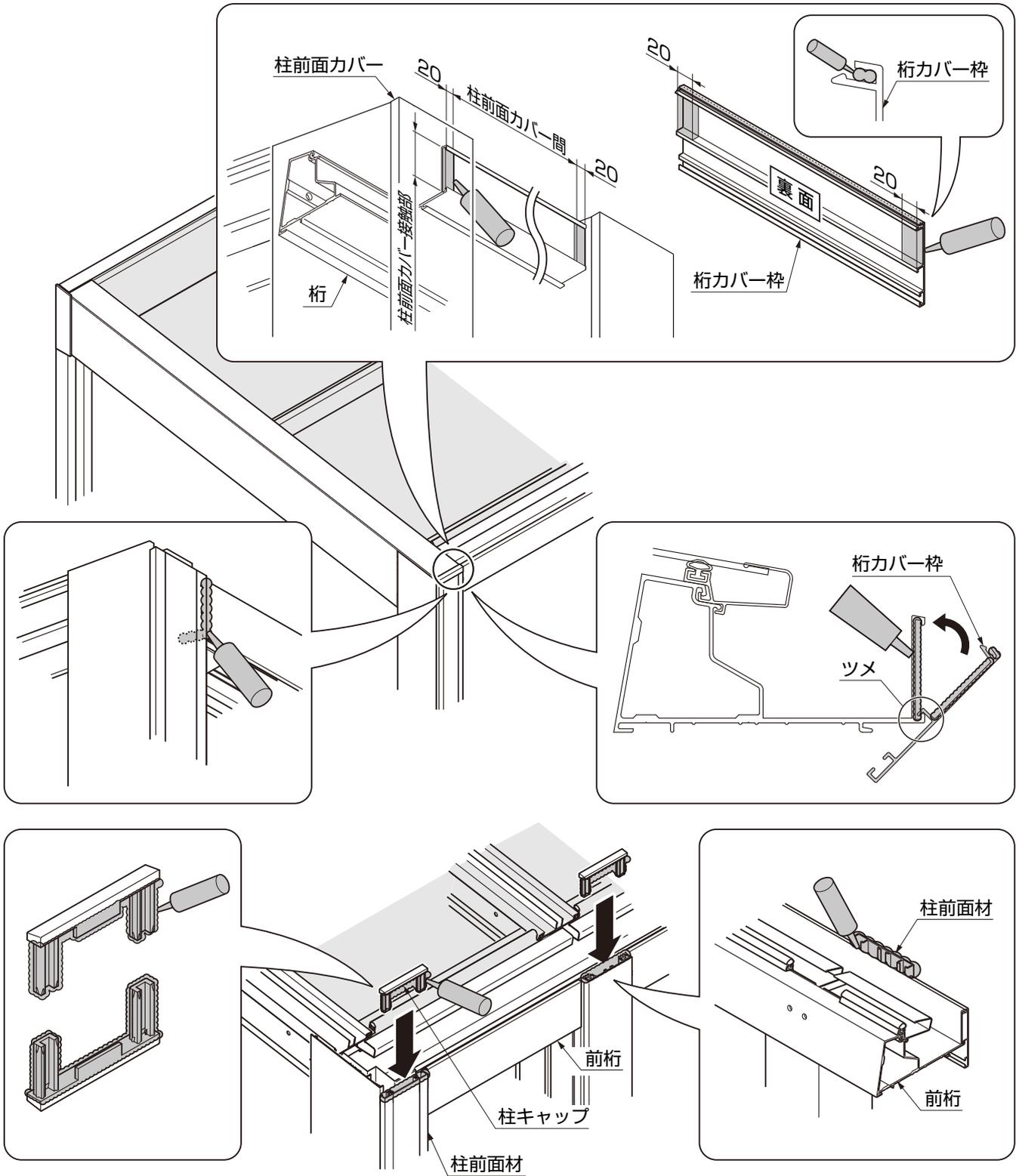
※垂木掛け打付け面の障害物（シャッターボックスなど）を避けて設置する方法です。



ポイント

- 垂木掛けを取付ける箇所にシャッターボックス等の障害物がある場合は、障害物部分の垂木掛け下用は取付け不要です。ただし、両端部には最低200mmの垂木掛け下用が必要です。

1-4 シーリング処理

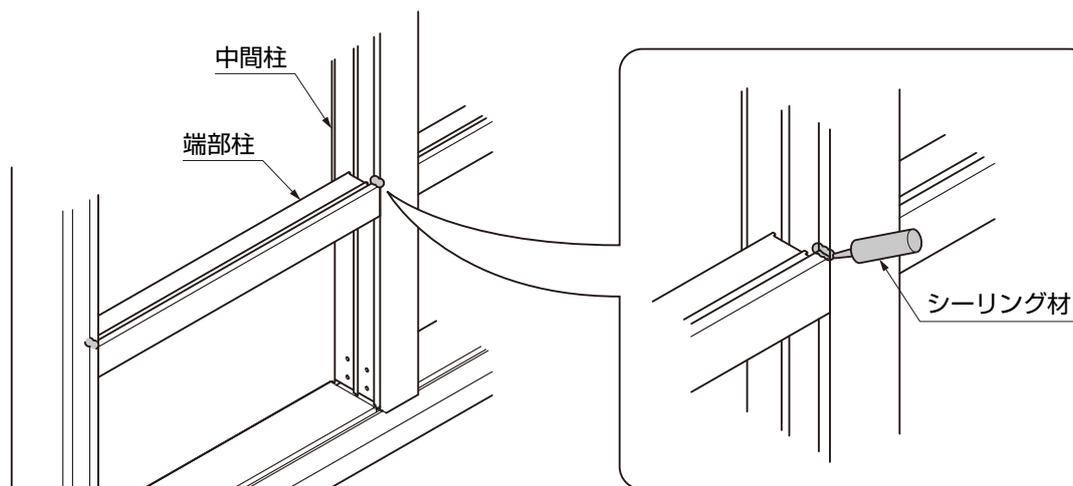
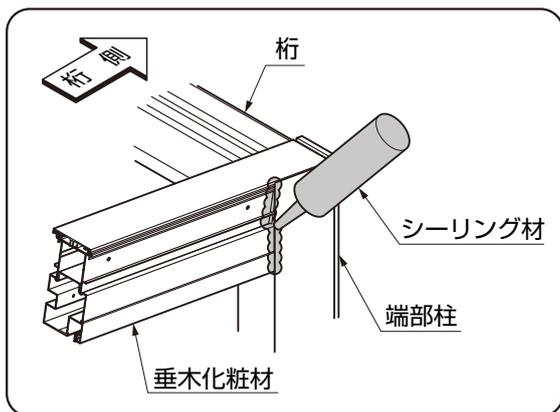
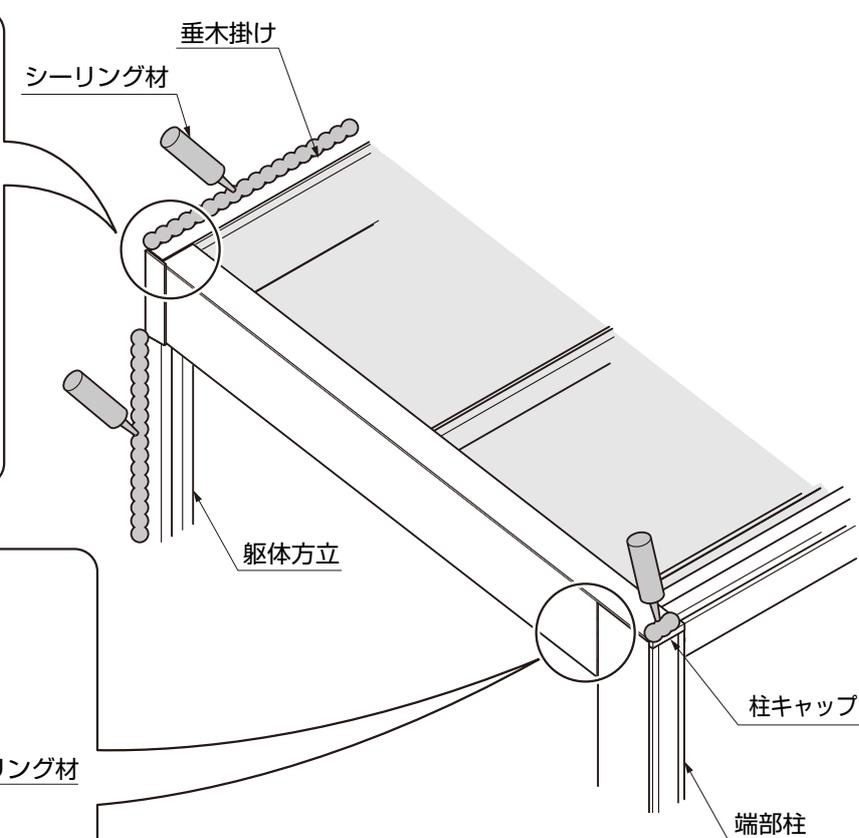
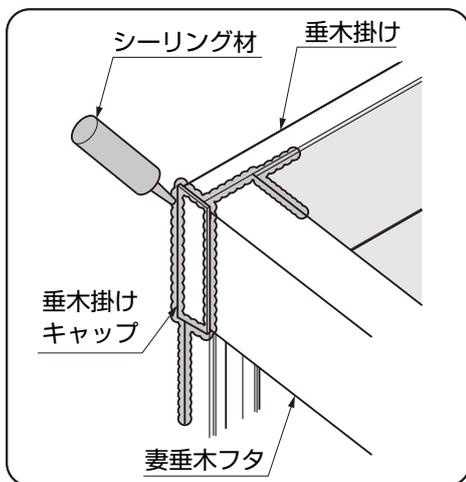


🔑ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

1. (つづき)

1-4 (つづき)



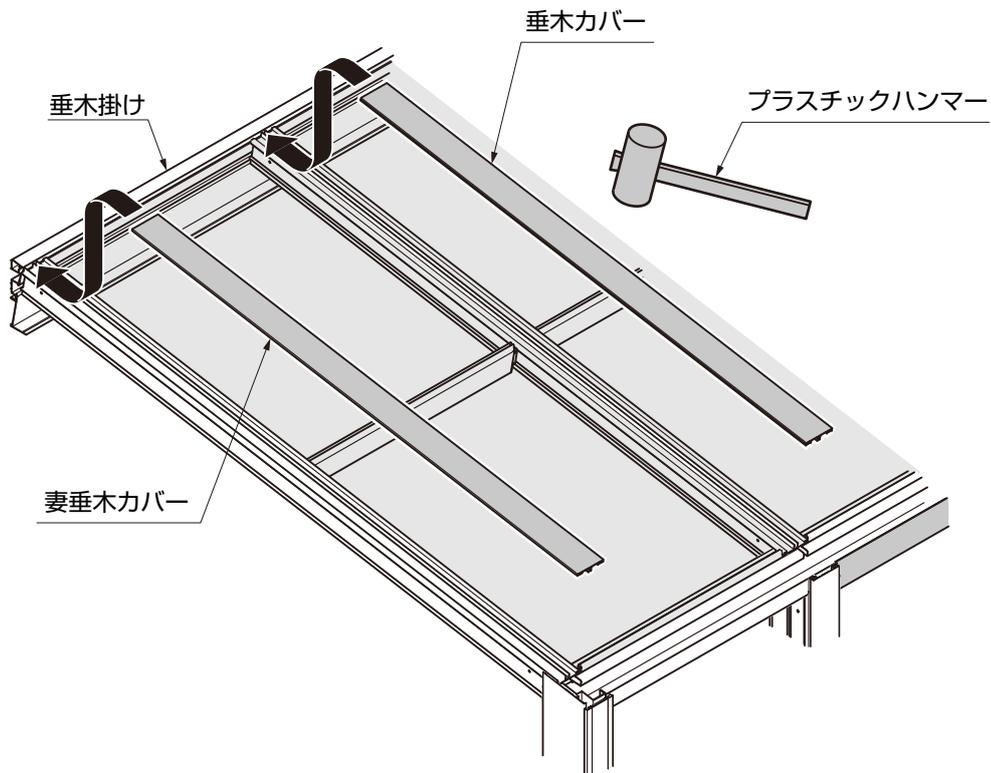
ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

1-5 その他のシーリング箇所

ページ	タイトル	シーリング箇所
P.72	2.躯体方立の取付け	φ5躯体穴、外壁と躯体方立
P.78	2.桁の組立て	桁キャップ端部
P.79	2-2 連棟の場合 (2) 桁の連結	連結用桁キャップ
P.96	7.入隅の場合	外壁と端部柱
P.98	1-2 前面ベース受けの取付け	前面ベース受け端部
P.108	8-1 中棧の組立て	中棧端部部品
P.110	10-1 垂木掛けの取付け	垂木掛けパネル飲み込み部
P.112	10-2 連棟、垂木照明、入隅の場合 (1) 連棟の場合	垂木掛け連結部
P.113	11.桁の取付け	桁キャップの縁
P.121	(3) 垂木カバーのシーリング	垂木カバーと垂木掛け、躯体の接触部
P.136	22-4 シーリング処理	妻梁上部FIX部

1-6 垂木カバーの取付け



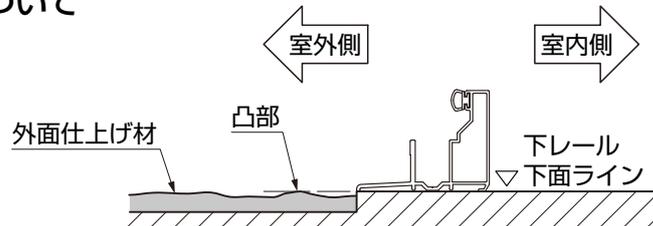
ポイント

- 垂木カバー、妻垂木カバーは部材が凹まないように注意しながら、プラスチックハンマー等で押込んでください。
- 垂木カバー、妻垂木カバーは垂木掛けに突当てて取付けてください。

1. (つづき)

1-7 下レールの取付け ※図は折戸用です。引戸、クリアウォール、カスタムウォールの場合も同様です。
 ※ガーデンルームタイプの場合の作業です。

(1) 外面仕上げについて



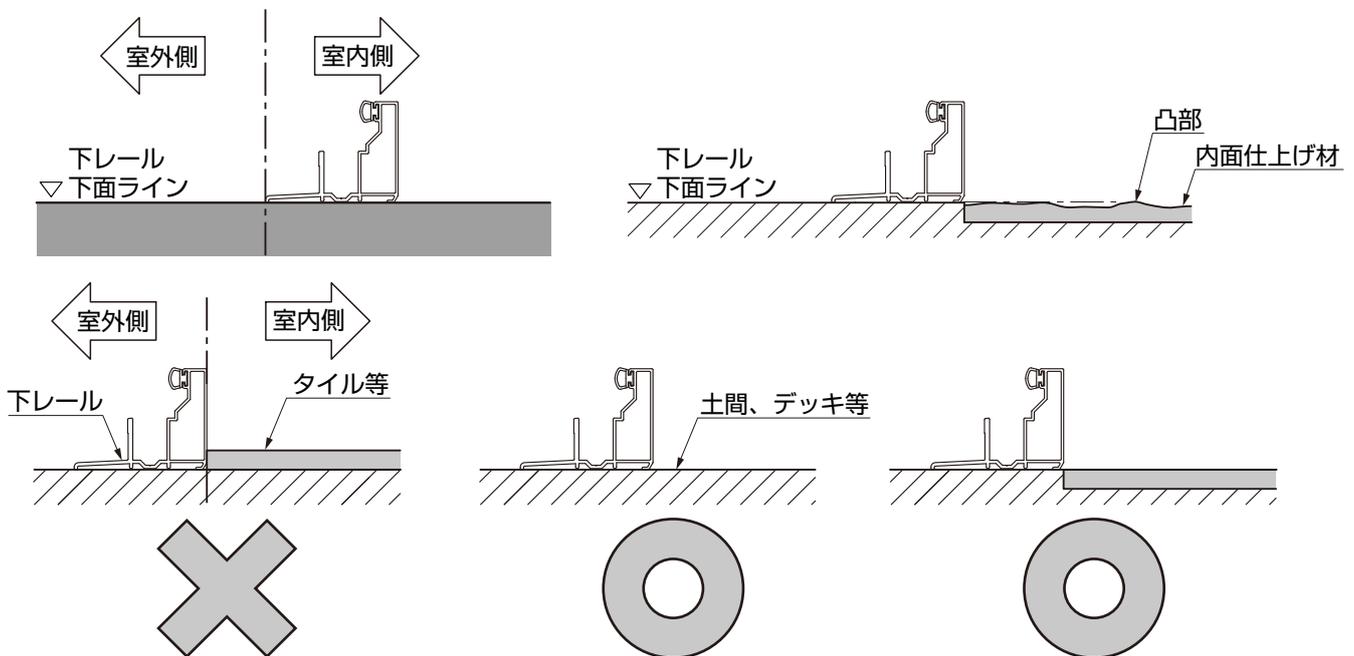
① 室外側の仕上げは、下レール下面と同じか低くなるように仕上げてください。

ポイント

- タイル等は [] の範囲に必ず納めてください。
- 室外側の仕上げを下レール下面より高くしてしまうと、下レールにたまった水やゴミをコーナー部から掃き出せなく場合があります。
- 凸凹の大きなタイルなどで室外側を仕上げた場合、凹部ではなく、凸部が下レール下面より高くないように仕上げてください。

(2) フラット施工の内面仕上げについて

[] : 土間 (タイル等含む)
 デッキの仕上げ範囲



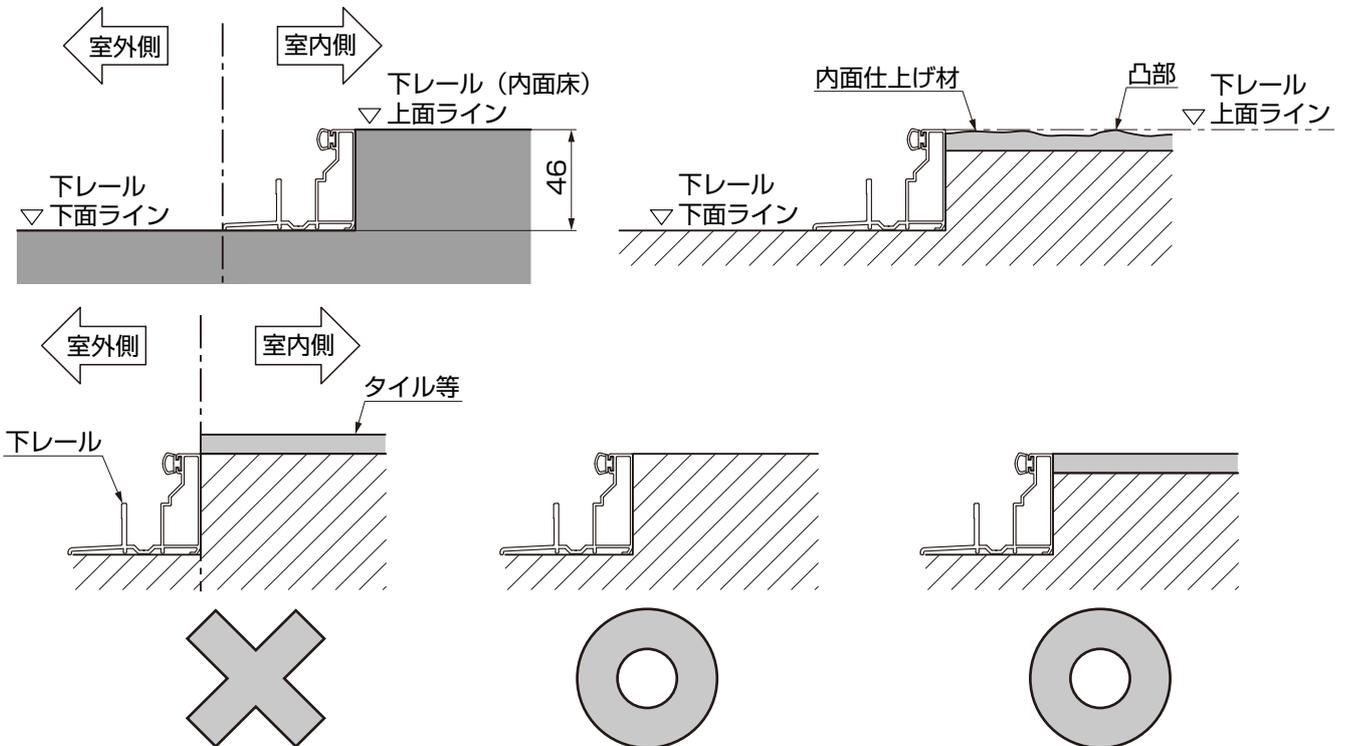
① 室内側の仕上げは、下レール下面と同じか低くなるように仕上げてください。

ポイント

- タイル等は [] の範囲に必ず納めてください。
- 室内側の仕上げを下レール下面より高くしてしまうと、オプションの網戸を取付けた場合、網戸が作動しにくくなったり、破損するおそれがあります。
- 凸凹の大きなタイルなどで室内側を仕上げた場合、凹部ではなく、凸部が下レール下面より高くないように仕上げてください。

(3) 内面立上げ施工の内面仕上げについて

■：土間（タイル等含む）デッキの仕上げ範囲

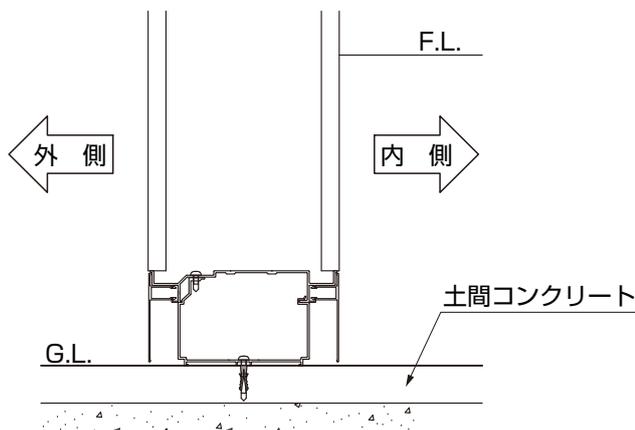


①室内側を下レール上面と同じか低くなるように仕上げてください。

ポイント

- タイル等は ■ の範囲に必ず納めてください。
- 室内側の仕上げを下レール上面（内面外高さ）より高くしてしまうと、オプションの網戸を取付けた場合、網戸が作動しにくくなったり、破損するおそれがあります。
- 凸凹の大きなタイルなどで室内側を仕上げた場合、凹部ではなく、凸部が下レール上面より高くならないように仕上げてください。

1-8 ベース受けの取付け ※腰壁下延長の場合の作業です



ポイント

- 腰壁下延長の場合、ベース受けは G.L.面に固定してください。土間コンクリートが水平になっていることを確認し、水平になっていない場合は水平に仕上げてください。

1. (つづき)

1-9 土間仕上り寸法 ※ガーデンルームタイプの場合の作業です

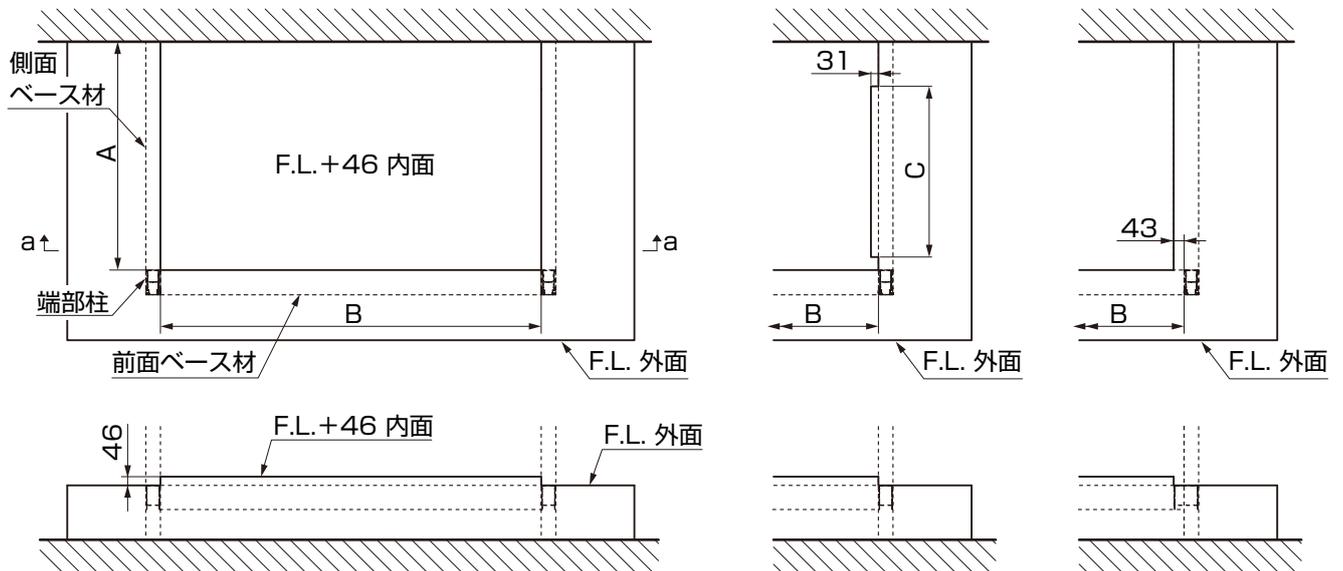


図1-1
引戸の場合

図1-2
L字腰壁の場合

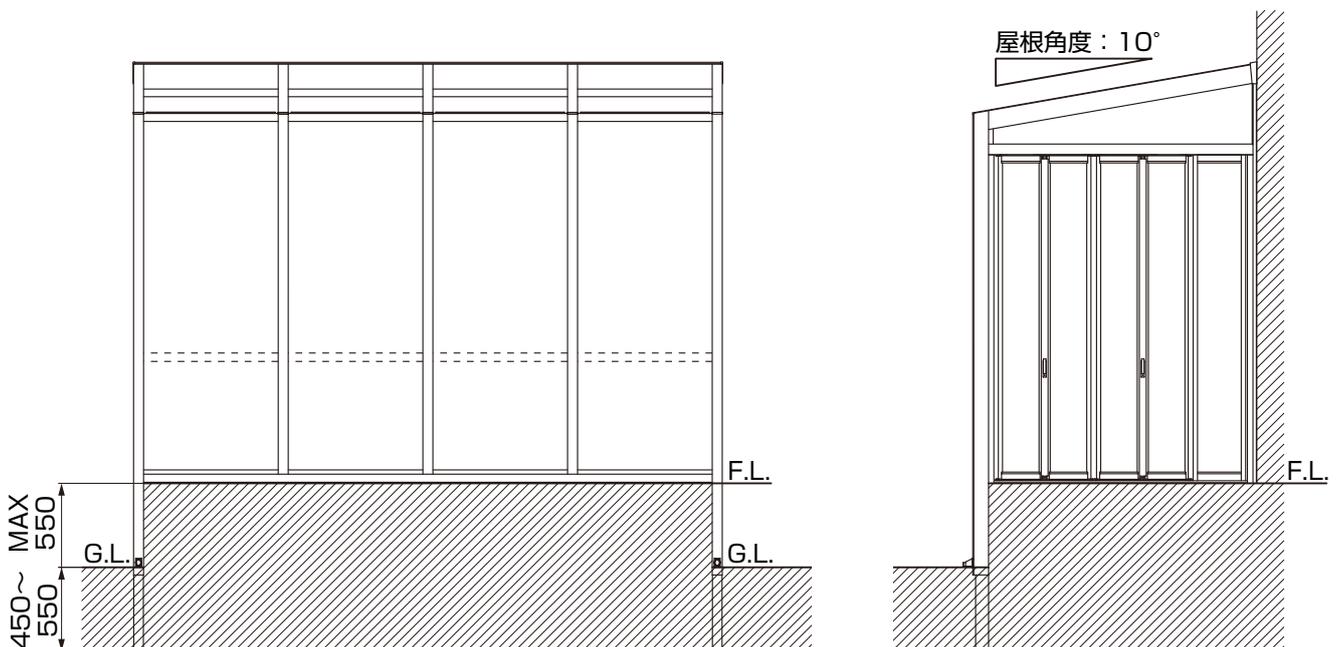
	A
4尺	1205
6尺	1805
8尺	2405
10尺	3005

	B	B	B	B	
1.0間	1760	2.5間	4490	4.0間	7220
1.5間	2670	3.0間	5400	4.5間	8130
2.0間	3580	3.5間	6310	5.0間	9040

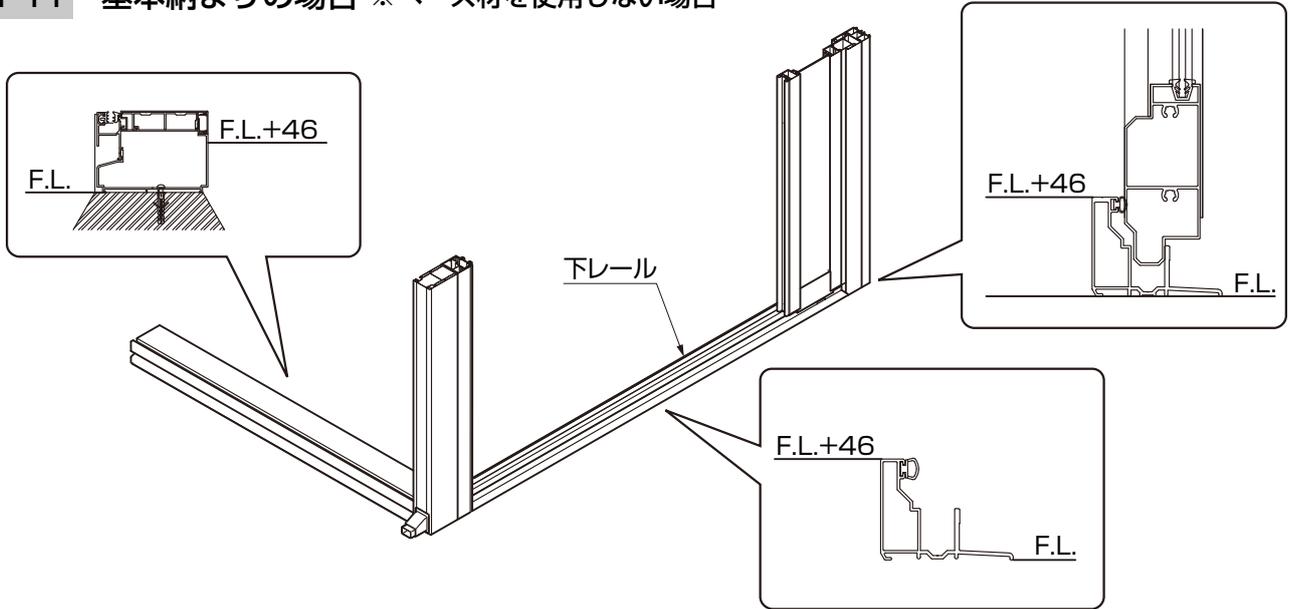
	C
4尺	-
6尺	1427
8尺	1777
10尺	1777

※表のB寸法は折戸の場合（土間見切り材：片側12mmを含む）です。
引戸の場合は片側面あたり31mm、L字腰壁の場合は片側面あたり43mm 上記B寸法より引いてください。

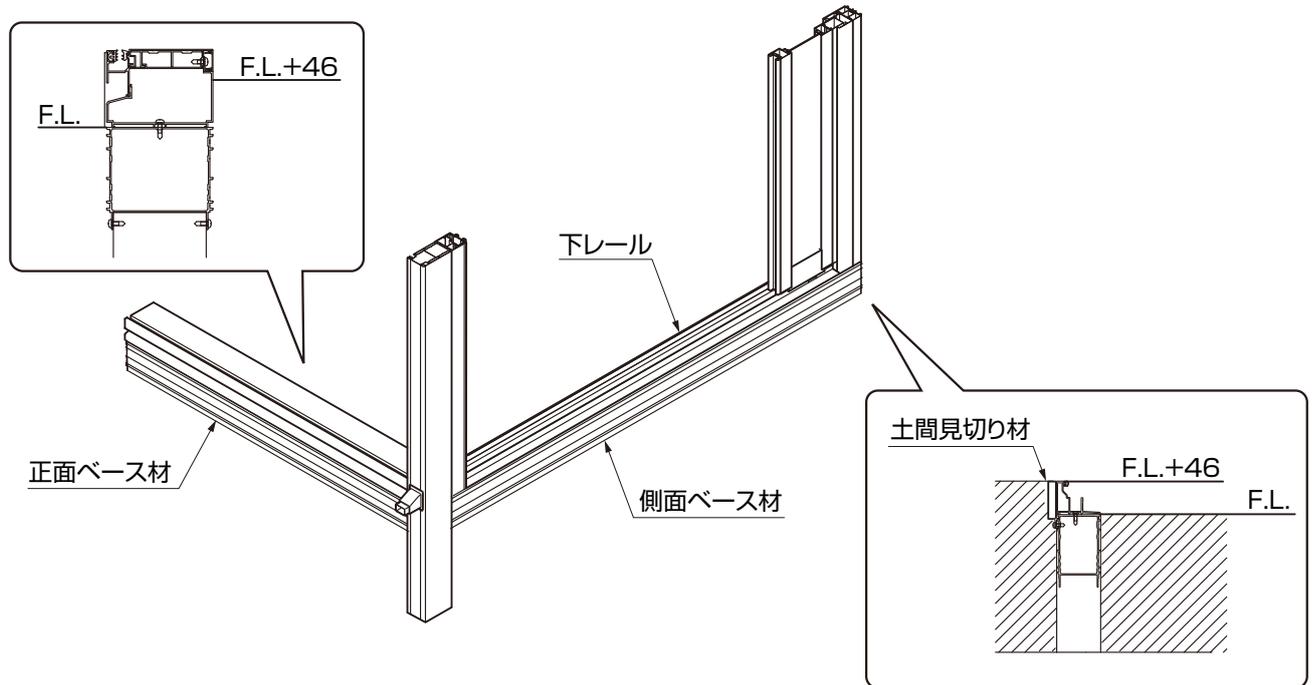
1-10 代表的な施工例について デッキ施工・土間施工 外面床なし仕様（インナーデッキ仕様など）



1-11 基本納まりの場合 ※ベース材を使用しない場合



1-12 ベース仕様の場合 ※ベース材を使用する場合



1-13 オプションを取付ける場合

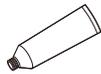
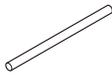
ポイント

●ココマII本体と合わせてオプション品を取付ける場合、本体のカバー材などを取付ける前にオプション品を取付けた方が良い場合があります。本取付説明書において、オプション品取付けに影響するページを右表に挙げていますので、該当するオプションの取付説明書も合わせて確認し、取付けてください。

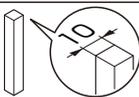
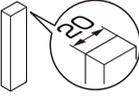
対象オプション	本取付説明書内に影響する手順	
	ページ	手順
E389 前面スクリーン	P.123	17. 柱カバーの取付け
E377 ロールスクリーン	P.129	19. 垂木フタの取付け
E376 ローマンシェード	P.129	19. 垂木フタの取付け
E269 内部日除け	P.130	20. 垂木掛けカバーの取付け

4 梱包明細表

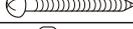
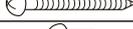
【1】 部品箱セット (基本-オープンテラスタイプ用)

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
接着剤		1	1	1	1	1
ブチルコーキング		1	1	1	1	1
桁キャップ右		1	1	1	1	1
桁キャップ左		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ右		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ左		1	1	1	1	1
垂木掛け下用キャップL		1	1	1	1	1
垂木掛け下用キャップR		1	1	1	1	1
垂木取付金具		6	8	10	12	14
柱キャップ		3	4	5	6	7
柱-桁取付金具		4	6	8	10	12
アンカー棒		3	4	5	6	7
ココマII 取扱説明書<UE091>	-	1	1	1	1	1
シーリング箇所一覧 ココマII 基本タイプ編<E390>	-	1	1	1	1	1
ココマII デッキ編 (樹ら楽ステージ) 取付説明書<E373>	-	1	1	1	1	1
ココマII 基本タイプ/乾式腰壁基本タイプ フレーム編 取付説明書<E368>	-	1	1	1	1	1
フレーム編用 納まり別 参照ページ一覧<E405>	-	1	1	1	1	1
【1-1】 M6平座金		20	23	25	27	29
【1-2】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		61	81	103	123	142
【1-5】 φ6×70コーチスクリュー		19	21	23	25	27
【1-10】 φ4×12トラスタッピンネジ2種 D=8 (PW+ゴムパッキン付き)		59	79	99	118	138
【1-11】 φ4×12トラスタッピンネジ1種 D=8		2	2	2	2	2
【1-12】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		13	17	22	26	30
【1-13】 φ5×12トラスタッピンネジ3種 D=10		28	41	55	67	80
【1-15】 φ5×8トラスタッピンネジ3種		2	2	2	2	2

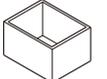
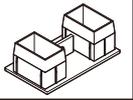
【1】 部品箱セット (基本-サイドスルータイプ・ガーデンルームタイプ用)

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
中間柱スリーブ		1	2	3	4	5
柱スリーブ台座		1	2	3	4	5
シリコンスプレー		1	1	1	1	1
接着剤		1	1	1	1	1
セッティングブロック (H10)		4	6	8	10	12
セッティングブロック (H20)		-	3	6	9	12
セッティングブロック (H2)		6	6	6	6	6
ブチルコーキング		1	1	1	1	1
ベース受け材、中棧取付金具		4	4	4	4	4
桁キャップ右		1	1	1	1	1
桁キャップ左		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ右		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ左		1	1	1	1	1
垂木掛け下用キャップL		1	1	1	1	1
垂木掛け下用キャップR		1	1	1	1	1
垂木取付金具		6	8	10	12	14
柱キャップ		3	4	5	6	7

【1】 部品箱セット (基本-サイドスルータイプ・ガーデンルームタイプ用) つづき

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
柱-桁取付金具		4	6	8	10	12
アンカー棒		2	2	2	2	2
MDペンダントライト電気工事説明書<R011>	-	1	1	1	1	1
ココマII取扱説明書<UE091>	-	1	1	1	1	1
シーリング箇所一覧 ココマII 基本タイプ編<E390>	-	1	1	1	1	1
シーリング箇所一覧 ココマII 開口編<E393>	-	1	1	1	1	1
ココマII デッキ編 (樹ら楽ステージ) 取付説明書<E373>	-	1	1	1	1	1
ココマII 開口部編 取付説明書<E370>	-	1	1	1	1	1
ココマII 基本タイプ/乾式腰壁基本タイプ フレーム編 取付説明書<E368>	-	1	1	1	1	1
フレーム編用 納まり別 参照ページ一覧 (E405)	-	1	1	1	1	1
開口編用 納まり別 参照ページ一覧 (E407)	-	1	1	1	1	1
【1-1】 M6平座金		20	23	25	27	29
【1-2】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		80	115	152	189	224
【1-3】 30 フィッシャープラグ S6		5	7	9	11	13
【1-5】 φ6×70六角コーチスクリュー		19	21	23	25	27
【1-7】 φ4.1×63丸木ネジ		5	7	9	11	13
【1-8】 φ4×19ナベドリルネジ D=8.2		5	7	9	11	13
【1-9】 φ4×30ナベタッピンネジ1種		5	7	9	11	13
【1-10】 φ4×12トラスタッピンネジ2種 D=8 (PW+ゴムパッキン付き)		59	79	99	118	138
【1-11】 φ4×12トラスタッピンネジ1種 D=8		2	2	2	2	2
【1-12】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		30	34	39	43	47
【1-13】 φ5×12トラスタッピンネジ3種 D=10		28	41	55	67	80
【1-14】 φ4×75ナベタッピンネジ1種 D=7		2	4	6	8	10
【1-15】 φ5×8トラスタッピンネジ3種		2	2	2	2	2

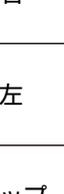
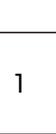
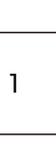
【2】 部品箱セット (L字乾式腰壁タイプ用)

名 称	略 図	員 数			
		4R	6R	8R	10R
中間柱スリーブ		3	5	7	9
内面ふさぎ材B		1	1	1	1
躯体方立キャップ		1	1	1	1
笠木コーナーキャップ 補強部品		1	1	1	1
笠木エンドキャップ 補強部品		2	2	2	2
【2-1】 φ4×13 ナベドリルネジ D=8.2		58	80	93	115

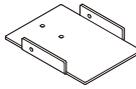
【2】 部品箱セット (L字乾式腰壁タイプ用) つづき

名 称	略 図	員 数			
		4R	6R	8R	10R
【2-2】 φ4×25ナベ タッピンネジ2種 D=7 G=5		10	15	19	24
【2-3】 30 フィッシャー プラグ S6		3	5	6	8
【2-4】 φ4×30 ナベタッピンネジ1種		3	5	6	8
【2-5】 φ4×25 サラドリルネジ D=8		39	59	79	99
【2-6】 φ4×75ナベ タッピンネジ1種 D=7		6	10	15	19
【2-7】 φ4.1×63丸木ネジ		4	6	6	8
【2-8】 φ4×19 ナベドリルネジ D=8.2		3	5	6	8
【2-9】 φ5×12トラス タッピンネジ3種 D=10		1	1	1	1
【2-10】 φ4×12トラス タッピンネジ3種 D=8		3	3	3	3

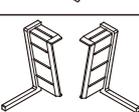
【1】 部品箱セット（乾式腰壁-ガーデンルームタイプ/サイドスルータイプ用）

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
中間柱スリーブ		3	5	7	9	11
セッティングブロック (H10)		4	6	8	10	12
セッティングブロック (H20)		-	2	4	6	8
セッティングブロック (H2)		4	4	4	4	4
ビルトイン雨樋排水部品		2	2	2	2	2
桁キャップ右		1	1	1	1	1
桁キャップ左		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ右		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ左		1	1	1	1	1
垂木掛け下用キャップ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
垂木取付金具		6	8	10	12	14
水切りコーナー塞ぎ		4	4	4	4	4
水切り受け金具		2	2	2	2	2
端部水切り材		2	2	2	2	2
柱キャップ		3	4	5	6	7
柱-桁取付金具		4	6	8	10	12
アンカー棒		2	2	2	2	2

【1】 部品箱セット（乾式腰壁-ガーデンルームタイプ/サイドスルータイプ用） つづき

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
シリコンスプレー		1	1	1	1	1
接着剤		1	1	1	1	1
ブチルコーキング		1	1	1	1	1
【1-1】 M6平座金		20	23	25	27	29
【1-2】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		145	198	252	305	356
【1-3】 30フィッシャープラグ S6		5	7	9	12	15
【1-4】 φ4×25サラドリルネジ D=8		39	59	79	99	118
【1-5】 φ6×70六角コーチスクリュー		19	21	23	25	27
【1-6】 φ4×25ナベタッピンネジ2種 D=7 G=5		21	28	34	41	48
【1-7】 φ4.1×63丸木ネジ		5	7	9	12	15
【1-8】 φ4×19ナベドリルネジ D=8.2		5	7	9	12	15
【1-9】 φ4×30ナベタッピンネジ1種		5	7	9	12	15
【1-10】 φ4×12トラスタッピンネジ2種 D=8 座金組込PW+樹脂パッキン		59	79	99	118	138
【1-11】 φ4×12トラスタッピンネジ1種 D=8		2	2	2	2	2
【1-12】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		17	21	26	30	34
【1-13】 φ5×12トラスタッピンネジ3種 D=10		28	41	55	67	80
【1-14】 φ4×75ナベタッピンネジ1種 D=7		6	10	14	18	22
【1-15】 φ5×8トラスタッピンネジ3種		2	2	2	2	2
ベース材端部排水テープ		4	6	8	10	12
柱コーナー塞ぎ		2	2	2	2	2
笠木端部キャップ補強部品		2	2	2	2	2
シーリング箇所一覧 ココマⅡ 乾式腰壁タイプ編<E391>	-	1	1	1	1	1
シーリング箇所一覧 ココマⅡ 開口部編<E393>	-	1	1	1	1	1
ココマⅡ デッキ編（樹ら楽ステージ） 乾式腰壁タイプ 取付説明書<E388>	-	1	1	1	1	1
ココマⅡ 乾式腰壁タイプ 腰壁編 取付説明書<E369>	-	1	1	1	1	1
ココマⅡ 基本タイプ/乾式腰壁基本タイプ フレーム編 取付説明書<E368>	-	1	1	1	1	1
MDペンダントライト 電気工事説明書 取付説明書<R011>	-	1	1	1	1	1
ココマⅡ 開口部編 取付説明書<E370>	-	1	1	1	1	1
ココマⅡ 取扱説明書<UE091>	-	1	1	1	1	1
フレーム編用 納まり別 参照ページ一覧<E405>	-	1	1	1	1	1
乾式腰壁編用 納まり別 参照ページ一覧<E406>	-	1	1	1	1	1
開口編用 納まり別 参照ページ一覧<E407>	-	1	1	1	1	1

【1】 部品箱セット（乾式腰壁-オープンテラスタイプ用）

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
中間柱スリーブ		3	5	7	9	11
ビルトイン雨樋排水部品		2	2	2	2	2
桁キャップ右		1	1	1	1	1
桁キャップ左		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ右		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ左		1	1	1	1	1
垂木掛け下用キャップ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
垂木取付金具		6	8	10	12	14
水切りコーナー塞ぎ		4	4	4	4	4
水切り受け金具		2	2	2	2	2
端部水切り材		2	2	2	2	2
柱キャップ		3	4	5	6	7
柱-桁取付金具		4	6	8	10	12
アンカー棒		2	2	2	2	2
接着剤		1	1	1	1	1
ブチルコーキング		1	1	1	1	1
笠木端部キャップ補強部品		2	2	2	2	2

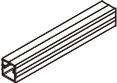
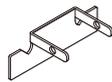
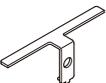
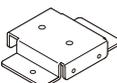
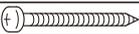
【1】 部品箱セット (乾式腰壁-オープンテラスタイプ用) つづき

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
【1-1】 M6平座金		20	23	25	27	29
【1-2】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		145	198	252	305	356
【1-3】 30フィッシャープラグ S6		5	7	9	12	15
【1-4】 φ4×25サドリルネジ D=8		39	59	79	99	118
【1-5】 φ6×70六角コーチスクリュー		19	21	23	25	27
【1-6】 φ4×25ナベタッピンネジ2種 D=7 G=5		21	28	34	41	48
【1-7】 φ4.1×63丸木ネジ		5	7	9	12	15
【1-8】 φ4×19ナベドリルネジ D=8.2		5	7	9	12	15
【1-9】 φ4×30ナベタッピンネジ1種		5	7	9	12	15
【1-10】 φ4×12トラスタッピンネジ2種 D=8座金組込PW+樹脂パッキン		59	79	99	118	138
【1-11】 φ4×12トラスタッピンネジ1種 D=8		2	2	2	2	2
【1-12】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		17	21	26	30	34
【1-13】 φ5×12トラスタッピンネジ3種 D=10		28	41	55	67	80
【1-14】 φ4×75ナベタッピンネジ1種 D=7		6	10	14	18	22
【1-15】 φ5×8トラスタッピンネジ3種		2	2	2	2	2
フレーム編用 納まり別 参照ページ一覧 <E405>	-	1	1	1	1	1
乾式腰壁編用 納まり別 参照ページ一覧 <E406>	-	1	1	1	1	1
シーリング箇所一覧 ココマII 乾式腰壁タイプ編<E391>	-	1	1	1	1	1
ココマII デッキ編 (樹ら楽ステージ) 乾式腰壁タイプ 取付説明書<E388>	-	1	1	1	1	1
ココマII 乾式腰壁タイプ 腰壁編 取付説明書<E369>	-	1	1	1	1	1
ココマII 基本タイプ/乾式腰壁基本タイプ フレーム編 取付説明書<E368>	-	1	1	1	1	1
ココマII 取扱説明書<UE091>	-	1	1	1	1	1

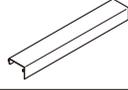
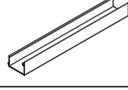
【3】 部品箱セット (オープンテラス-3000用 積雪タイプ)

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
端部柱スリーブ		2	2	2	2	2
中間柱スリーブ		1	2	3	4	5
サブ垂木化粧材端部キャップ		2	3	4	5	6
垂木カバー端部キャップ		2	3	4	5	6
垂木取付金具		4	6	8	10	12
垂木掛けカバー (サブ垂木化粧材下)		2	3	4	5	6
【3-1】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		52	78	104	132	158
【3-2】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		14	22	29	38	45
【3-3】 φ4×12トラスタッピンネジ2種 D=8 座金組込PW+樹脂パッキン		33	49	66	82	99
【3-4】 φ4×8トラスタッピンネジ3種 D=8		2	3	4	5	6
【3-5】 φ5×75ナベタッピンネジ1種		5	7	9	11	13
【3-6】 φ5×12トラスタッピンネジ3種 D=10		8	13	17	22	26

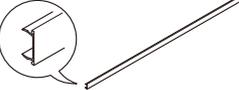
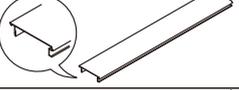
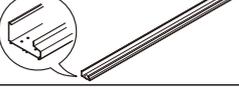
【3】 部品箱セット (積雪タイプ3000-サイドスルータイプ・ガーデンルームタイプ用)

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
端部柱スリーブ		2	2	2	2	2
中間柱スリーブ		1	2	3	4	5
サブ垂木化粧材端部キャップ		2	3	4	5	6
垂木カバー端部キャップ		2	3	4	5	6
垂木取付金具		4	6	8	10	12
垂木掛けカバー (サブ垂木化粧材下)		2	3	4	5	6
柱スリーブベース金具		3	4	5	6	7
【3-1】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		52	78	104	132	158
【3-2】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		20	30	40	50	60
【3-3】 φ4×12トラスタッピンネジ2種 D=8 (PW+ゴムパッキン付き)		33	49	66	82	99
【3-4】 φ4×8トラスタッピンネジ3種		2	3	4	5	6
【3-5】 φ5×75ナベタッピンネジ1種		5	7	9	11	13
【3-6】 φ5×12トラスタッピンネジ3種 D=10		8	13	17	22	26
【3-7】 φ5×50ナベタッピンネジ1種		6	8	10	12	14

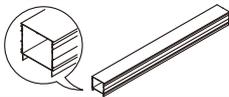
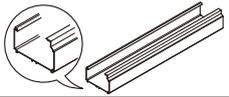
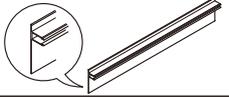
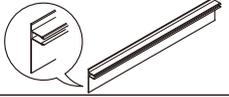
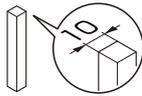
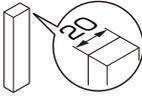
【4】 前面FIXパネル中棧セット

名 称	略 図	員 数
中棧		1
中棧カバー下		1
中棧カバー上		1
セッティングブロック (H10)		2
セッティングブロック (H20)		2
ベース受け材、中棧取付金具		2
セッティングブロック (H2)		1
中棧端部部品		左右各1
中棧コーキングシーラー		左右各1
【4-1】 φ4×10トラスタッピンネジ3種 D=8		8

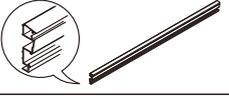
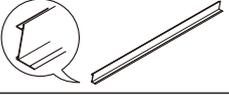
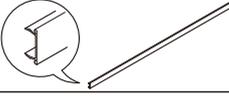
【5】 前面ベース材セット (基本-サイドスルータイプ・ガーデンルームタイプ用)

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
ベース材		1	1	1	1	1
ネジ隠しフタ		1	1	1	1	1
ベース材カバー		2	3	4	5	6
ベース受け		1	1	1	1	1

【6】側面ベース材セット（乾式腰壁-ガーデンルームタイプ用）

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
乾式腰壁 ベース材		1	1	1	1
乾式腰壁 下ベース		1	1	1	1
乾式腰壁 下ベース受け（側面）		1	1	1	1
乾式腰壁 水切り（側面）外		1	1	1	1
乾式腰壁 水切り（側面）内		1	1	1	1
スリーブ台座（側面）		2	3	3	4
セッティングブロック（H10）		6	8	8	10
セッティングブロック（H20）		6	8	8	10

【7】桁垂木掛けセット

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
桁		1	1	1	1	1
垂木掛け（上用）		1	1	1	1	1
垂木掛け（下用）		1	1	1	1	1
ネジ隠しフタ		2	3	4	5	6
グレチャン		2	3	4	5	6

【8】妻垂木セット

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
妻垂木		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
妻垂木カバー		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
中骨		-	1	1	2
雪下ろし指示シール		1	1	1	1

【9】躯体方立セット

名 称	略 図	員 数
躯体方立		1
躯体方立キャップ		1
【9-1】φ4×12トラス タッピンネジ3種 D=8		1

【10】躯体方立（延長）セット

名 称	略 図	員 数
躯体方立（延長用）		1

【12】乾式腰壁間柱セット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
乾式腰壁 間柱		2	3

【11】引戸用土間見切り材セット

名 称	略 図	員 数		
		6尺	8尺	10尺
土間見切り材 躯体側		1	1	1
土間見切り材 柱側		1	1	1
土間見切り材（引戸用）		1	1	1
土間見切り材小口キャップ（引戸用）		2	2	2
【11-1】φ4×25ナベ タッピンネジ2種 D=7		5	5	5
【11-2】φ4×16 ナベドリルネジ D=8.2		11	14	16

【13】乾式腰壁下延長用中間柱セット

名 称	略 図	員 数
中間柱（延長用）		1
中間柱スリーブ（延長用）		1
中間柱前面材（延長用）		1
【13-1】φ4×13 ナベドリルネジ D=8.2		16

【14】垂木セット

名 称	略 図	員 数							
		1本入				3本入			
		4尺	6尺	8尺	10尺	4尺	6尺	8尺	10尺
垂木		1	1	1	1	3	3	3	3
垂木カバー		1	1	1	1	3	3	3	3
中骨		-	1	1	2	-	3	3	6

【15】垂木掛けカバーセット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
垂木掛けカバー		2	3

【19】端部柱セット (オープンテラスタイプ 標準・ロング 基本 (H20・22・24) タイプ用)

名 称	略 図	員 数
端部柱		左右各1
端部柱端部カバー		左右各1
雨樋受け取付部品		2
雨樋受け部品 (下排水用)		2
雨樋受け部品 (前排水用)		2
角横エルボ		2
角樋		2

【16】端部柱外固定ベースセット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
端部柱外固定ベース		1	
【16-1】φ5×35セルフタップアンカー		6	
【16-2】φ4.5×63丸木ネジ		6	
【16-3】φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		2	

【17】端部柱固定ベースセット

名 称	略 図	員 数
端部柱内固定ベース		1
【17-1】φ5×35セルフタップアンカー		6
【17-2】φ4.5×63丸木ネジ		6
【17-3】φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		2

【18】中間柱セット (オープンテラスタイプ 標準・ロング 基本 (H20・22・24) タイプ用)

名 称	略 図	員 数	
		1本入	3本入
中間柱		1	3

【20】中間柱外固定ベースセット

名 称	略 図	員 数
中間柱外固定ベース		1
【20-1】φ5×35セルフタップアンカー		6
【20-2】φ4.5×63丸木ネジ		6
【20-3】φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		8

【21】 中間柱固定ベースセット

名 称	略 図	員 数
中間柱内固定ベース		1
【21-1】 φ5×35セルフタップアンカー		6
【21-2】 φ4.5×63丸木ネジ		6
【21-3】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		8

【23】 垂木掛けカバーセット (3000タイプ)

名 称	略 図	員 数	
		4本入	6本入
垂木掛けカバー		4	6

【24】 桁カバー枠セット

名 称	略 図	員 数
桁カバー枠		1

【25】 前面テラス縦枠セット (基本タイプ用)

名 称	略 図	員 数
柱カバー		左右各1

【26】 前面横枠 オープンテラス用

名 称	略 図	員 数
テラス用上枠		1
ネジ隠しフタ		1

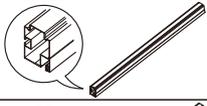
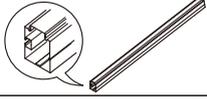
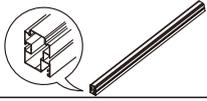
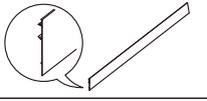
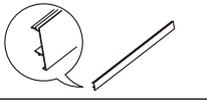
【27】 躯体見切り材セット (乾式腰壁タイプ用)

名 称	略 図	員 数
コーナー柱		2
見切り材		1

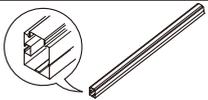
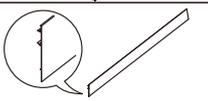
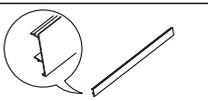
【22】 連棟柱セット (オープンテラスタイプ 標準・ロング 基本 (H20・22・24) タイプ用)

名 称	略 図	員 数
連棟柱		1
雨樋受け取付部品		1
雨樋受け部品 (下排水用)		1
雨樋受け部品 (前排水用)		1
角横エルボ		1
角樋		1
柱キャップ		1
柱-桁取付金具		2
連棟用桁キャップ		1
アンカー棒		1
【22-1】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		2
【22-2】 φ5×12トラスタッピンネジ3種		6
【22-3】 φ5×8トラスタッピンネジ3種		2

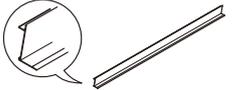
【28】 右または左入 妻垂木化粧材セット (600プラスタイプ用)

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
妻垂木化粧材		1 右または左	1 右または左	1 右または左	1 右または左
妻垂木化粧材 (テラスタイプ用)		1 左または右	1 左または右	1 左または右	1 左または右
妻垂木化粧材 (プラスタイプ用)		1 左または右	1 左または右	1 左または右	1 左または右
妻垂木フタ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
垂木フタ		4	8	8	12

【29】 右または左入 妻垂木化粧材セット (1500・3000-プラスタイプ用)

名 称	略 図	員 数		
		4尺	6尺	8尺
妻垂木化粧材		1 右または左	1 右または左	1 右または左
妻垂木化粧材 (テラスタイプ用)		1 左または右	1 左または右	1 左または右
妻垂木化粧材 (プラスタイプ用)		1 左または右	1 左または右	1 左または右
妻垂木フタ		左右各1	左右各1	左右各1
垂木フタ		8	12	16

【30】 桁垂木掛けセット (3000タイプ)

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
桁		1	1	1	1	1
垂木掛け (上用)		1	1	1	1	1
垂木掛け (下用)		1	1	1	1	1
ネジ隠しフタ		2	3	4	5	6
グレチャン		4	6	8	10	12

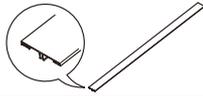
【31】 妻梁フタセット

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
ネジ隠しフタ		1	1	1	1
妻梁下フタ		1	1	1	1
【31-1】 φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		5	6	7	8

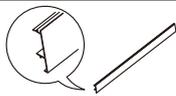
【32】 妻梁セット

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
妻梁		1	1	1	1
妻梁上部FIX方立		-	-	-	1
妻梁上部FIX枠（躯体側）		1	1	1	1
妻梁上部FIX枠（桁側）		1	1	1	1
妻梁フタ		1	1	1	1
妻梁上部FIX方立カバー		-	-	-	1
妻梁上部FIX枠押縁（躯体側）		1	1	1	1
妻梁上部FIX枠押縁（桁側）		1	1	1	1
後付けビート材		1	1	1	2
妻梁取付金具		2	2	2	2
妻梁上部FIX取付金具		-	-	-	2
セッティングブロック（H10）		4	4	4	4
【32-1】 φ5×12トラスタッピンネジ3種		8	8	8	8
【32-2】 φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		5	6	7	17

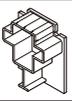
【33】 サブ垂木セット

名 称	略 図	員 数		
		4尺	6尺	8尺
垂木		1	1	1
垂木カバー		1	1	1
サブ垂木化粧材		1	1	1
中骨		1	2	3
垂木フタ		4	6	8

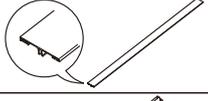
【34】 垂木化粧材セット (600タイプ)

名 称	略 図	員 数							
		1本入				3本入			
		4尺	6尺	8尺	10尺	4尺	6尺	8尺	10尺
垂木化粧材		1	1	1	1	3	3	3	3
垂木フタ		2	4	4	6	6	12	12	18
垂木化粧材キャップ		1	1	1	1	3	3	3	3

【35】垂木化粧材セット（1500タイプ・3000タイプ）

名 称	略 図	員 数					
		1本入			3本入		
		4尺	6尺	8尺	4尺	6尺	8尺
垂木化粧材		1	1	1	3	3	3
垂木フタ		4	6	8	12	18	24
垂木化粧材キャップ		1	1	1	3	3	3

【36】積雪用妻垂木セット（1500タイプ・3000タイプ）

名 称	略 図	員 数		
		4尺	6尺	8尺
妻垂木		左右各1	左右各1	左右各1
妻垂木カバー		左右各1	左右各1	左右各1
中骨		1	2	3
雪下ろし指示シール		1	1	1

【37】積雪用垂木セット（1500タイプ・3000タイプ）

名 称	略 図	員 数					
		1本入			3本入		
		4尺	6尺	8尺	4尺	6尺	8尺
垂木		1	1	1	3	3	3
垂木カバー		1	1	1	3	3	3
中骨		1	2	3	3	6	9

【38】妻垂木化粧材セット

名 称	略 図	員 数						
		600タイプ				1500・3000タイプ		
		4尺	6尺	8尺	10尺	4尺	6尺	8尺
妻垂木化粧材		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
妻垂木フタ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
垂木フタ		2	4	4	6	4	6	8

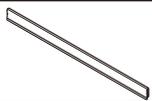
【39】前面デッキベース材セット

名 称	略 図	員 数
前面ベース材		1
ベース材固定金具		2
【39-1】φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		4

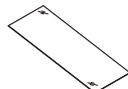
【40】側面デッキベース材セット (乾式腰壁タイプ用)

名 称	略 図	員 数
前面ベース材		1

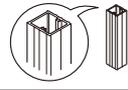
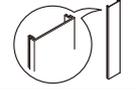
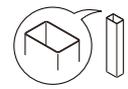
【41】土間見切り材セット

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
土間見切り材		1	1	1	1
【41-1】φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		5	7	9	12

【42】屋根材セット

名 称	略 図	員 数	
		2枚入	3枚入
屋根材		2	3

【43】乾式腰壁下延長用端部柱セット

名 称	略 図	員 数
端部柱 (延長用)		1
端部柱スリーブ (延長用)		1
端部柱前面カバー (延長用)		1
端部柱前面材 (延長用)		2
角樋 (延長用)		1
角樋ジョイナー		1
【43-1】φ4×13ナベドリルネジ D=8.2		8

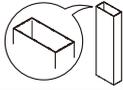
【44】側面デッキベース材セット (基本タイプ用)

名 称	略 図	員 数
側面ベース材		1

【45】屋根材セット (3000)

名 称	略 図	員 数	
		4枚入	6枚入
屋根材積雪用		4	6

【46】 ベース材束柱セット

名 称	略 図	員 数	
		1本入	3本入
ベース材束柱		1	3
束柱固定金具		2	6
【46-1】 φ4×16ナベドリルネジ D=8.2		6	18
【46-2】 φ5×35セルフタッパンカー		3	8

【48】 妻梁上部FIXパネル

名 称	略 図	員 数
妻梁上部FIXパネル		1

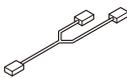
【49】 妻垂木化粧材溝カバーセット

オプション

名 称	略 図	員 数
妻垂木化粧材溝カバー		1

【51】 渡り配線セット

オプション

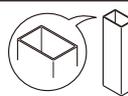
名 称	略 図	員 数
渡り配線コード		1

【53】 フック棒セット

オプション

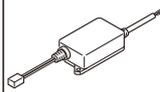
名 称	略 図	員 数
日除け開閉棒		1
フック掛け		1
内部日除け 自然浴家族 ジーマ・ココマⅡ・暖簾物語 取付説明書<E269>	—	1
ココマⅡ ロールクリーン 取付説明書<E377>	—	1
【53-1】 φ4×19サラドリルネジ		2

【47】 角樋セット

名 称	略 図	員 数
サドル		2
サドル受け		2
角エルボ		1
角樋		1

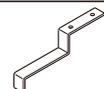
【50】 ACアダプターセット

オプション

名 称	略 図	員 数
ACアダプター		1

【52】 ACアダプター固定部品セット

オプション

名 称	略 図	員 数
ACアダプター固定部品		1
【52-1】 φ4×12トラスタッピンネジ3種 D=8		2

【54】 トランス電源ユニット35W 屋外用

オプション

名 称	略 図	員 数
トランス電源ユニット35W(屋外用)本体		1
【54-1】 φ4×50十字穴付フランジ付タッピンネジ		2(※)
【54-2】 フィッシャープラグ 呼び径30		2(※)
【54-3】 スペーサー		1(※)
【54-4】 結束バンド		2(※)
取付説明書<Z546>	—	1
取扱説明書<UZ278>	—	1

※トランス電源ユニットのカバー内に同梱しています。

5 基本寸法

1. ガーデンルームタイプ

1-1 基本仕様

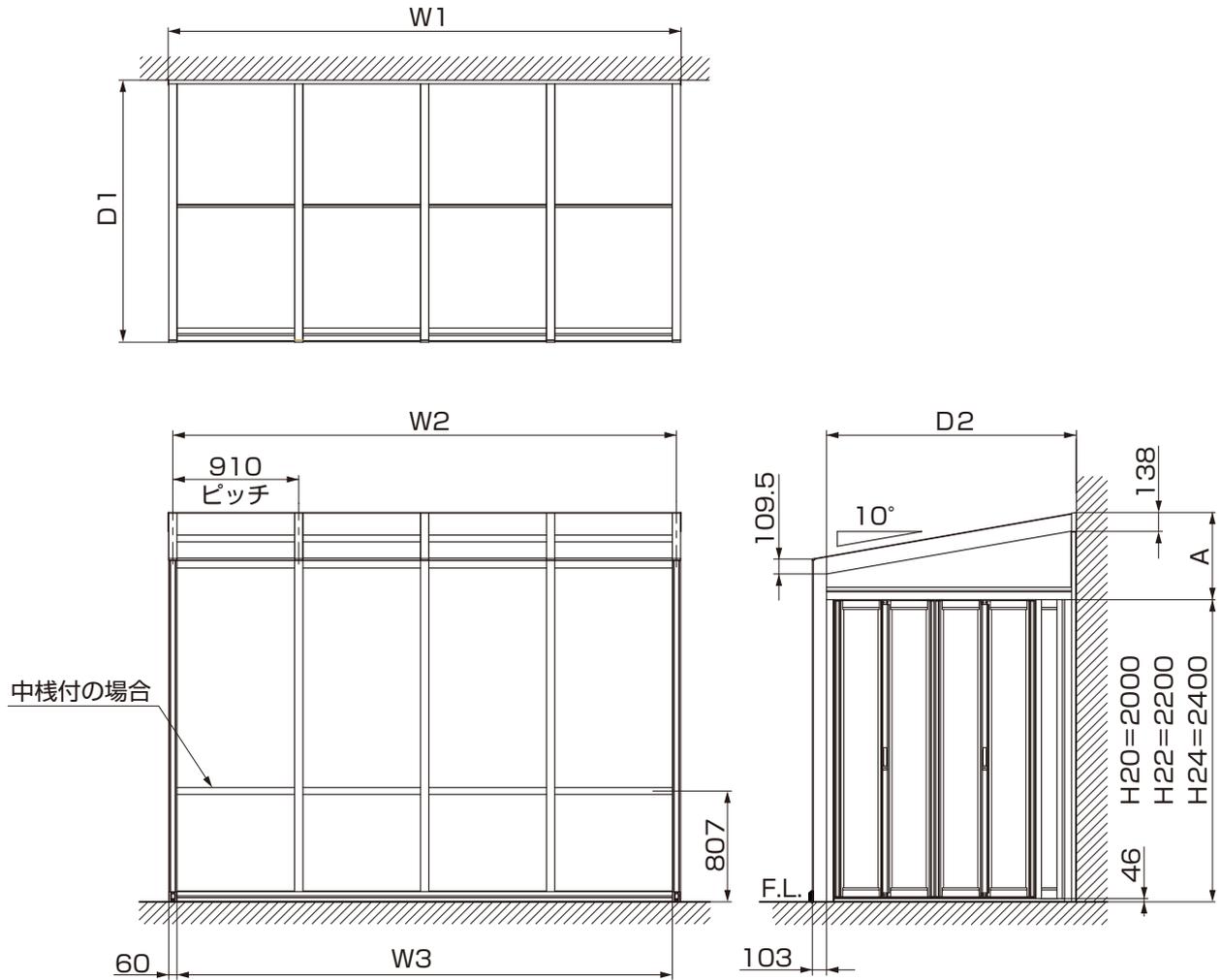


表1-1 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
1.0間	1887	1820	1760	2	
1.5間	2797	2730	2670	3	
2.0間	3707	3640	3580	4	
2.5間	4617	4550	4490	5	
3.0間	5527	5460	5400	6	

表1-2 出幅寸法

出幅	D1 躯体~柱外寸	D2 躯体~柱内寸	A
4尺	1308	1205	529
6尺	1908	1805	635
8尺	2508	2405	741
10尺	3108	3005	846

1-2 基本仕様（連棟）

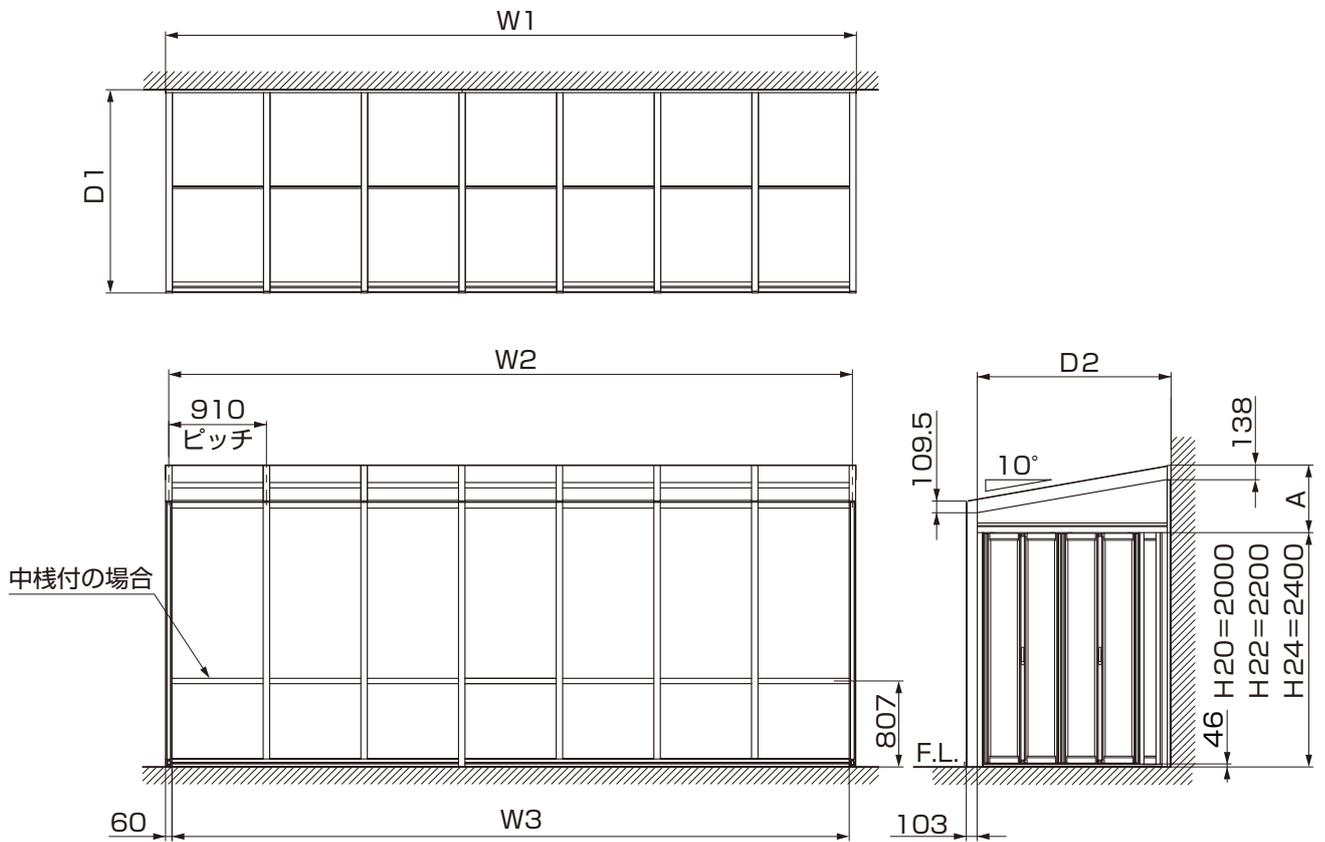


表1-3 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
3.5間	6437	6370	6310	7	
4.0間	7347	7280	7220	8	
4.5間	8257	8190	8130	9	
5.0間	9167	9100	9040	10	
5.5間	10077	10010	9950	11	
6.0間	10987	10920	10860	12	

表1-4 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	A
4尺	1308	1205	529
6尺	1908	1805	635
8尺	2508	2405	741
10尺	3108	3005	846

1. (つづき)

1-3 乾式腰壁仕様

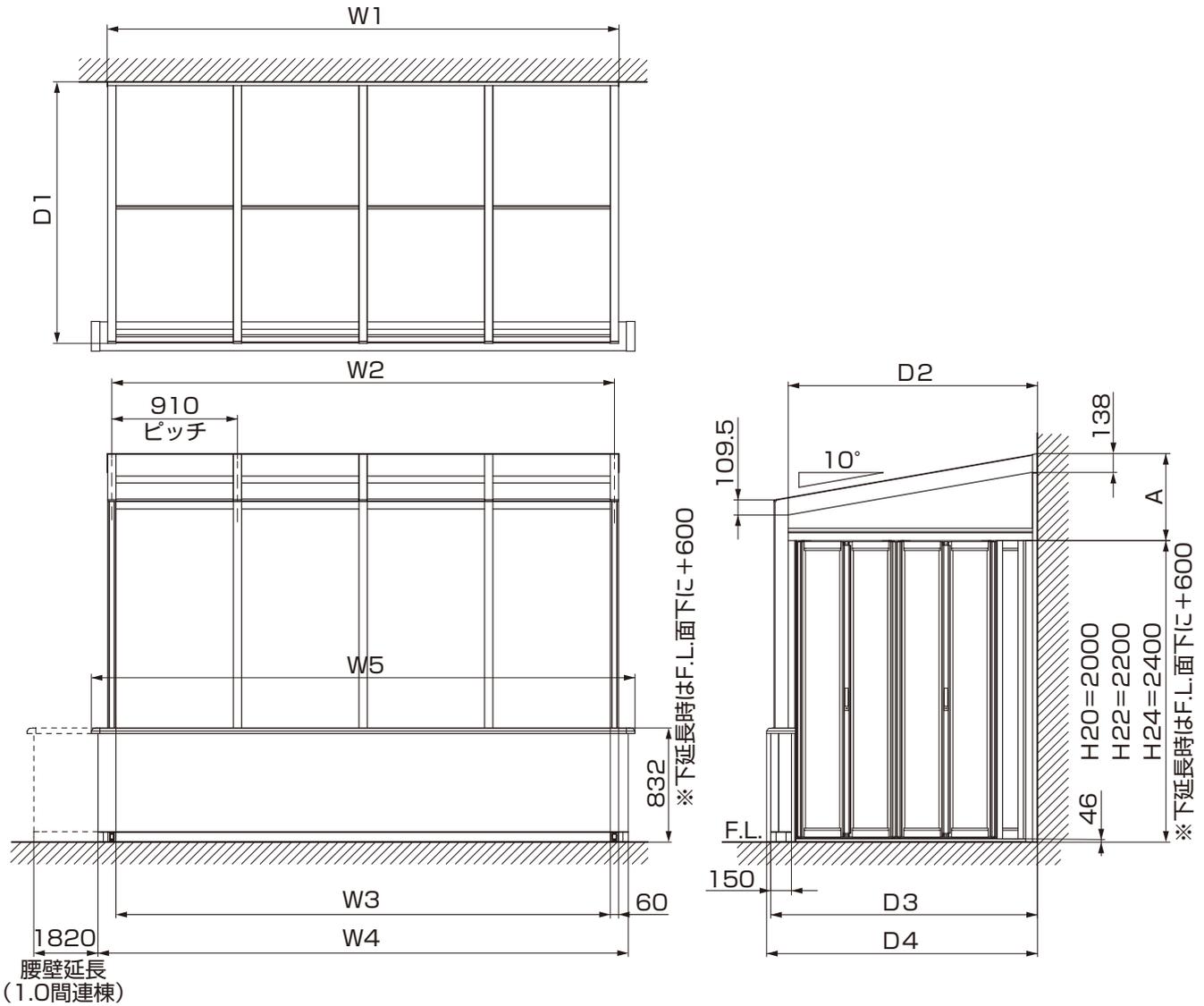


表1-5 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	W5 笠木外寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
1.0間	1887	1820	1760	2020	2087	2	
1.5間	2797	2730	2670	2930	2997	3	
2.0間	3707	3640	3580	3840	3907	4	
2.5間	4617	4550	4490	4750	4817	5	
3.0間	5527	5460	5400	5660	5727	6	

表1-6 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	D4 躯体～笠木外寸	A
4尺	1308	1205	1332	1362	529
6尺	1908	1805	1932	1962	635
8尺	2508	2405	2532	2562	741
10尺	3108	3005	3132	3162	846

1-4 乾式腰壁仕様（連棟）

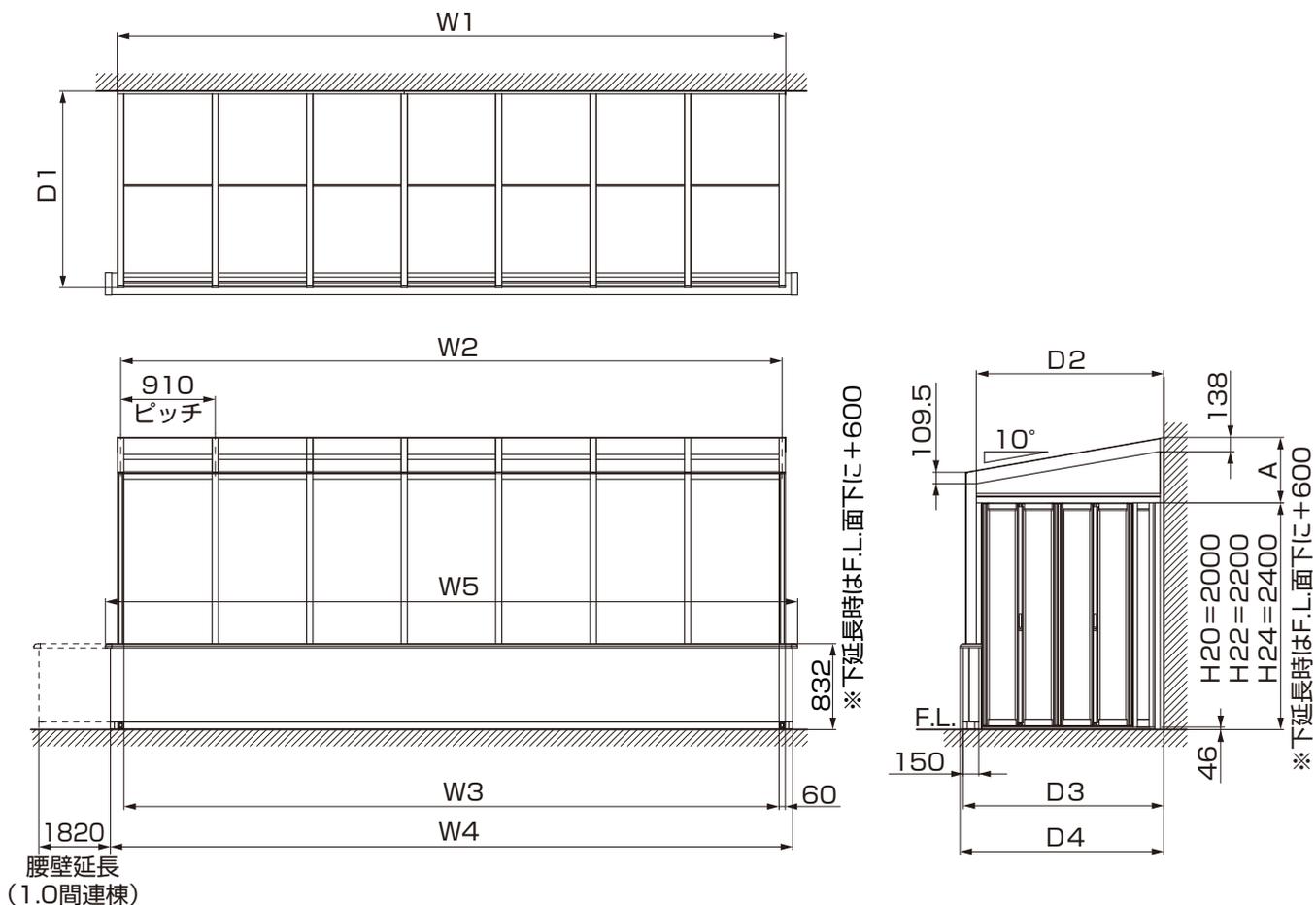


表1-7 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	W5 笠木外寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
3.5間	6437	6370	6310	6570	6637	7	
4.0間	7347	7280	7220	7480	7547	8	
4.5間	8257	8190	8130	8390	8457	9	
5.0間	9167	9100	9040	9300	9367	10	
5.5間	10077	10010	9950	10210	10277	11	
6.0間	10987	10920	10860	11120	11187	12	

表1-8 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	D4 躯体～笠木外寸	A
4尺	1308	1205	1332	1362	529
6尺	1908	1805	1932	1962	635
8尺	2508	2405	2532	2562	741
10尺	3108	3005	3132	3162	846

2. サイドスルータイプ

2-1 基本仕様

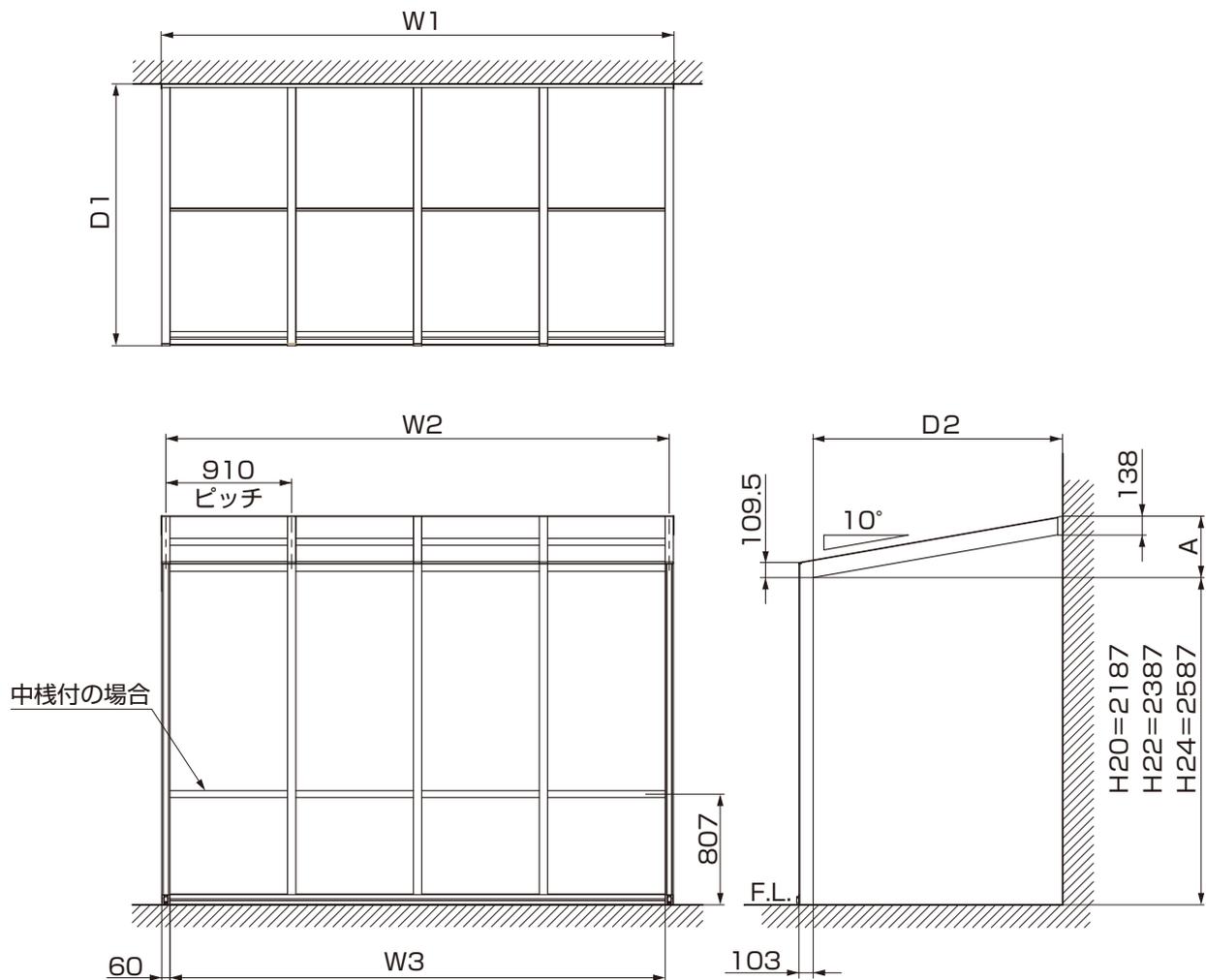


表2-1 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
1.0間	1887	1820	1760	2	
1.5間	2797	2730	2670	3	
2.0間	3707	3640	3580	4	
2.5間	4617	4550	4490	5	
3.0間	5527	5460	5400	6	

表2-2 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	A
4尺	1308	1205	342
6尺	1908	1805	448
8尺	2508	2405	554
10尺	3108	3005	659

2-2 基本仕様（連棟）

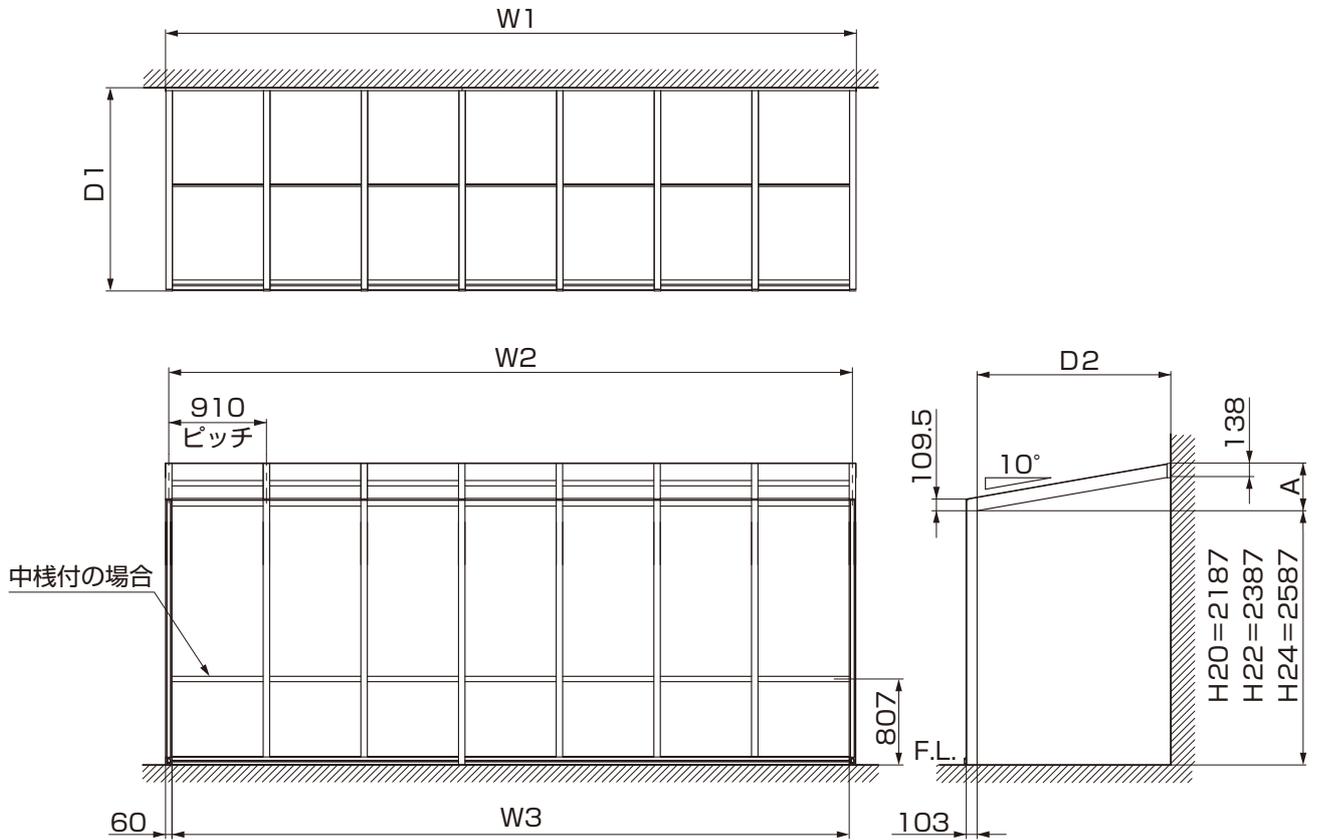


表2-3 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
3.5間	6437	6370	6310	7	
4.0間	7347	7280	7220	8	
4.5間	8257	8190	8130	9	
5.0間	9167	9100	9040	10	
5.5間	10077	10010	9950	11	
6.0間	10987	10920	10860	12	

表2-4 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	A
4尺	1308	1205	342
6尺	1908	1805	448
8尺	2508	2405	554
10尺	3108	3005	659

2. (つづき)

2-3 乾式腰壁仕様

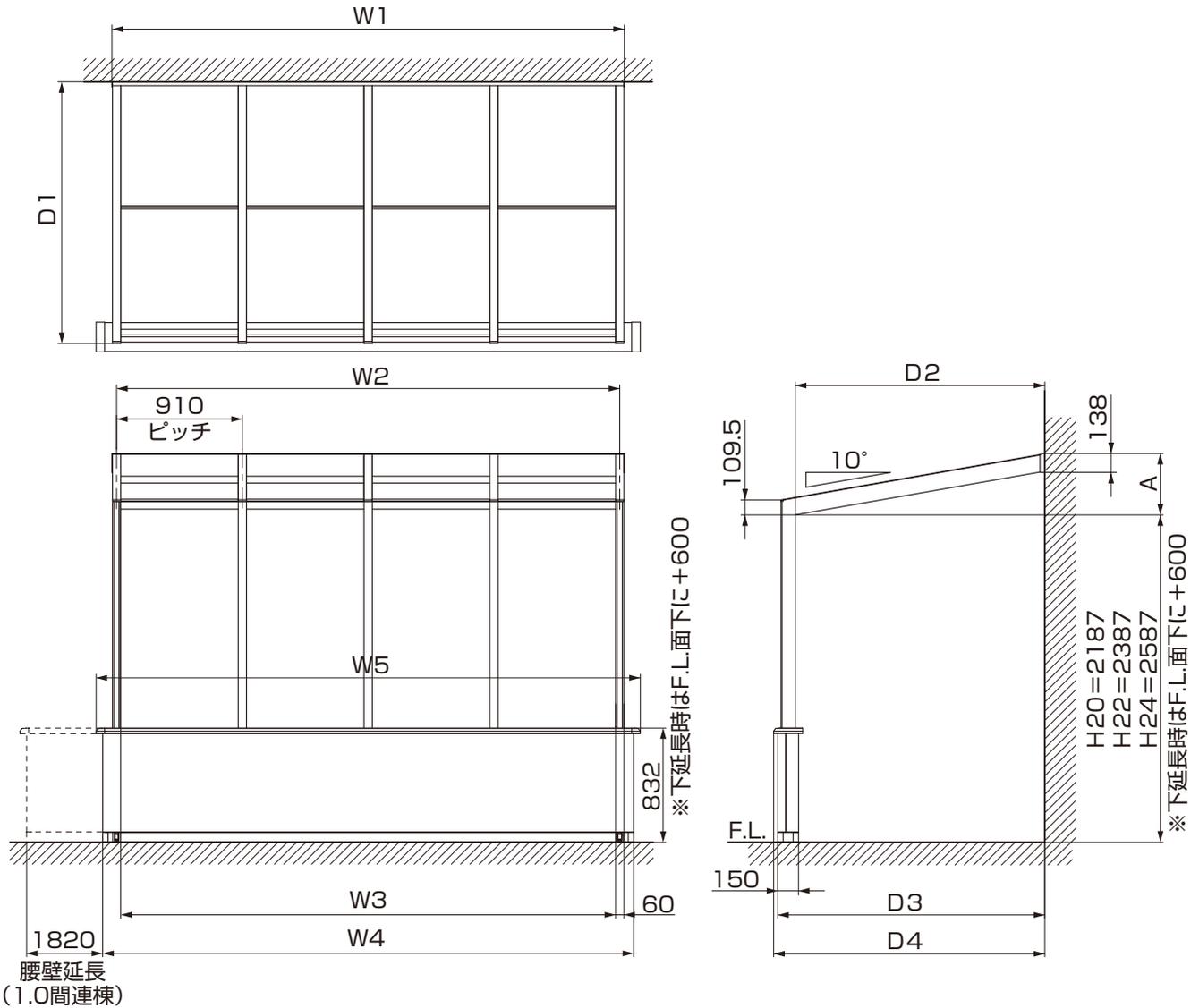


表2-5 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	W5 笠木外寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
1.0間	1887	1820	1760	2020	2087	2	
1.5間	2797	2730	2670	2930	2997	3	
2.0間	3707	3640	3580	3840	3907	4	
2.5間	4617	4550	4490	4750	4817	5	
3.0間	5527	5460	5400	5660	5727	6	

表2-6 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	D4 躯体～笠木外寸	A
4尺	1308	1205	1332	1362	342
6尺	1908	1805	1932	1962	448
8尺	2508	2405	2532	2562	554
10尺	3108	3005	3132	3162	659

2-4 乾式腰壁（連棟）

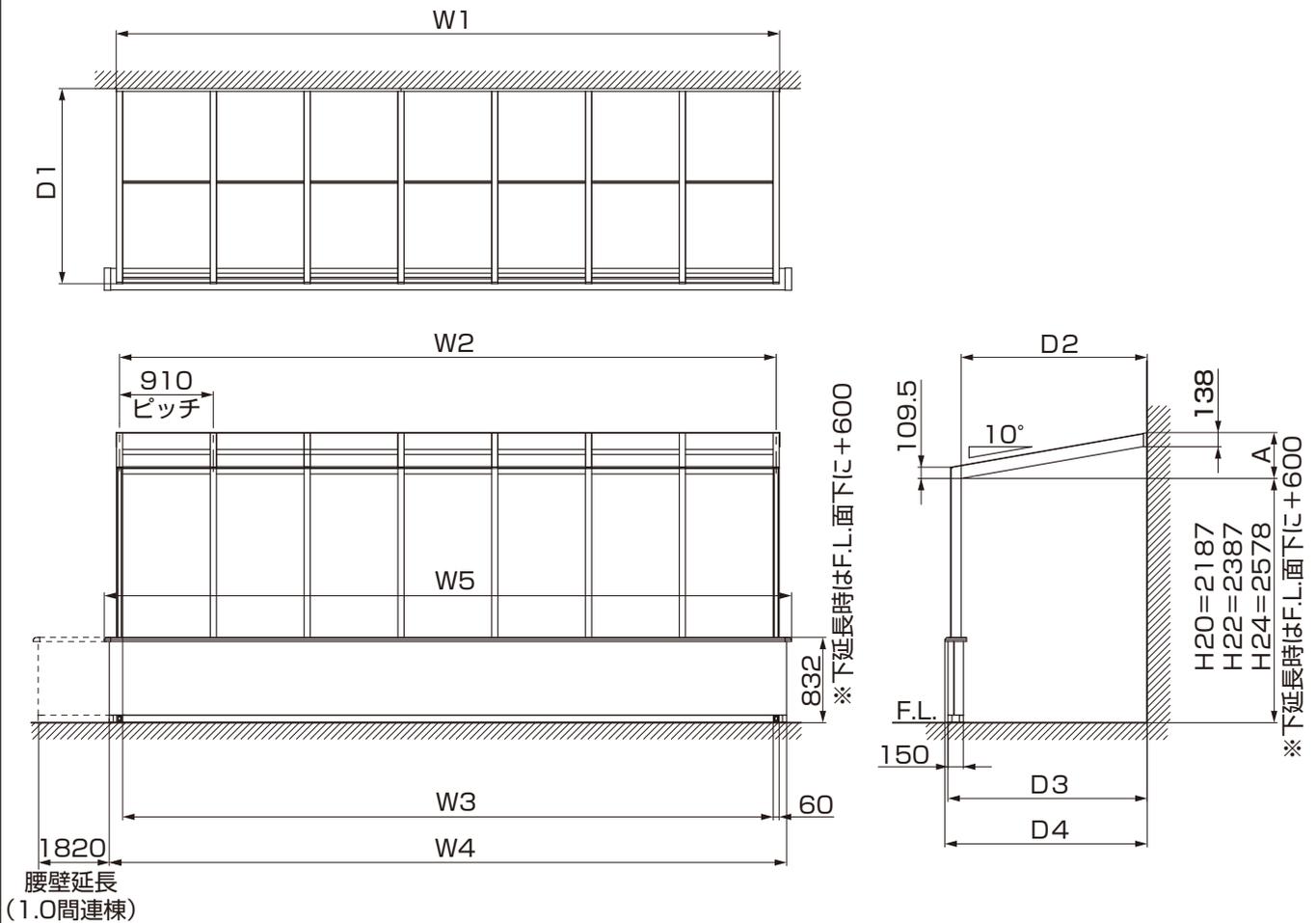


表2-7 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	W5 笠木外寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
3.5間	6437	6370	6310	6570	6637	7	
4.0間	7347	7280	7220	7480	7547	8	
4.5間	8257	8190	8130	8390	8457	9	
5.0間	9167	9100	9040	9300	9367	10	
5.5間	10077	10010	9950	10210	10277	11	
6.0間	10987	10920	10860	11120	11187	12	

表2-8 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	D4 躯体～笠木外寸	A
4R	1308	1205	1332	1362	342
6R	1908	1805	1932	1962	448
8R	2508	2405	2532	2562	554
10R	3108	3005	3132	3162	659

3.オープンテラスタイプ

3-1 基本仕様

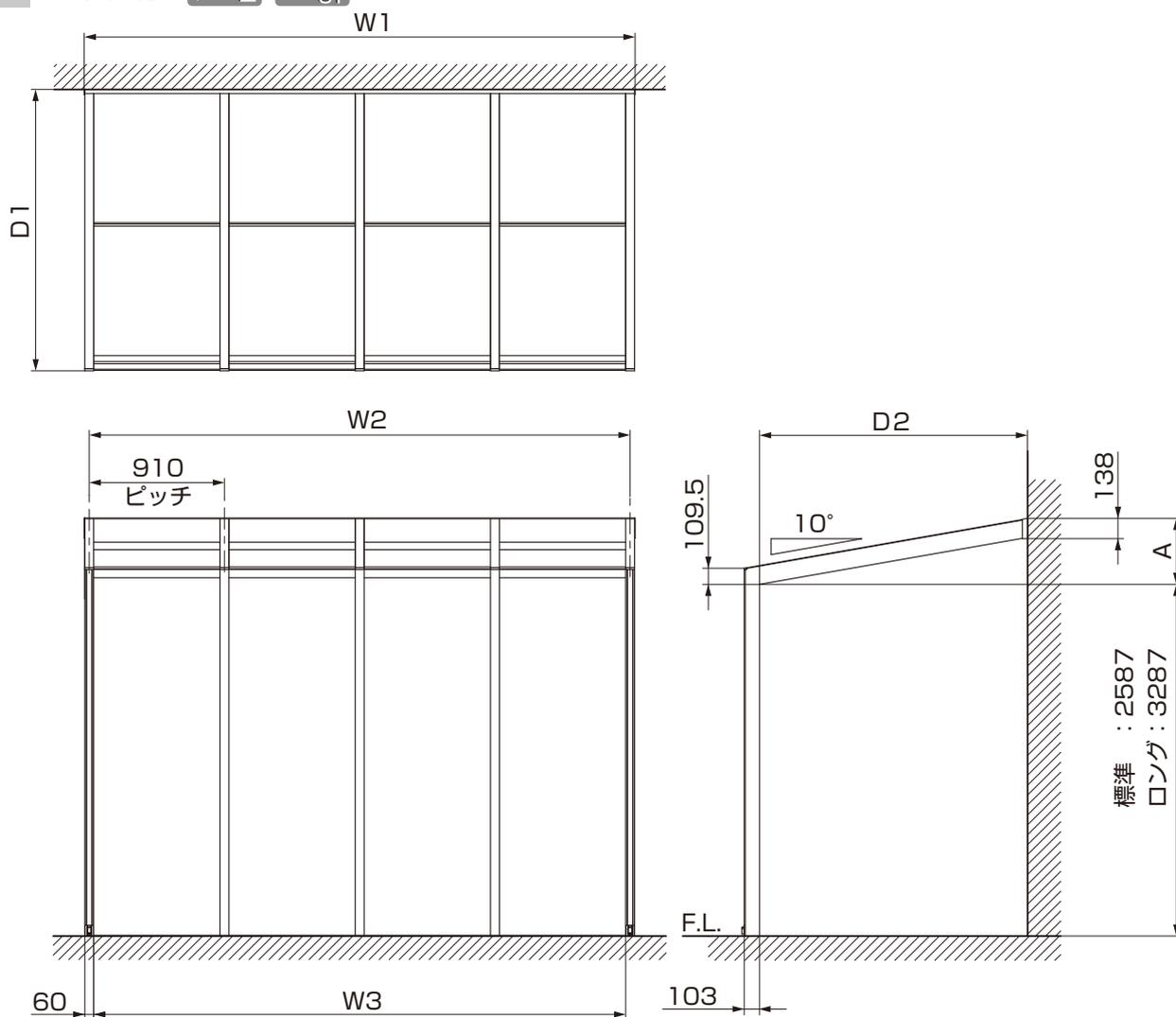


表3-1 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	屋根材 枚数
1.0間	1887	1820	1760	2
1.5間	2797	2730	2670	3
2.0間	3707	3640	3580	4
2.5間	4617	4550	4490	5
3.0間	5527	5460	5400	6

表3-2 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	A
4尺	1308	1205	342
6尺	1908	1805	448
8尺	2508	2405	554
10尺	3108	3005	659

3-2 基本仕様（連棟）

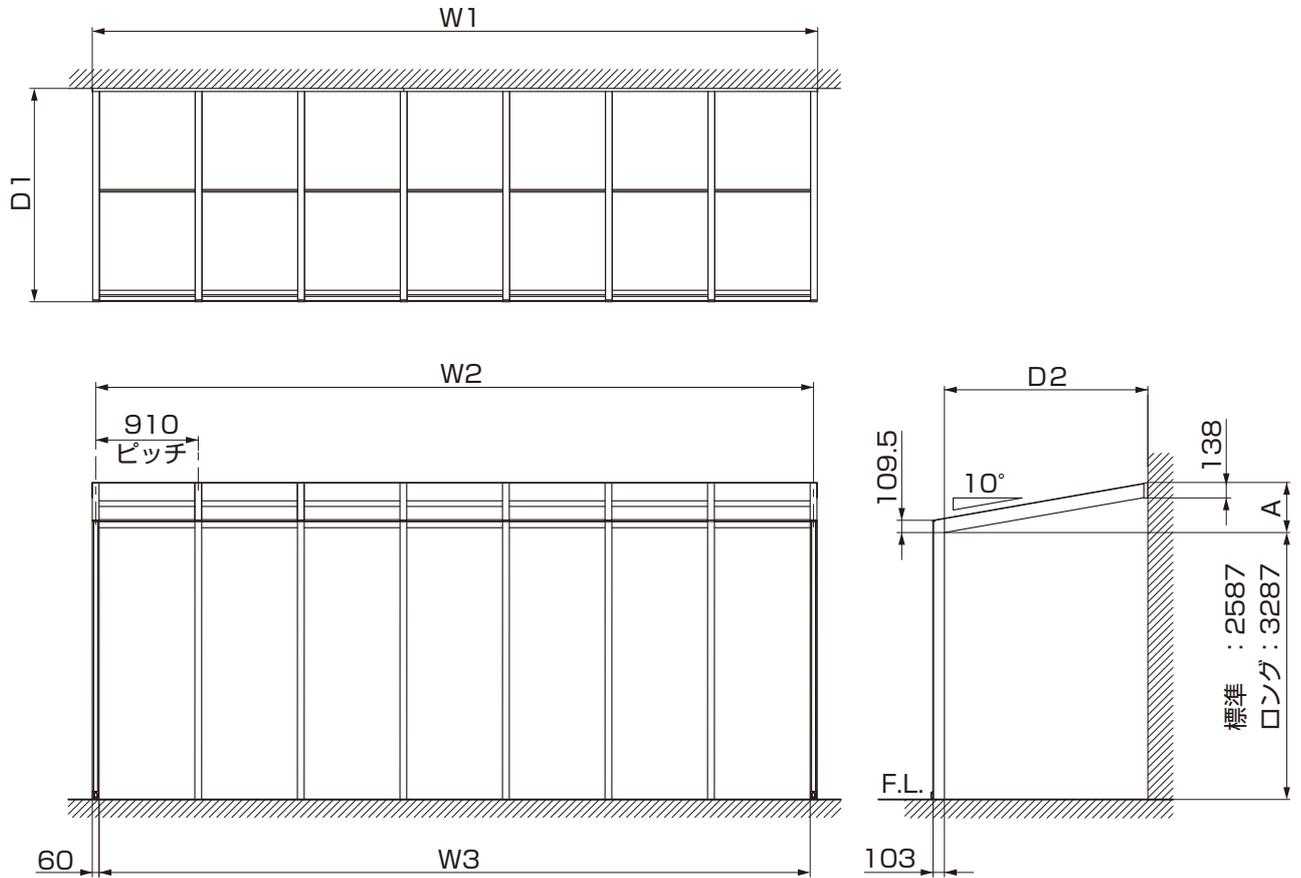


表3-3 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	屋根材 枚数
3.5間	6437	6370	6310	7
4.0間	7347	7280	7220	8
4.5間	8257	8190	8130	9
5.0間	9167	9100	9040	10
5.5間	10077	10010	9950	11
6.0間	10987	10920	10860	12

表3-4 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	A
4尺	1308	1205	342
6尺	1908	1805	448
8尺	2508	2405	554
10尺	3108	3005	659

3. (つづき)

3-3 乾式腰壁仕様

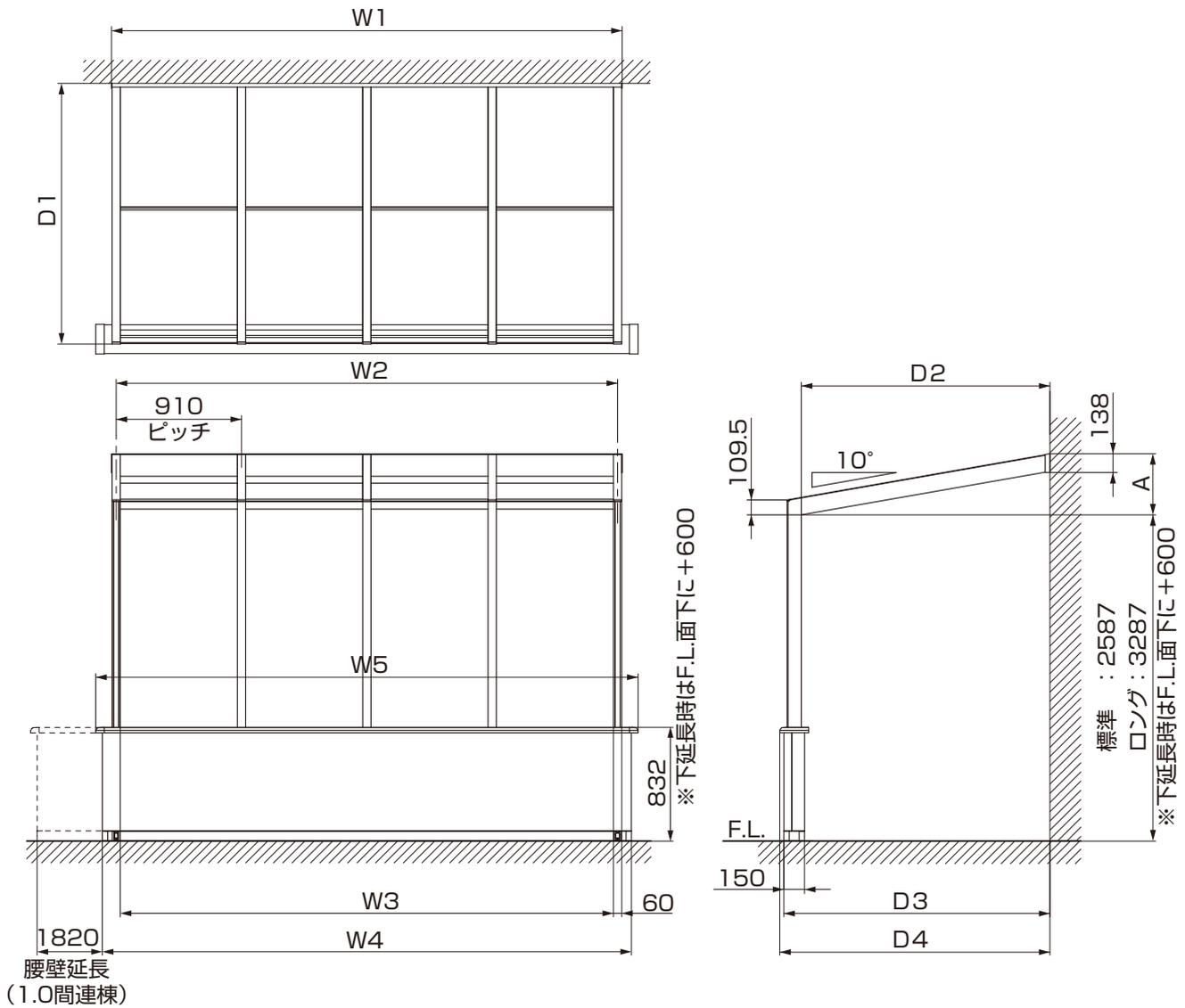


表3-5 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	W5 笠木外寸	屋根材 枚数
1.0間	1887	1820	1760	2020	2087	2
1.5間	2797	2730	2670	2930	2997	3
2.0間	3707	3640	3580	3840	3907	4
2.5間	4617	4550	4490	4750	4817	5
3.0間	5527	5460	5400	5660	5727	6

表3-6 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	D4 躯体～笠木外寸	A
4尺	1308	1205	1332	1362	342
6尺	1908	1805	1932	1962	448
8尺	2508	2405	2532	2562	554
10尺	3108	3005	3132	3162	659

3-4 乾式腰壁仕様（連棟）

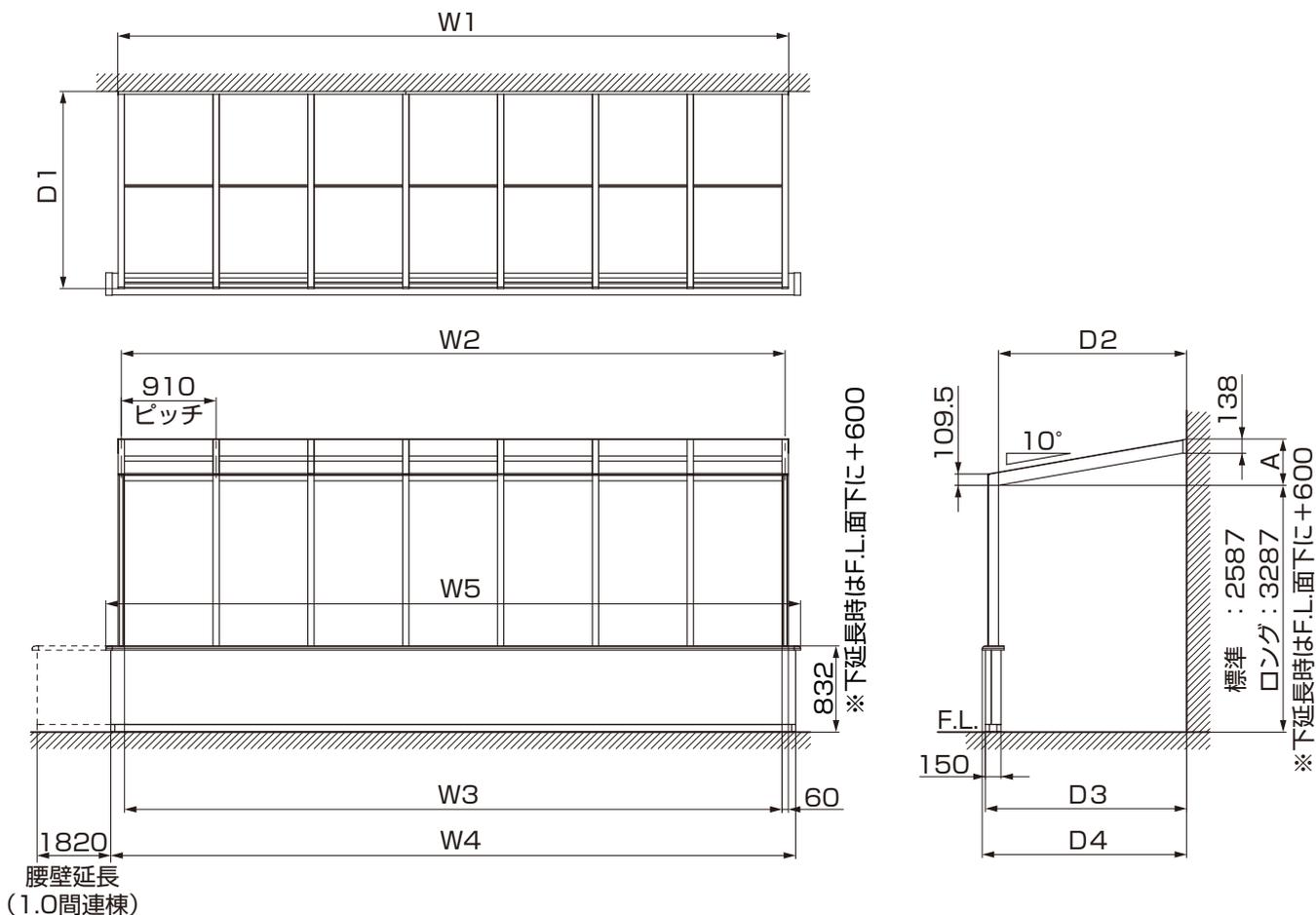


表3-7 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	W5 笠木外寸	屋根材 枚数
3.5間	6437	6370	6310	6570	6637	7
4.0間	7347	7280	7220	7480	7547	8
4.5間	8257	8190	8130	8390	8457	9
5.0間	9167	9100	9040	9300	9367	10
5.5間	10077	10010	9950	10210	10277	11
6.0間	10987	10920	10860	11120	11187	12

表3-8 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	D4 躯体～笠木外寸	A
4尺	1308	1205	1332	1362	342
6尺	1908	1805	1932	1962	448
8尺	2508	2405	2532	2562	554
10尺	3108	3005	3132	3162	659

4. L字腰壁タイプ

4-1 乾式腰壁仕様

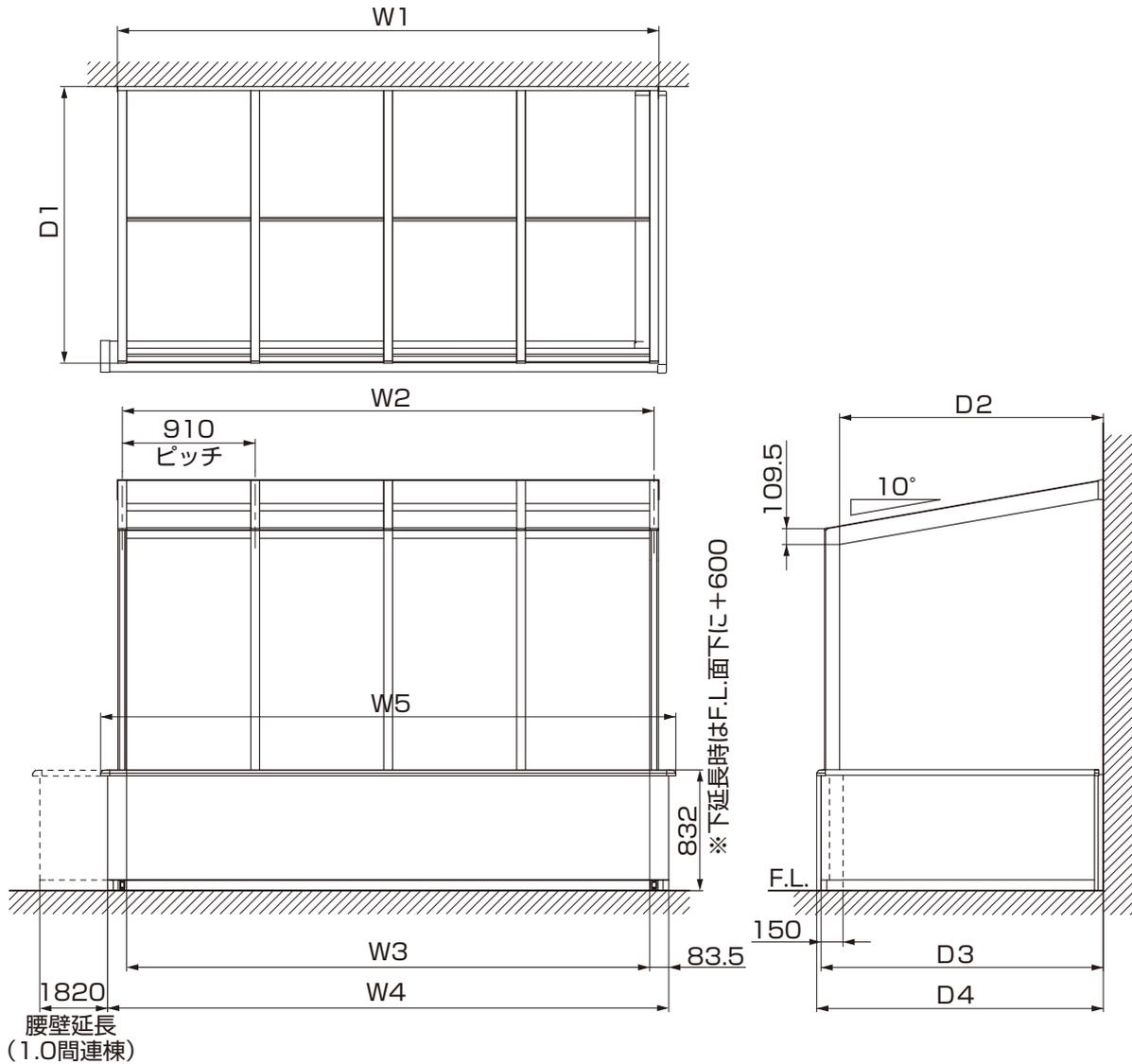


表4-1 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	W5 笠木外寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
1.0間	1887	1820	1760	1973.5	2037.5	2	
1.5間	2797	2730	2670	2883.5	2947.5	3	
2.0間	3707	3640	3580	3793.5	3857.5	4	
2.5間	4617	4550	4490	4703.5	4767.5	5	
3.0間	5527	5460	5400	5613.5	5677.5	6	

表4-2 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	D4 躯体～笠木外寸
4尺	1308	1205	1332	1362
6尺	1908	1805	1932	1962
8尺	2508	2405	2532	2562
10尺	3108	3005	3132	3162

4-2 乾式腰壁仕様（連棟）

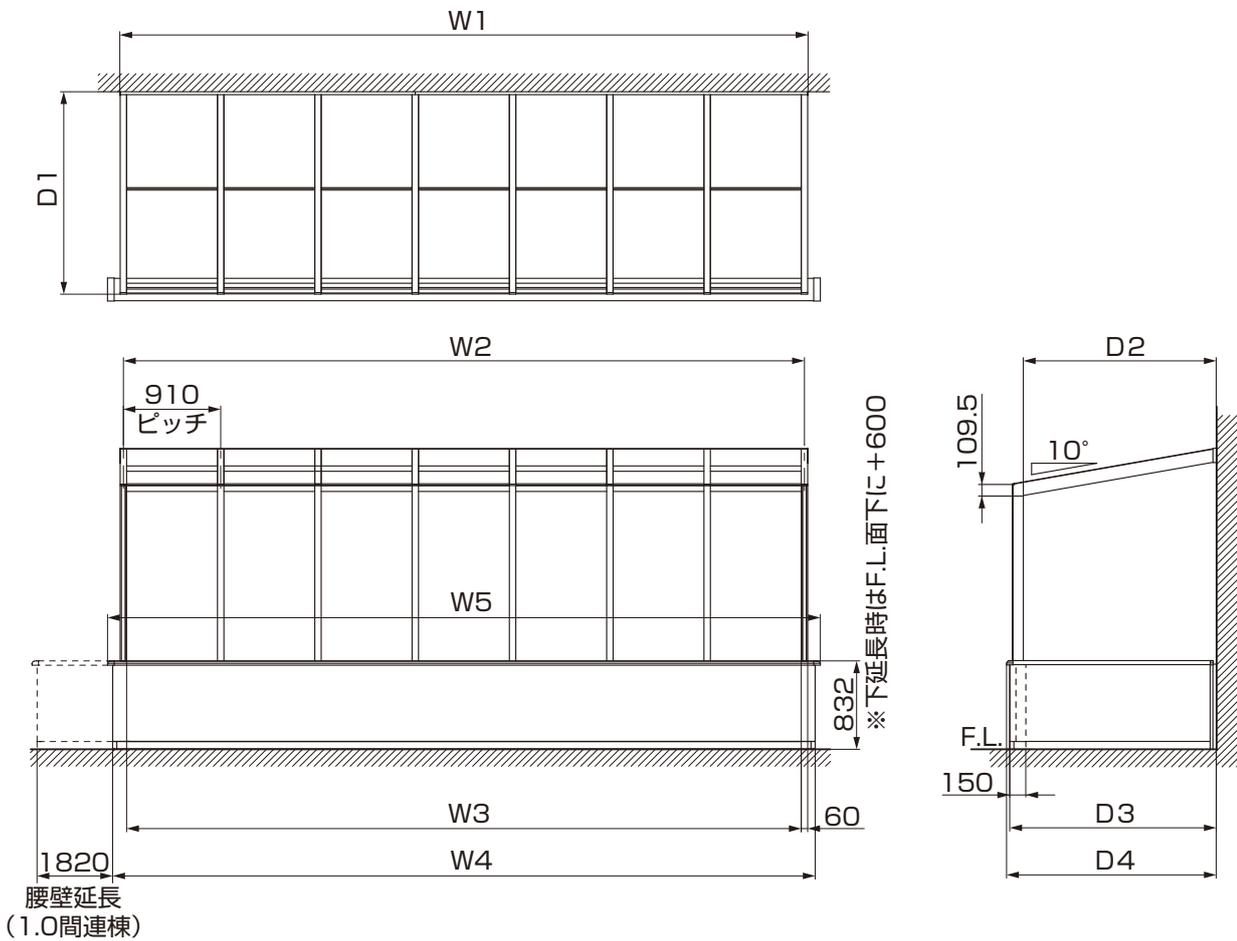


表4-3 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (仕上げ含まず)	W5 笠木外寸	屋根材 枚数
3.5間	6437	6370	6310	6523.5	6587.5	7
4.0間	7347	7280	7220	7433.5	7497.5	8
4.5間	8257	8190	8130	8343.5	8407.5	9
5.0間	9167	9100	9040	9253.5	9317.5	10
5.5間	10077	10010	9950	10163.5	10227.5	11
6.0間	10987	10920	10860	11073.5	11137.5	12

表4-4 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (仕上げ含まず)	D4 躯体～笠木外寸
4尺	1308	1205	1332	1362
6尺	1908	1805	1932	1962
8尺	2508	2405	2532	2562
10尺	3108	3005	3132	3162

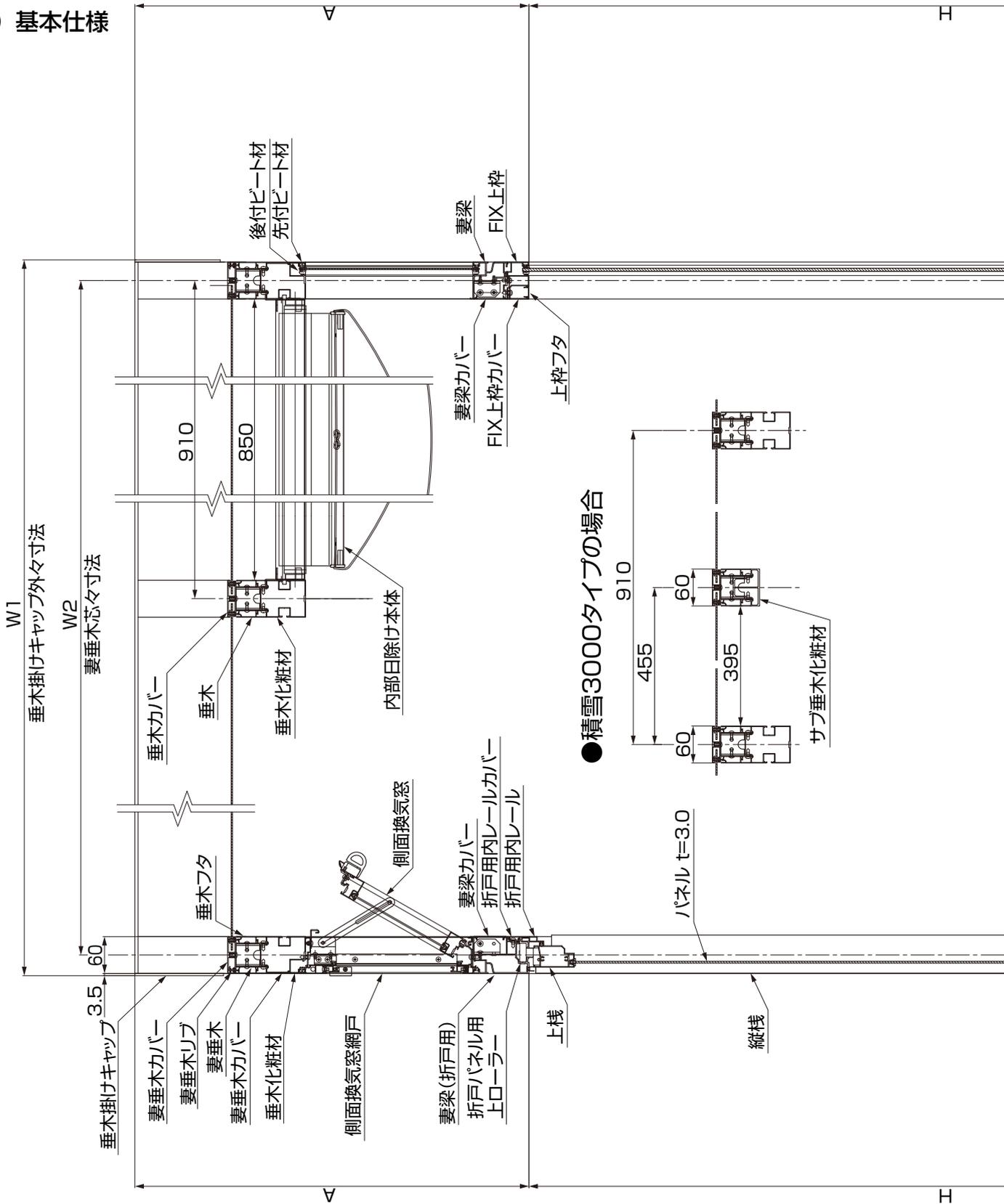
6 断面納まり図

1. ガーデンルームタイプ

1-1 間口断面納まり図

(1) 基本仕様

●デッキ仕様の場合



●土間仕様の場合

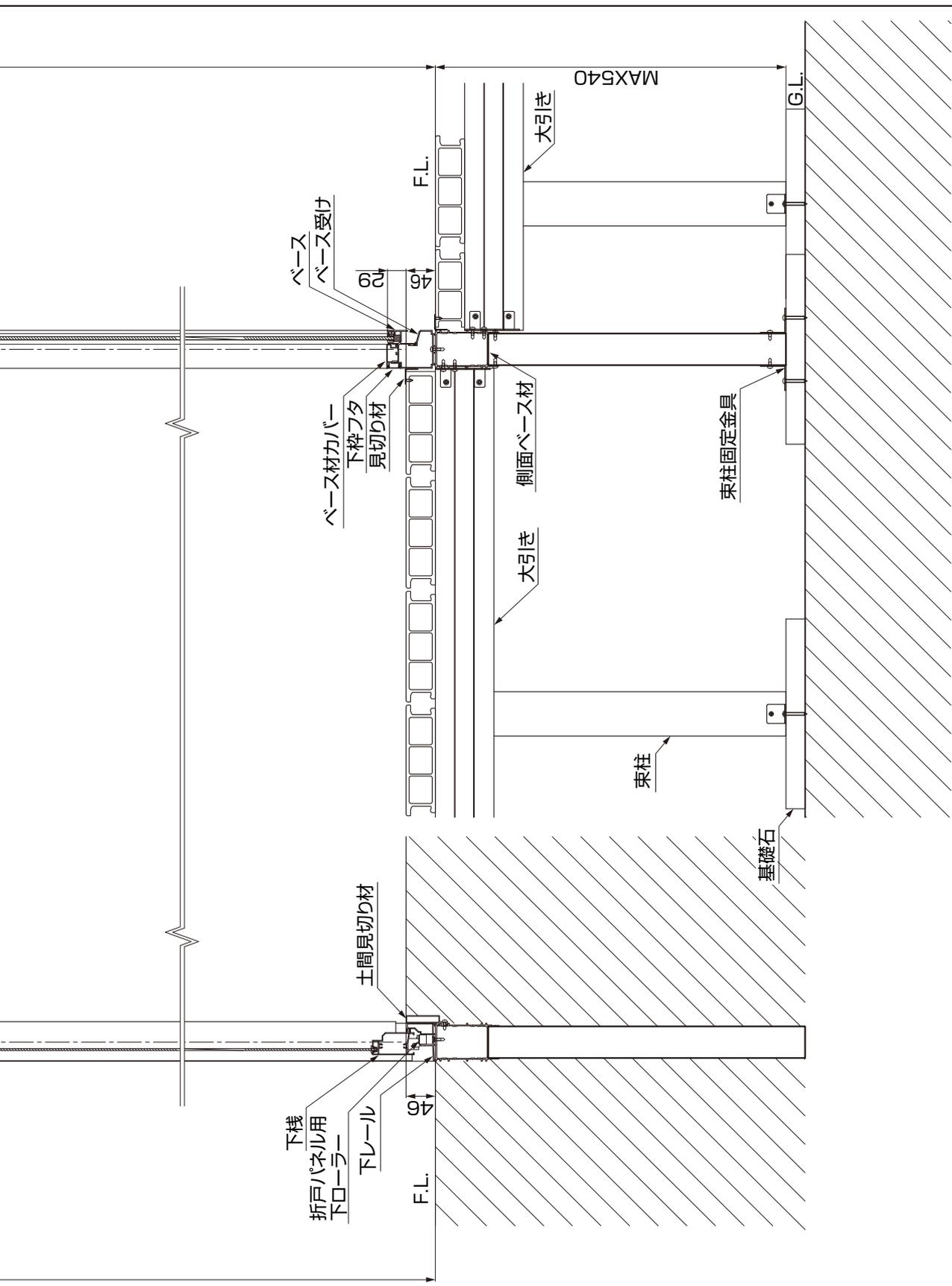


表1-1

高さ呼称	H
H20	2000
H22	2200
H24	2400

表1-2

間口寸法	間口				
	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W1	1887	2797	3707	4617	5527
W2	1820	2730	3640	4550	5460

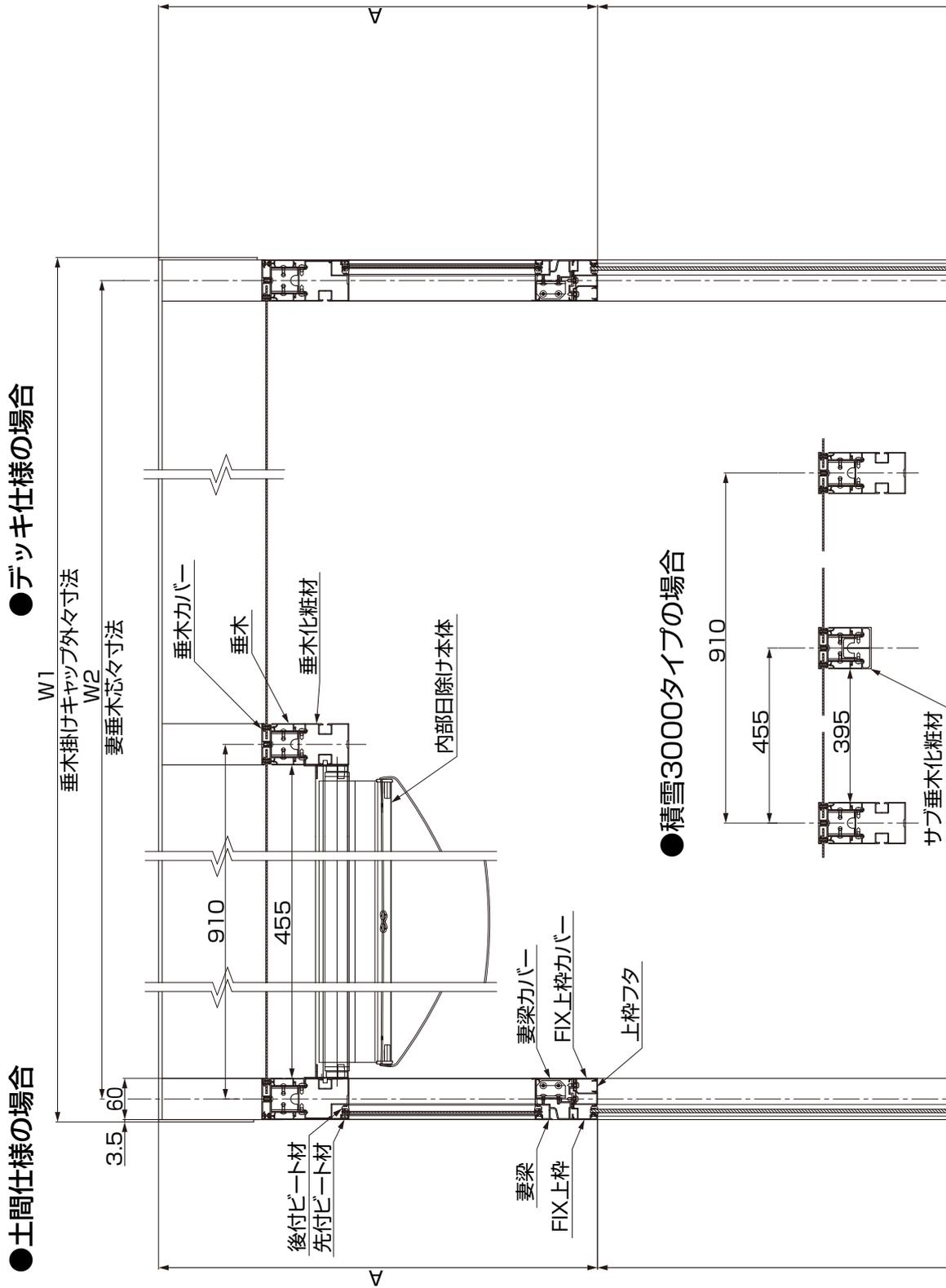
表1-3

高さ寸法	出幅				
	4R	6R	8R	10R	
A	529	635	741	846	

1. (つづき)

1-1 つづき

(2) 乾式腰壁仕様

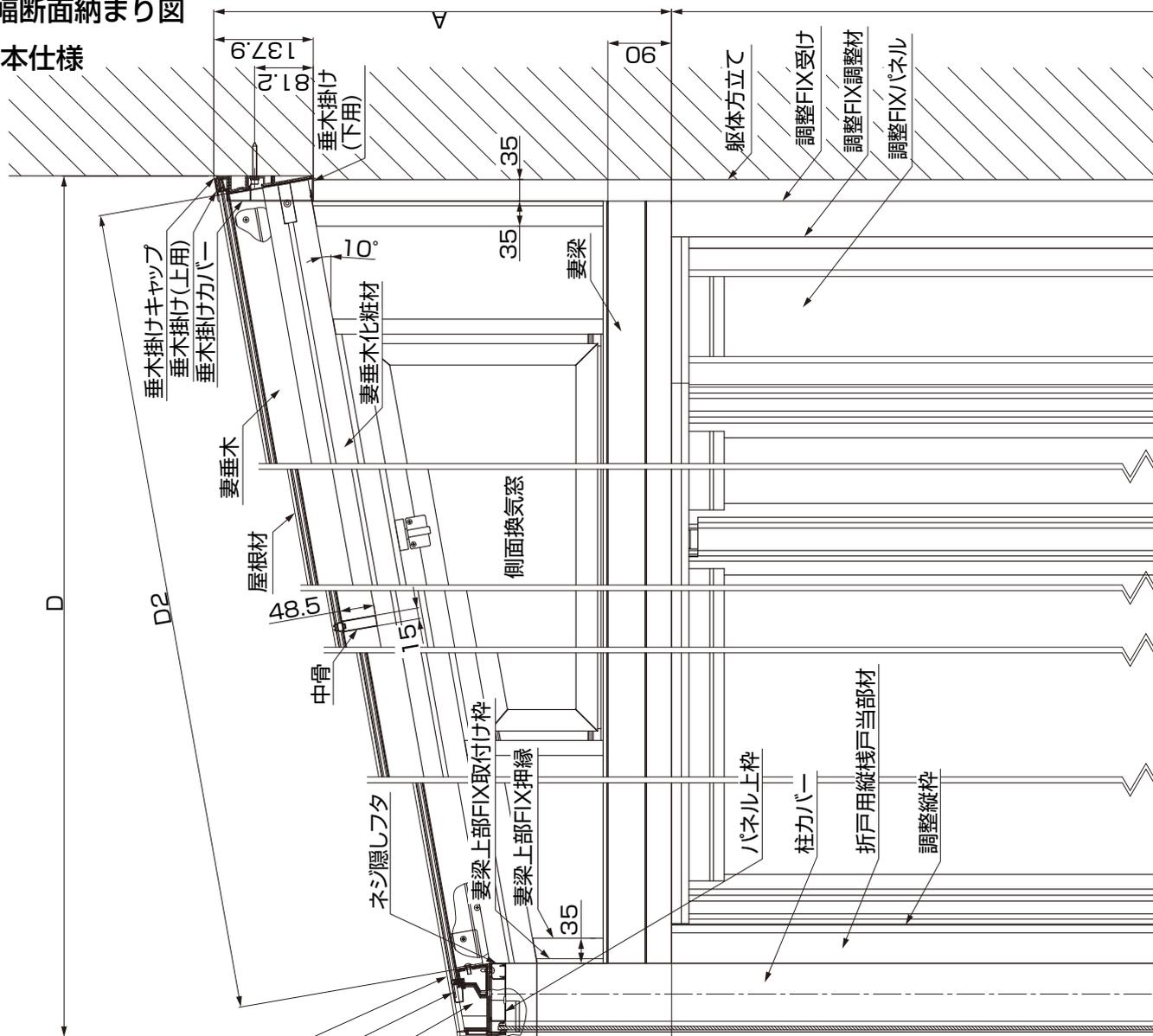


1. (つづき)

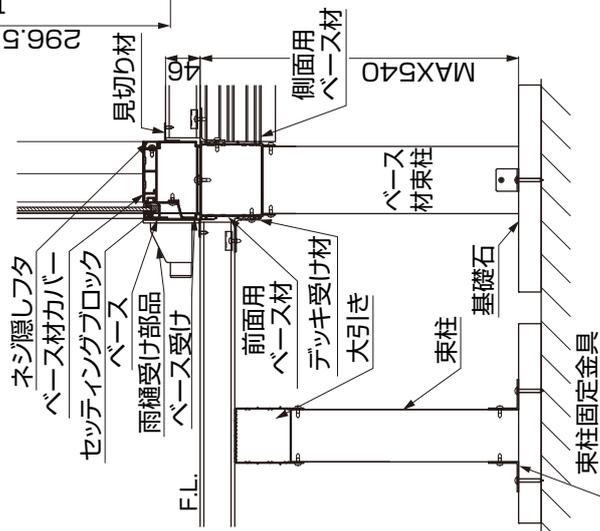
1-2 出幅断面納まり図

(1) 基本仕様

●土間仕様の場合



●デッキ仕様の場合



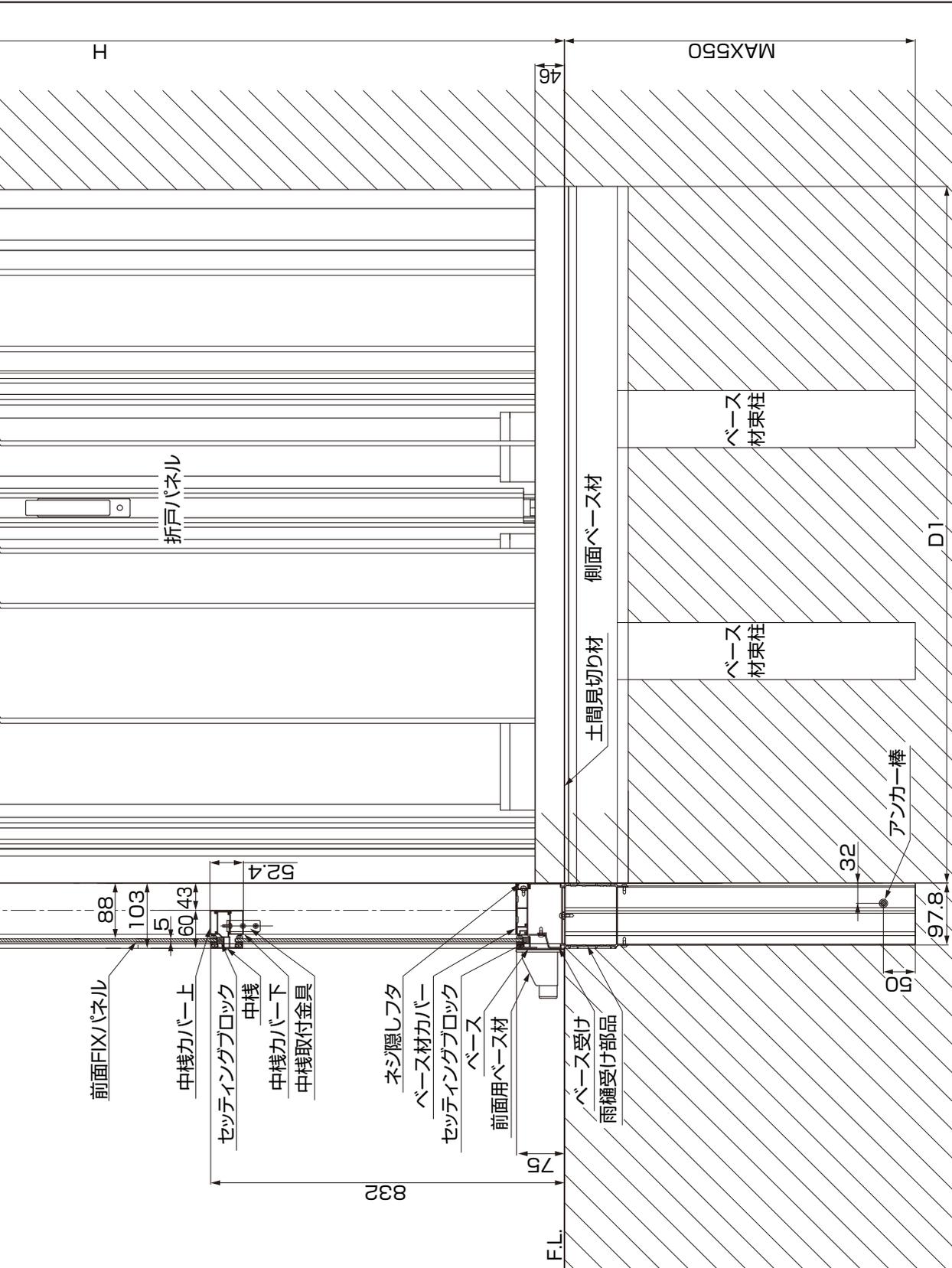


表1-7

高さ呼称	H
H20	2000
H22	2200
H24	2400

表1-8

出幅寸法	間口				
	4R	6R	8R	10R	
D	1308	1908	2508	3108	
D1	1205	1805	2405	3005	
D2	1207.5	1816.5	2426	3035	

表1-9

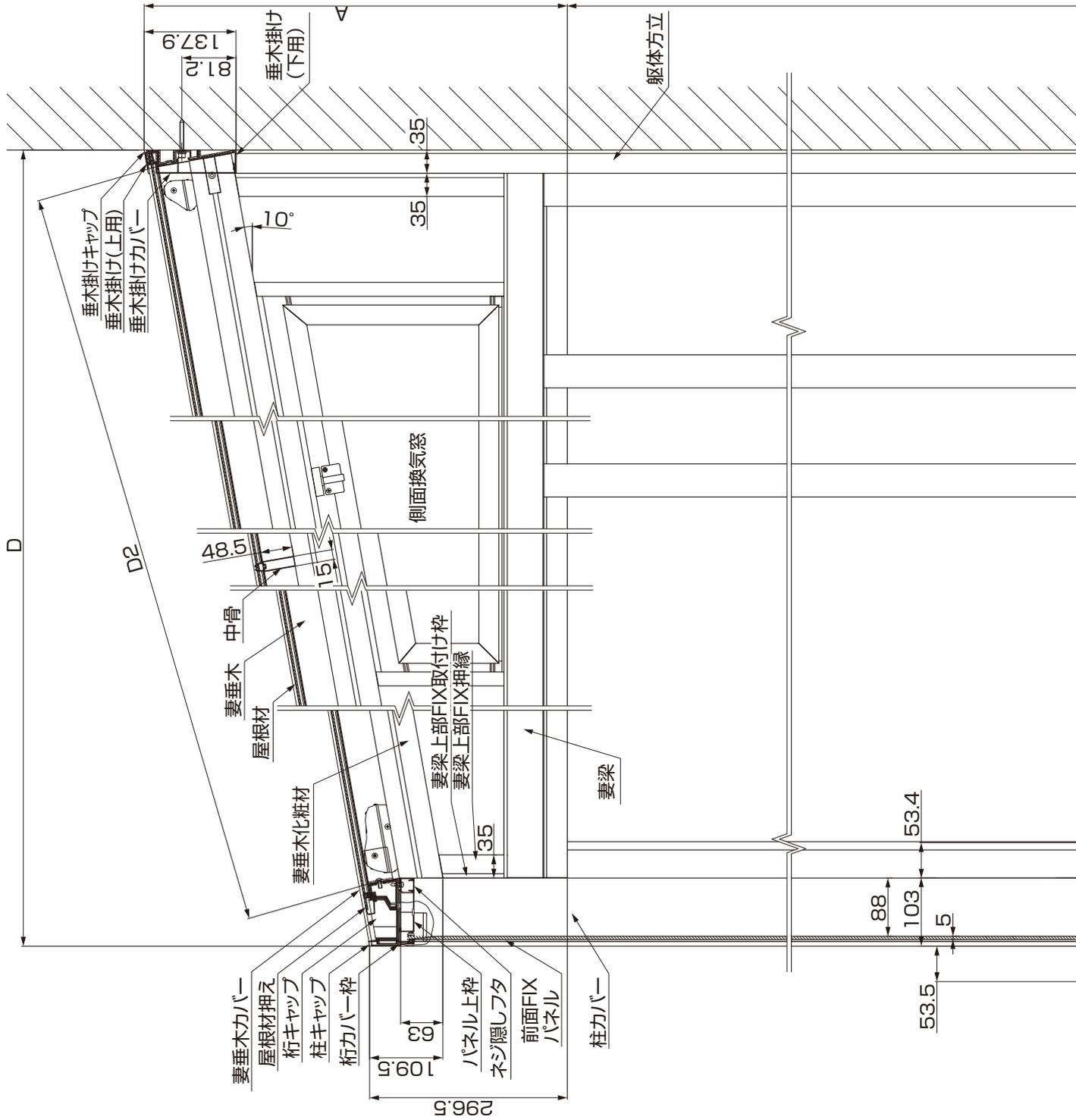
高さ寸法	出幅				
	4R	6R	8R	10R	
A	529	635	741	846	

1. (つづき)

1-2 つづき

(2) 乾式腰壁仕様

●土間仕様の場合



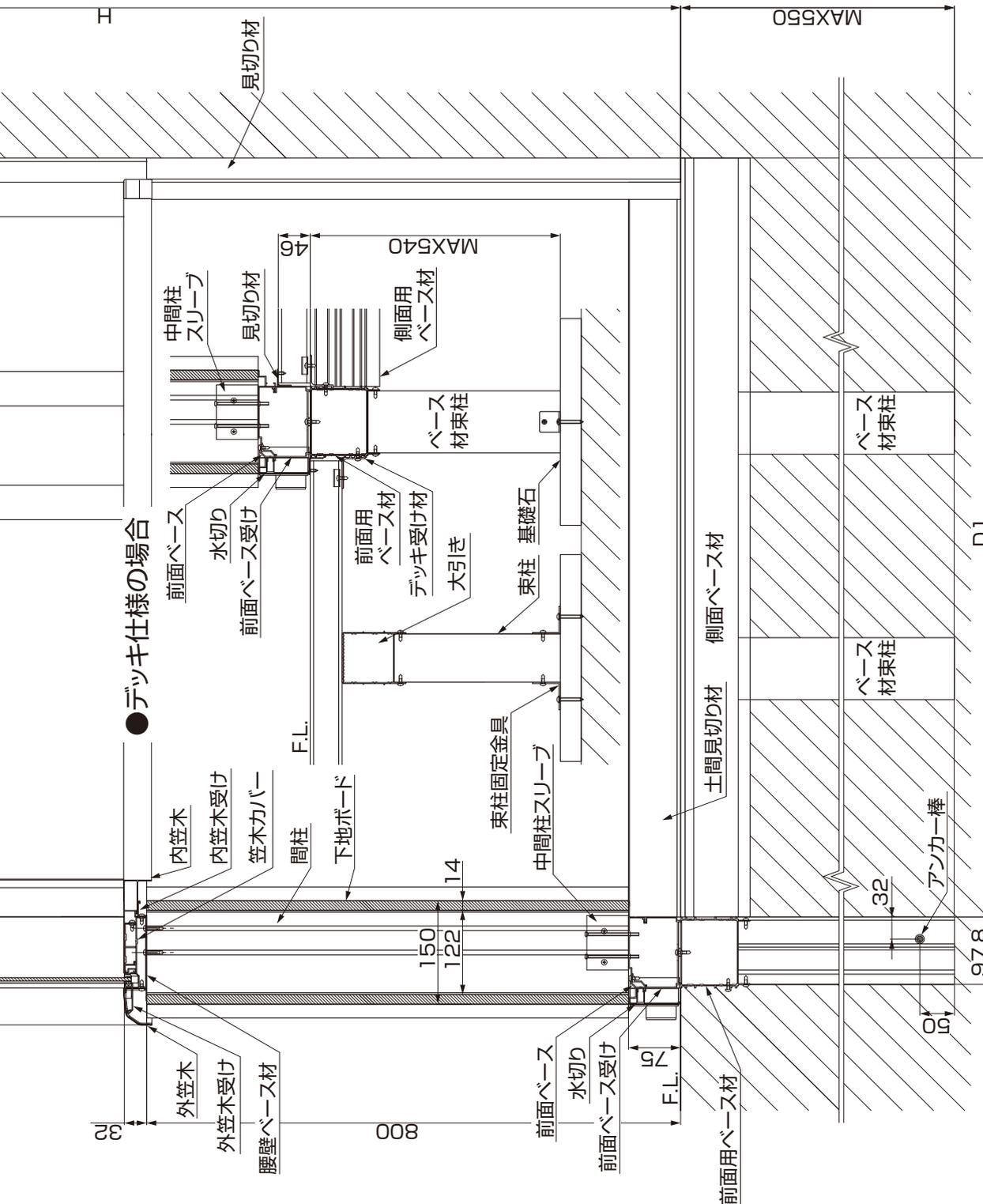


表1-10

高さ呼称	H
H20	2000
H22	2200
H24	2400

表1-11

間口	出幅				
	4R	6R	8R	10R	
D	1308	1908	2508	3108	
D1	1205	1805	2405	3005	
D2	1207.5	1816.5	2426	3035	

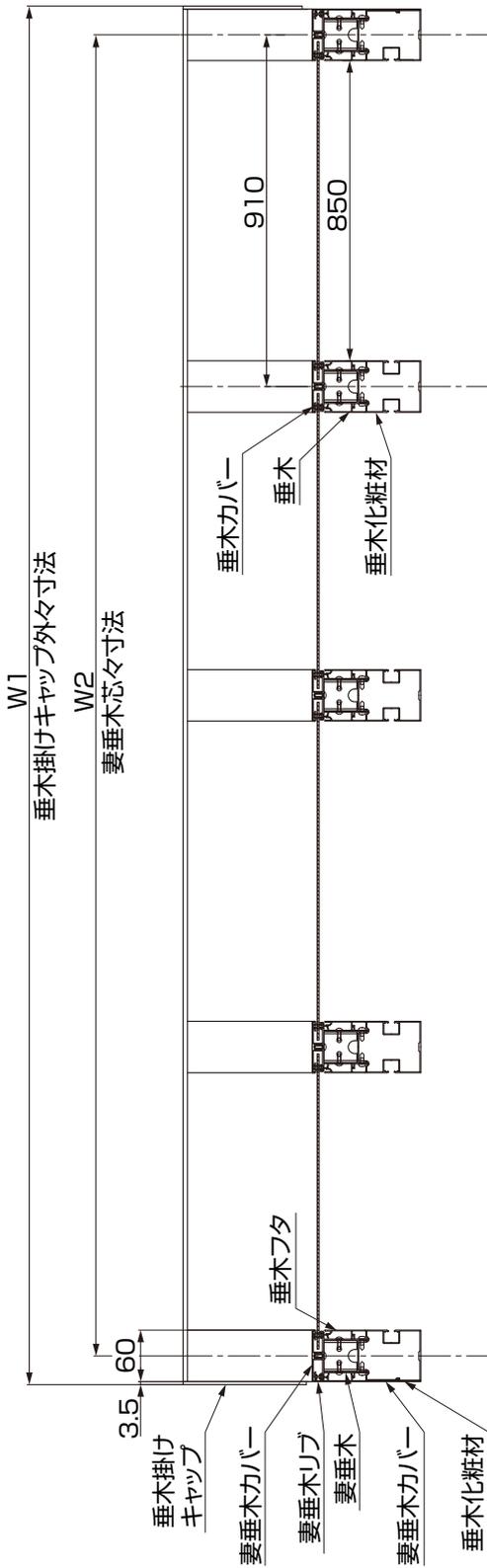
表1-12

高さ寸法	出幅				
	4R	6R	8R	10R	
A	529	635	741	846	

2. オープンテラスタイプ サイドスルータイプ

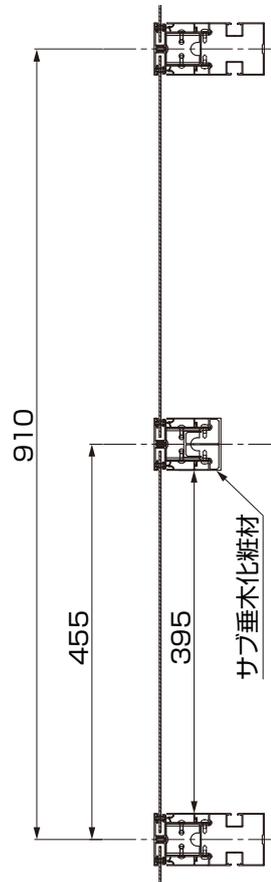
2-1 間口断面納まり図

●基本仕様の場合



●L字乾式腰壁仕様の場合

●積雪3000タイプの場合



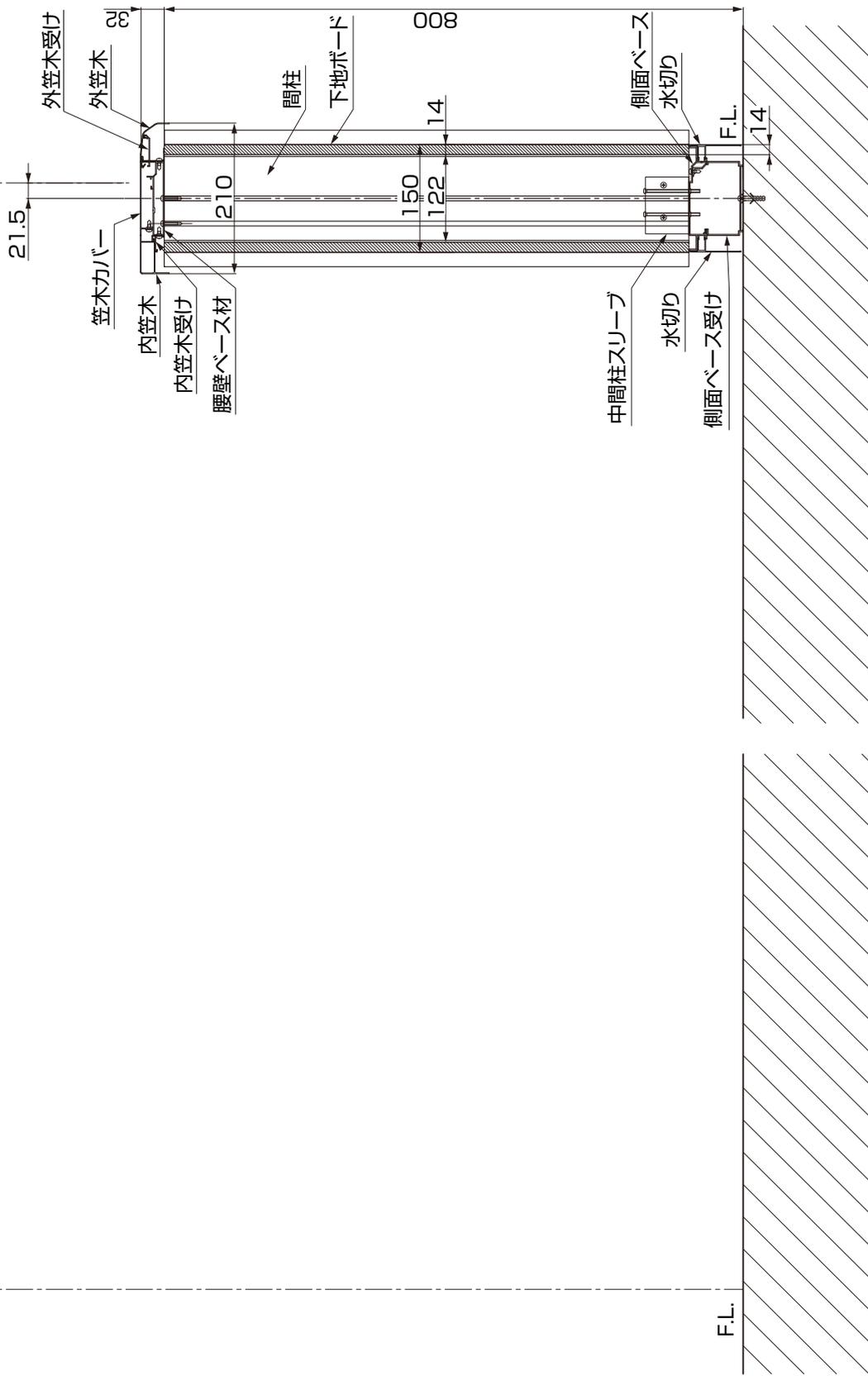


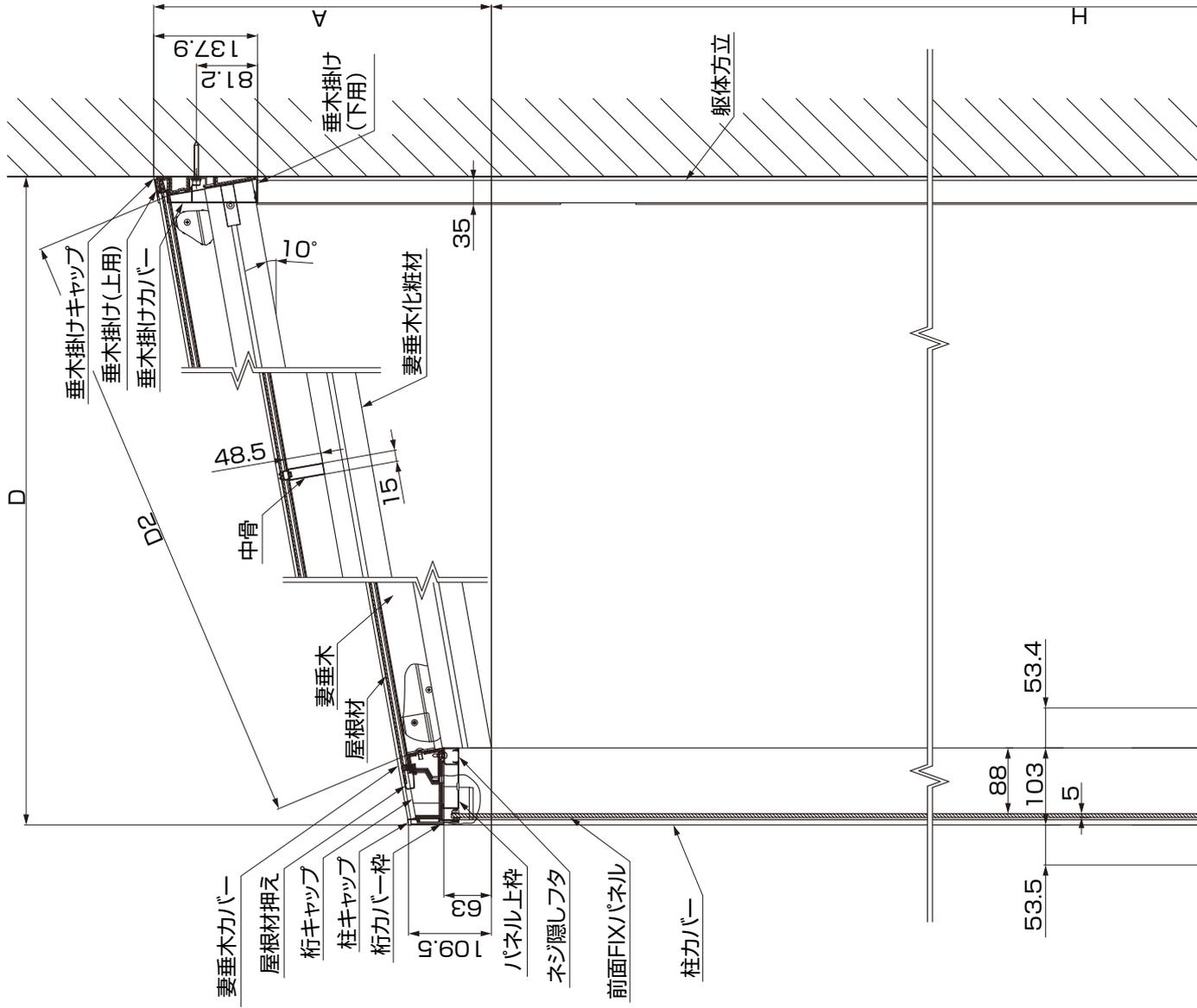
表2-1

間口 間口寸法	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W1	1887	2797	3707	4617	5527
W2	1820	2730	3640	4550	5460

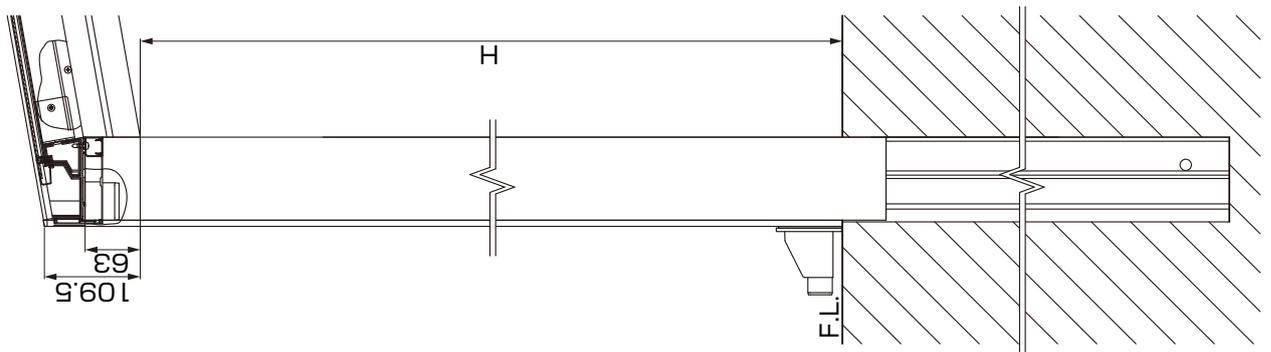
2. (つづき)

2-2 出幅断面納まり図

●サイドスルータイプL字腰壁仕様の場合



●オープンテラスタイプの場合



●サイドスルーの場合

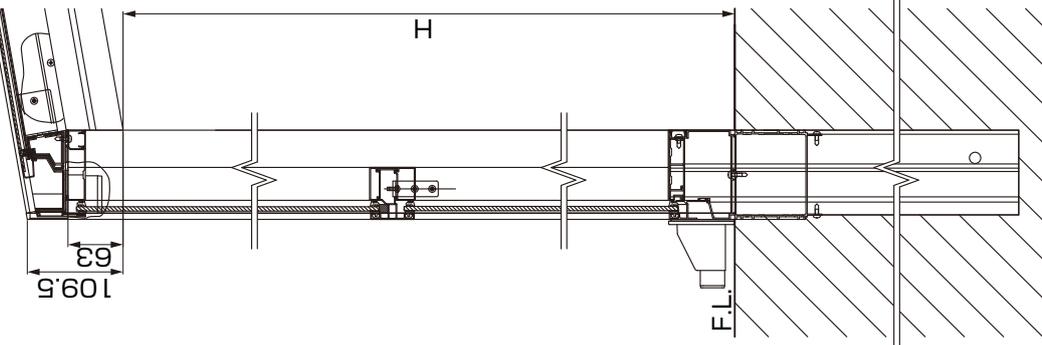


表2-2

タイプ	高さ呼称	H
サイドスルータイプ	H20	2187
	H22	2387
	H24	2587
オープンタイプ	標準	2587
	ロング	3287

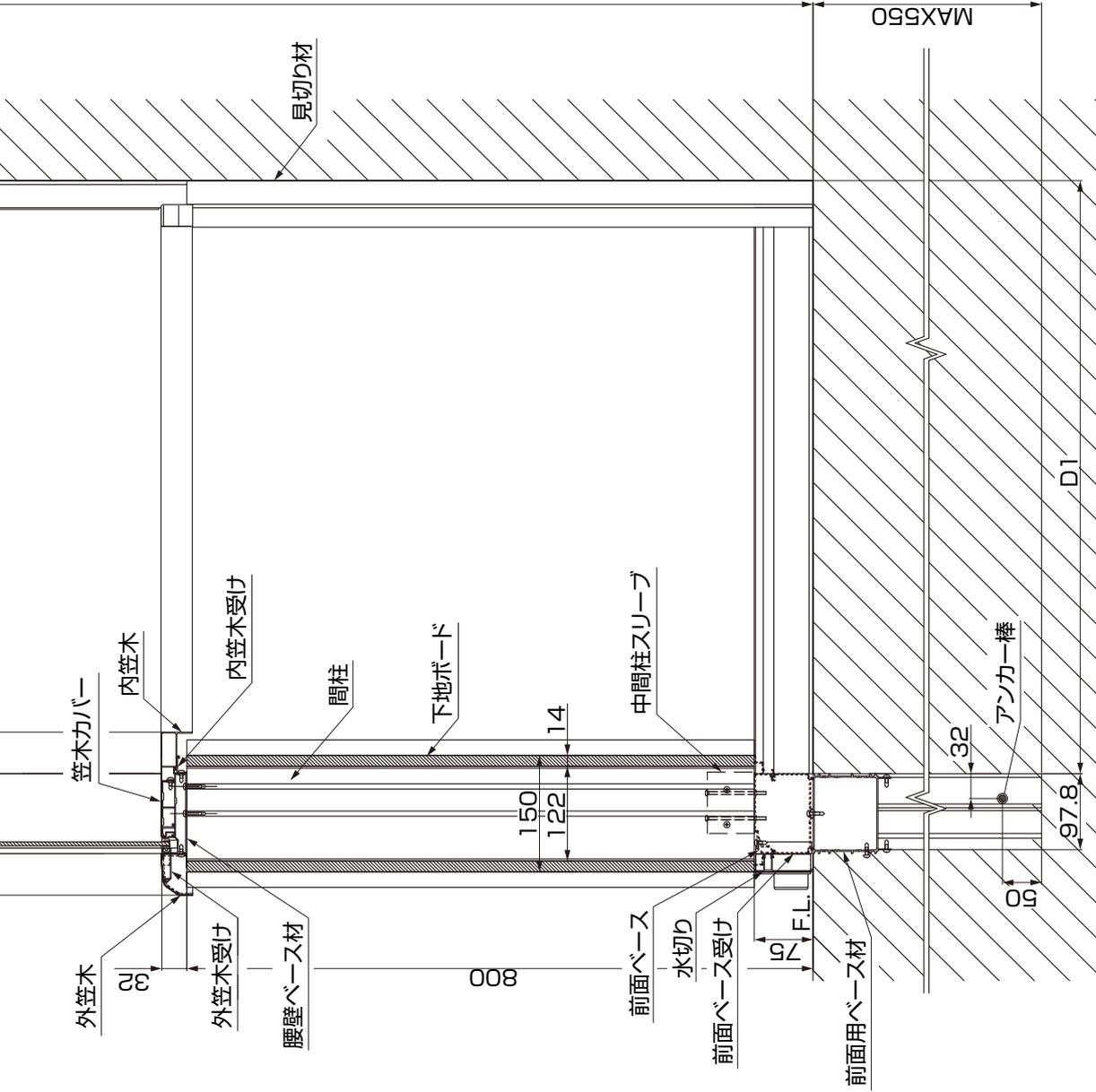


表2-3

高さ寸法	出幅				
	4R	6R	8R	10R	
A	342	448	554	659	

表2-4

出幅寸法	間口				
	4R	6R	8R	10R	
	D	D1	D2		
D	1308	1908	2508	3108	
D1	1205	1805	2405	3005	
D2	1207.5	1816.5	2426	3035	

7 柱の位置出し

1-1 基本仕様

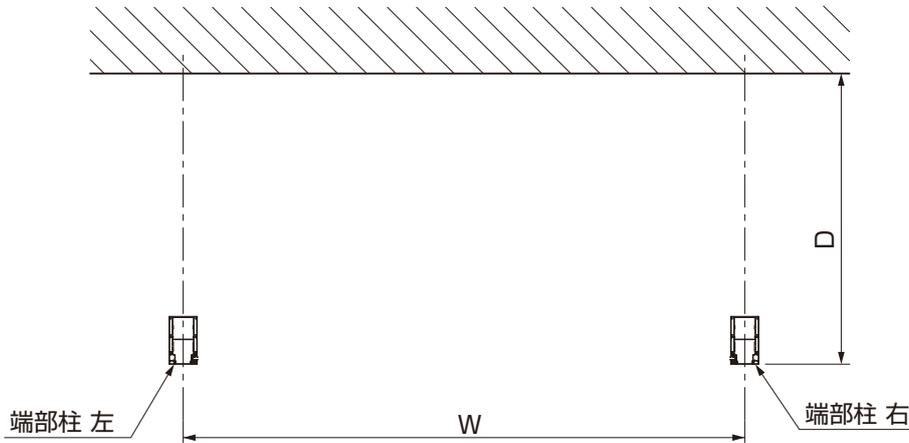


表1-1 出幅寸法

出幅	4尺	6尺	8尺	10尺
D	1308	1908	2508	3108

表1-2 間口寸法

間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W	1820	2730	3640	4550	5460

1-2 連棟仕様

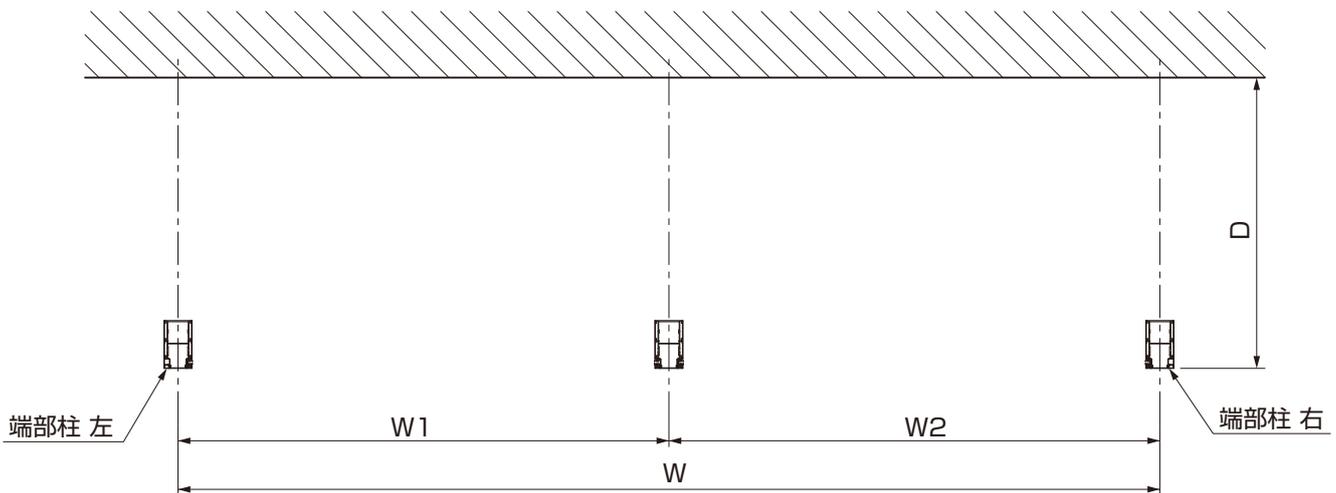


表1-3 出幅寸法

出幅	4尺	6尺	8尺	10尺
D	1308	1908	2508	3108

表1-4 間口寸法

間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	
W1、W2	1820	2730	3640	4550	5460	
間口	3.5間	4.0間	4.5間	5.0間	5.5間	6.0間
W	6370	7280	8190	9100	10010	10920

8 施工前の準備

1. 水盛遣方・水糸張り

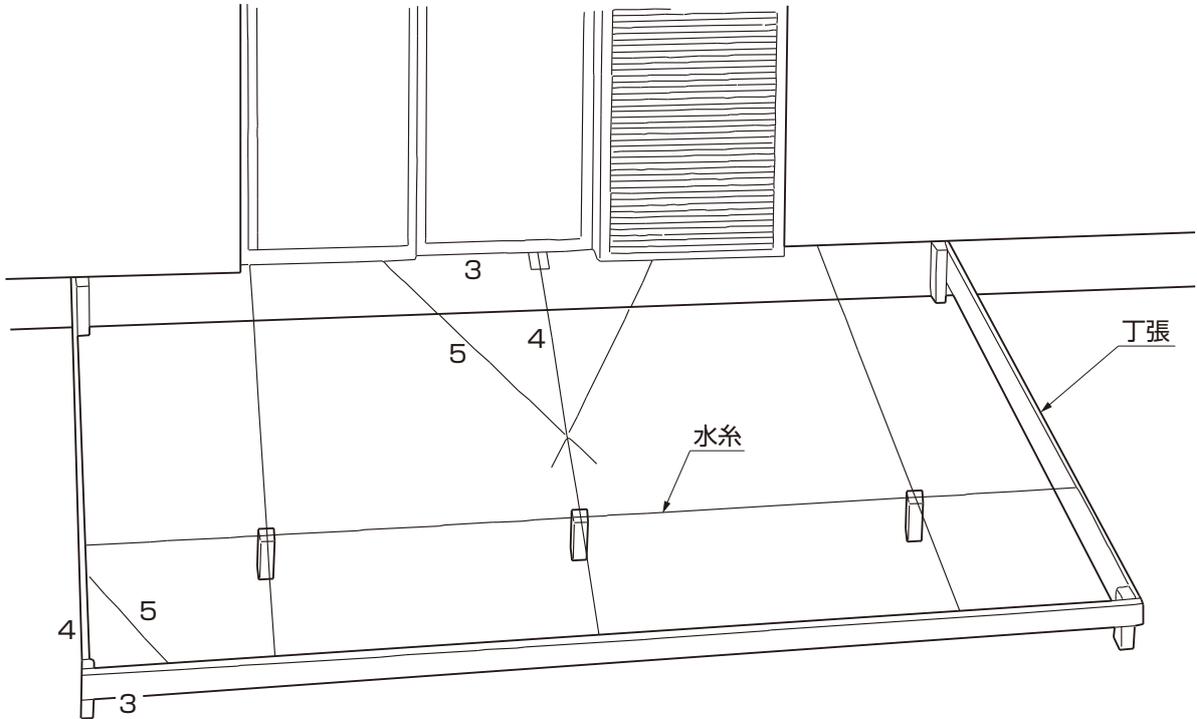


図1-1

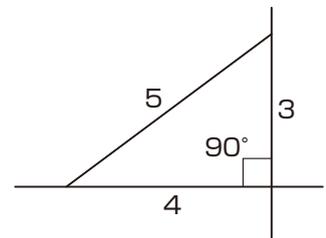


図1-2 直角出し寸法

- ① 「5 基本寸法」を参照して本体の取付位置およびフロアの高さを決めてください。
- ② 前面・両側面に丁張を組んでください。
- ③ 躯体に柱寸法の印をつけ、図1-2の方法で直角をだし、束柱の位置を出してください。
- ④ 束柱の位置から、両側の柱位置を決めてください。

補足

- 束柱の位置については「コマⅡ デッキ編 取付説明書 (E373)」または「コマⅡ デッキ編 乾式腰壁タイプ (E388)」の基礎伏図を参照ください。

ポイント

- ガーデンルームタイプの場合は、下レール取付けレベルの高さを正確に位置出しし、水平に土間を仕上げてください。下レール取付けレベルの高さが正確でないとパネルの開閉に支障が出る場合があります。
- 丁張の位置は本体外寸より前面・両側面ともにやや大きめに決めてください。
- 丁張は水準器等で水平を取ってください。
- 各コーナーの直角を定規、図1-2の方法等で割り出してください。

2. 配線工事 **オプション** ※LED照明を取付ける場合の作業です。

2-1 LEDユニット配線のとりまわし

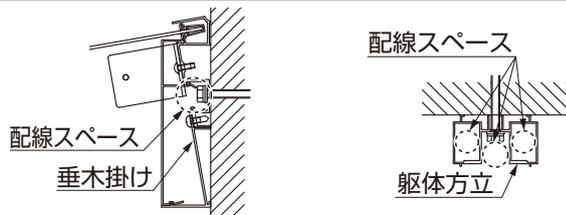
⚠ 注意

●AC100Vの電線の接続には電気工事士の資格が必要です。(コネクタ配線を除く)

🔑 ポイント

【垂木掛けや躯体方立の溝を配線に利用する場合】

- 部材・部品にあけた穴は、止水のためシーリングを塗布してください。
- 外側にあけた穴は、ケガ防止のためグロメットなどで小口の保護をしてください。



(1) ACアダプターを使用する場合

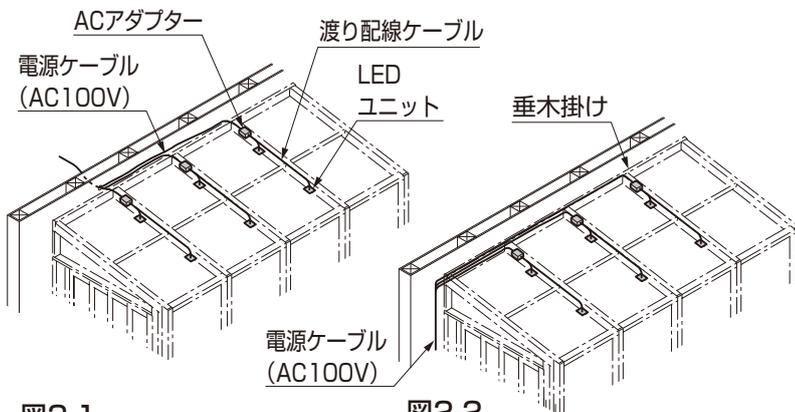


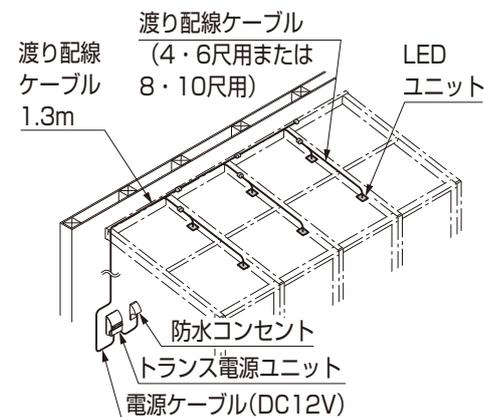
図2-1 躯体に穴をあけて配線する場合 図2-2 垂木掛けの溝を利用して配線する場合

①LEDユニットの配線をとりまわしてください。

🔑 ポイント

●LEDユニットは、渡り配線ケーブルを介して2セットまで連続接続が可能です。

(2) トランス電源ユニット 35Wを使用する場合

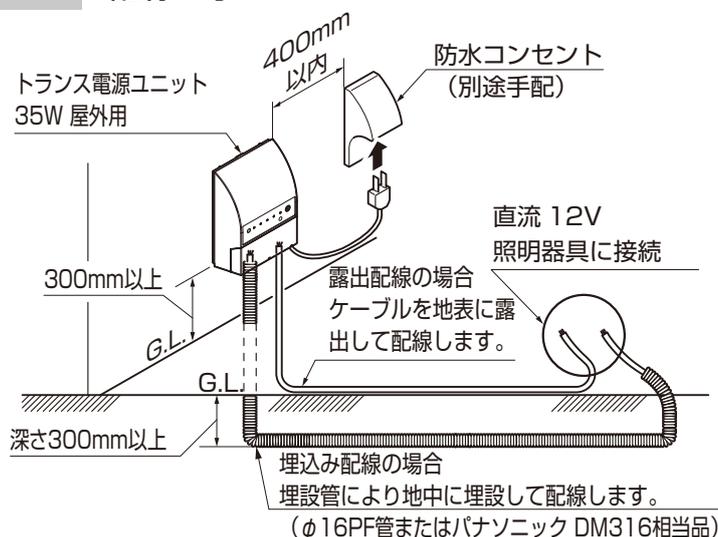


①LEDユニットの配線をとりまわしてください。

🔑 ポイント

●LEDユニットは、渡り配線ケーブルを介して10セットまで連続接続が可能です。

2-2 配線工事



✎ 補足

- 埋込み配線の場合で車両その他の重量物の圧力を受けるおそれのある場所においては深さ600mm以上にしてください。
- トランス電源側の配管は、G.L.より300mm以上必ず立ち上げてください。

🔑 ポイント

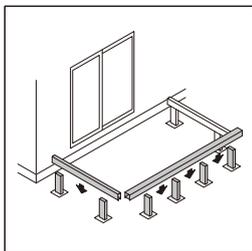
- トランス電源ユニットの取付けは「トランス電源ユニット35W/60W 屋外用 取付説明書 (Z546)」を併せて参照してください。
- 防水コンセント、連結コネクタは別途手配してください。
- 躯体側から配線配管をする場合は、躯体側に配線を出してください。
- 地下埋設する場合のPF管は、現場で手配してください。
- 電源ケーブルの長さを調整する場合は、トランス電源ユニット側を切詰めてください。

9 位置決め施工

1. ベース材と束柱の取付け

※ベース材仕様の場合の作業です。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域



ポイント

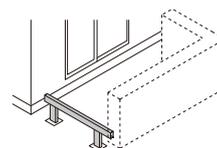
●ベース材と束柱は施工するタイプにより設置箇所が異なります。

ガーデンルームタイプ			サイドスルータイプ オープンテラスタイプ		
基本	腰壁		基本	腰壁	
	前面	L字		前面	L字
					L字側

補足

【腰壁下延長の場合】

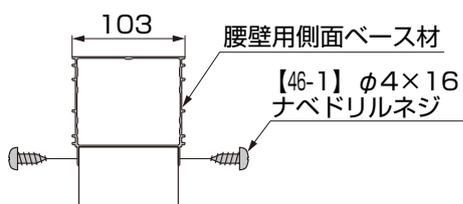
●ベース材は側面間口部のみ設置してください。



1-1 束柱の取付け

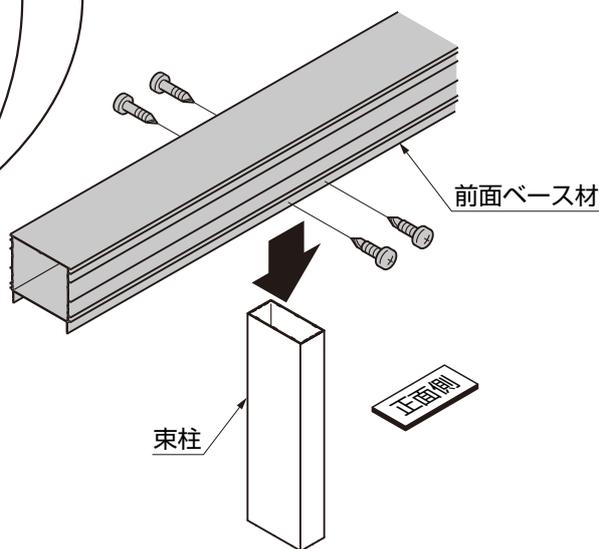
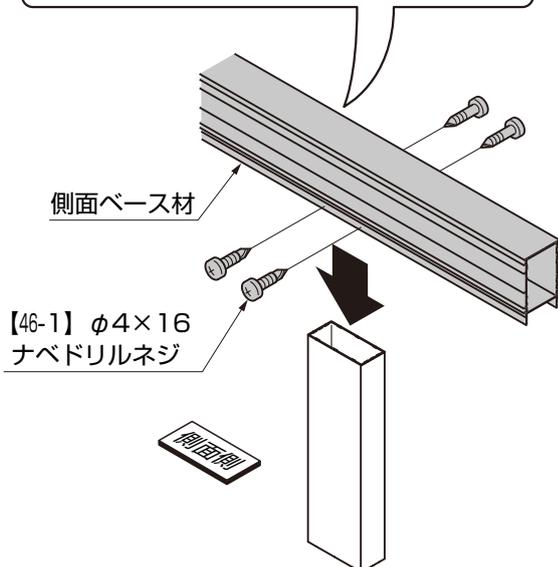
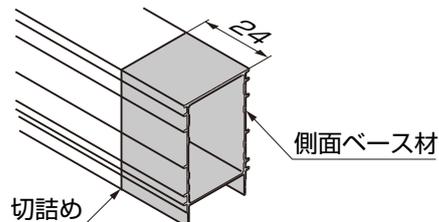
【L字腰壁の場合】

●腰壁用側面ベース材を使用してください。



【腰壁下延長の場合】

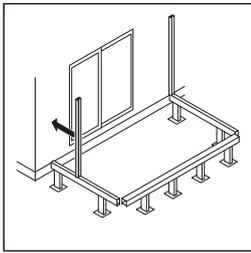
●正面側を24mm切詰めてください。



①前面ベース材、側面ベース材を束柱に【46-1】で取付けてください。

2. 躯体方立の取付け

※サイドスルータイプ、オープンテラスタイプでL字腰壁または妻梁上部フィックスがある場合も必要な作業です。

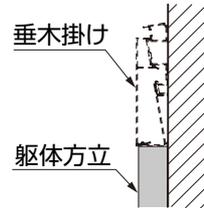


ポイント

- 入隅側には不要です。
- 躯体方立は必ず躯体構造材に取付けてください。
- 躯体取付面に凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付面の止水性を確保してください。
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしなくてください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

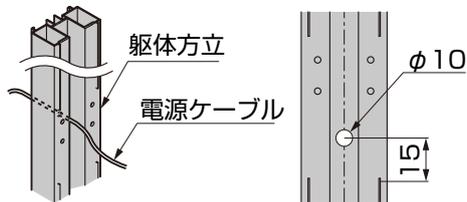
ポイント

- 垂木掛けの位置に影響しますので、躯体方立が垂直になるようにしてください。



【プラズマクラスター オプション】を取付ける場合

※図は躯体に穴をあけて配線する場合を示します。

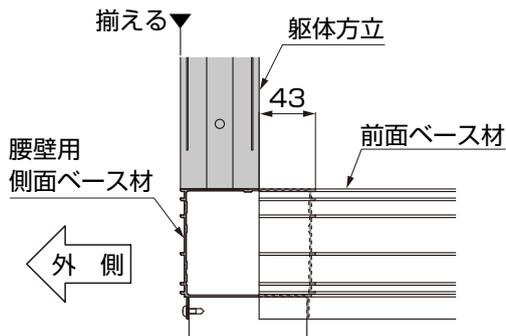


ポイント

- 躯体にあけた穴はシーリングなどで必ず防水処理を行なってください。

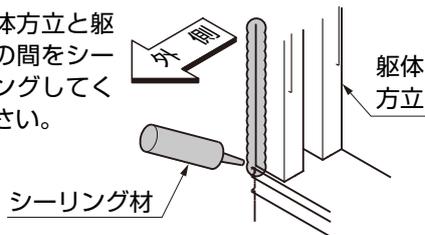
ポイント

- L字腰壁の場合は、躯体方立は腰壁用側面ベース材と外面を揃えて取付けてください。

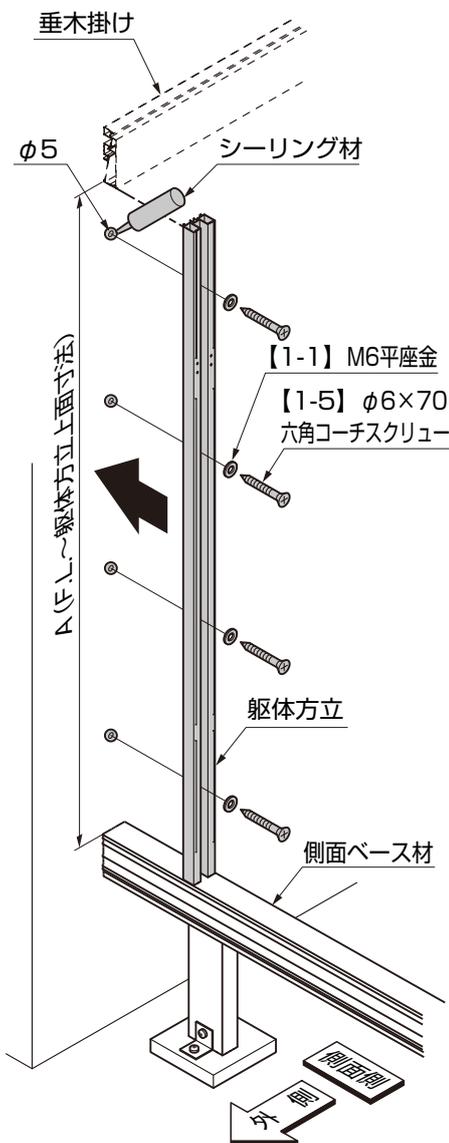


ポイント

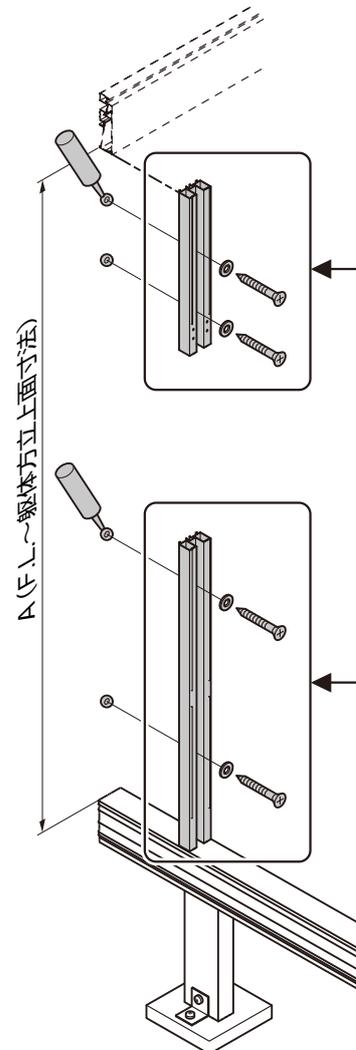
- 躯体方立と躯体の間をシーリングしてください。



【ガーデンルームタイプの場合】



【オープンテラスおよびサイドスルータイプの場合】



- ①躯体に躯体方立取付け用の穴をけがいて、φ5の穴をあけてください。
- ②躯体にあけた穴にシーリングを充填してください。
- ③躯体方立を躯体に【1-1】、【1-5】で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

表2-1

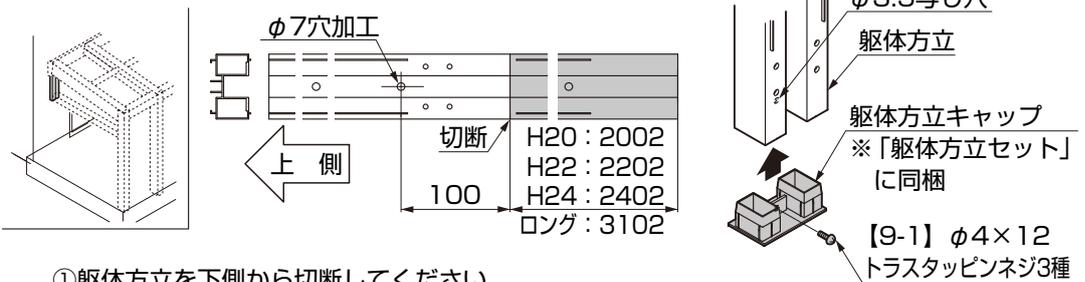
高さ呼称	出幅	A
H20	4R	2391
	6R	2497
	8R	2603
	10R	2708
H22	4R	2591
	6R	2697
	8R	2803
	10R	2908
H24	4R	2791
	6R	2897
	8R	3003
	10R	3108

【オープンテラスタイプ、サイドスルータイプの場合】

補足

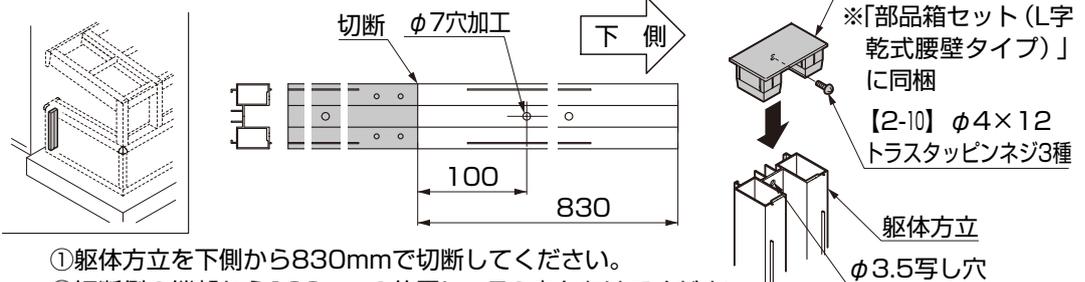
●加工する前の躯体方立で垂木掛けの位置出しをすることができます。

(1) 妻梁上部フィックスがある場合



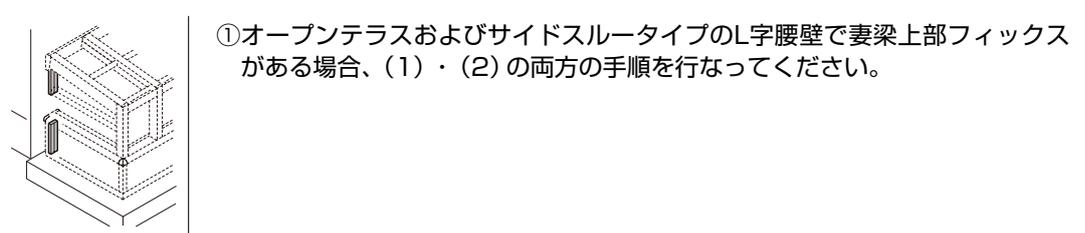
- ① 躯体方立を下側から切断してください。
- ② 切断側の端部から100mmの位置にφ7の穴をあけてください。
- ③ 躯体方立の下側に躯体方立キャップをはめ込んでください。
- ④ 躯体方立キャップの穴をガイドにφ3.5の穴をあけて【9-1】で取付けてください。

(2) L字腰壁の場合



- ① 躯体方立を下側から830mmで切断してください。
- ② 切断側の端部から100mmの位置にφ7の穴をあけてください。
- ③ 躯体方立の上側に躯体方立キャップをはめ込んでください。
- ④ 躯体方立キャップの穴をガイドにφ3.5の穴をあけて【2-10】で取付けてください。

(3) オープンテラスおよびサイドスルータイプのL字腰壁で妻梁上部フィックスがある場合

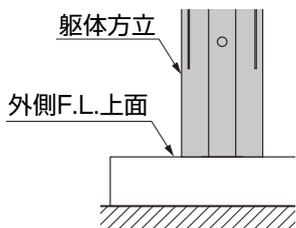


- ① オープンテラスおよびサイドスルータイプのL字腰壁で妻梁上部フィックスがある場合、(1)・(2)の両方の手順を行なってください。

妻梁上部フィックス
がある場合

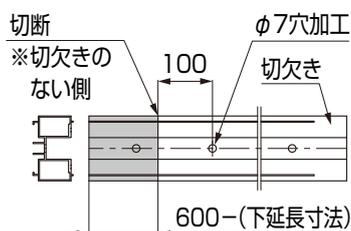
L字腰壁の場合

【ベース材を使用しない場合】



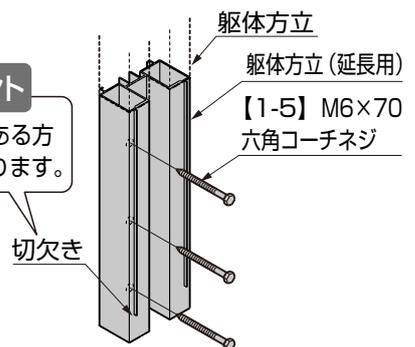
【腰壁下延長の場合】

●躯体方立（延長用）を加工し、下に継ぎ足して取付けてください。



ポイント

●切欠きがある方が下になります。

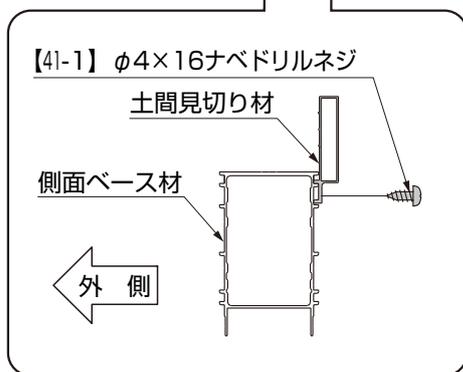
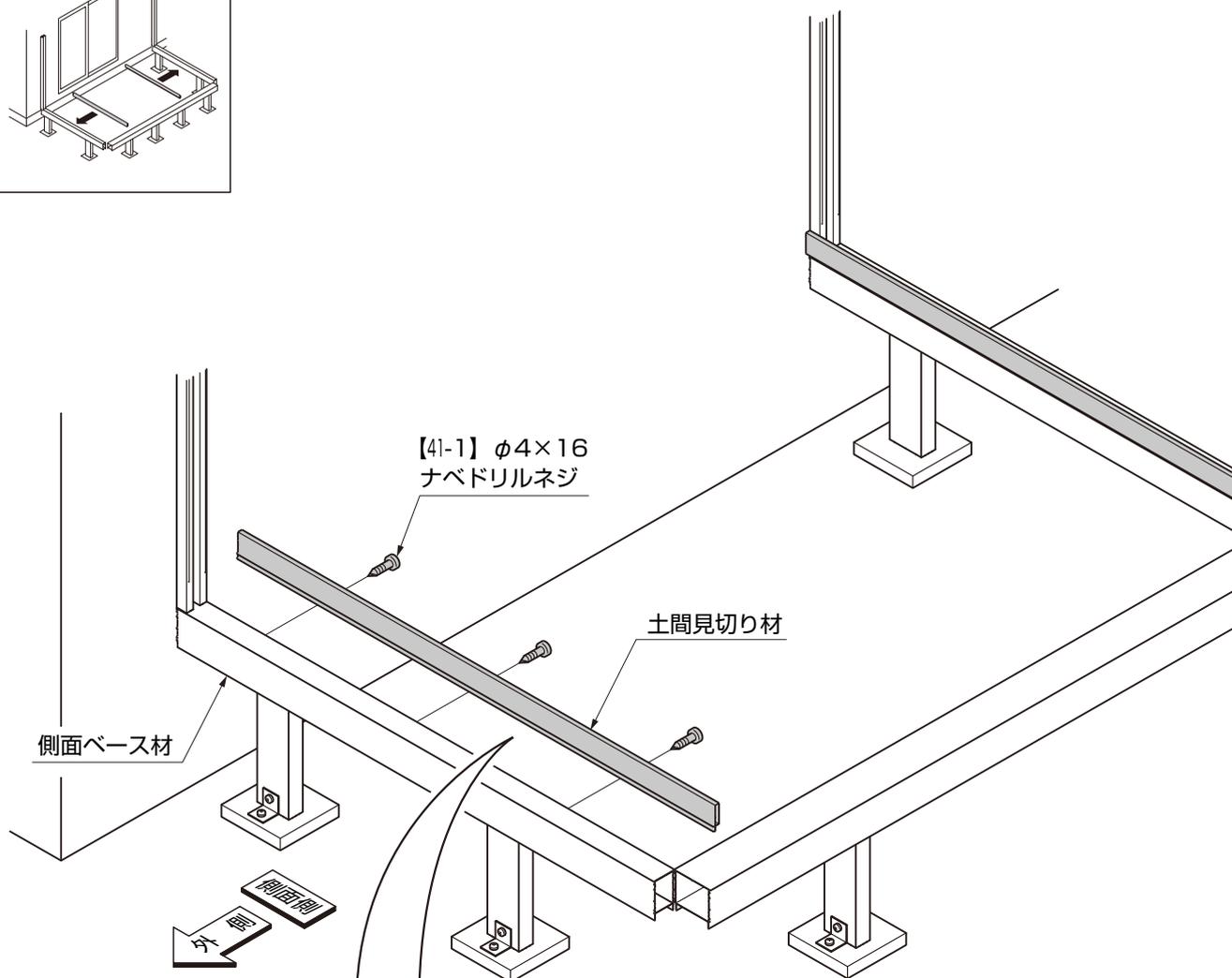
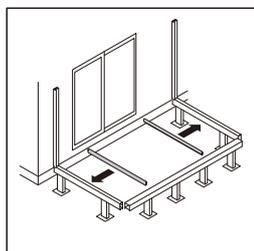


3. 土間見切り材の取付け

※土間仕様でベース材仕様の場合の作業です。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
					

3-1 「折戸」「FIX」「カスタムウォール」の土間見切り材の取付け

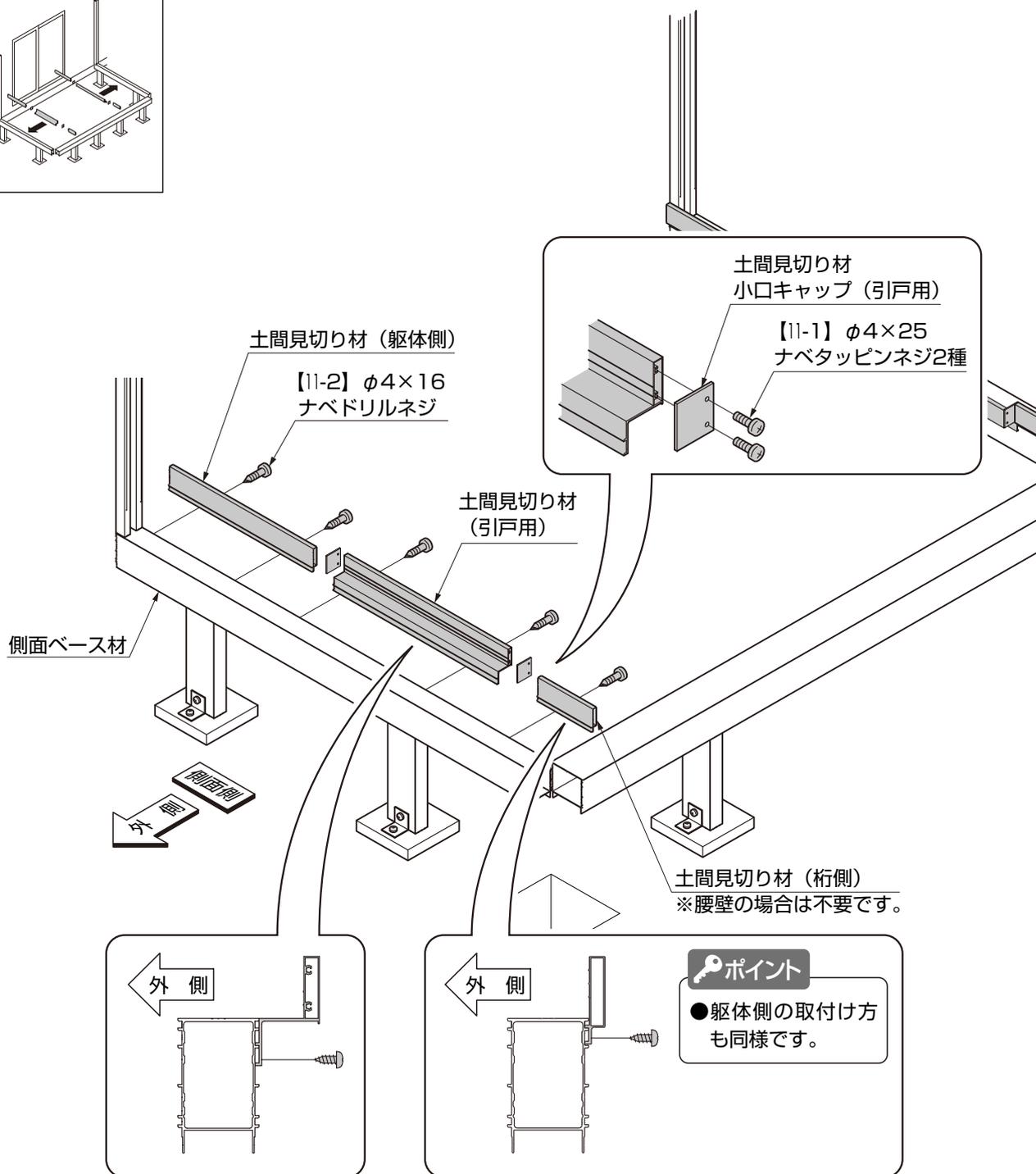
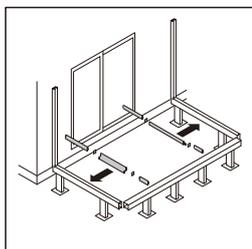


①土間見切り材を側面ベース材に【4I-1】で取付けてください。

 補足

●ネジ固定は、端部は両側より50mm前後、中間部は500mmのピッチで行なってください。

3-2 「引戸」の土間見切り材の取付け



- ①土間見切り材小口キャップ (引戸用) を土間見切り材 (引戸用) の両端に【11-1】で取付けてください。
- ②土間見切り材 (桁側、躯体側) を側面ベース材に【11-2】で取付けてください。

補足

●ネジ固定は、端部は両側より50mm前後、中間部は500mmのピッチで行なってください。

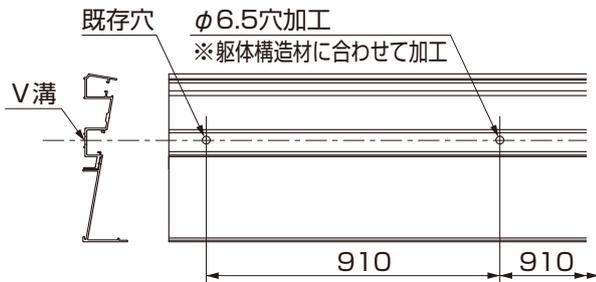
10 部材の組立て

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

1. 垂木掛けの組立て

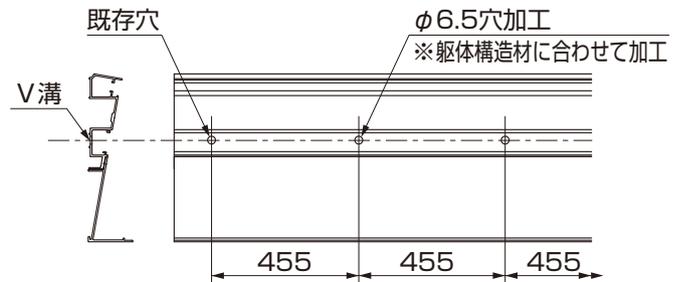
1-1 垂木掛けの加工

(1) 一般地域の場合



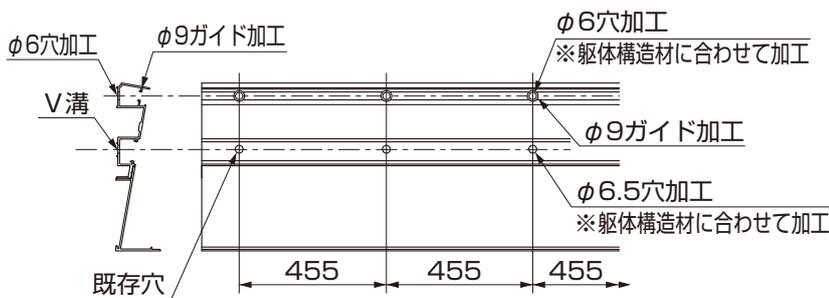
①垂木掛けに穴加工をしてください。

(2) 積雪地域（積雪地域1500N（50cm相当）の場合）



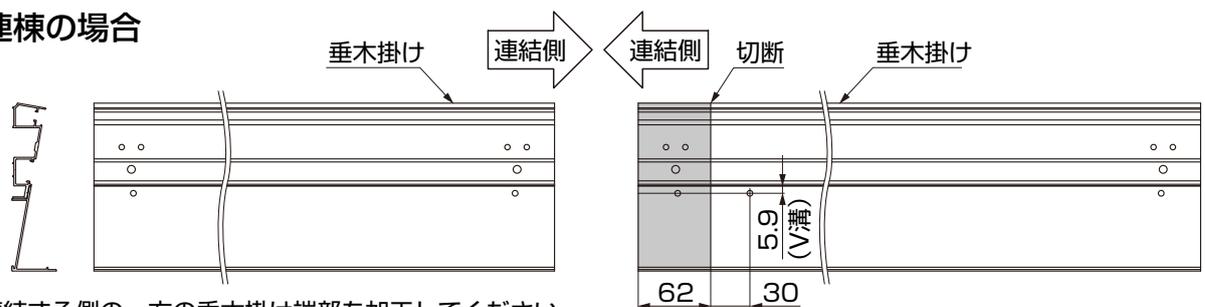
①垂木掛けに穴加工をしてください。

(3) 積雪地域（積雪地域3000N（110cm相当）の場合）



①垂木掛けに穴加工をしてください。

(4) 連棟の場合



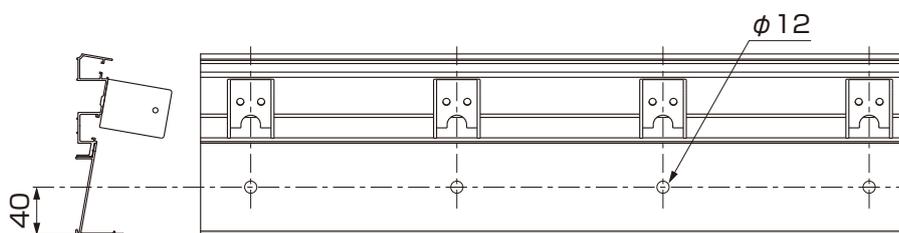
①連結する側の一方の垂木掛け端部を加工してください。

ポイント

●記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

(5) 垂木照明 **オプション** を取付ける場合

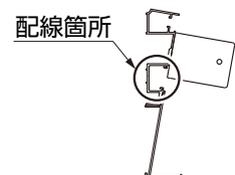
※配線の都合により垂木掛けに穴をあける作業です。



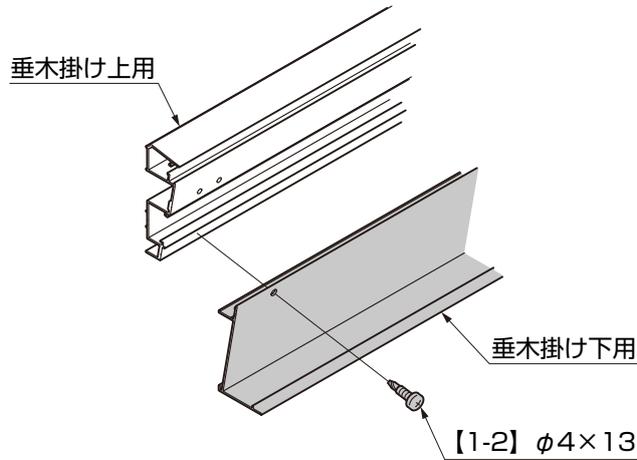
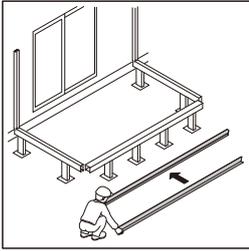
①垂木掛けに穴加工をしてください。

補足

●配線は垂木掛けの溝を使うこともできます。

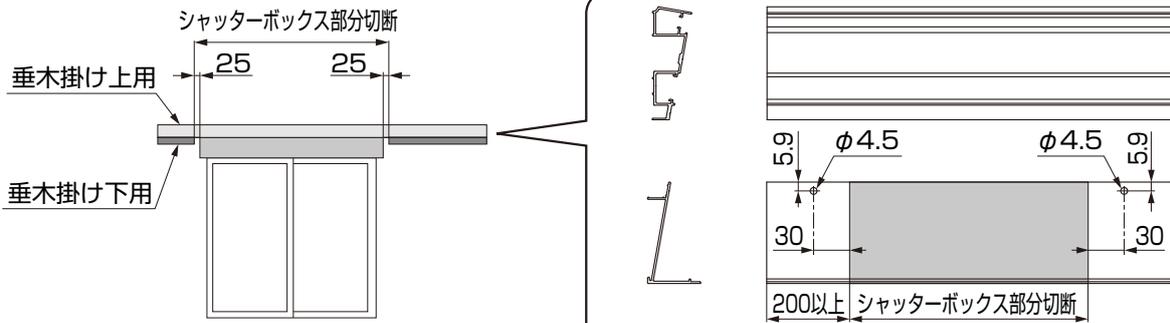


1-2 垂木掛けの組立て



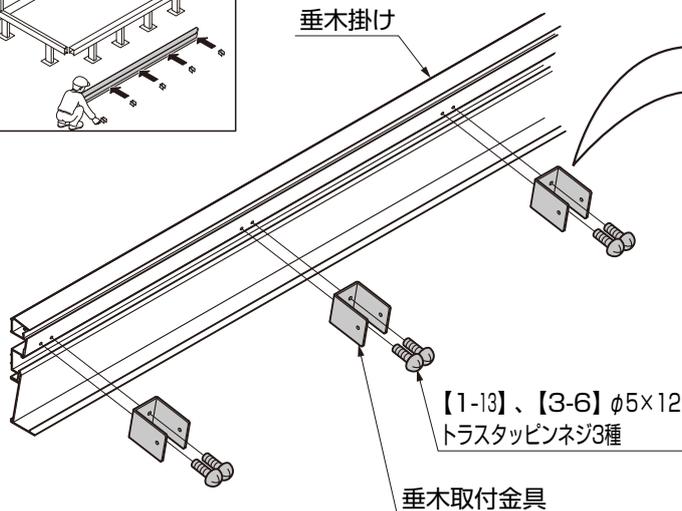
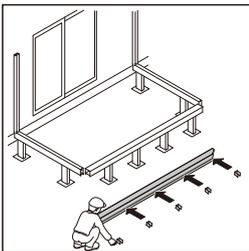
ポイント

●垂木掛けを取付ける箇所にシャッターボックス等の障害物がある場合は、障害物部分の垂木掛け下用は取付け不要です。ただし、両端部には最低200mmの垂木掛け下用が必要です。

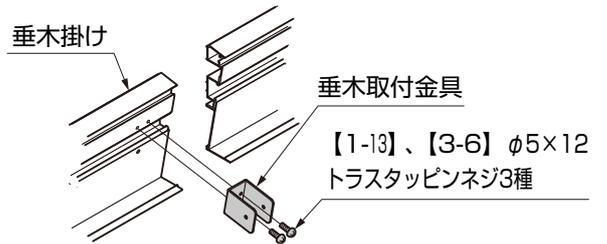


①垂木掛け下用を垂木掛け上用に【1-2】で取付けてください。

1-3 垂木取付金具の取付け



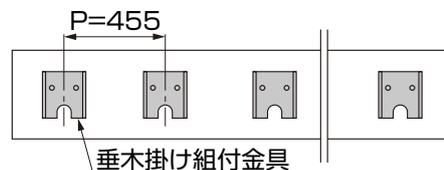
【連棟の場合】



ポイント

【積雪地域】 (積雪地域3000N(110cm相当)仕様の場合)

●垂木取付金具を455mmピッチで取付けてください。

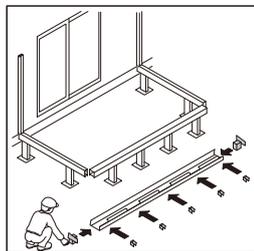


①垂木取付金具を垂木掛けに【1-13】、【3-6】で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	F.L	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

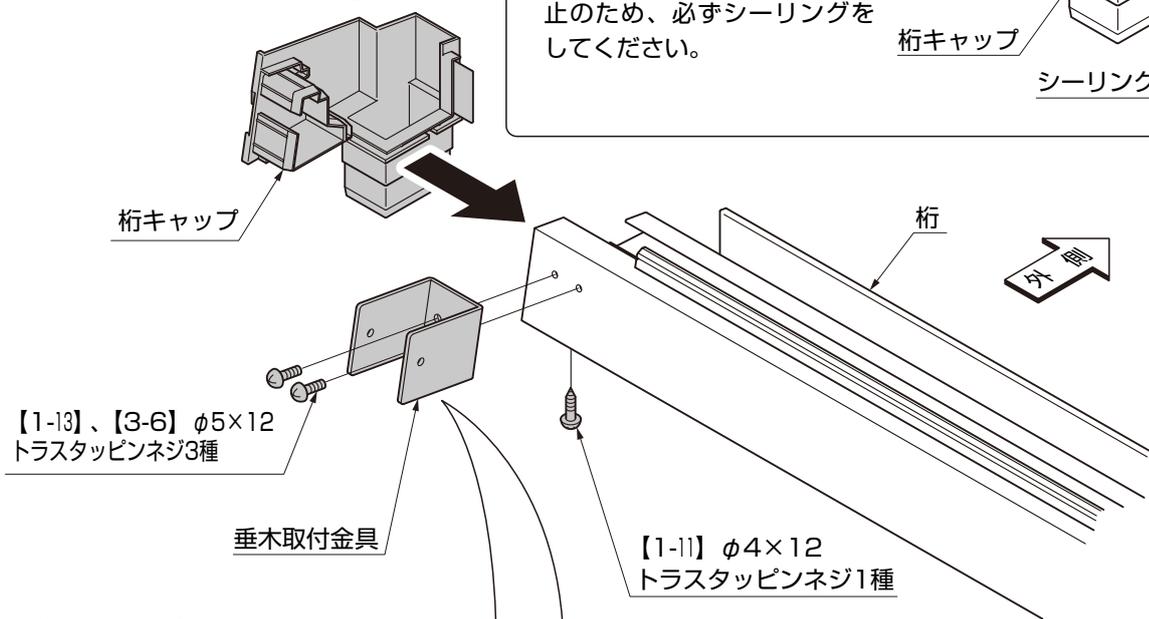
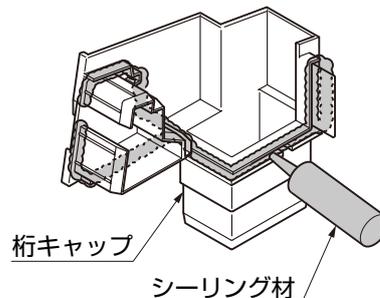
2. 桁の組立て

2-1 桁の組立て



ポイント

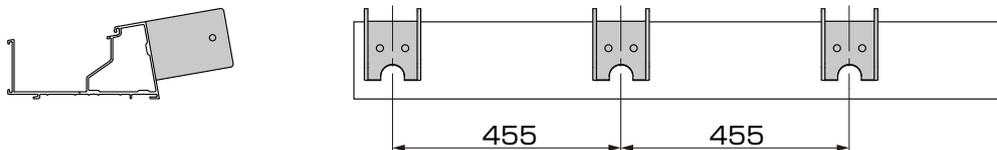
- 図は右側を示します。左側も同様に取付けてください。
- 指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。



ポイント

【積雪地域】  (積雪地域3000N (110cm相当) 仕様の場合)

- 垂木取付金具を455mmピッチで取付けてください。



- ① 垂木取付金具を桁に【1-13】、【3-6】で取付けてください。
- ② 桁キャップをシーリングしてください。

ポイント

- 桁キャップと桁を組付けた後にシーリングが桁と桁キャップの両方に十分塗布されていることを確認してください。組付けによってシーリングが切れるなど塗布が不十分な場合は追加してください。

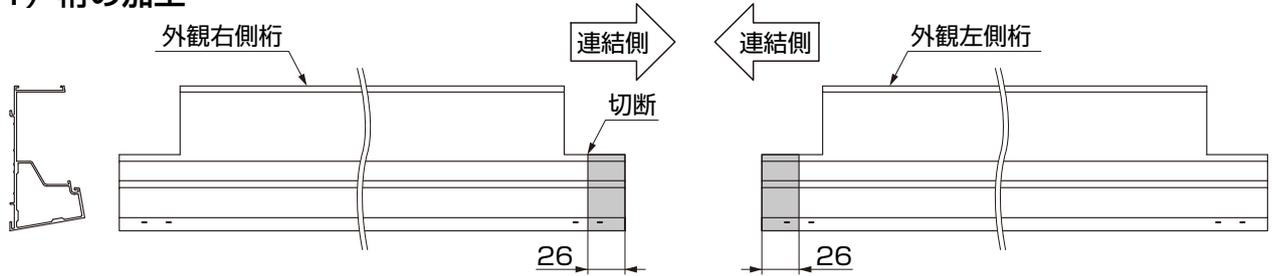
- ③ 桁キャップを桁に【1-11】で取付けてください。

ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

2-2 連棟の場合

(1) 桁の加工



①左右の桁を均等に切断してください。

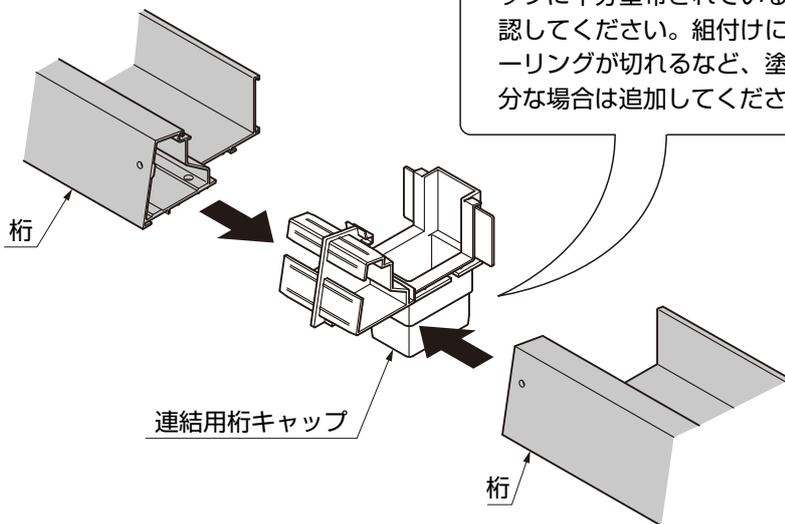
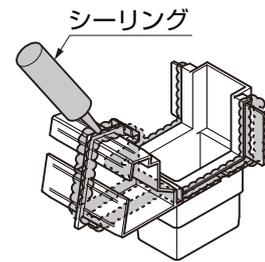
ポイント

●記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

(2) 桁の連結

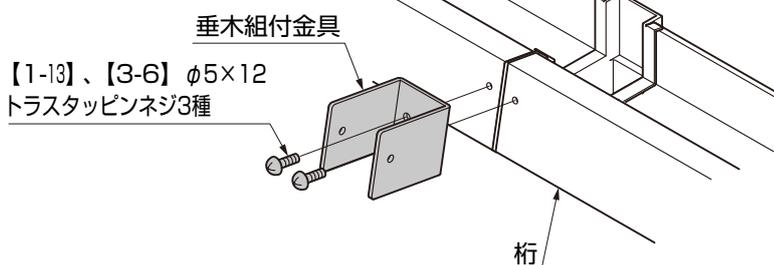
ポイント

- 指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。
- 指定以外の箇所にはシーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。
- 組付け後はシーリングが桁と桁キャップに十分塗布されていることを確認してください。組付けによってシーリングが切れるなど、塗布が不十分な場合は追加してください。



①連結用桁キャップにシーリングしてください。

②左右の桁を連結用桁キャップにはめ込んでください。



③垂木組付金具を、連結した桁に【1-13】、【3-6】で取付けてください。

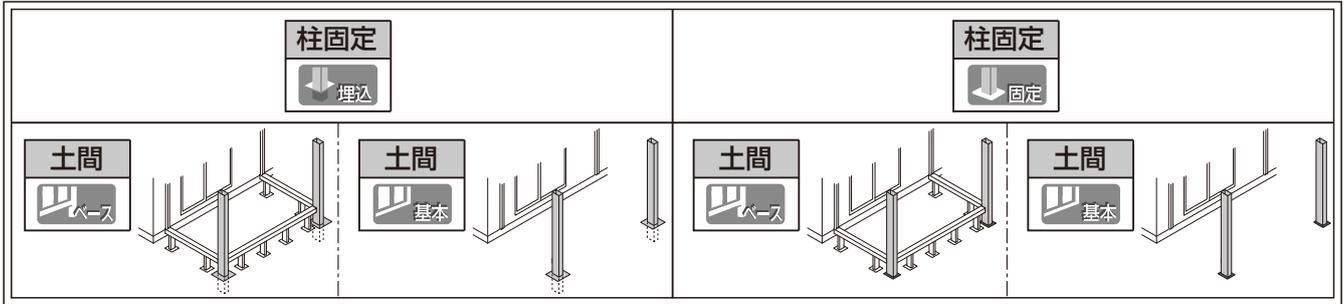
11 柱の建込み

1. 施工手順の確認

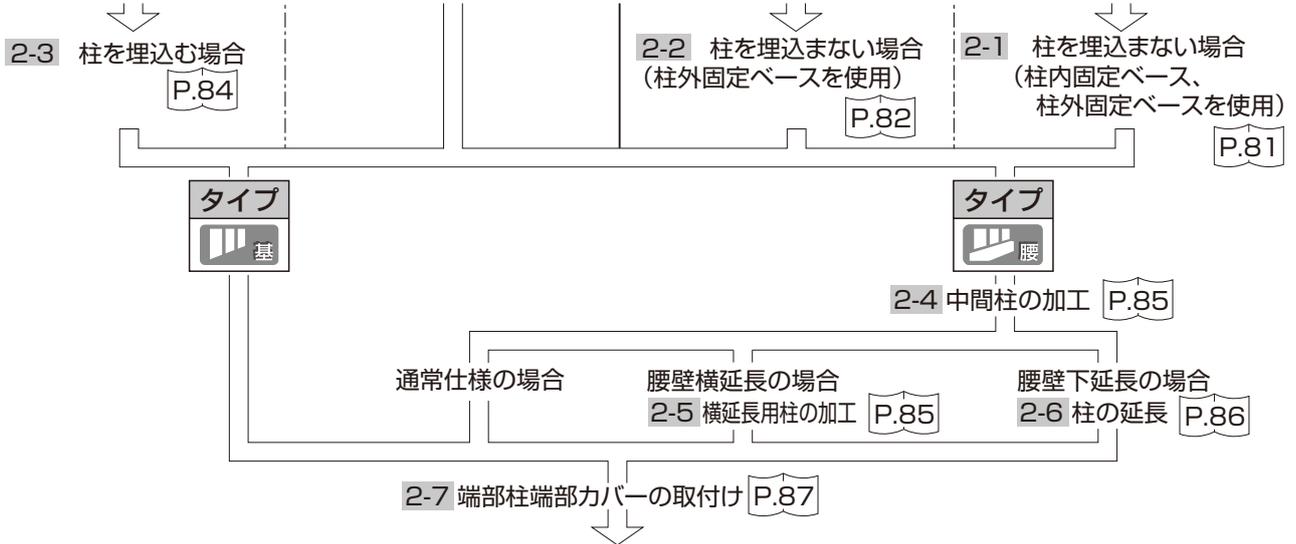
タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

ポイント

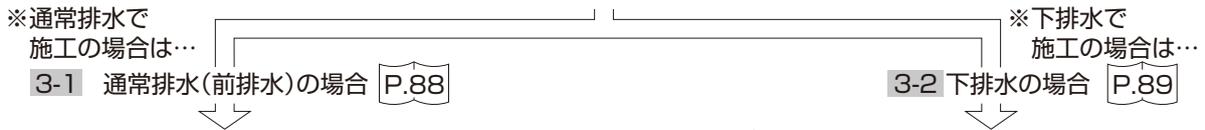
●柱の建込み方法は下記の方法があります。必ず施工方法を確認の上、説明ページを参照してください。



2. 柱の加工



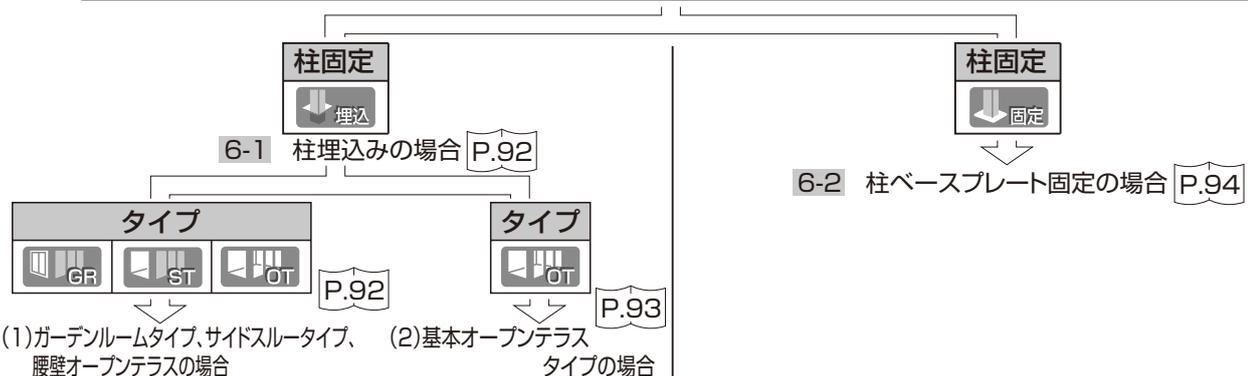
3. 雨樋の取付け



4. 柱取付金具の取付け P.90

5. 柱スリーブの取付け ※積雪地域の場合 P.91

6. 柱の建込み



2. 柱の加工

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

ポイント

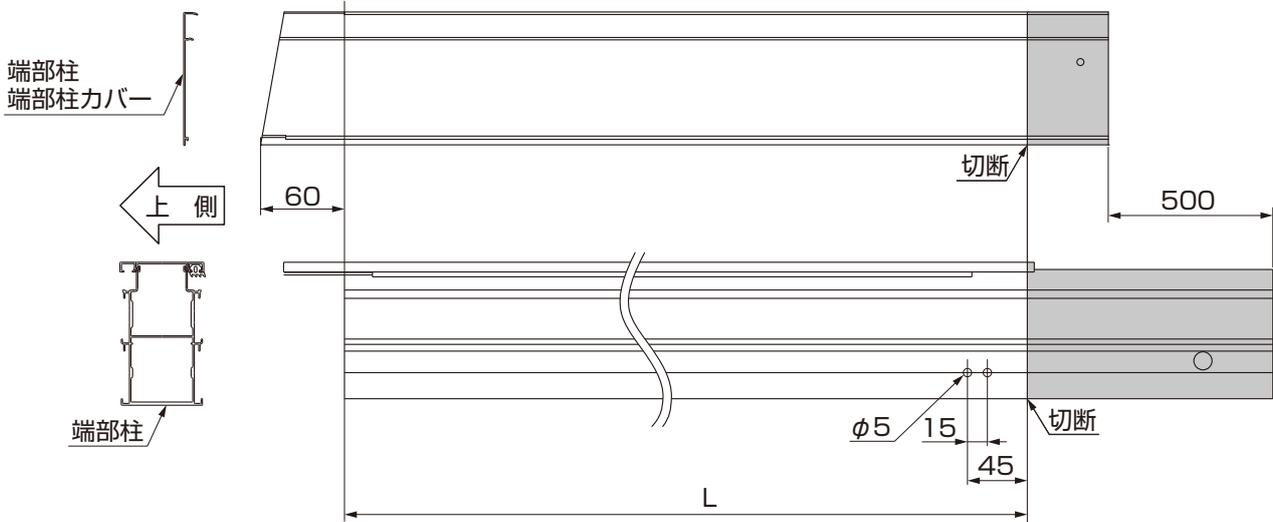
●柱前面の部材はスライドします。切断の際は位置を合わせ、テープ等で仮固定した上で切断してください。

2-1 柱を埋込まない場合（柱内固定ベース：を使用）

※柱をF.L.でベースプレート固定する場合

※記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

※縦樋を端部柱から引き抜いて切断してください。



（参考）F.L.～上部分柱寸法H

サイズ	H
H20	2250
H22	2450
H24	2650

表2-1

サイズ	L
H20	2247
H22	2447
H24	2647

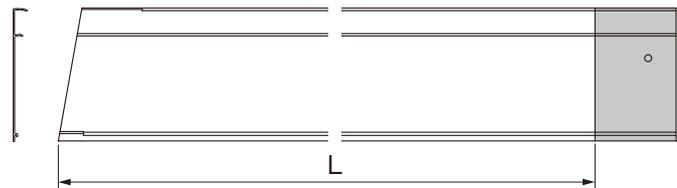
※柱前面材～柱上部43.5mmは除く

※ベースプレートの厚みを含む

ポイント

腰壁タイプの端部柱端部カバー切断寸法

タイプ	サイズ	L
ガーデンルームタイプ/ サイドスルータイプ	H20	1478
	H22	1678
	H24	1878
オープンテラスタイプ	標準	1878
	ロング	2578



●L寸法の指示が上記と異なりますので、切断時に注意してください。

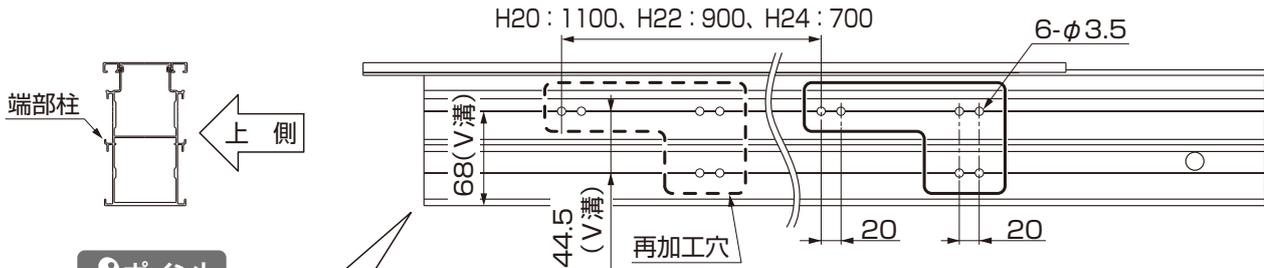
- ①縦樋を端部柱から引き抜いてください。
- ②端部柱、端部柱端部カバーを加工してください。
- ③縦樋を端部柱に差し込んでください。

2. (つづき)

2-2 柱を埋込まない場合（柱外固定ベース：を使用）

※デッキ仕様、インナーデッキ仕様などでオープンテラス用ロング柱を使用する場合
 ※縦樋を端部柱から引き抜いてから切断してください。

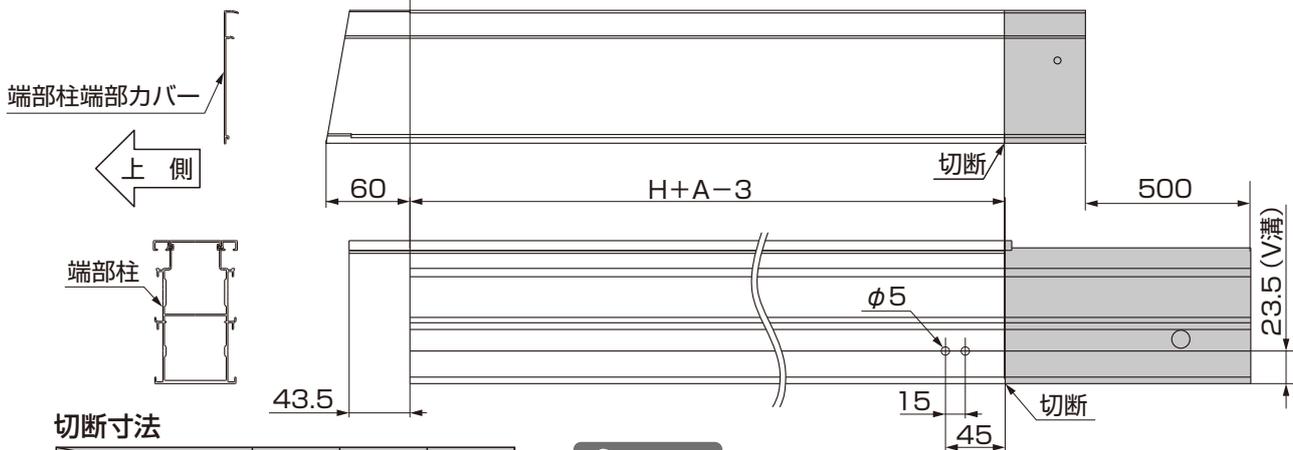
(1) 柱の加工 ※記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。



ポイント

【ガーデンルームタイプ、サイドスルータイプの場合】

- この加工はオープンテラスタイプの場合には行ないません。
- 初めに再加工を行ない、その後下図の加工を行なってください。



切断寸法

	H20	H22	H24
①基本切断寸法	1100	900	700
②F.L.~G.L.寸法=A	550-A	550-A	550-A
③ベースプレート厚	3	3	3
切断寸法	①+②+③		

(参考) F.L.~上部分柱寸法H

サイズ	H
H20	2250
H22	2450
H24	2650

※柱前面材～柱上部43.5mmは除く

ポイント

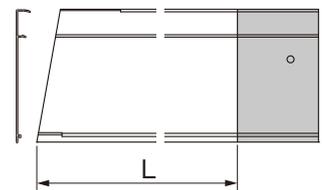
- 端部柱前面材のみ上から切断してください。
- 現場状況（施工状況）に合わせて切断寸法を計算してください。

- ①縦樋を端部柱から引き抜いてください。
- ②端部柱、端部柱端部カバーを加工してください。
- ③縦樋を端部柱に差し込んでください。

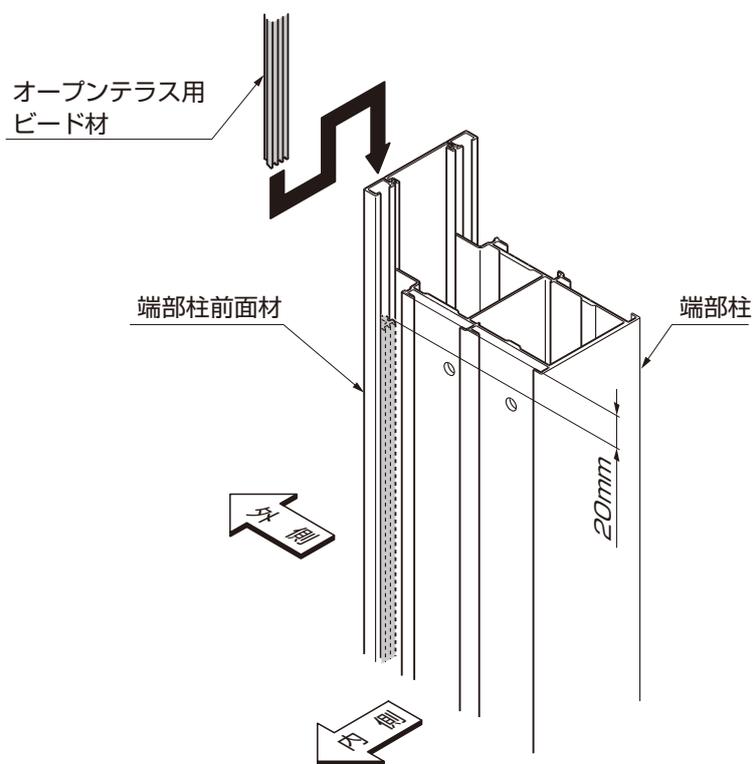
ポイント

腰壁タイプの端部柱端部カバー切断寸法

タイプ	サイズ	L
ガーデンルームタイプ/ サイドスルータイプ	H20	1478
	H22	1678
	H24	1878
オープンテラスタイプ	標準	1878
	ロング	2578



(2) ビードの取付け



オープンテラス用ビード材切断寸法

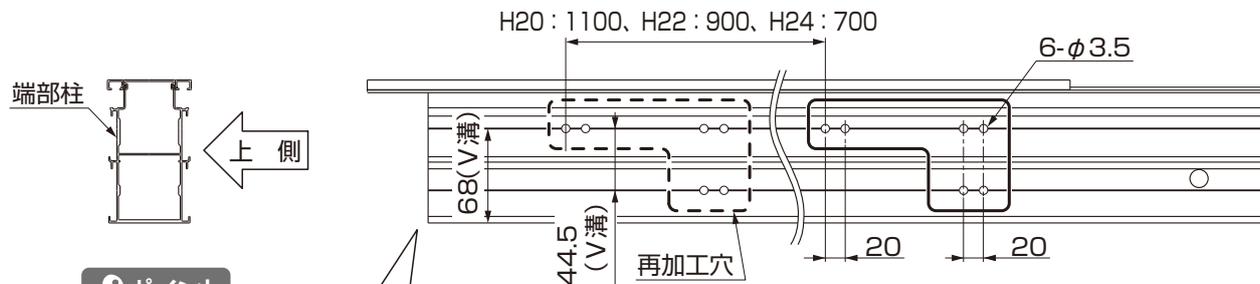
	切断寸法
H20	342
H22	542
H24	742

- ①オープンテラス用ビード材を切断してください。
- ②オープンテラス用ビード材上端部が端部柱上面から20mm下げた位置になるように、端部柱前面材に取付けてください。
- ③オープンテラス用ビード材上部を市販の瞬間接着剤で端部柱前面材に接着してください。

2-3 柱を埋込む場合

- ※土間施工でオープンテラス用ロング柱を使用する場合
- ※縦樋を端部柱から引き抜いてから切断してください。

(1) 柱の加工 ※記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。



ポイント

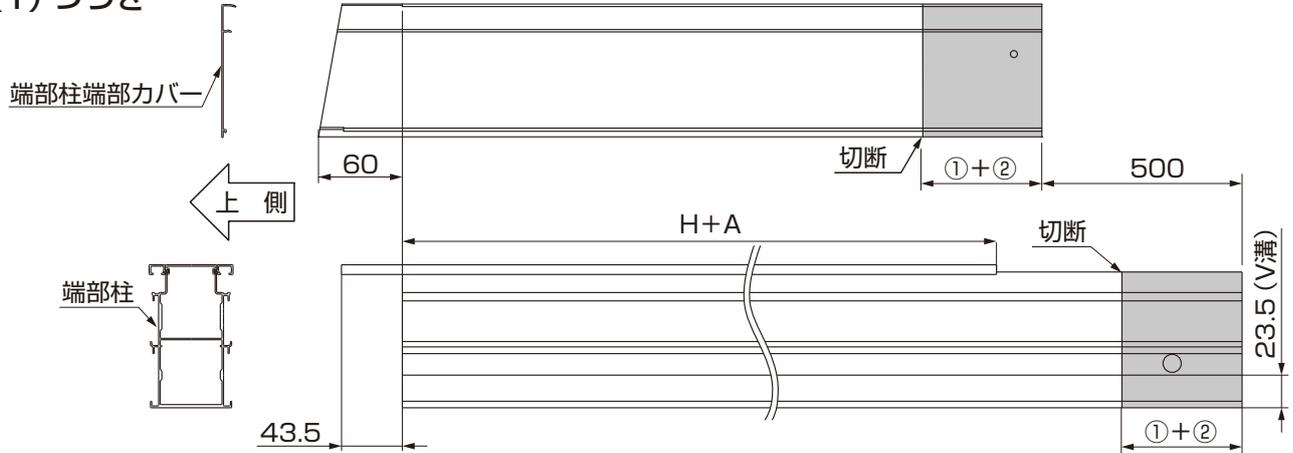
【ガーデンルームタイプ、サイドスルータイプの場合】

- この加工はオープンテラスタイプの場合には行ないません。
- 初めに再加工を行ない、その後下図の加工を行なってください。

2. (つづき)

2-3 (つづき)

(1) つづき



切断寸法

	H20	H22	H24
①基本切断寸法	550	350	150
②F.L.~G.L.寸法=A	550-A	550-A	550-A
切断寸法	①+②		

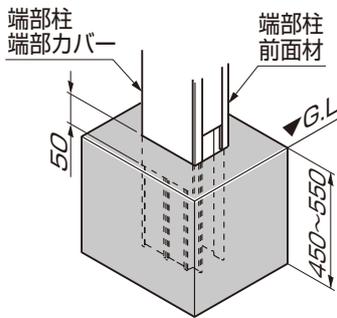
(参考) F.L.~上部分柱寸法H

サイズ	H
H20	2250
H22	2450
H24	2650

※柱前面材~柱上部43.5mmは除く

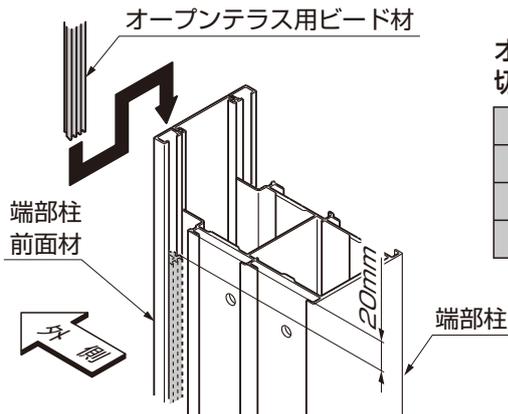
ポイント

- 端部柱端部カバーは50mm埋込むため、埋込みラインより50mm下になるように切断してください。
- 端部柱前面材の上から切断してください。
- 現場状況(施工状況)に合わせて切断寸法を計算してください。
- 端部柱前面材はG.L.まで、柱端部端部カバーは50mm埋込みとなります。
- 端部柱端部カバーはここでは取付けないでください。



- ①縦樋を端部柱から引抜いてください。
- ②端部柱、端部柱端部カバーを加工してください。
- ③縦樋を端部柱に差込んでください。

(2) ビードの取付け



オープンテラス用ビード材 切断寸法

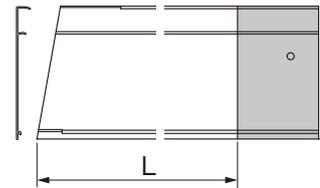
	切断寸法
H20	342
H22	542
H24	742

- ①オープンテラス用ビード材を切断してください。
- ②オープンテラス用ビード材上端部が端部柱上面から20mm下げた位置になるように、端部柱前面材に取付けてください。
- ③オープンテラス用ビード材上部を市販の瞬間接着剤で端部柱前面材に接着してください。

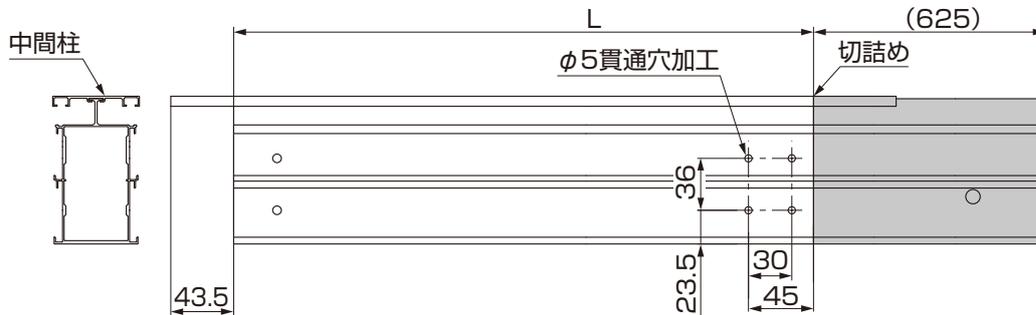
ポイント

腰壁タイプの端部柱端部カバー 切断寸法

タイプ	サイズ	L
ガーデンルームタイプ/ サイドスルータイプ	H20	1478
	H22	1678
	H24	1878
オープンテラスタイプ	標準	1878
	ロング	2578



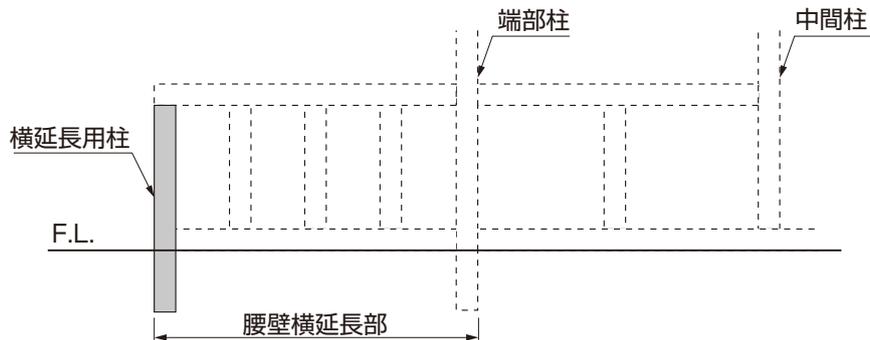
2-4 中間柱の加工 ※腰壁オープンテラスタイプの場合の作業です。



	L
標準	2575
ロング	3275

①中間柱を加工してください。

2-5 横延長用柱の加工 ※腰壁横延長する場合の作業です。
※横延長用柱は「連棟柱セット」の連棟柱を加工してください。



(1) 柱を埋込む場合

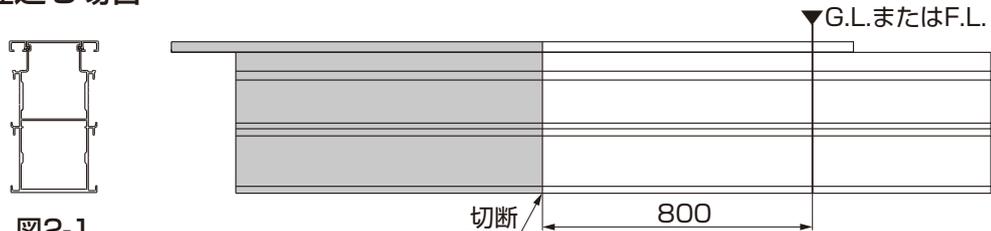


図2-1
通常納まりの場合

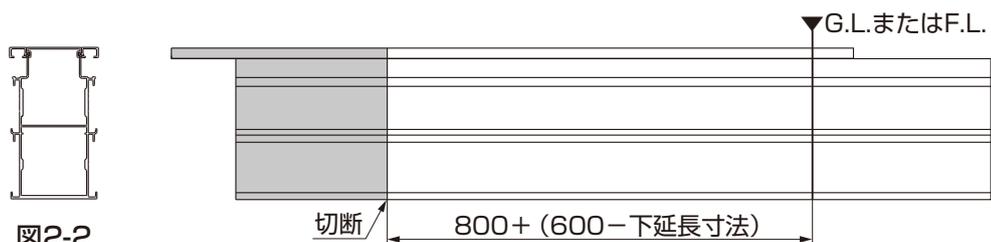


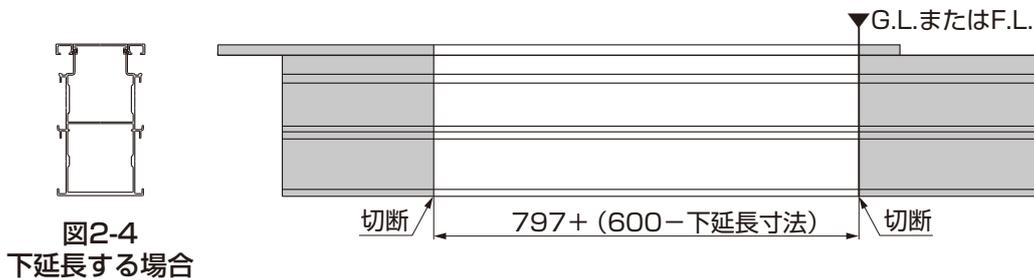
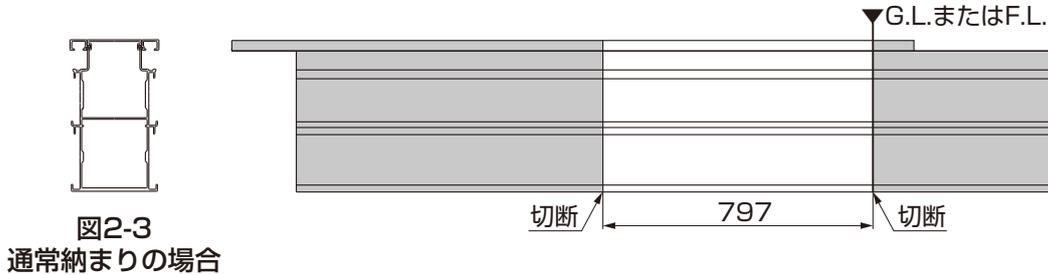
図2-2
下延長する場合

①横延長用柱を切断加工してください。

2. (つづき)

2-5 つづき

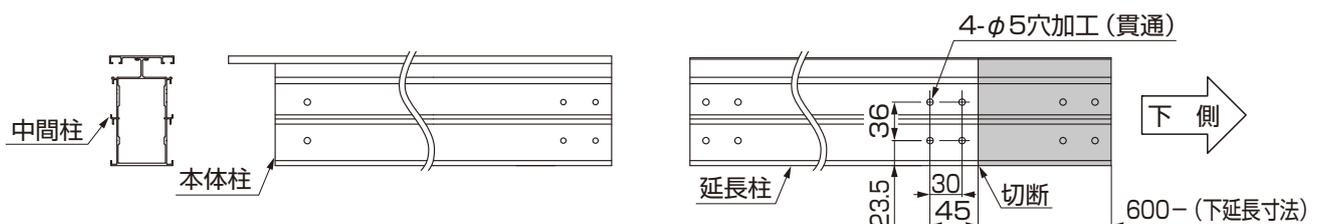
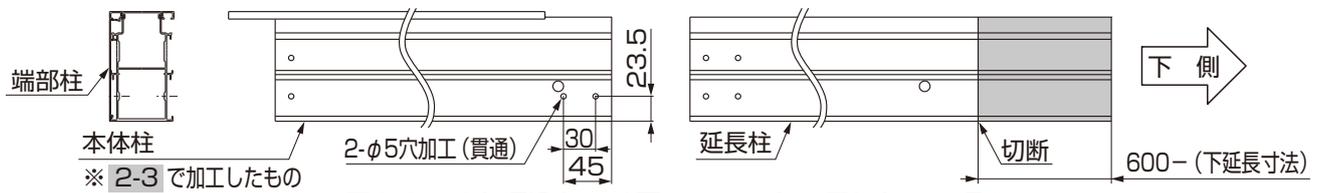
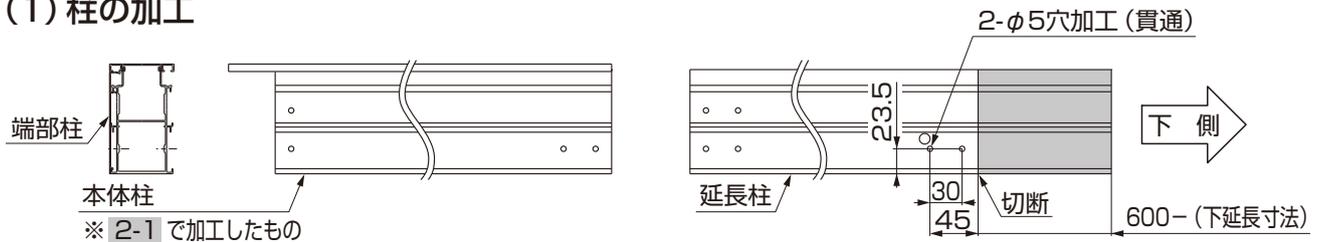
(2) 柱を埋込まない場合 (ベースプレートを使用)



①横延長用柱を切断加工してください。

2-6 柱の延長 ※腰壁仕様で下延長する場合

(1) 柱の加工



①中間柱と端部柱、延長柱を加工してください。

ポイント

●延長柱の切断は下側から行なってください。

(2) 延長用柱の取付け

ポイント

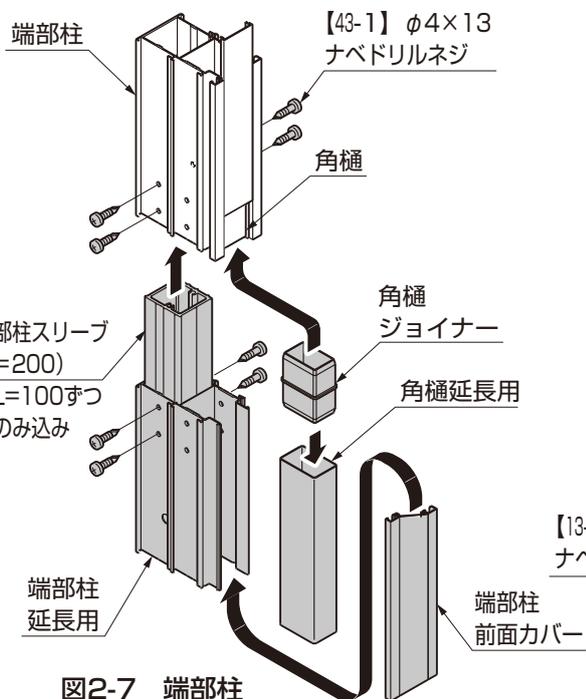


図2-7 端部柱

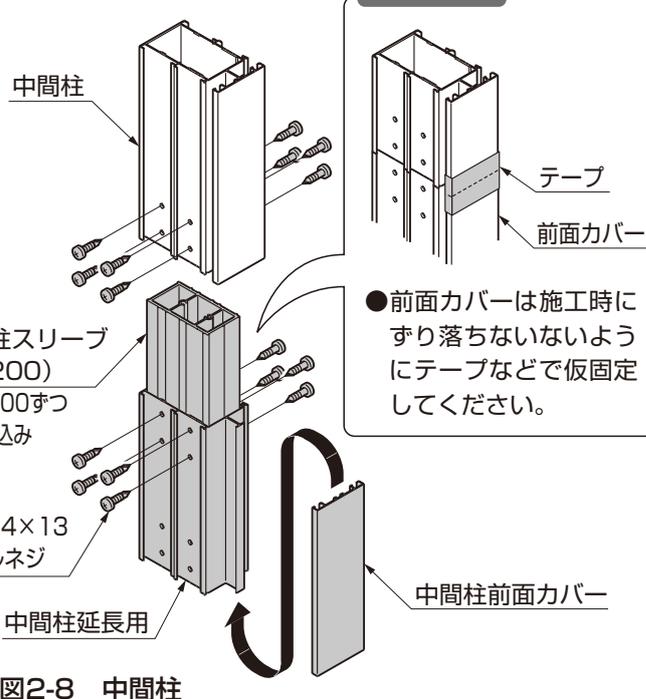
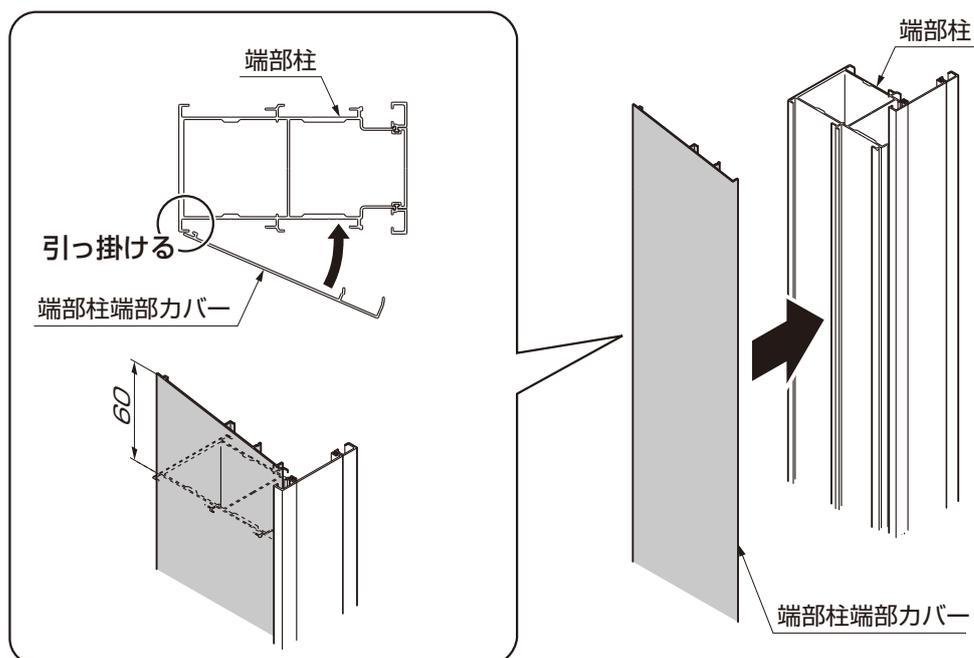


図2-8 中間柱

●前面カバーは施工時に
ずり落ちないようにテープなどで仮固定
してください。

- ①延長柱に柱スリーブを【13-1】、【43-1】で取付けてください。
- ②柱に延長柱を【13-1】、【43-1】で取付けてください。
- ③端部柱の角樋に角樋ジョイナーと角樋延長用を取付けてください。
- ④前面カバーを延長用柱に取付けてください。

2-7 端部柱端部カバーの取付け



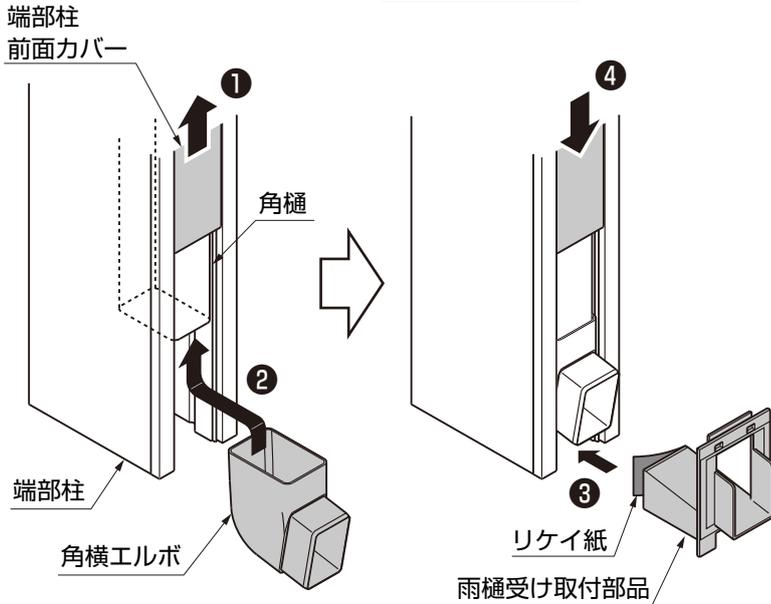
- ①端部柱端部カバーを端部柱に取付けてください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

3. 雨樋の取付け

3-1 通常排水（前排水）の場合

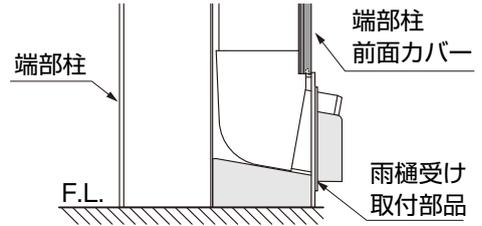
(1) 基本タイプの場合



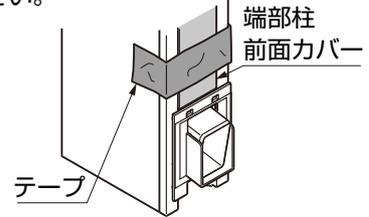
- ① 端部柱前面カバーを持ち上げ、角樋の下端に角横エルボを取付けてください。
- ② 雨樋受け取付部品のリケイ紙をはがし、端部柱に取付けてください。
- ③ 端部柱前面カバーを下ろし、雨樋受け取付部品に乗せてください。

ポイント

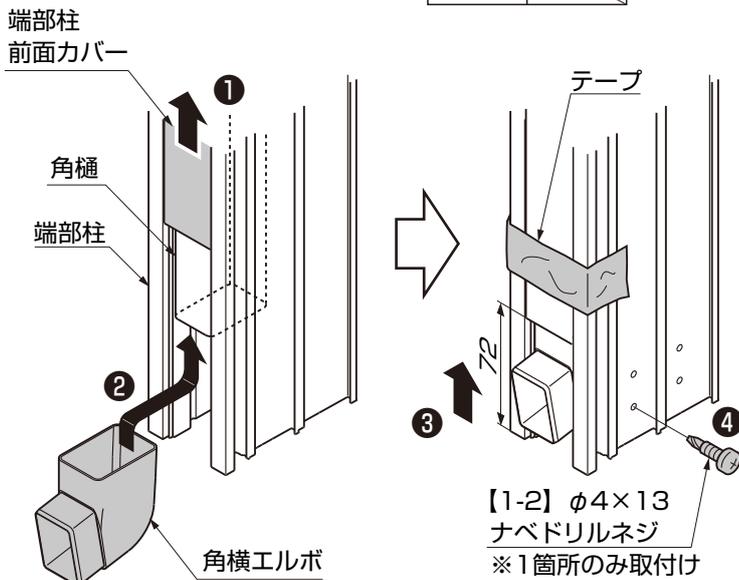
- 雨樋受け取付部品の上に前面カバーを乗せてください。
- 雨樋受け取付部品下端がF.L.ラインにくるように取付けてください。



- 建込みまでの間、端部柱前面カバーがズレないようにテープなどで仮固定してください。



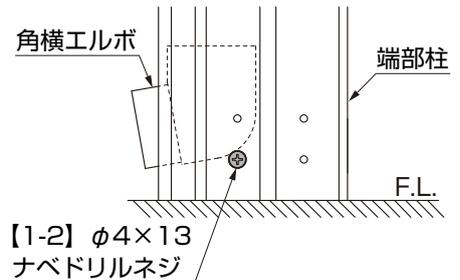
(2) 乾式腰壁タイプの場合



- ① 端部柱前面カバーを持ち上げ、角樋の下端に角横エルボを取付けてください。
- ② 角横エルボを持ち上げながら、【1-2】を端部柱に取付けてください。

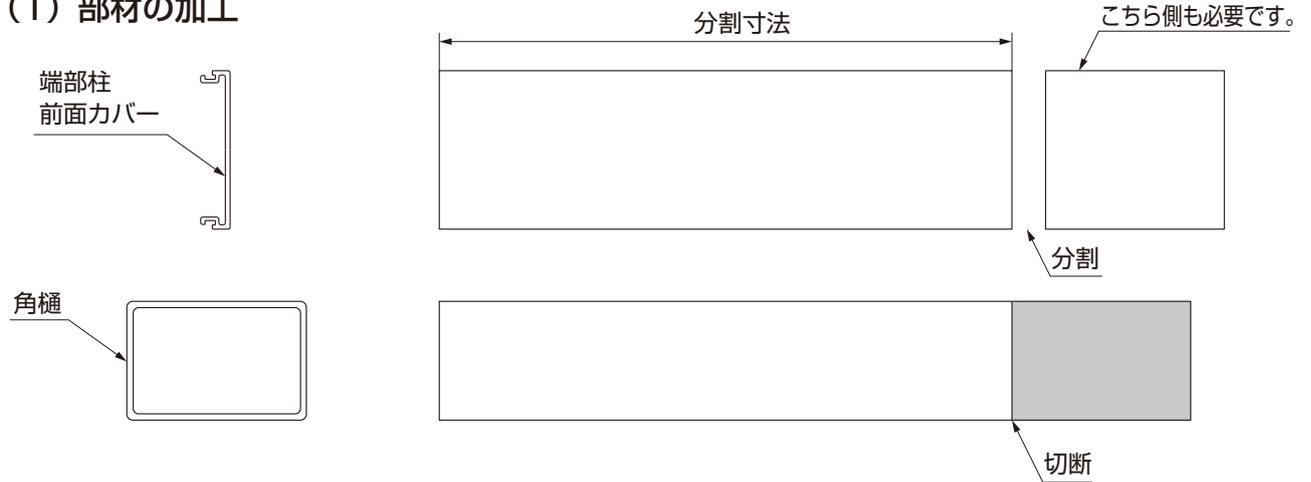
ポイント

- 建込みまでの間、端部柱前面カバーがズレないようにテープなどで仮固定してください。
- 【1-2】は下図の1箇所のみ取付けてください。
- 【1-2】を固定する際は、角横エルボが破損しないように取付けてください。



3-2 下排水の場合 ※積雪対応や障害物を避けるため排水位置を上方に変更する方法です。

(1) 部材の加工

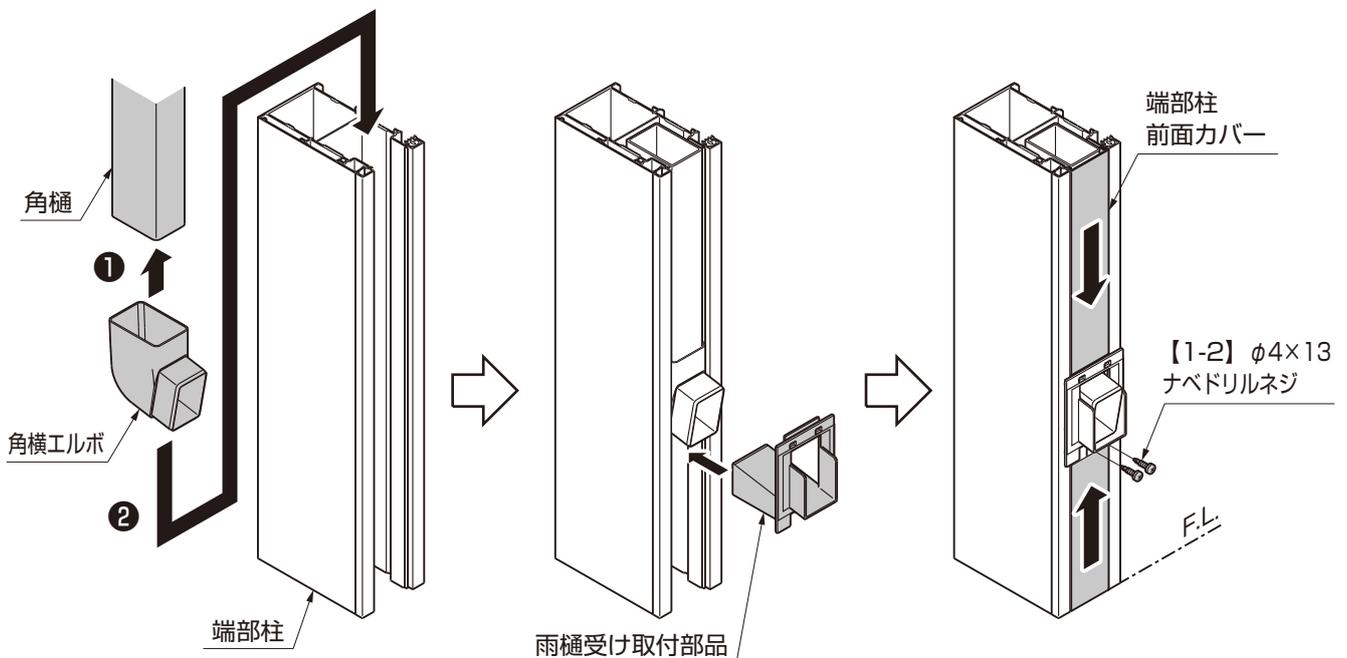


①端部柱から端部柱前面カバー、角樋を引抜き切断・分割してください。

ポイント

- 排水位置の上限は雨樋受け部品上部の端部柱前面カバーが100mm未満にならない位置までです。
端部柱内角樋のL寸は、「(切断前の角樋長さ) - (端部柱前面カバー分割寸法)」より求められます。

(2) 排水口の高さ調整



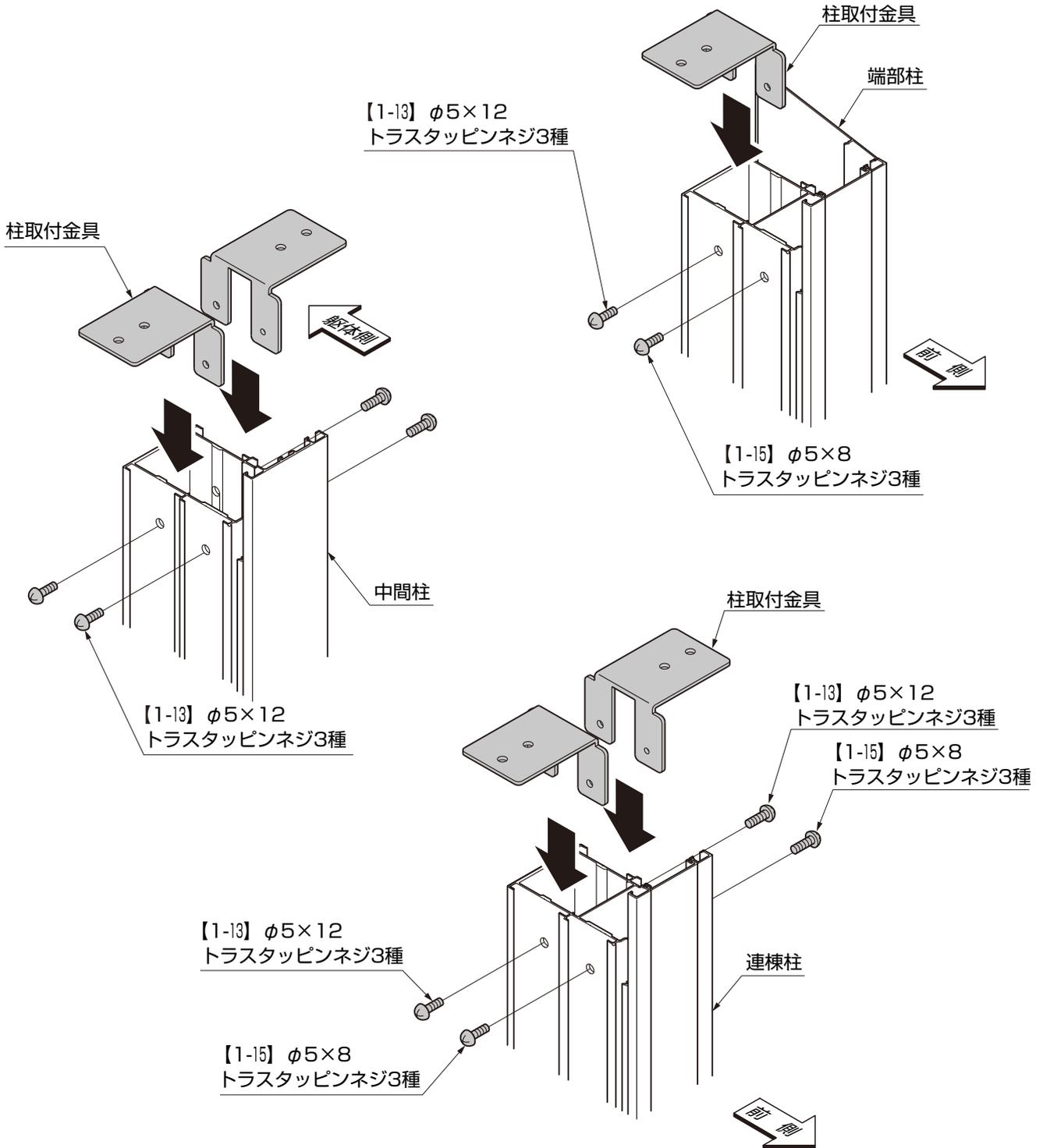
- ①角横エルボを角樋に取付け、端部柱にセットしてください。
- ②雨樋受け取付部品を端部柱にセットしてください。(ネジ固定はしないでください。)
- ③上下の端部柱前面カバーで雨樋受け取付部品をはさみ、下側のカバー下端がF.L.ラインになるようにしてください。
- ④この位置で雨樋受け取付部品を端部柱に【1-2】で固定してください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

4. 柱取付金具の取付け

ポイント

●図は右側を示しています。左側は左右対称です。



①柱取付金具を柱に、【1-13】、【1-15】で取付けてください。

ポイント

●端部柱と連棟柱の前側は、雨樋と干渉しないよう【1-15】を使用してください。

5. 柱スリーブの取付け

- ※積雪3000Nの場合です。
- ※乾式腰壁では不要です。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
					積雪地域

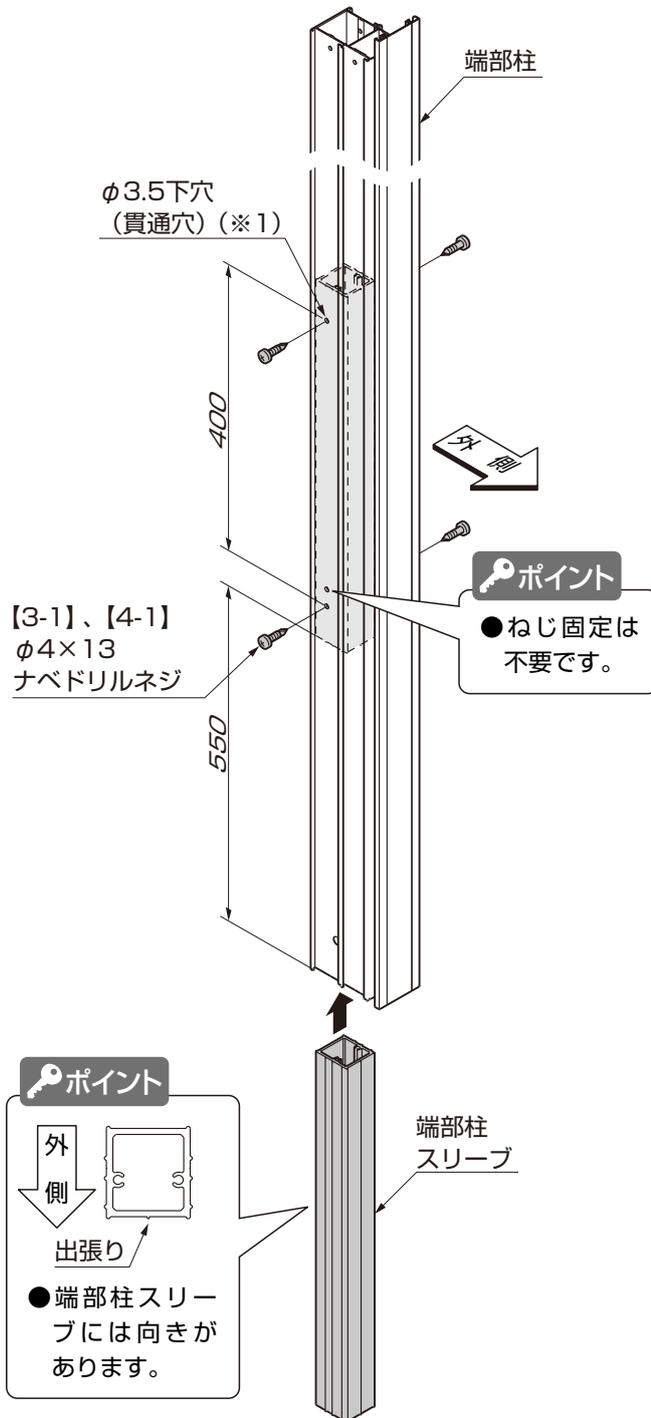


図5-1 端部柱

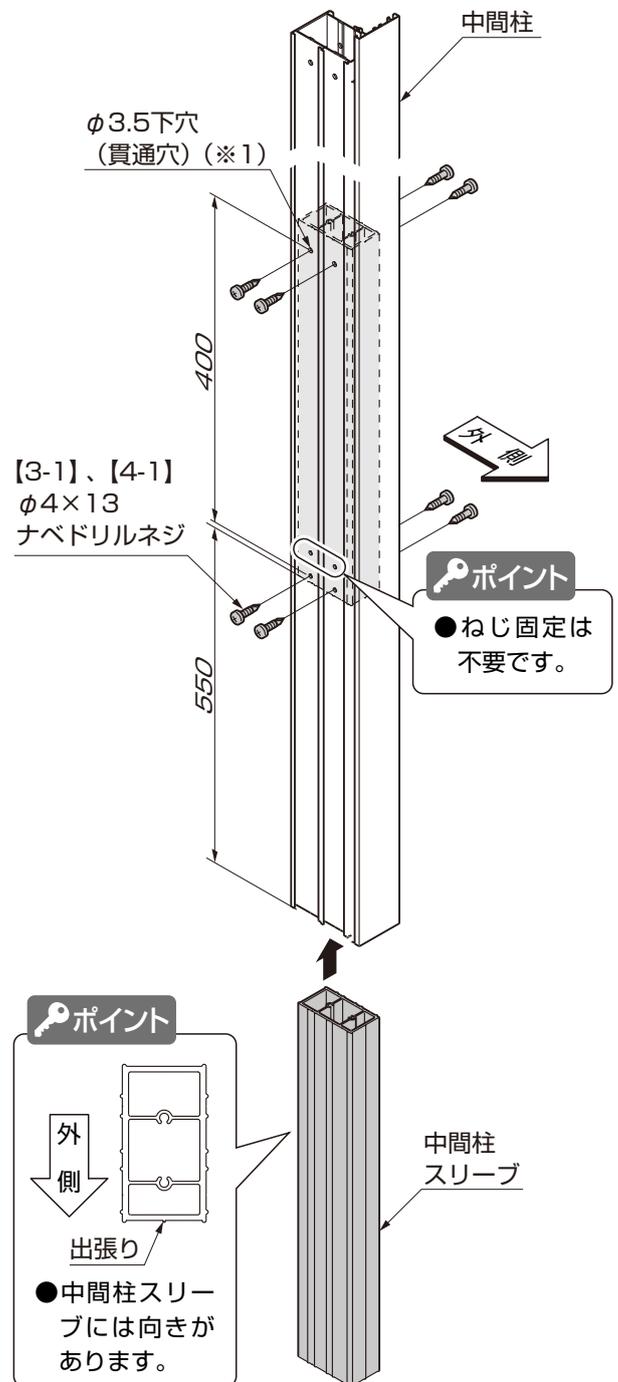


図5-2 オープンテラス用中間柱

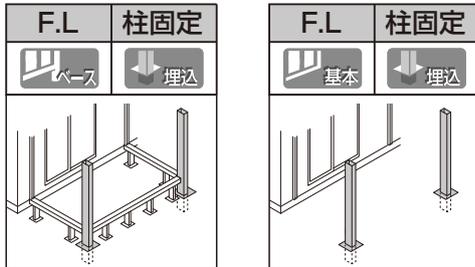
- ①端部柱、中間柱にφ3.5下穴(貫通穴)(※1)をあけてください。
- ②端部柱に端部柱スリーブを差込み、【3-1】、【4-1】で取付けてください。
- ③中間柱に中間柱スリーブを差込み、【3-1】、【4-1】で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

6. 柱の建込み

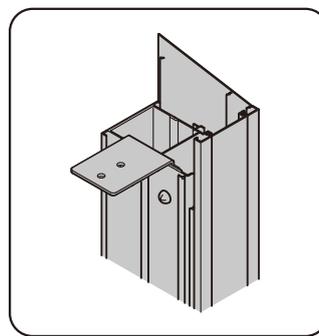
6-1 柱埋込みの場合

(1) ガーデンルームタイプ、サイドスルータイプ、腰壁オープンテラスの場合

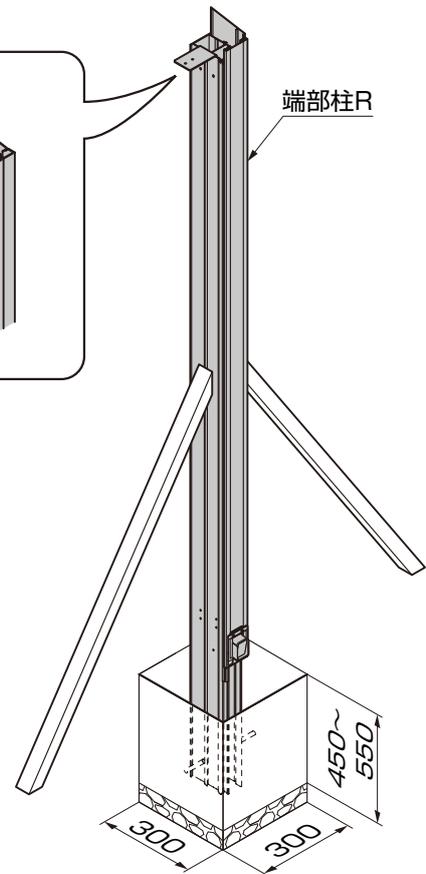


ポイント

●柱の基本埋込み寸法は550mmです。それ以下の寸法で埋込む場合は、切断およびアンカー棒通し穴をあげ直してください。埋込み寸法は450mm以上にしてください。

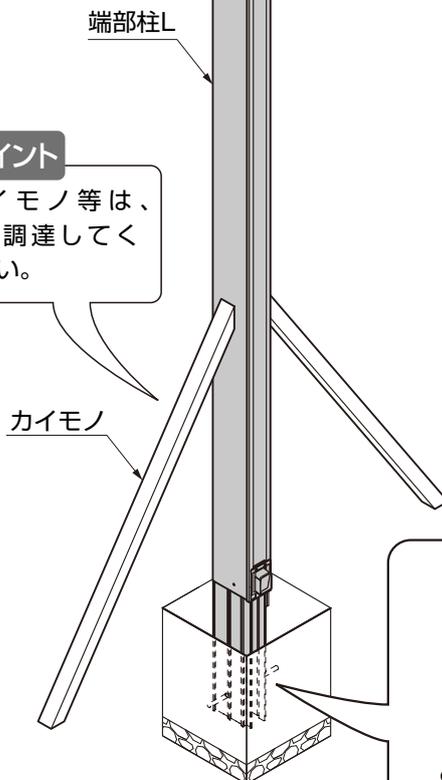


端部柱R



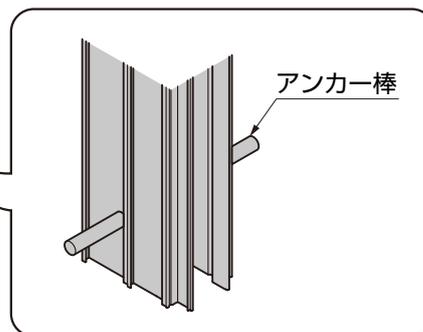
ポイント

●カイモノ等は、現場調達してください。



端部柱L

カイモノ



アンカー棒

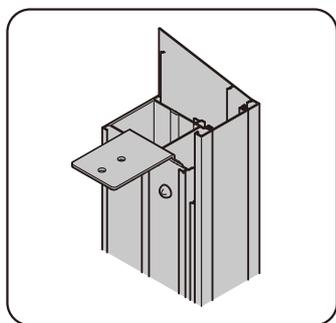
- ①端部柱にアンカー棒を差込み、「7 柱の位置出し」を参照して建込んでください。
- ②端部柱が倒れないように、カイモノ等で仮固定してください。

(2) 基本オープンテラスタイプの場合

タイプ	柱固定
基	埋込

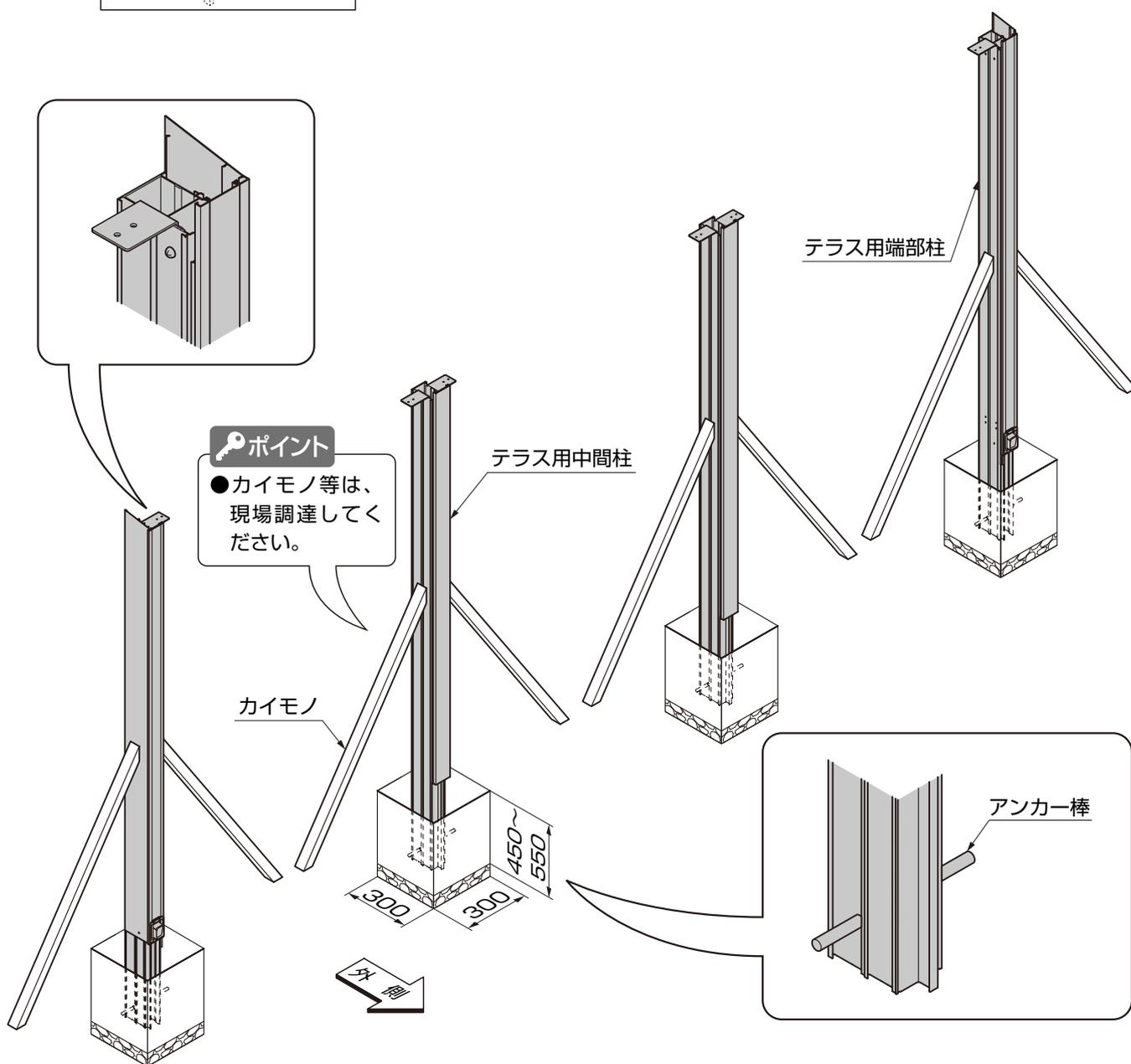
ポイント

●柱の基本埋込み寸法は550mmです。それ以下の寸法で埋込む場合は、切断およびアンカー棒通し穴をあけ直してください。埋込み寸法は450mm以上にしてください。



ポイント

●カイモノ等は、現場調達してください。

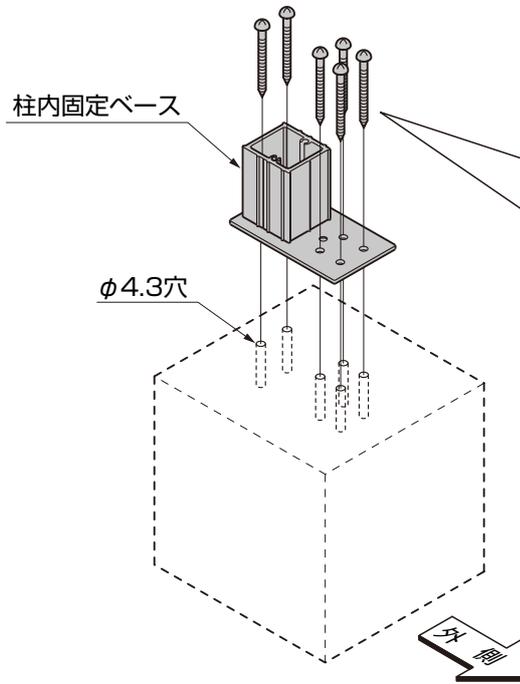


- ①アンカー棒をテラス用端部柱、テラス用中間柱に差込み、「7 柱の位置出し」を参照して建込んでください。
- ②テラス用端部柱、テラス用中間柱が倒れないようにカイモノなどで仮固定してください。

6. (つづき)

6-2 柱ベースプレート固定の場合 ※図は端部柱用を示します。中間柱用の手順も同様です。

(1) 柱固定ベースの取付け

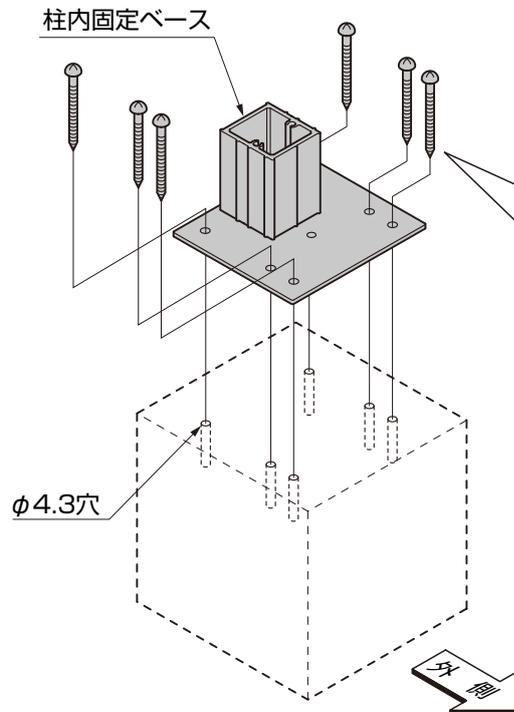


ポイント

●取付けネジは、下表を参照ください。

	取付けネジ	φ4.3 穴加工
デッキ	【17-2】、【21-2】 φ4.5×63丸木ネジ	有
土間 or 束石	【17-1】、【21-1】 φ5×35セルフタッピングアンカー	無

図6-1 柱内固定ベース



ポイント

●取付けネジは、下表を参照ください。

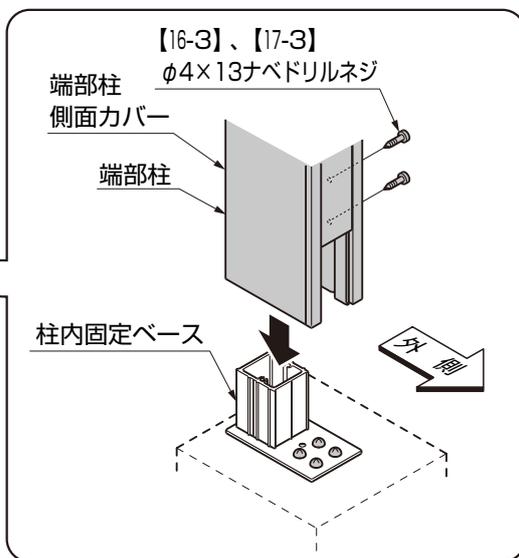
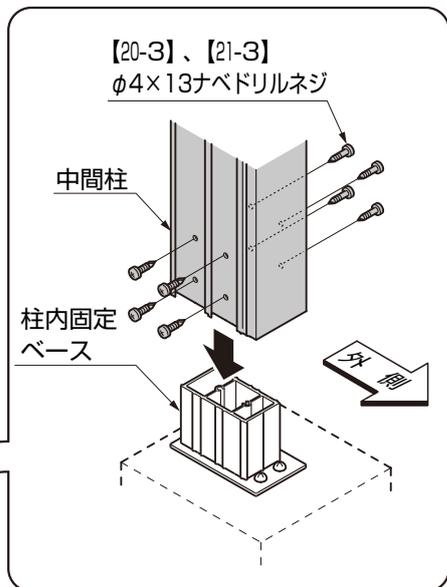
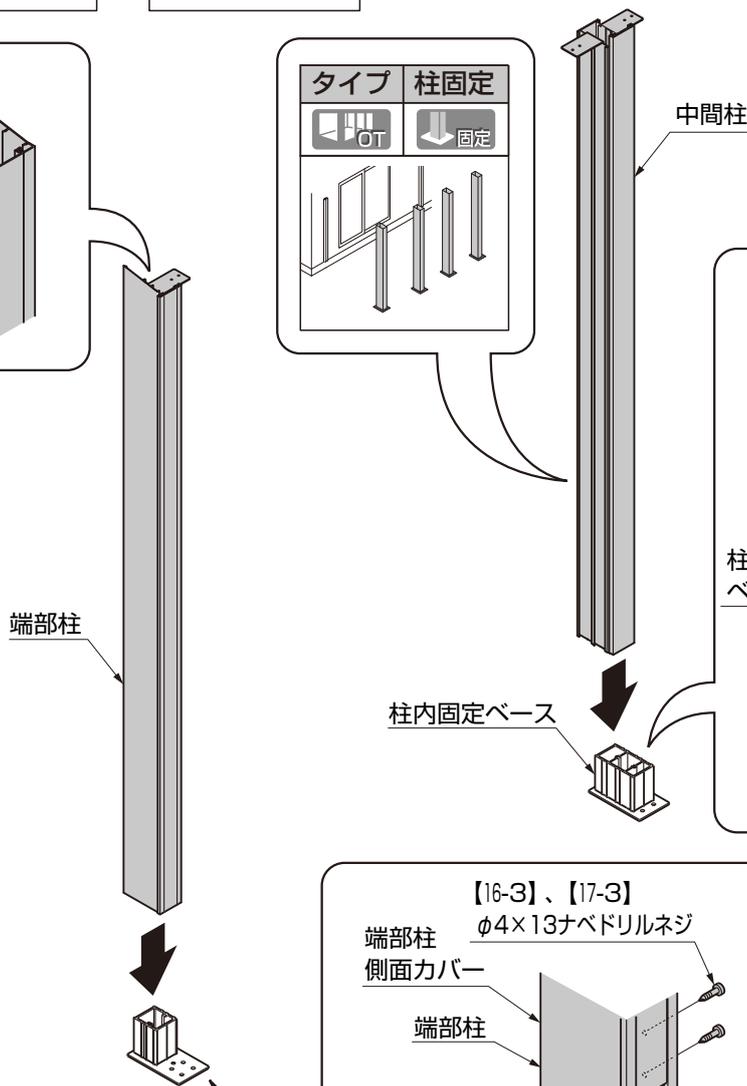
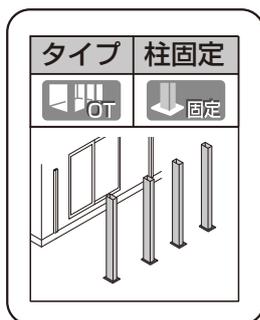
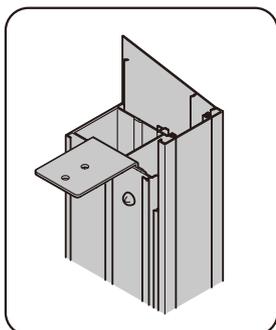
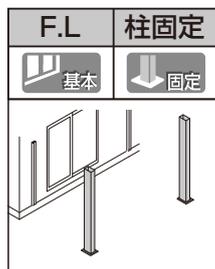
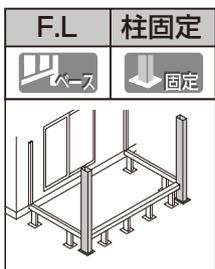
	取付けネジ	φ4.3 穴加工
デッキ	【16-2】、【20-2】 φ4.5×63丸木ネジ	有
土間 or 束石	【16-2】、【20-2】 φ5×35セルフタッピングアンカー	無

図6-2 柱外固定ベース

- ①柱固定ベースを取付ける箇所にφ4.3の穴をあけてください。
- ②柱固定ベースを取付けてください。

(2) 柱の建込み

※柱固定ベース仕様の場合の作業です。



①端部柱を【16-3】、【17-3】で、中間柱を【20-3】、【21-3】で柱固定ベースに取付けてください。

7. 入隅の場合

※図は右入隅の場合を示します。左入隅の場合は対称です。

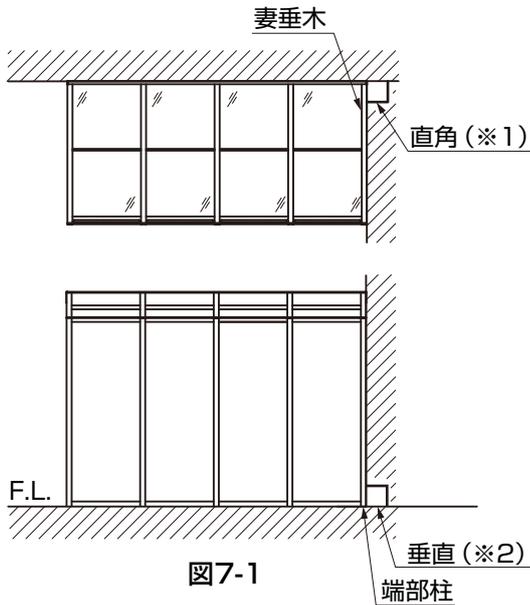


図7-1

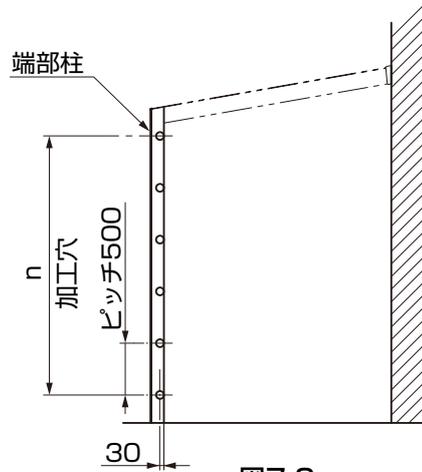


図7-2

表7-1

	加工穴n
H20	5
H22	5
H24	6

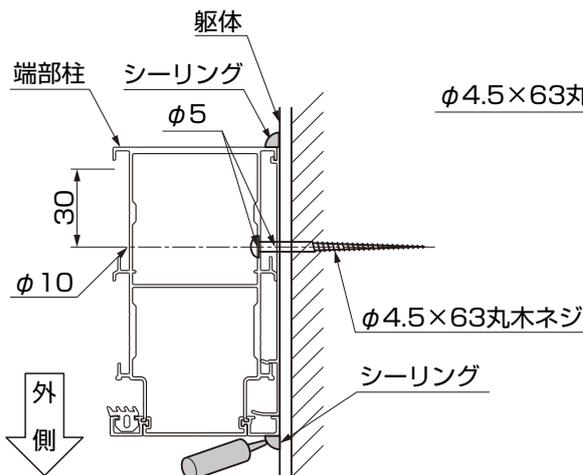


図7-3

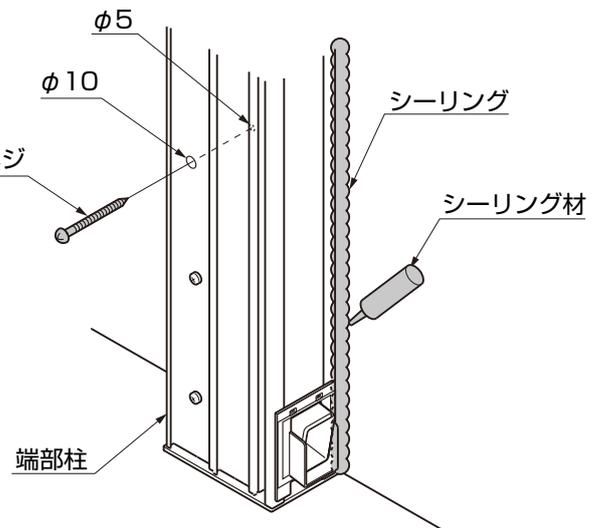


図7-4

ポイント

●躯体外壁の直角度(※1)、垂直度(※2)に狂いが生じている場合は、取付けることができませんので、修正してください。修正時の部材については、現場で手配してください。(図7-1参照)

- ①入隅側の端部柱に、φ10、φ5の穴をあけてください。(図7-2、図7-3、表7-1参照)
- ②端部柱と躯体を、「φ4.5×63丸木ネジ」で取付けてください。(図7-3、図7-4参照)

ポイント

●「φ4.5×63丸木ネジ」は、現場で手配してください。

- ③端部柱と躯体の取合せ部にシーリングをしてください。(図7-4参照)

ポイント

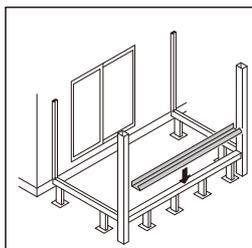
- 指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。
- 入隅側のシーリング材は、現場で手配してください。
- 躯体取付面に凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付面の止水性を確保してください。

12 フレーム施工

1. 前面ベース受けの取付け

- ※基本ガーデンルームタイプの作業です。
- ※基本サイドスルータイプの場合の作業です。
- ※腰壁タイプの場合の作業です。

タイプ	腰壁	床	F.L	柱固定	地域
基 GR ST					
腰					



ポイント

- ベース受けは施工するタイプにより取付け箇所が異なります。

ガーデンルームタイプ			サイドスルータイプ		
基本	腰壁		基本	腰壁	
	前面	L字		前面	L字

- 前面ベース材受けは基本タイプ、腰壁タイプで形状が異なります。本手順は基本タイプの形状で示しています。

基本タイプ



腰壁タイプ

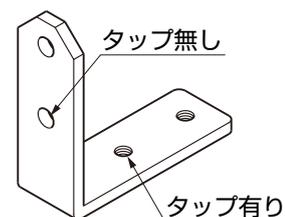
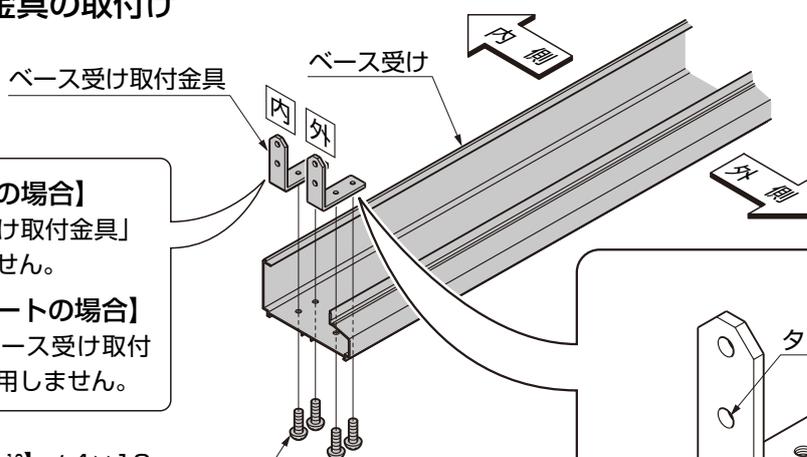


1-1 ベース受け金具の取付け

ポイント

- 【腰壁タイプの場合】
- 「ベース受け取付金具」は使用しません。
- 【ベースプレートの場合】
- 内側の「ベース受け取付金具」は使用しません。

【1-12】φ4×12
トラスタッピンネジ 3種



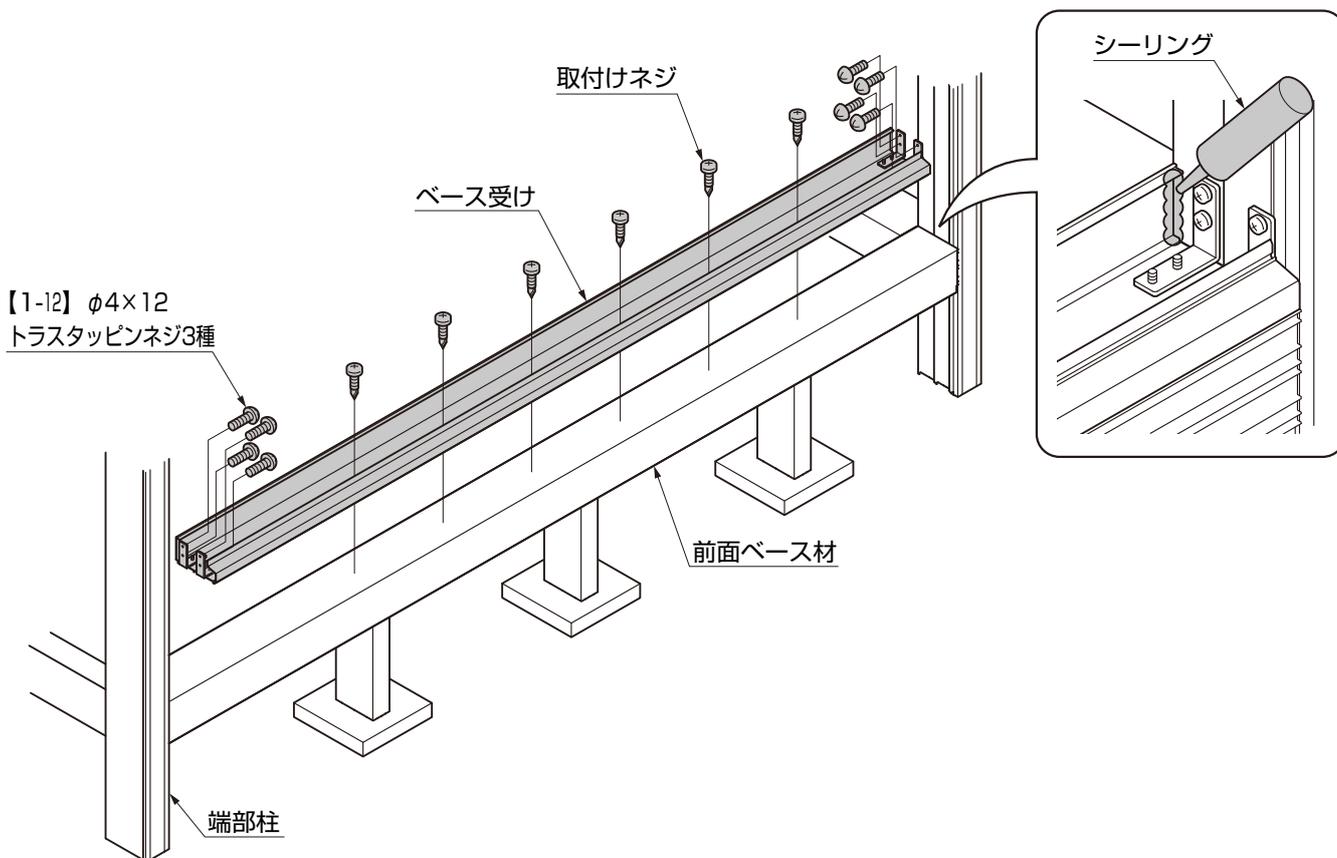
- ①ベース受け取付金具をベース受けに【1-12】で取付けてください。

1. (つづき)

1-2 前面側ベース受けの取付け

表1-1 前面ベース受け取付けネジ一覧

取付け面	取付けネジ
ベース	【1-8】 φ4×19ナベドリルネジ
デッキ (基本タイプのみ)	【1-7】 φ4.1×63丸木ネジ
土間、腰壁下延長	【1-9】 φ4×30ナベタッピン1種 【1-3】 フィッシャープラグS6



- ① ベース受けを端部柱に【1-12】で取付けてください。
- ② ベース受けを床に【1-8】、【1-7】、【1-9】で取付けてください。

ポイント

- ベース受けの背面を端部柱の背面に揃えて取付けてください。
- ベース受け取付けネジは取付面(床)に合ったネジを使用してください。
- 乾式腰壁はフラットデッキには施工できません。

- ③ 端部柱とベース受けにシーリングをしてください。

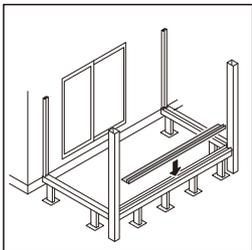
ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

2. 前面ベースの取付け

- ※基本ガーデンルームタイプの場合の作業です。
- ※基本サイドスルータイプの場合の作業です。
- ※腰壁タイプの場合の作業です。

タイプ	腰壁	床	F.L	柱固定	地域
基	GR				
	ST				
腰					

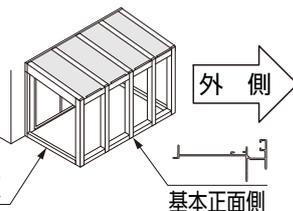


ポイント

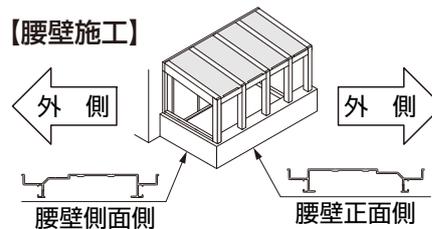
- タイプ、仕様によって部品の形状が異なります。

【基本施工】

ココマⅡ
-開口部編-
取付説明書
(E370) 参照



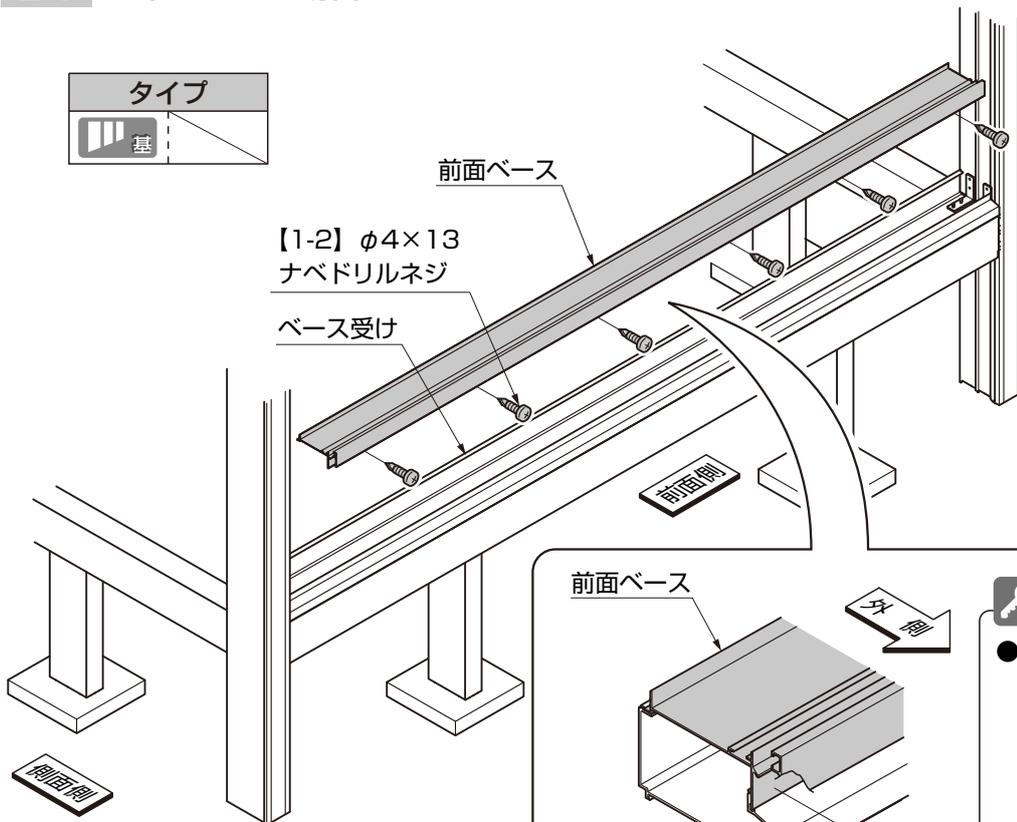
【腰壁施工】



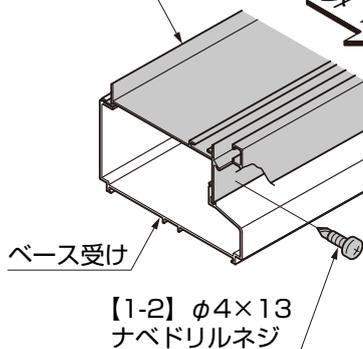
【ガーデンルームタイプの場合】

- 側面用ベースの取付けは「ココマⅡ -開口部編- 取付説明書(E370)」を参照してください。

2-1 基本タイプの場合

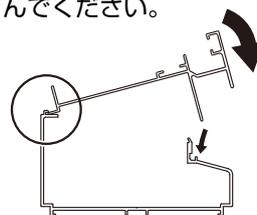


前面ベース



ポイント

- ベース受けに引っ掛けて回転させるようにはめ込んでください。

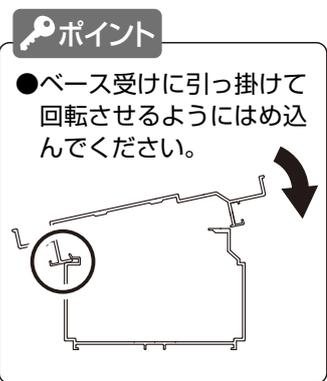
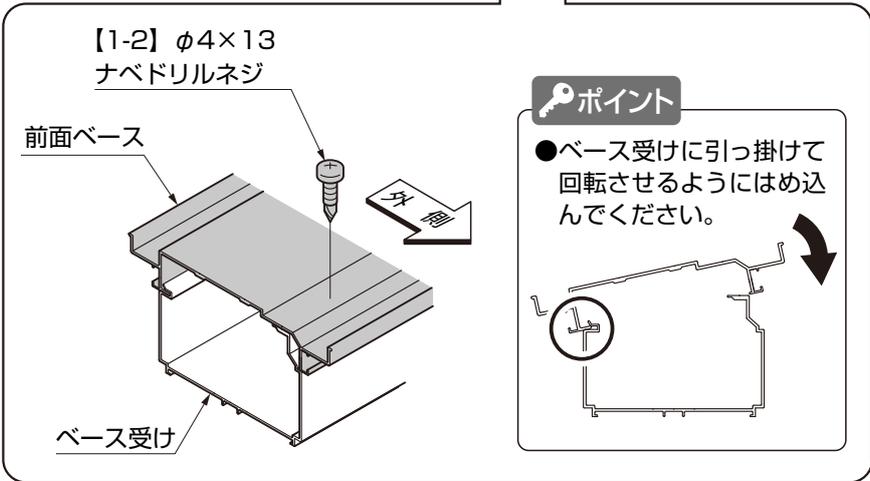
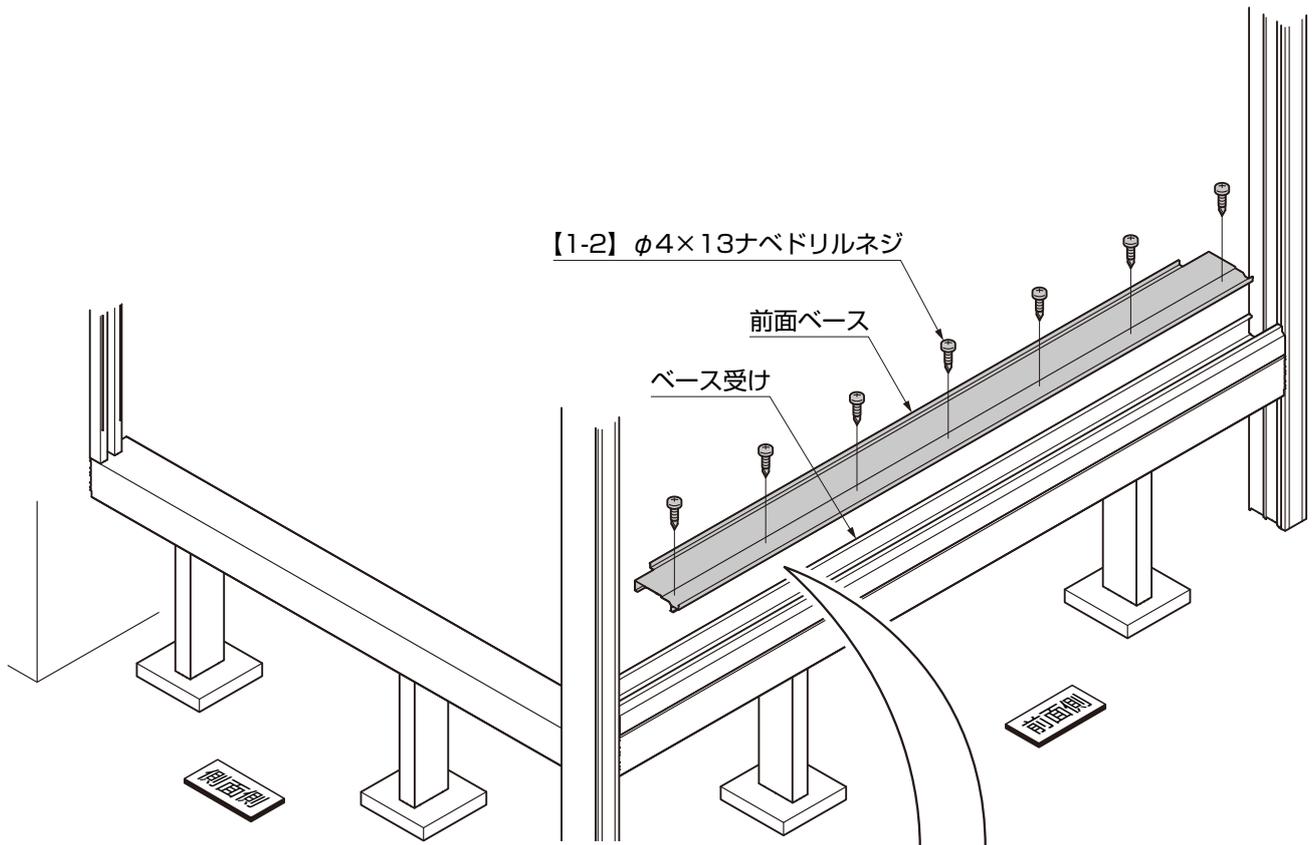


①前面ベースをベース受けに【1-2】で取付けてください。

2. (つづき)

2-2 乾式腰壁タイプの場合

※図はL字腰壁仕様を示します。

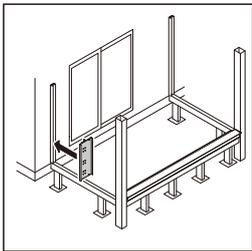


①前面ベースをベース受けに【1-2】で取付けてください。

3. 見切り材の取付け

※L字腰壁タイプの場合の作業です。

タイプ	腰壁	床	F.L	柱固定	地域
					



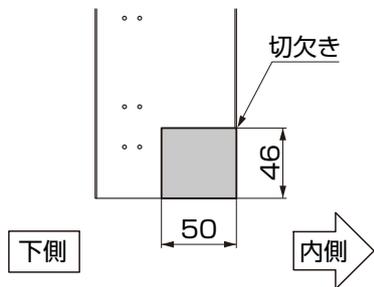
ポイント

●見切り材は、L字腰壁部のみに取付けてください。

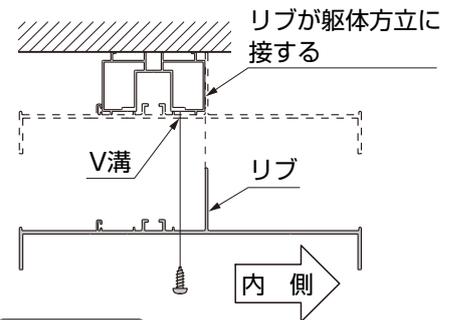
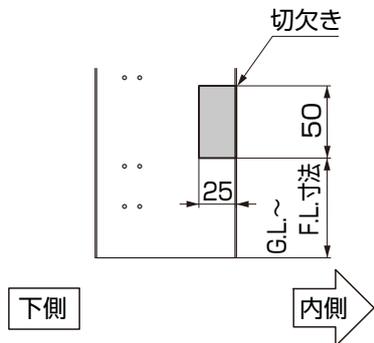
ポイント

●以下の場合見切り材を切欠き加工してください。

【内面立上げの場合】

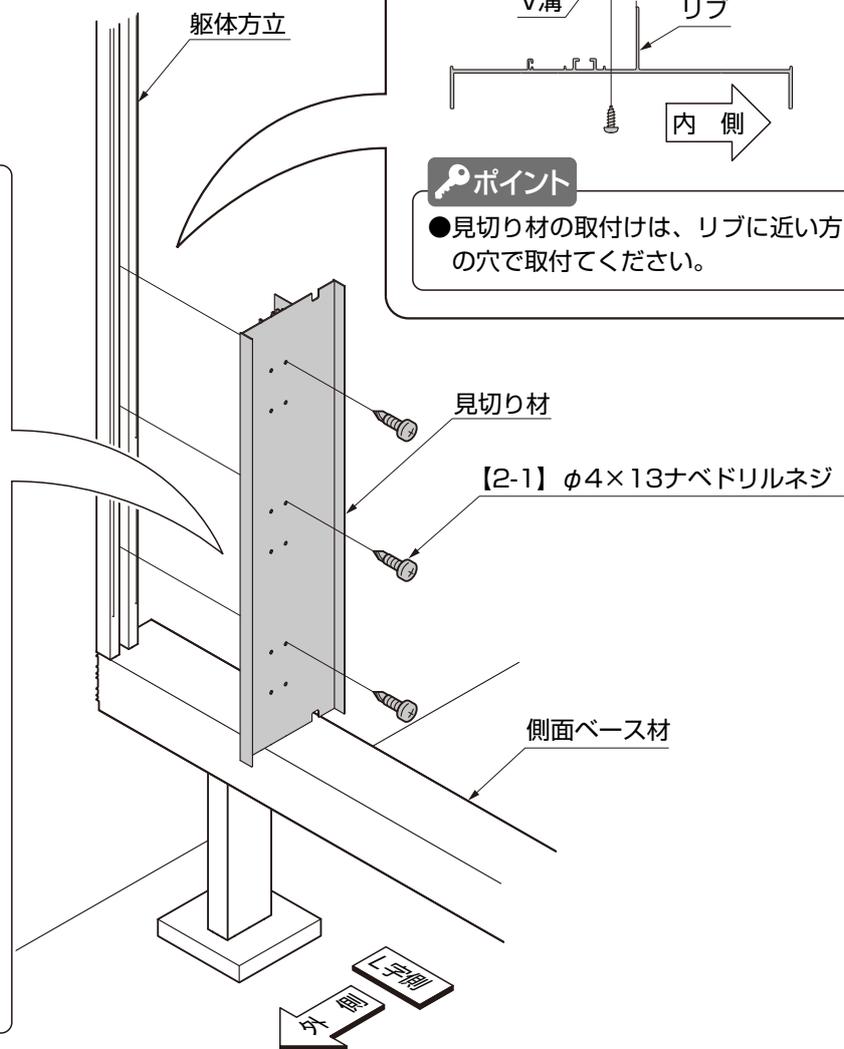


【下延長で内面にデッキを施工する場合】



ポイント

●見切り材の取付けは、リブに近い方の穴で取付けてください。



①見切り材を躯体方立に【2-1】で取付けてください。

4. 側面ベース受けの取付け

※腰壁仕様でL字腰壁の場合の作業です。

タイプ	腰壁	床	F.L	柱固定
				

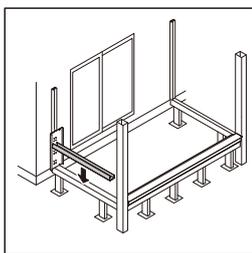
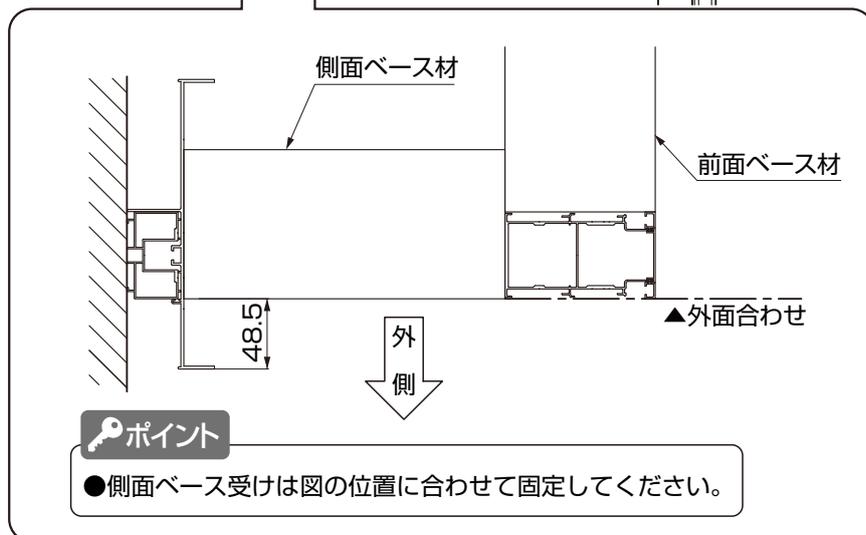
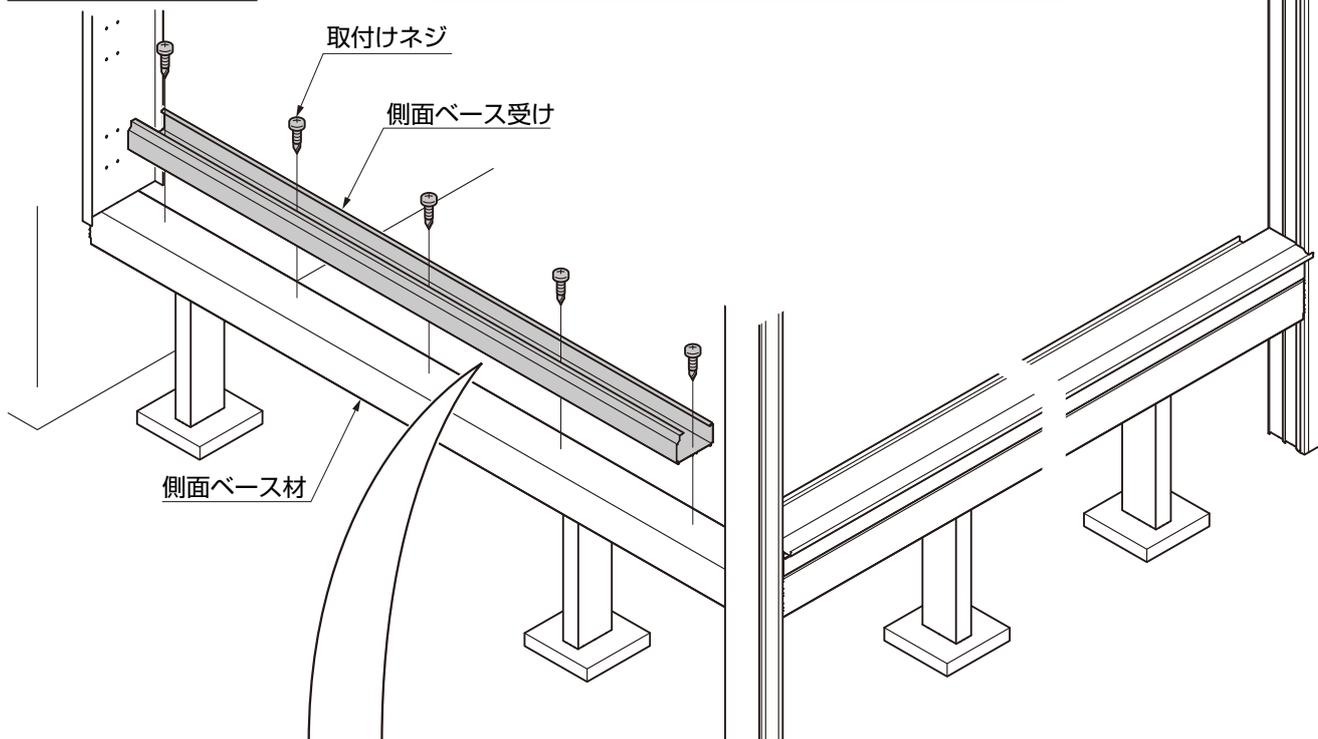


表4-1 側面ベース受け取付けネジ一覧

取付け面	取付けネジ
ベース	【2-8】 φ4×19ナベドリルネジ
土間	【2-4】 φ4×30ナベタッピンネジ1種
	【2-3】 フィッシャープラグS6



①側面ベース受けを床に【2-8】、【2-4】で取付けてください。

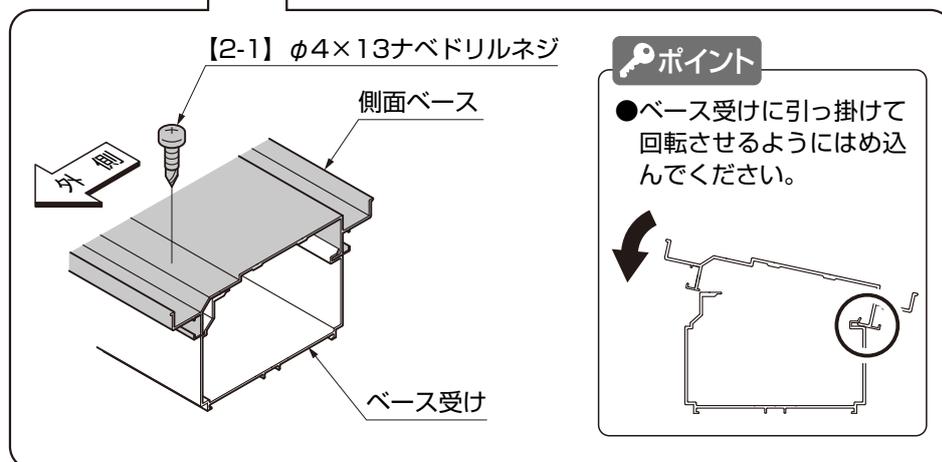
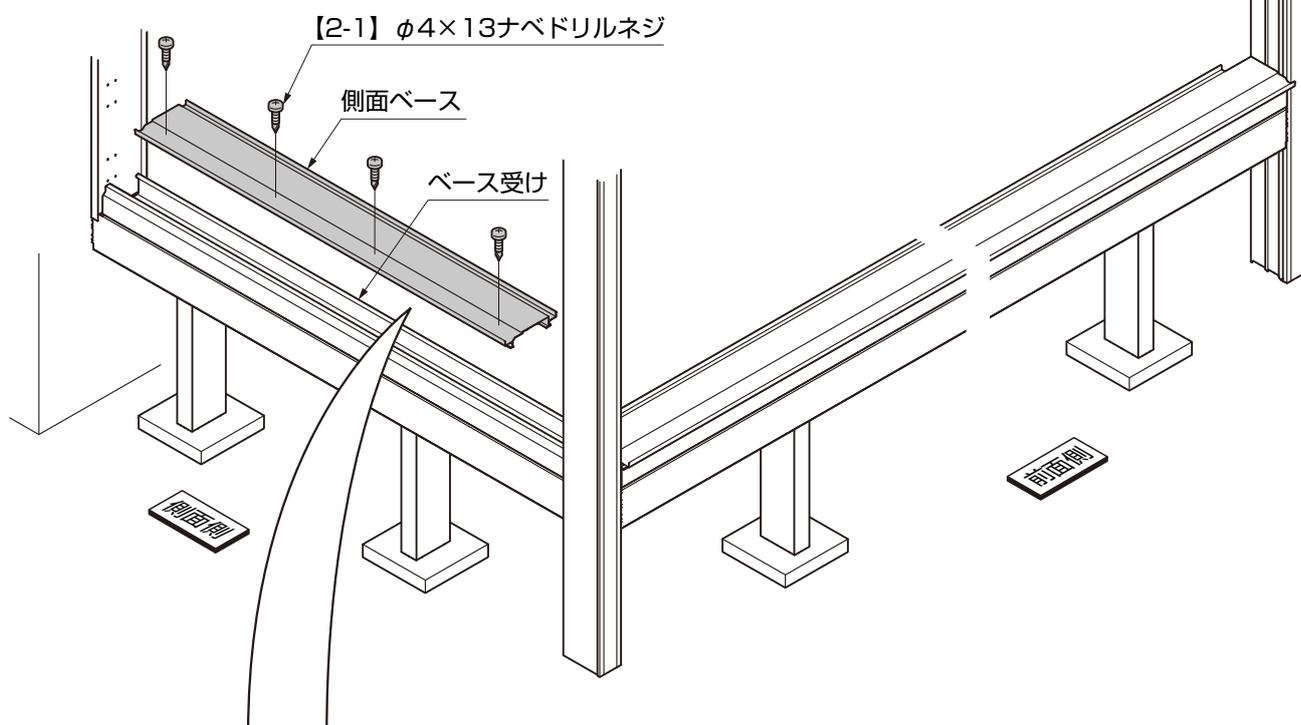
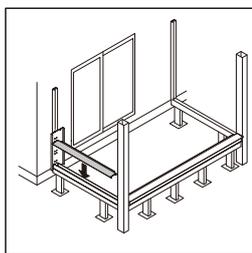
ポイント

- 側面ベース受け取付けネジは取付面（床）に合ったネジを使用してください。
- 乾式腰壁はフラットデッキには施工できません。

5. 側面ベースの取付け

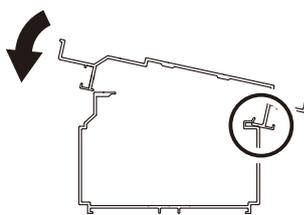
※腰壁仕様でL字腰壁の場合の作業です。

タイプ	腰壁	床	F.L	柱固定
				



ポイント

- ベース受けに引っ掛けて回転させるようにはめ込んでください。



①側面ベースをベース受けに【2-1】で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	F.L	柱固定	地域
基					
GR					
ST					
腰					

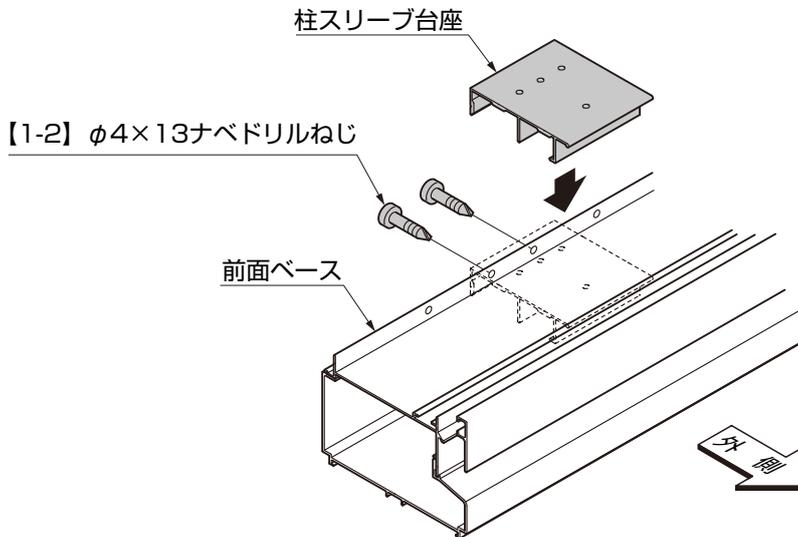
6. スリーブの取付け

6-1 柱スリーブ台座の取付け

※基本ガーデンルームタイプの場合の作業です。
※基本サイドスルータイプの場合の作業です。

タイプ
基
GR
ST

(1) 柱スリーブ台座の取付け

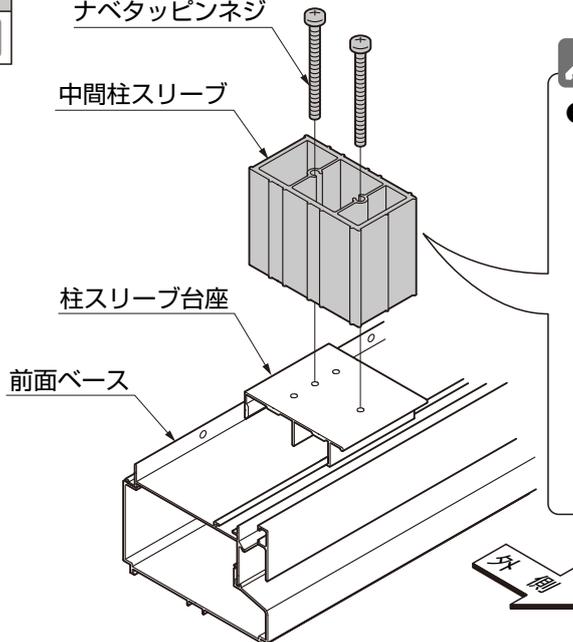


①柱スリーブ台座をベース材に【1-2】で取付けてください。

(2) 柱スリーブの取付け（一般地域の場合）

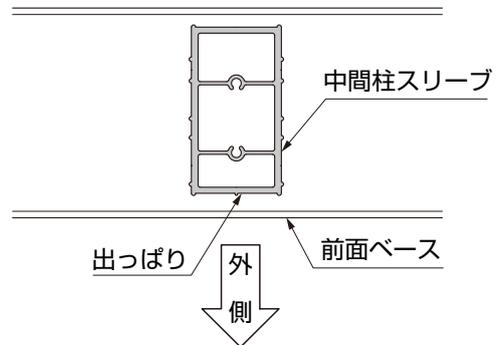
地域
一般地域

【1-14】φ4×75
ナベタッピンネジ



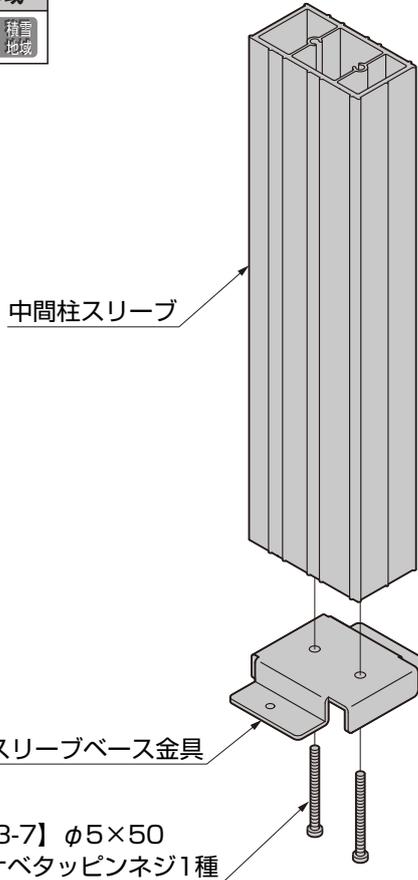
ポイント

●下図の向きで中間柱スリーブを取付けてください。



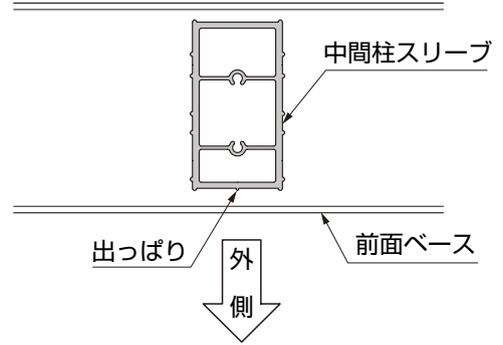
①中間柱スリーブを柱スリーブ台座に【1-14】で取付けてください。

(3) 柱スリーブの取付け ※積雪地域3000N(110Cm相当)仕様の場合

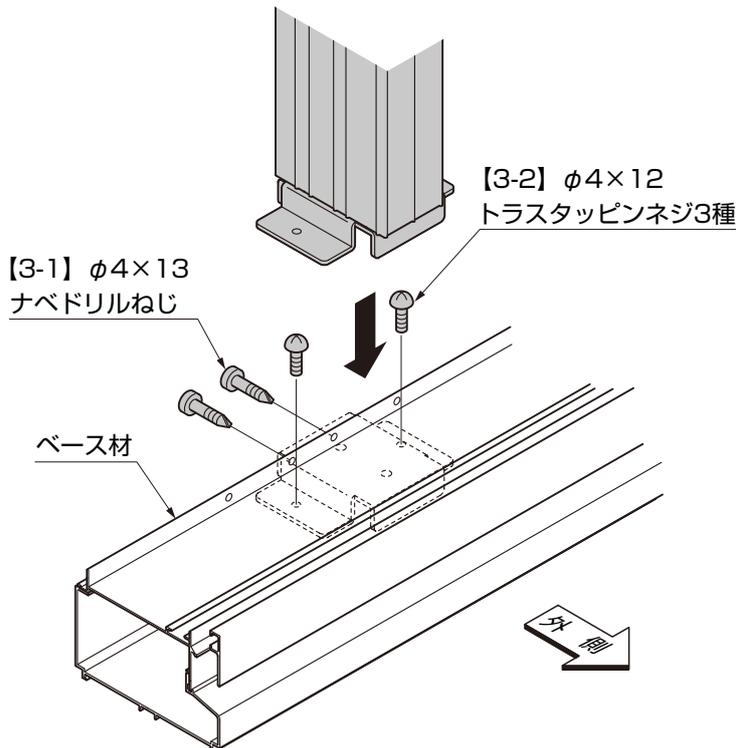


ポイント

●下図の向きで中間柱スリーブを取付けてください。



① 中間柱スリーブを柱スリーブ台座に【3-7】で取付けてください。



② 柱スリーブ台座をベース材に【3-1】【3-2】で取付けてください。

ポイント

●柱スリーブベース金具垂直方向から固定するネジが空回りしないよう注意してください。

6. (つづき)

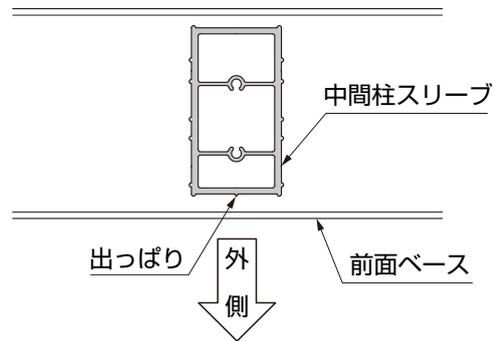
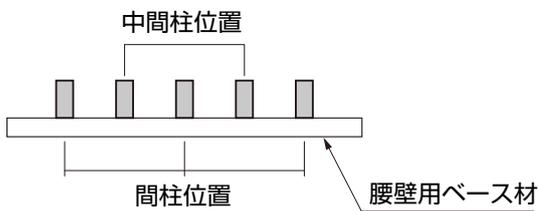
6-2 中間柱スリーブの取付け ※腰壁タイプの場合の作業です。



ポイント

●中間柱スリーブは「中間柱」「間柱」の箇所に取付けてください。

●下図の向きで中間柱スリーブを取付けてください。



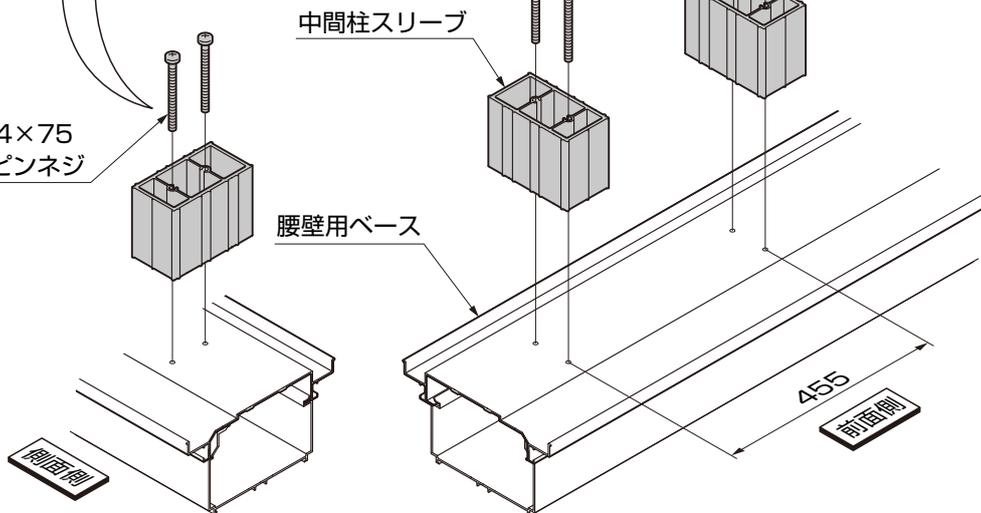
ポイント

【L字腰壁の場合】

●側面側にも間柱スリーブを取付けてください。

【2-6】φ4×75
ナベタッピンネジ

【1-14】φ4×75
ナベタッピンネジ

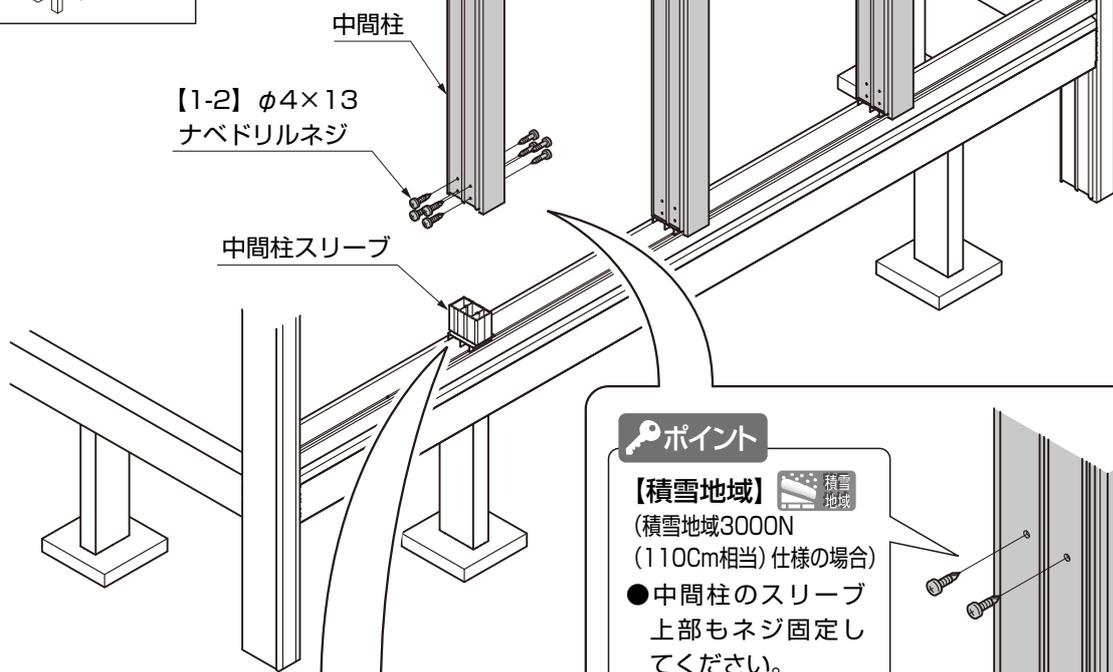
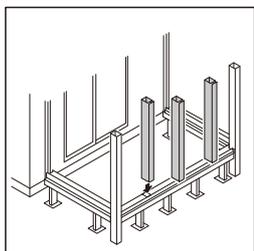


①中間柱スリーブを腰壁用ベースに【1-14】、【2-6】で取付けてください。

7. 中間柱の建込み

- ※基本ガーデンルームタイプの場合の作業です。
- ※基本サイドスルータイプの場合の作業です。
- ※腰壁タイプの場合の作業です。

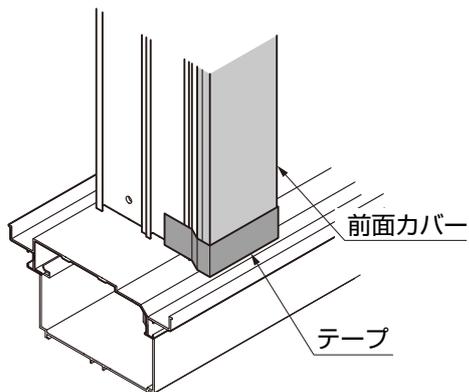
タイプ	腰壁	床	F.L	柱固定	地域
基	GR				
	ST				
腰					



ポイント

【腰壁の場合】

- 前面カバーが施工時にすり落ちないようにテープなどで仮固定してください。



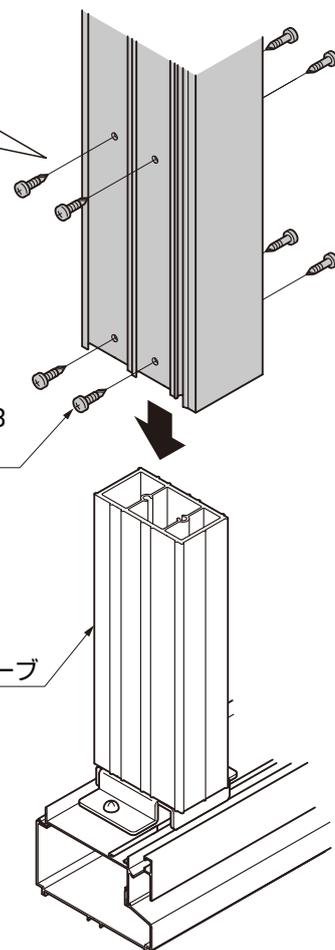
ポイント

【積雪地域】

- (積雪地域3000N (110cm相当) 仕様の場合)
- 中間柱のスリーブ 上部もネジ固定してください。

[3-1] φ4×13
ナベドリルネジ

中間柱スリーブ



①中間柱を中間柱スリーブに【1-2】で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
基	GR				
	ST				

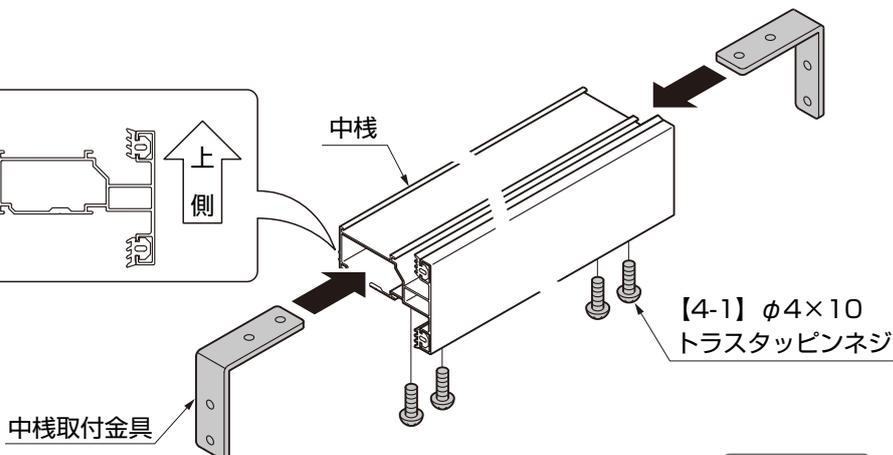
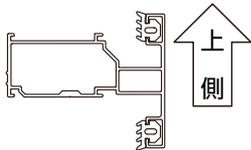
8. 中棧の取付け

※中棧を取付ける場合の作業です。

8-1 中棧の組立て

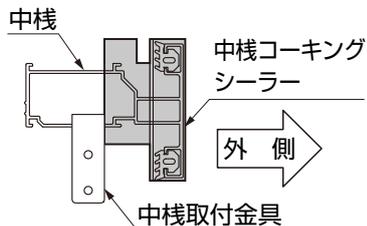
ポイント

- 中棧には向きがあります。上下を間違えないように取付けてください。



ポイント

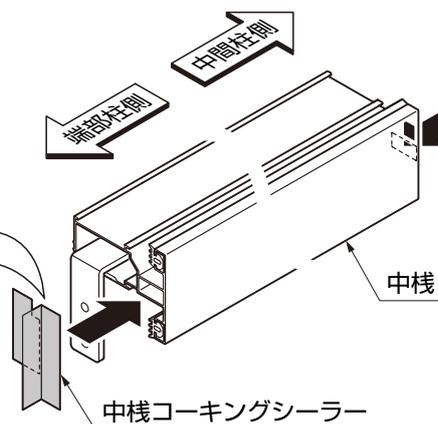
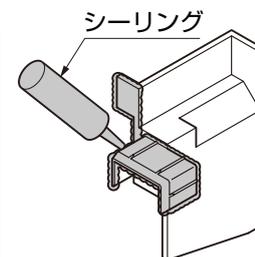
- 端部柱側には中棧コーキングシーラーを張付けてください。
- 中棧コーキングシーラーは中棧取付金具に接し、中棧外側面に沿わせて貼付けてください。



中棧端部部品

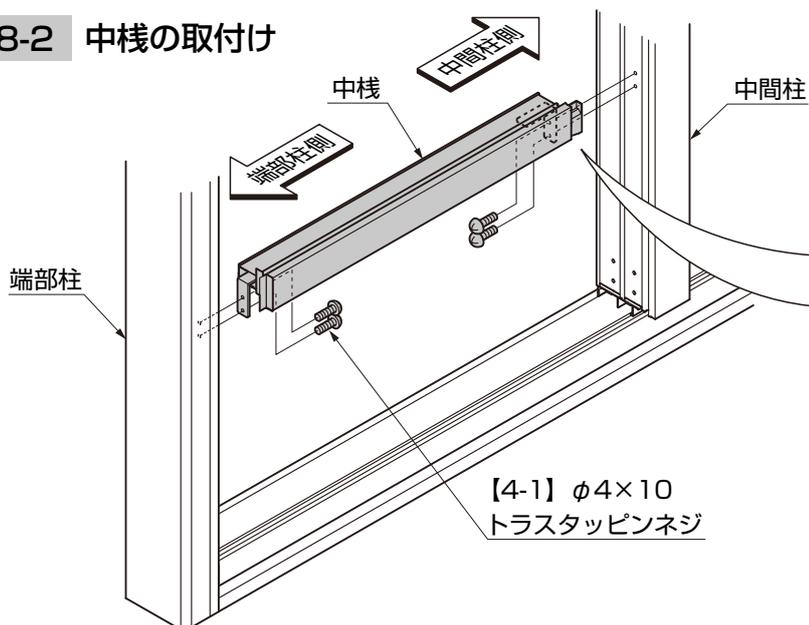
ポイント

- 中間柱側には中棧端部部品にシーリングを塗布して取付けてください。
- 中棧端部部品には左右があります。



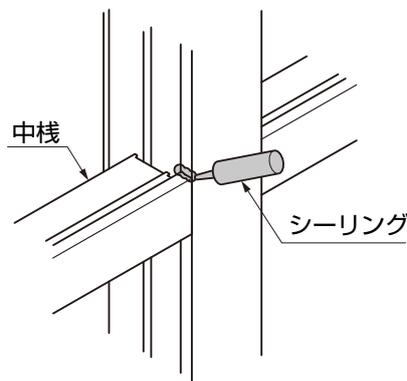
- ①中棧取付金具を中棧の両端に【4-1】で取付けてください。
- ②中棧コーキングシーラーと中棧端部部品を中棧に取付けてください。

8-2 中棧の取付け



ポイント

- 中棧にシーリングをしてください。

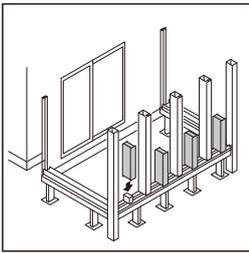


- ①中棧を端部柱、中間柱に【4-1】で取付けてください。

9. 間柱の建込み

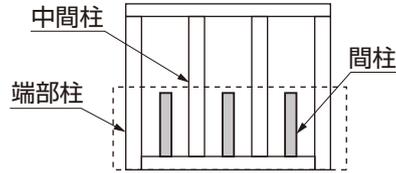
※腰壁仕様の場合の作業です。

タイプ	腰壁	床	F.L	柱固定	地域
					

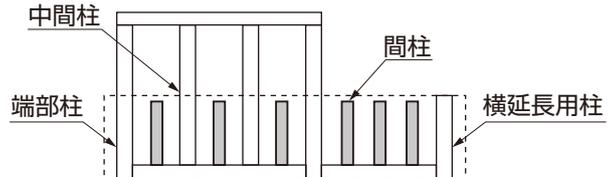


補足

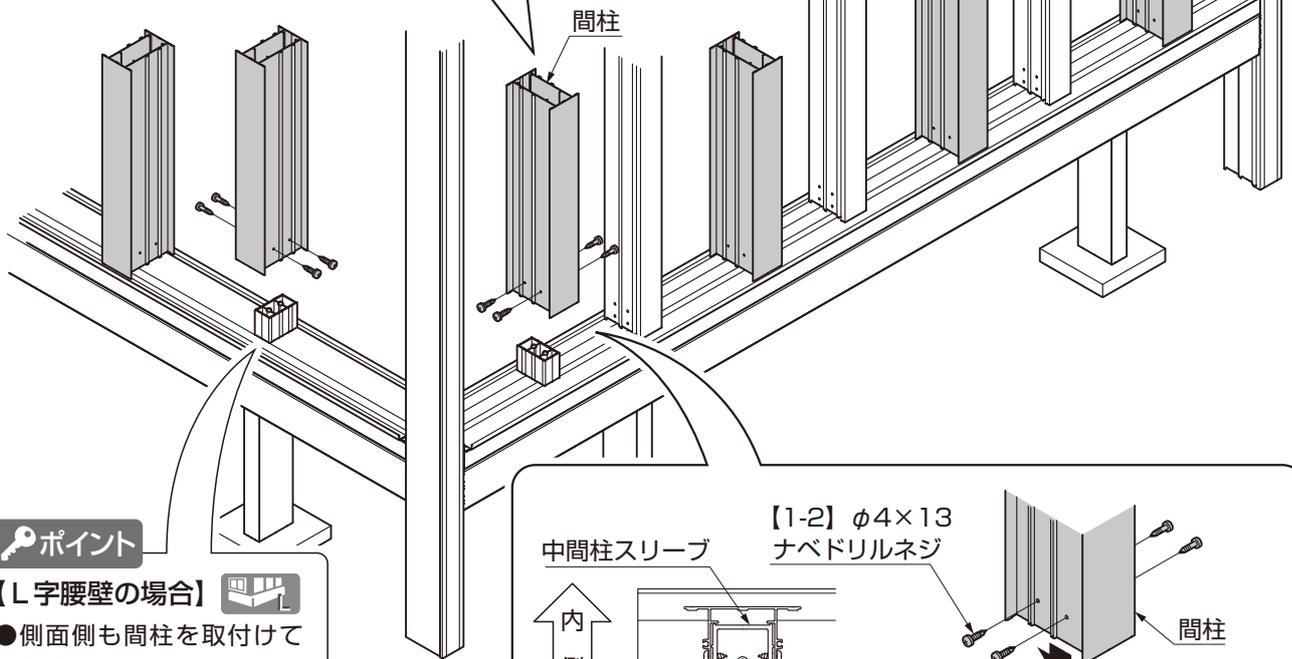
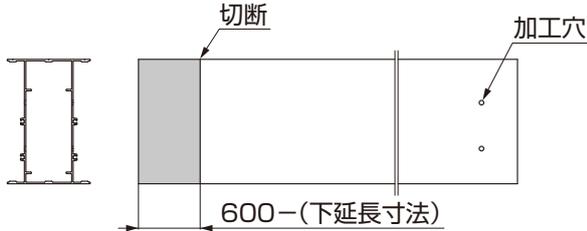
●間柱は、腰壁を施工するための補強材です。他の柱とは長さが異なります。



●腰壁横延長の場合、延長部分は間柱のみ取付きます。



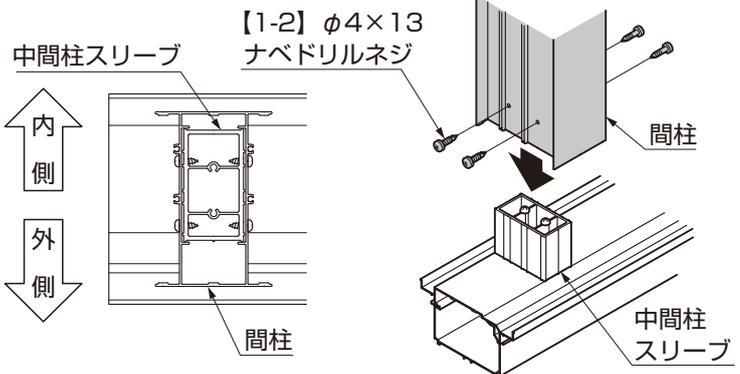
【間柱の加工】※腰壁下延長の場合



ポイント

【L字腰壁の場合】

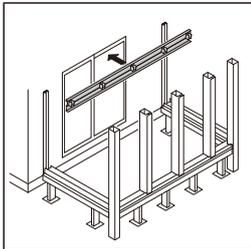
●側面側も間柱を取付けてください。



- ①間柱を加工穴のない側から加工してください。
- ②間柱を中間柱スリーブに【1-2】で取付けてください。

10. 垂木掛けの取付け

10-1 垂木掛けの取付け



補足

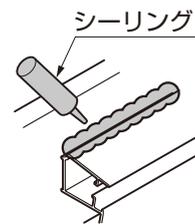
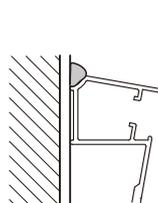
- 躯体方立を取付けている場合は垂木掛けを躯体方立に乗せて取付けてください。
- 垂木掛けの取付け位置は「5 基本寸法」を参照してください。

ポイント

- 垂木掛けの躯体取付け面に凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付け面の止水性を確保してください。
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

ポイント

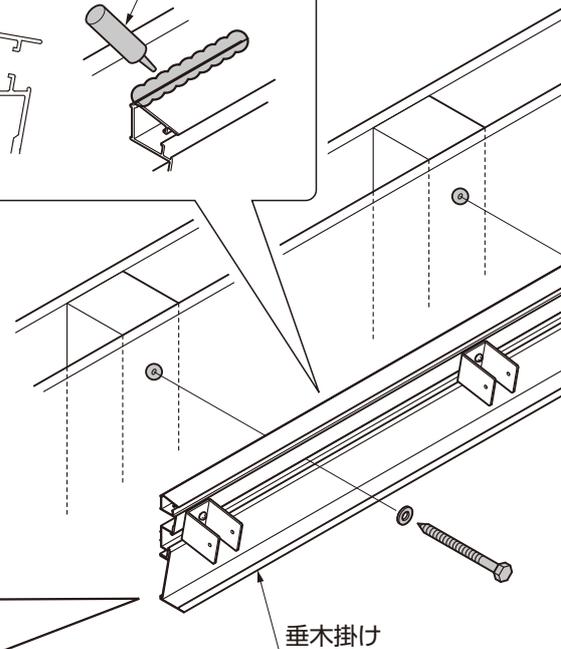
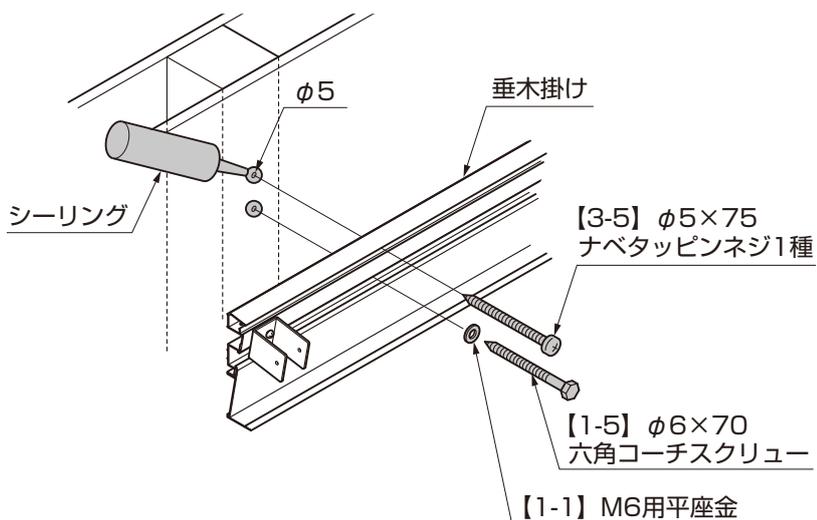
- 指定の箇所には、雨水浸入防止の為、必ずシーリングをしてください。



【積雪地域】



(積雪地域3000N(110cm相当)仕様の場合)

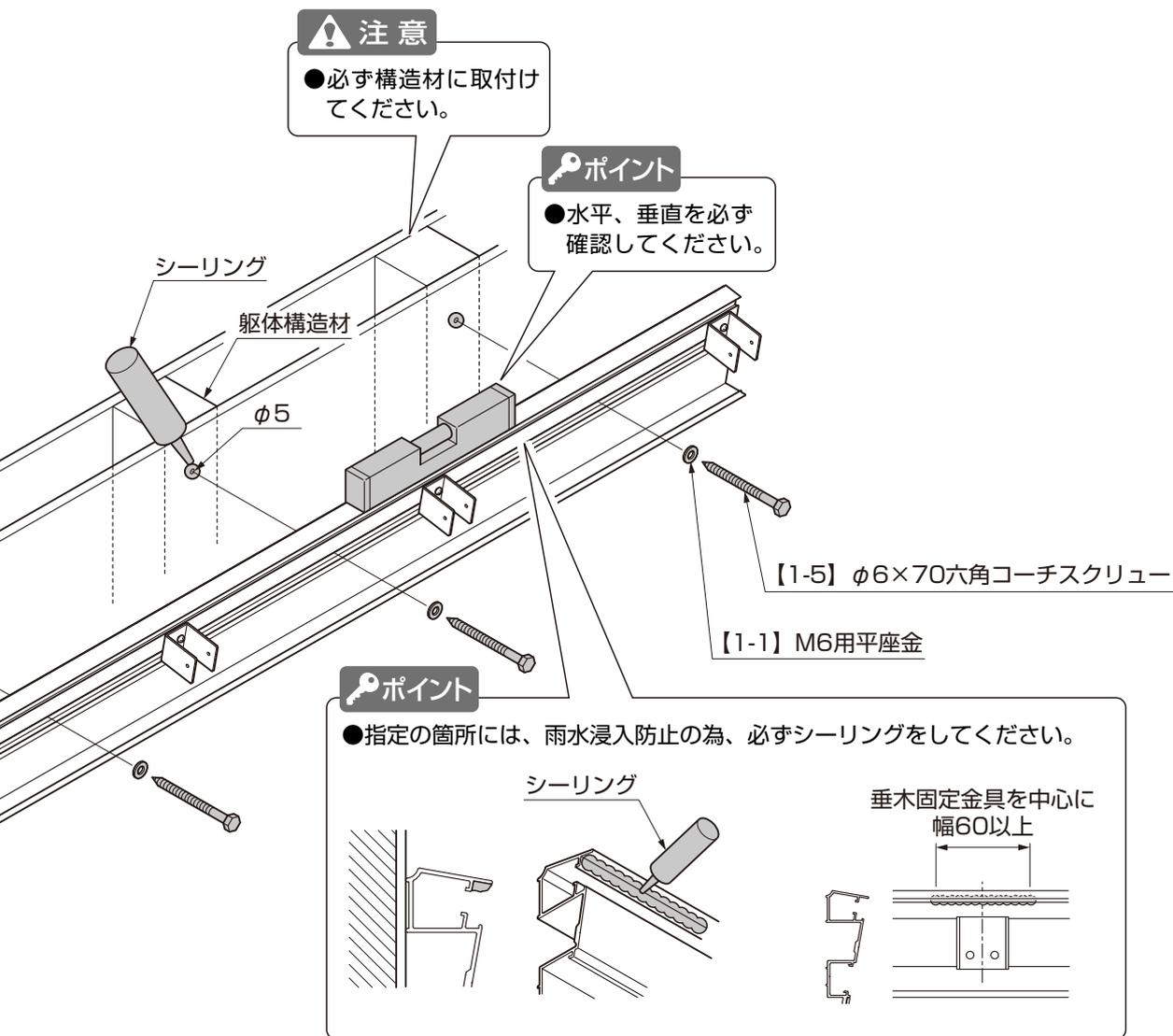


【一般地域】



- ① 躯体に垂木掛け取付け用の穴をけがいてφ5の穴をあけてください。
- ② 躯体にあけた穴にシーリングをしてください。
- ③ 垂木掛けを躯体の構造材に【1-1】、【1-5】で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					



【積雪地域】  (積雪地域1500N (50cm相当)仕様の場合)

- ① 躯体に垂木掛け取付け用の穴をけがいてφ5の穴をあけてください。
- ② 躯体にあけた穴にシーリングをしてください。
- ③ 垂木掛けを躯体の構造材に【1-1】、【1-5】で取付けてください。

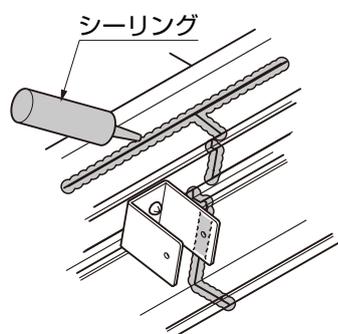
【積雪地域】  (積雪地域3000N (100cm相当)仕様の場合)

- ① 躯体に垂木取付け用の穴をけがいてφ5の穴をあけてください。
- ② 躯体にあけた穴にシーリングをしてください。
- ③ 垂木掛けを躯体の構造材に【1-1】、【1-5】と【3-5】で取付けてください。

10. (つづき)

10-2 連棟、垂木照明 **オプション**、入隅仕様の場合

(1) 連棟の場合



ポイント

- 指定の箇所には、雨水浸入防止のため、必ずシーリングをしてください。

(2) 垂木照明 **オプション**

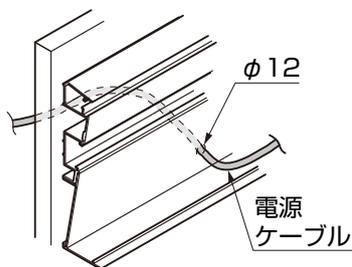


図10-1 躯体に穴をあけて配線する場合

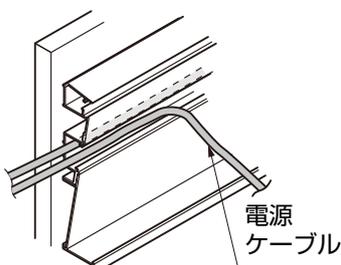
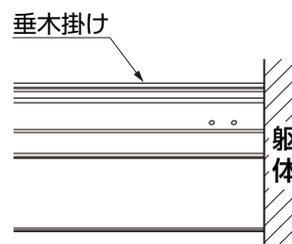


図10-2 垂木掛けの溝を利用する場合

(3) 入隅仕様の場合



ポイント

- 垂木掛け側面を躯体に突き当てて取付けてください。

(1) 連棟の場合

- ①垂木掛けの連結箇所にシーリングをしてください。

(2) 垂木照明 **オプション**

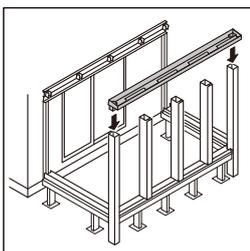
- ①躯体に穴をあけて配線する場合は、「8 施工前の準備 2.配線工事」を参照して電源ケーブルを通す位置の垂木掛けにφ12の穴をあけ、躯体から配線してください。

(3) 入隅仕様の場合

- ①垂木掛けを躯体にあてがい取付けてください。

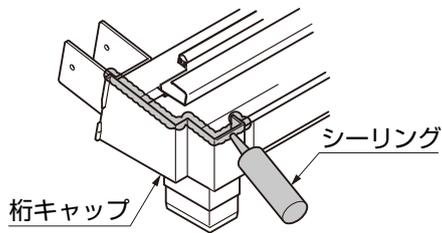
タイプ	腰壁	床	F.L	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

11. 桁の取付け



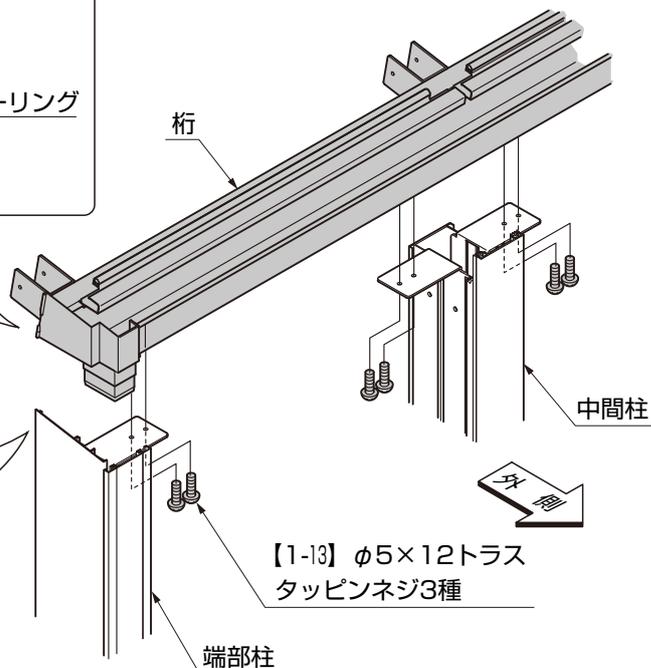
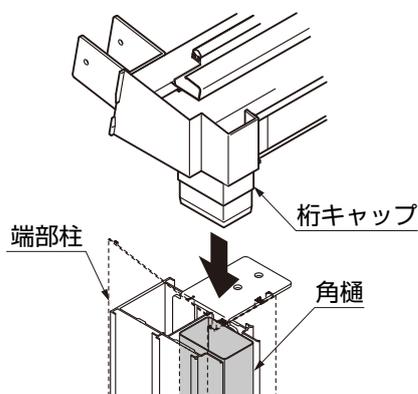
ポイント

- 指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。

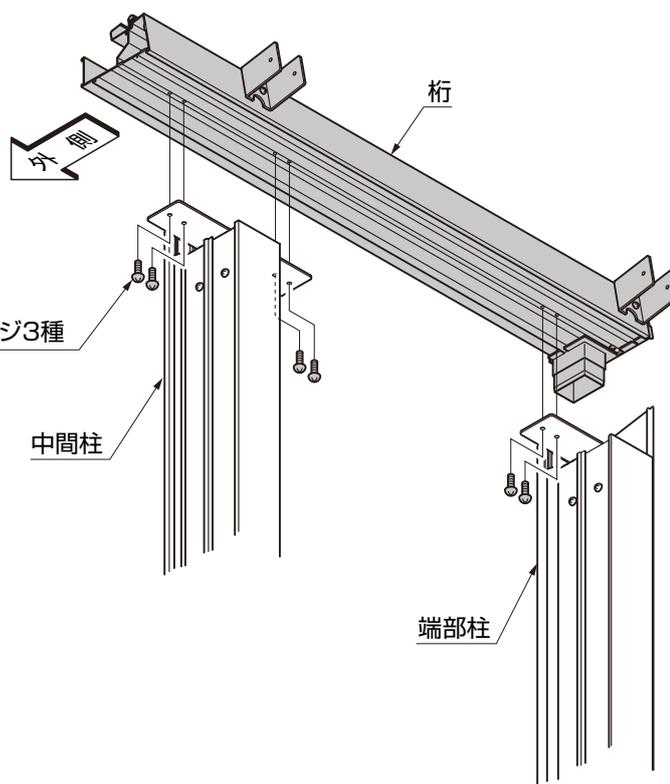


ポイント

- 桁キャップを角樋に挿入してください。



【1-13】φ5×12トラス
タッピンネジ3種

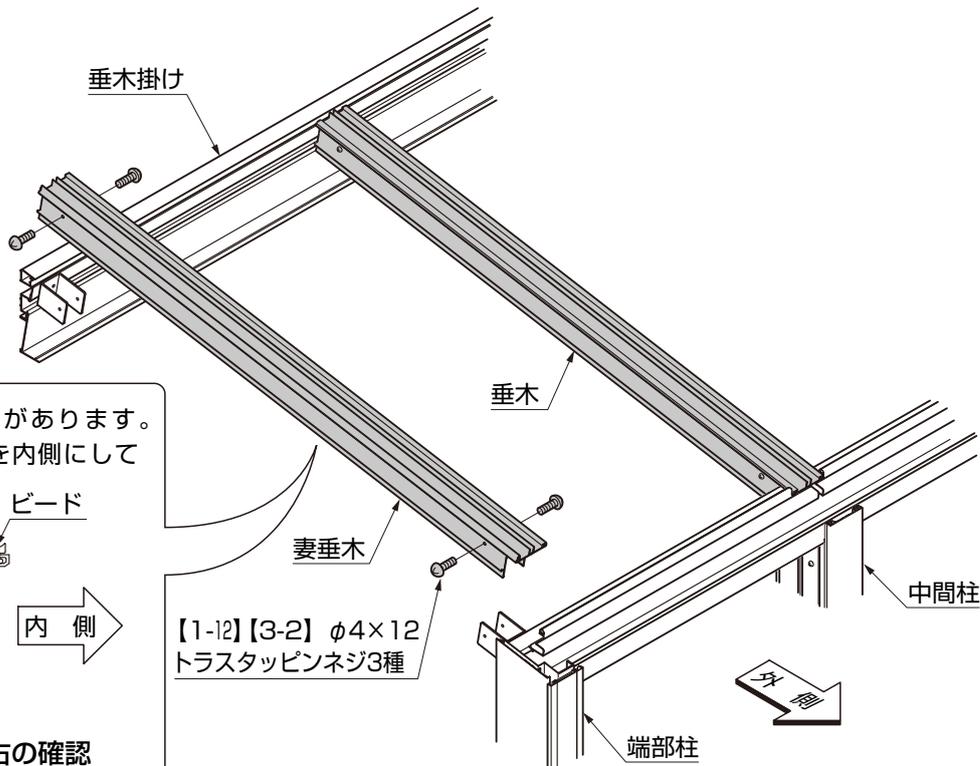
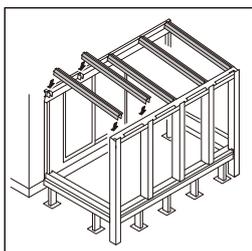


【1-13】φ5×12トラス
タッピンネジ3種

- ①桁キャップをシーリングしてください。
- ②桁を端部柱、中間柱に【1-13】で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	F.L	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

12. 妻垂木・垂木の取付け



ポイント

- 妻垂木には左右の向きがあります。ビードが付いている側を内側にして取付けてください。

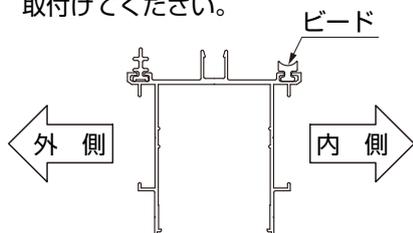
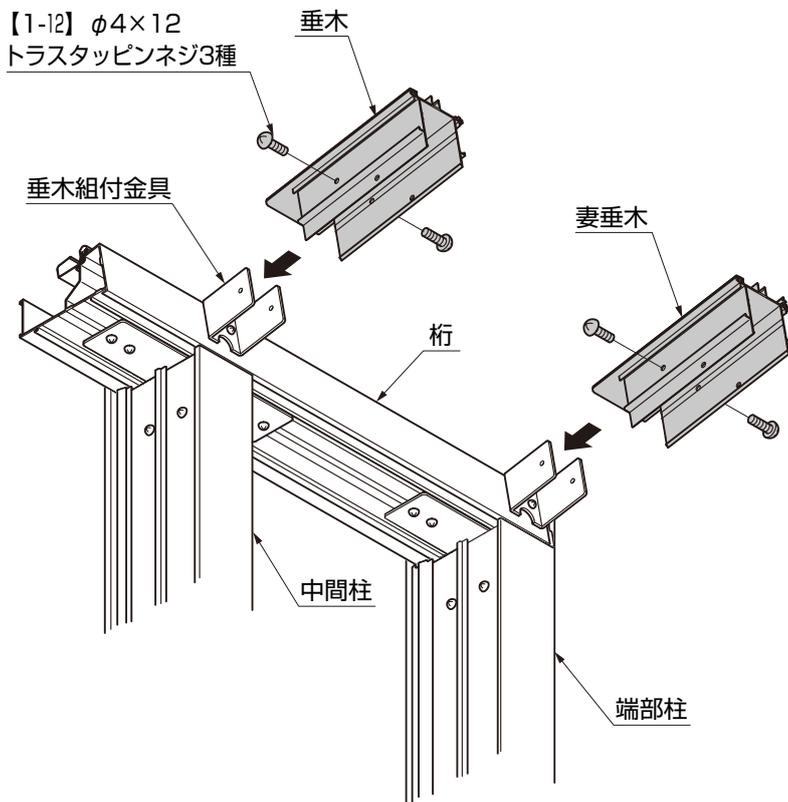


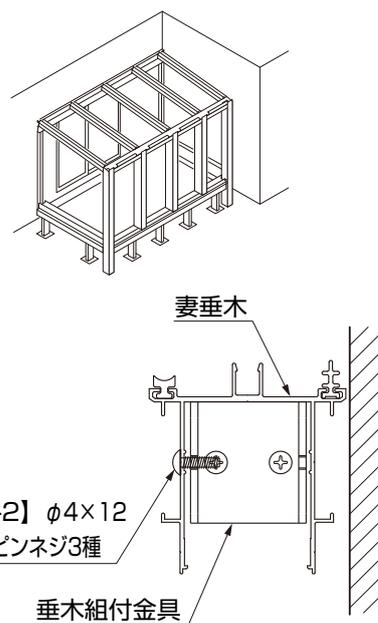
図12-1 妻垂木左右の確認



ポイント

【入隅仕様の場合】

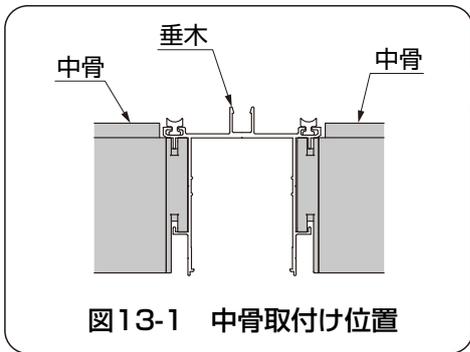
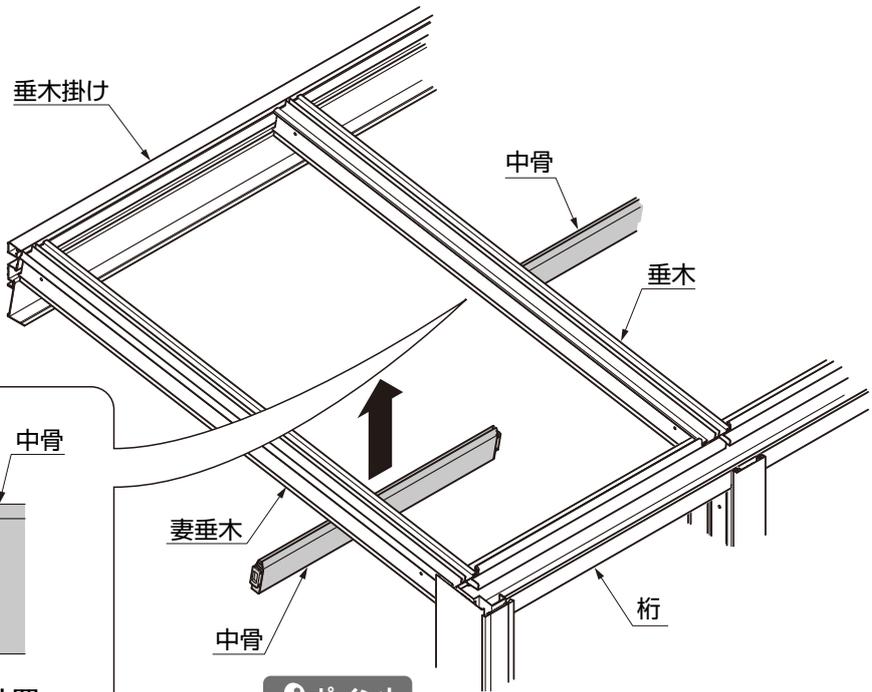
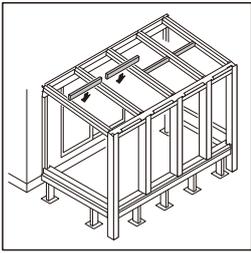
- 【1-12】を片側だけ取付けてください。



①妻垂木、垂木を垂木組付金具に【1-12】、【3-2】で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	F.L	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

13. 中骨の取付け



ポイント

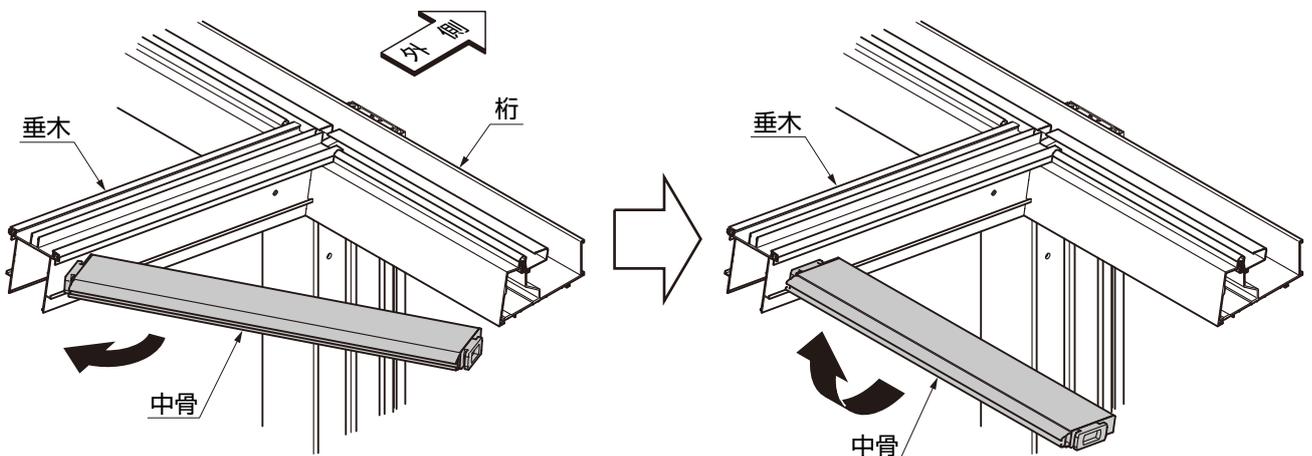
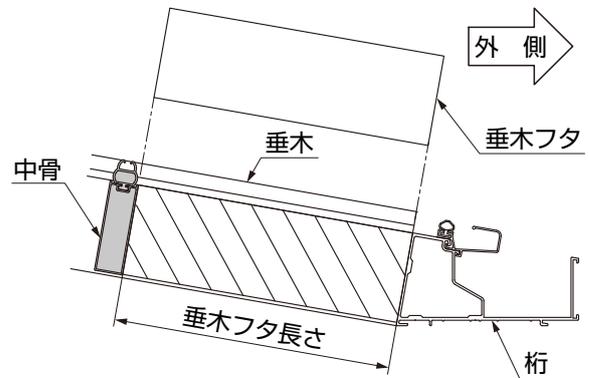
●仕様によって中骨の本数が異なります。

表13-1 1スパン当りの中骨本数

	4尺	6尺	8尺	10尺
600N	-	1	1	2
1500N・3000N	1	2	3	

ポイント

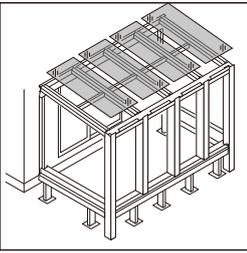
●垂木フタの長さを目安に中骨のおおよその位置を決めてください。中骨は後で動かすことができます。



①中骨を垂木間に回転しながら、はめ込んでください。

タイプ	腰壁	床	F.L	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

14. 屋根材の取付け



ポイント

- 左右どちらかの妻垂木より、1スパンごとに取付けてください。
- 垂木掛けにしっかり差し込んでください。
- 屋根材には耐光面（裏表）があります。ラベルの貼付け面を確認の上、取付け間違いのないように注意してください。

ポイント

- グレチャンからの屋根材のはみ出し幅が左右均等になるようにしてください。

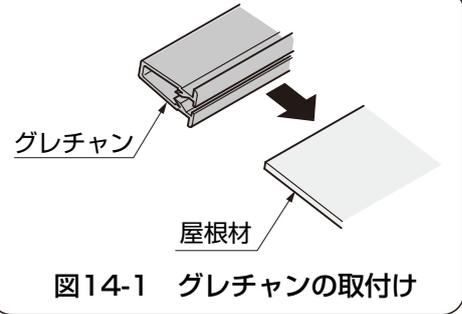
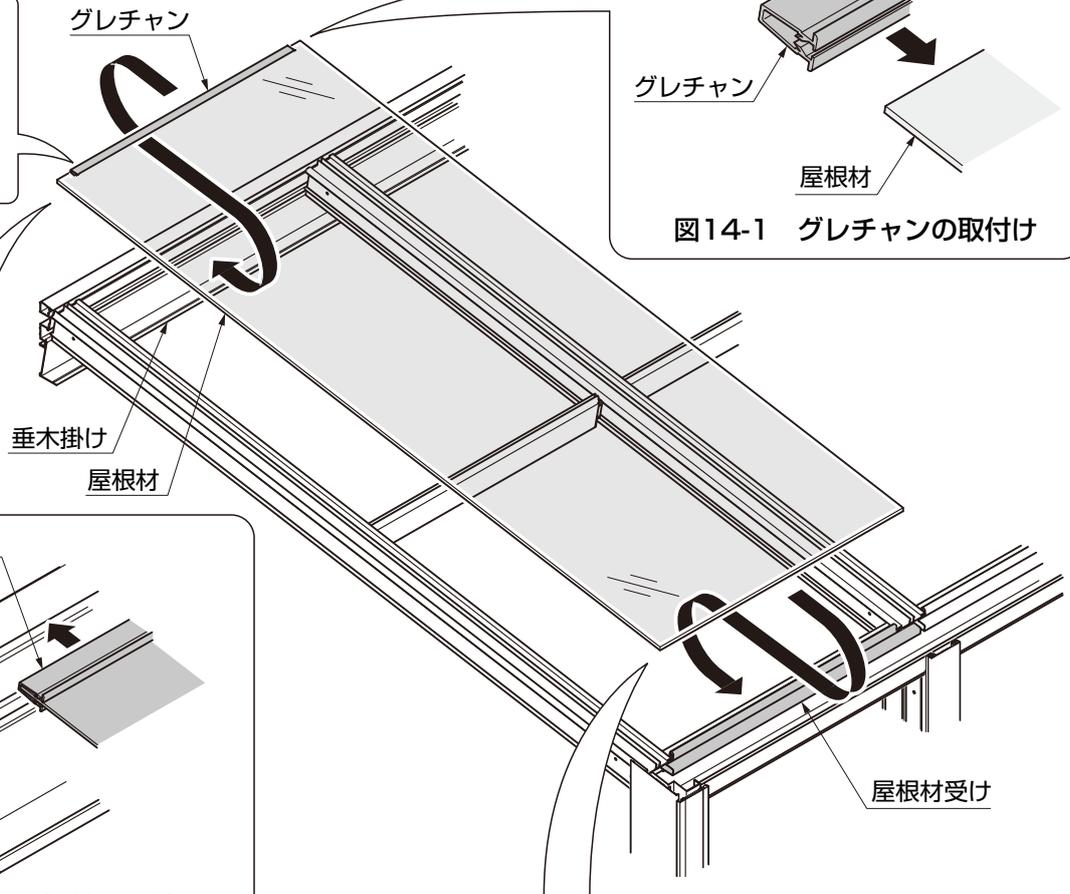


図14-1 グレチャンの取付け

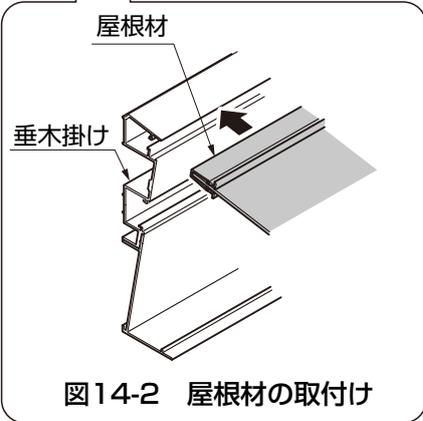
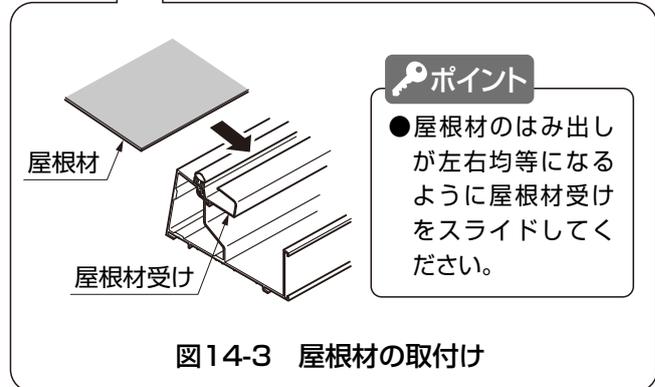
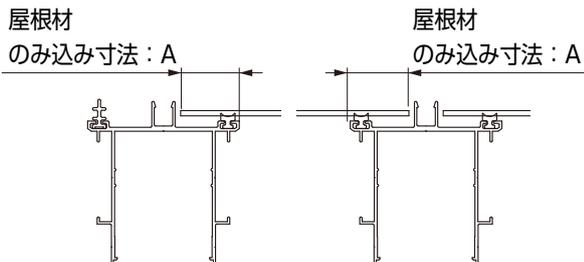


図14-2 屋根材の取付け

ポイント

- 屋根材ののみ込みが左右均等になるようにしてください。



ポイント

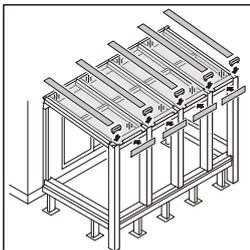
- 屋根材のはみ出しが左右均等になるように屋根材受けをスライドしてください。

図14-3 屋根材の取付け

- ①グレチャンを屋根材に取付けてください。(図14-1参照)
- ②屋根材を垂木掛けに差し込んでください。(図14-2参照)
- ③屋根材を屋根材受けに、差し込んでください。(図14-3参照)

タイプ	腰壁	床	F.L	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

15. 垂木カバーの取付け

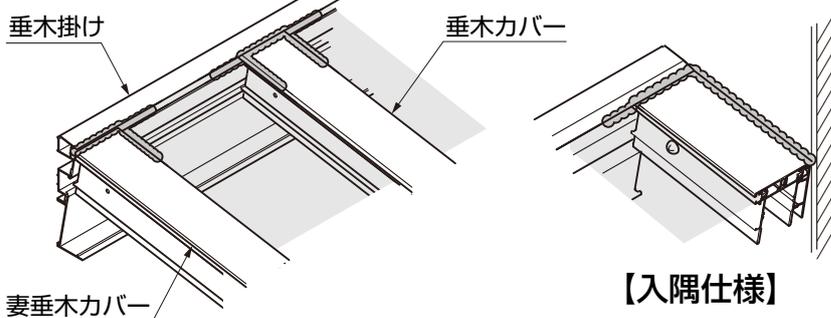


15-1 シーリング箇所一覧

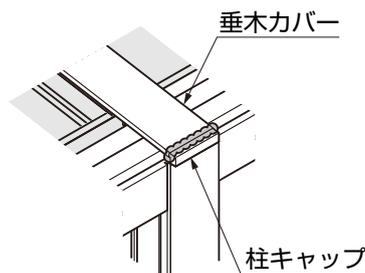
ポイント

●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

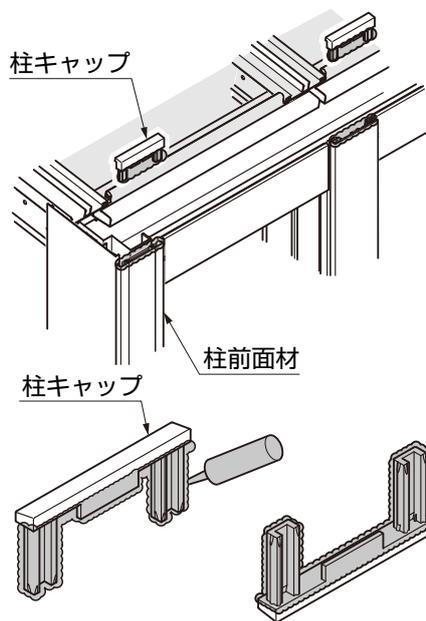
15-5 垂木カバーの取付け…(P.121)



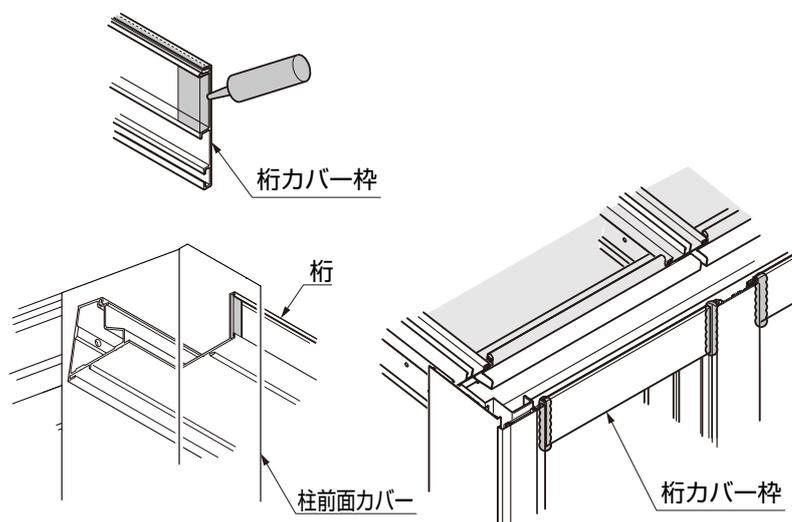
15-5 垂木カバーの取付け…(P.121)



15-3 柱キャップの取付け…(P.119)



15-2 桁カバー枠の取付け…(P.118)

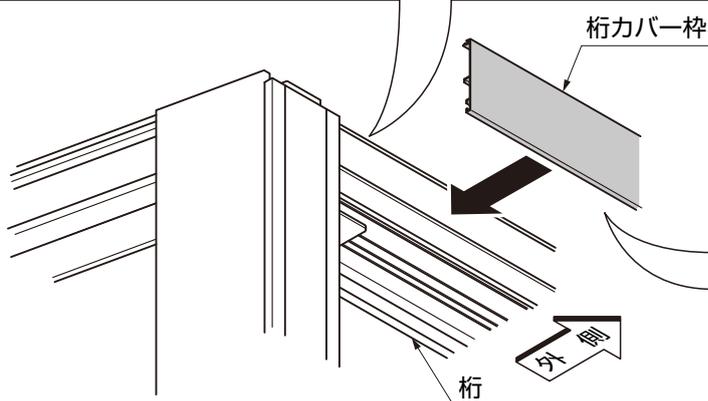
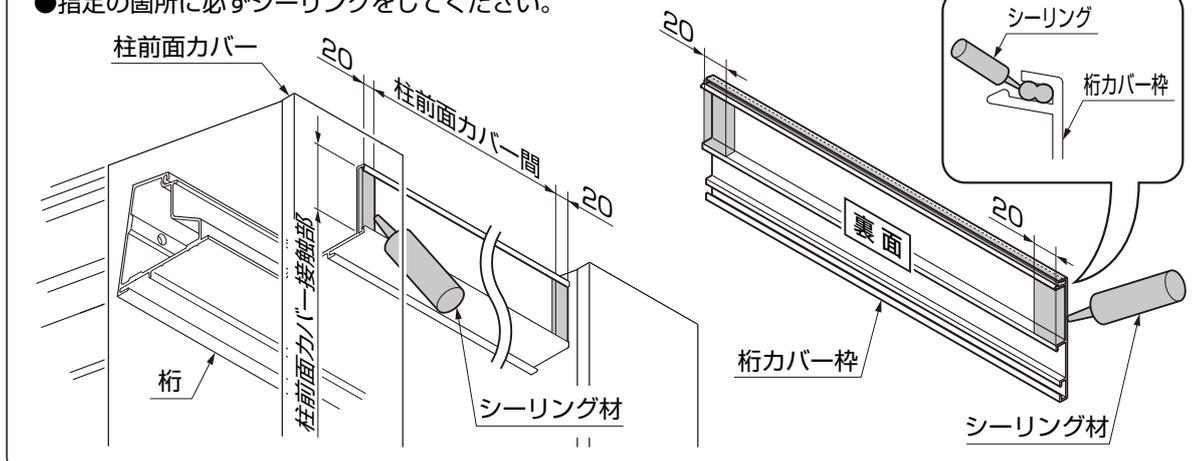


15. (つづき)

15-2 桁カバー枠の取付け

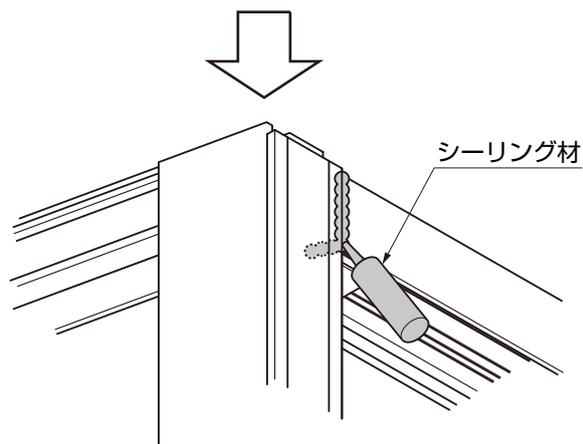
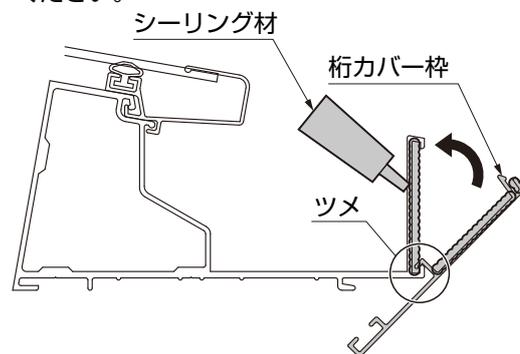
ポイント

- 指定の箇所に必ずシーリングをしてください。



ポイント

- 桁カバー枠を桁のツメに引っ掛けてはめ込んでください。



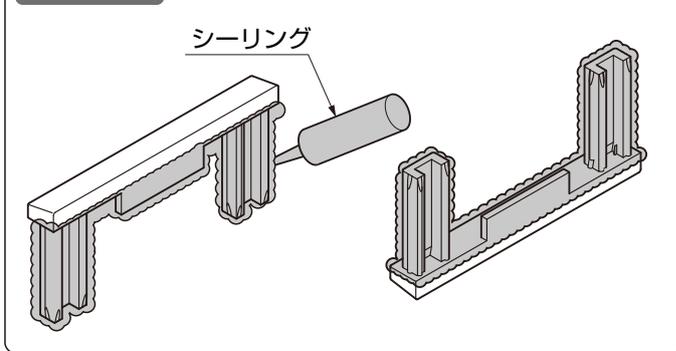
- ①桁の柱前面カバー接触部に幅20mmで縦に、前側の柱前面の上部にシーリングをしてください。
- ②桁カバー枠の裏側の両端に幅20mm程度の幅でシーリングをしてください。
- ③桁カバー枠を桁にはめこんでください。
- ④桁カバー枠の両端部にシーリング材をしてください。

ポイント

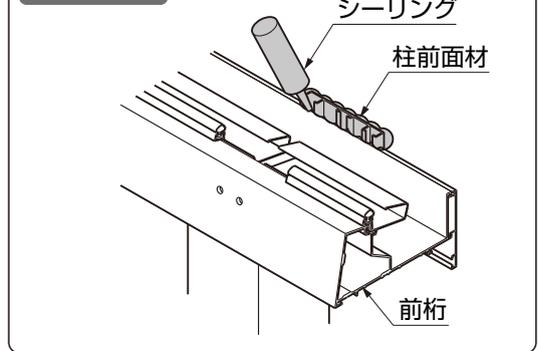
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

15-3 柱キャップの取付け

ポイント

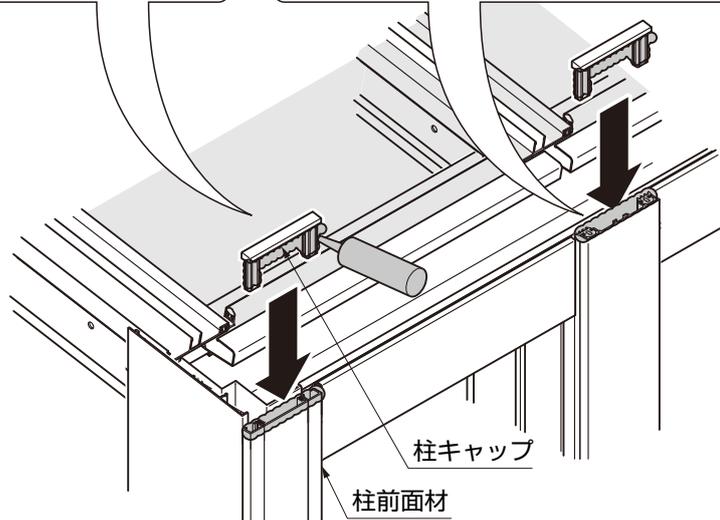


ポイント



ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

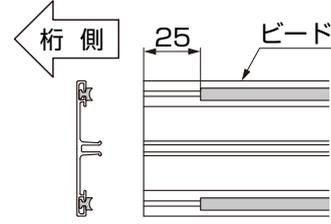
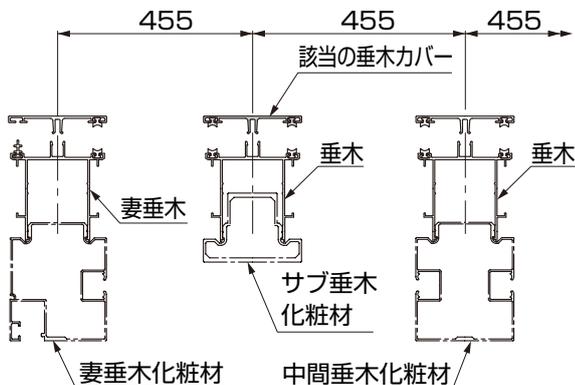


- ①柱前面材と桁の間のすき間をふさぐように、シーリングをしてください。
- ②柱キャップにシーリングをしてください。
- ③柱キャップを端部柱前面材、柱キャップを前面材にはめ込んでください。

15-4 垂木カバー端部キャップの取付け ※積雪地域3000N仕様の場合の作業です。

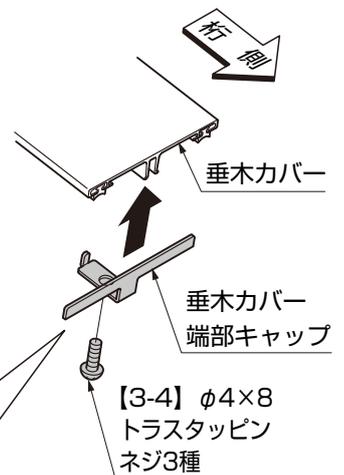
ポイント

- 垂木カバーのビードが25mm短い方を桁側にしてください。



ポイント

- 垂木カバー端部キャップは垂木カバーを垂木に取付ける前に行ってください。



- ①サブ垂木に取付ける垂木カバーの桁側に垂木カバー端部キャップを【3-4】で取付けてください。

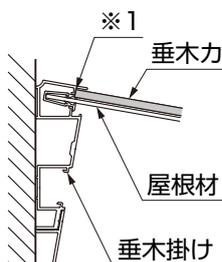
15. (つづき)

15-5 垂木カバーの取付け

(1) 垂木カバーのはめ込み

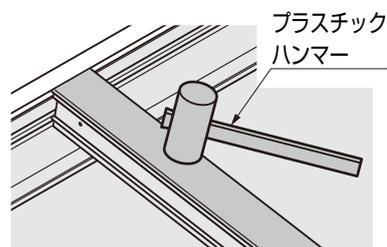
ポイント

●垂木カバー、妻垂木カバーは、垂木掛けに突当てて、(※1)取付けてください。



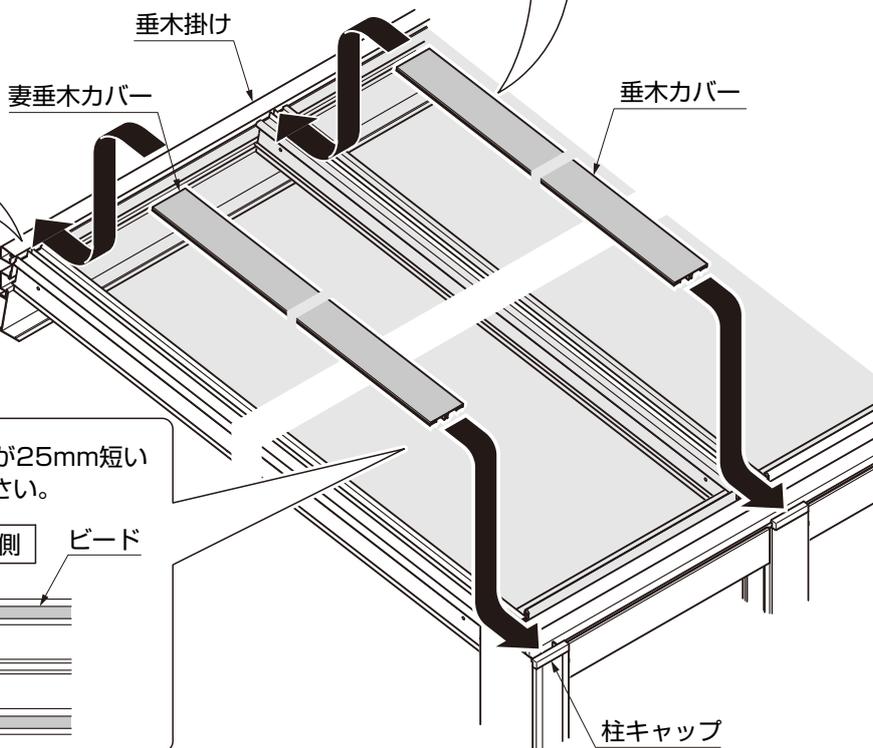
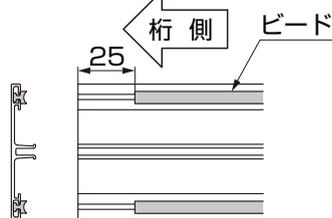
ポイント

●部材が凹まないように注意しながら、プラスチックハンマー等で押し込んでください。



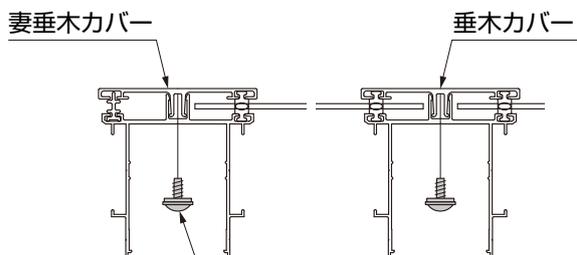
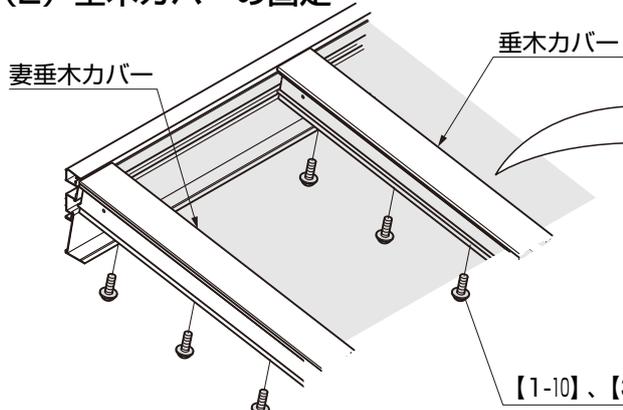
ポイント

●垂木カバーのビードが25mm短い方を桁側にしてください。



①垂木カバー、妻垂木カバーを垂木掛けに差込んでください。妻垂木カバーは両端の垂木に、垂木カバーは中間の垂木に取付けてください。

(2) 垂木カバーの固定



【1-10】、【3-3】φ4×12トラス
タッピンネジ2種 (PW+ゴムパッキン)

【1-10】、【3-3】φ4×12トラスタッピンネジ2種 (PW+ゴムパッキン)

①妻垂木カバーを妻垂木に、【1-10】、【3-3】で固定してください。
②垂木カバーを垂木に、【1-10】、【3-3】で固定してください。

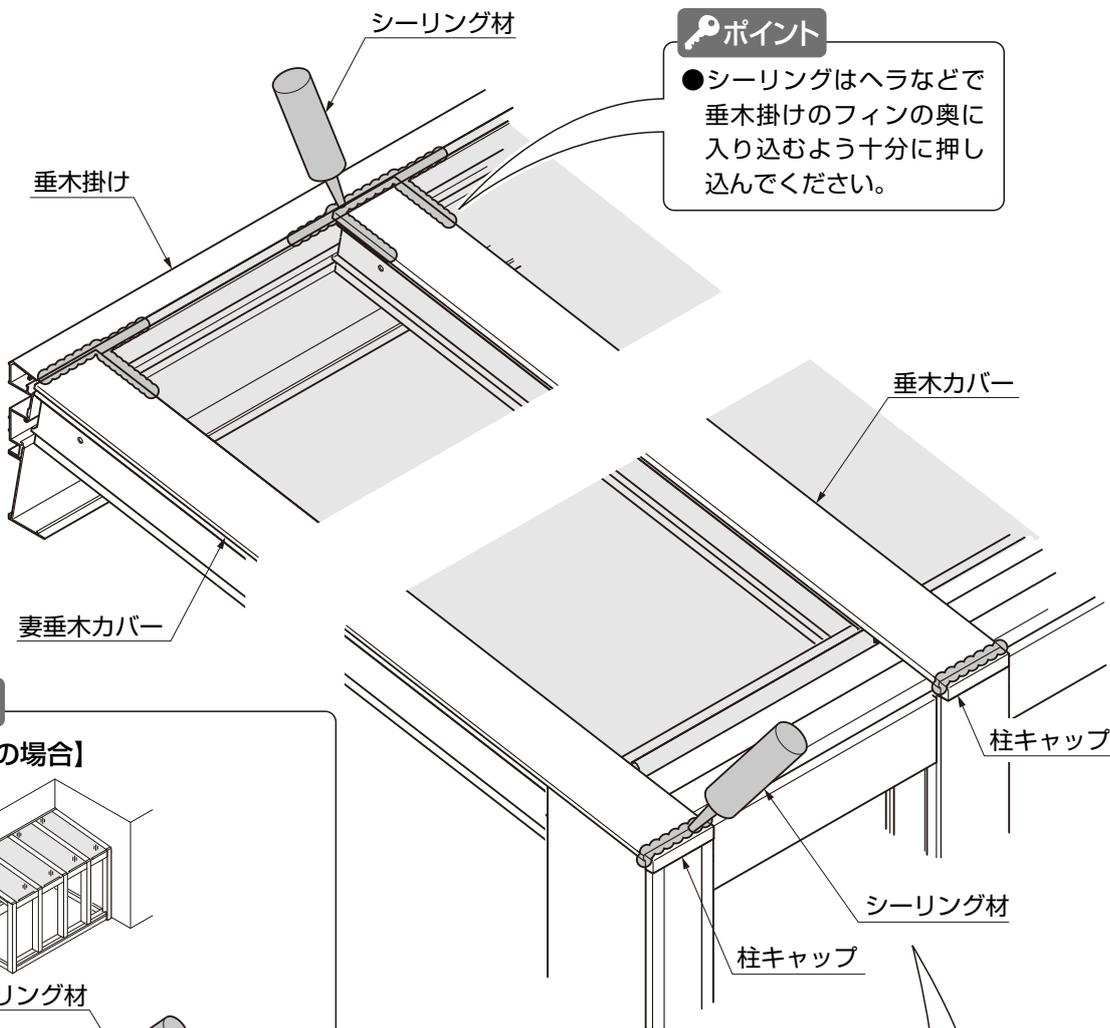
(3) 垂木カバーのシーリング

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。
- ポリカーボネート板へシーリングする場合は、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。それ以外のシーリング材では、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがあります。

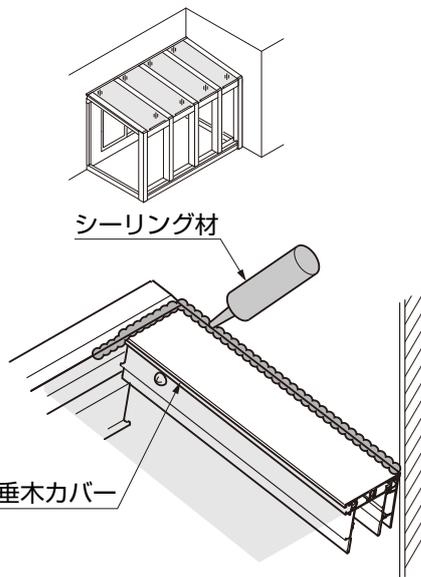
表15-1

シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960



ポイント

【入隅仕様の場合】



ポイント

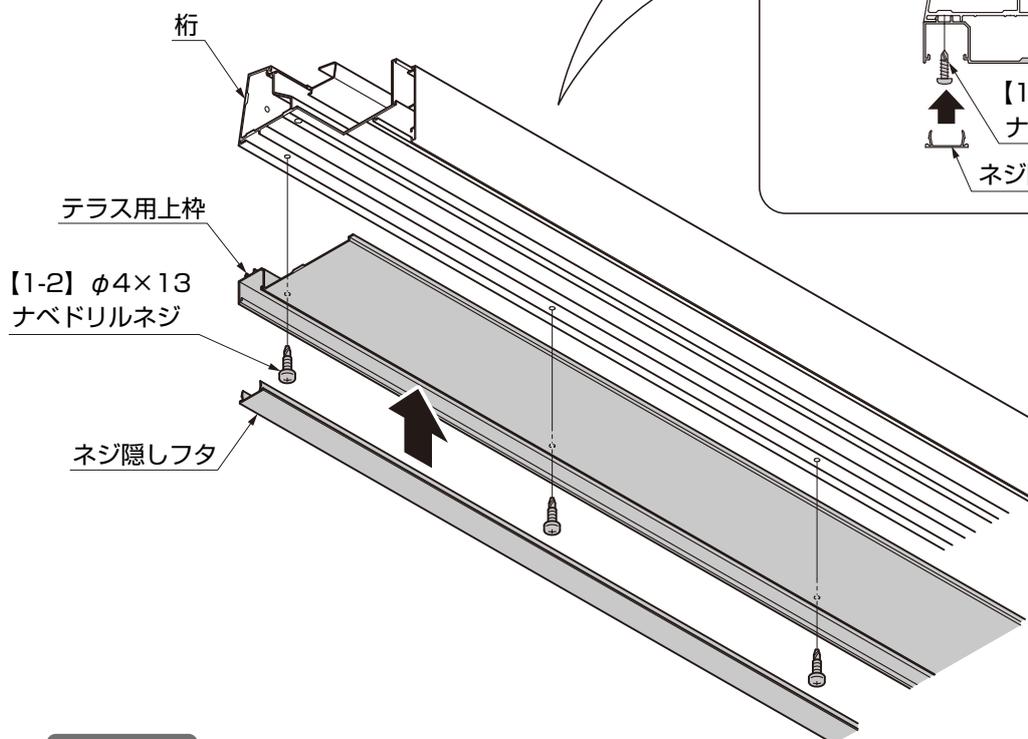
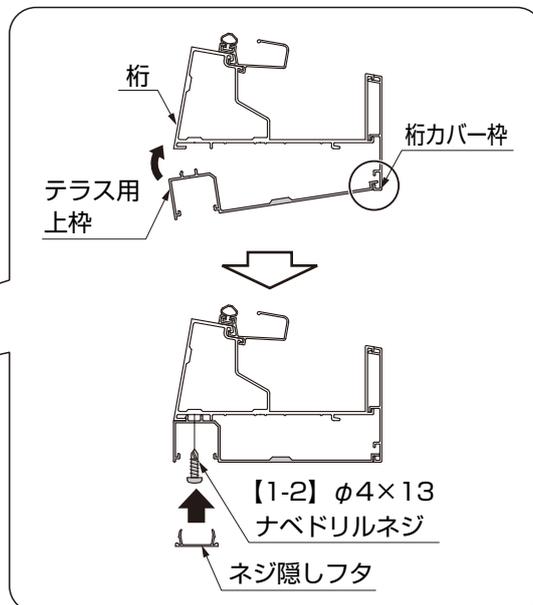
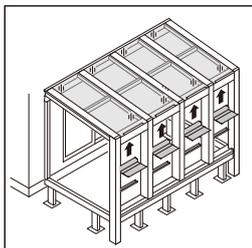
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

①妻垂木カバー・垂木カバーに、シーリングをしてください。

16. テラス用上枠の取付け

※基本オープンテラスタイプの場合の作業です。

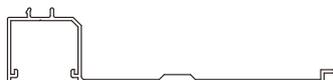
タイプ	腰壁	床	F.L	柱固定	地域
 基	 OT				



補足

- タイプにより、部材が異なります。下図を確認してください。
- ガーデンルームタイプ、サイドスルータイプの場合は、「ココマⅡ 開口部編 取付説明書 (E370)」にて取付けを行いません。
- 腰壁オープンテラスタイプの場合は、「ココマⅡ 乾式腰壁タイプ 腰壁編 取付説明書 (E369)」にて取付けを行いません。

オープンテラスタイプ



ガーデンルームタイプ サイドスルータイプ

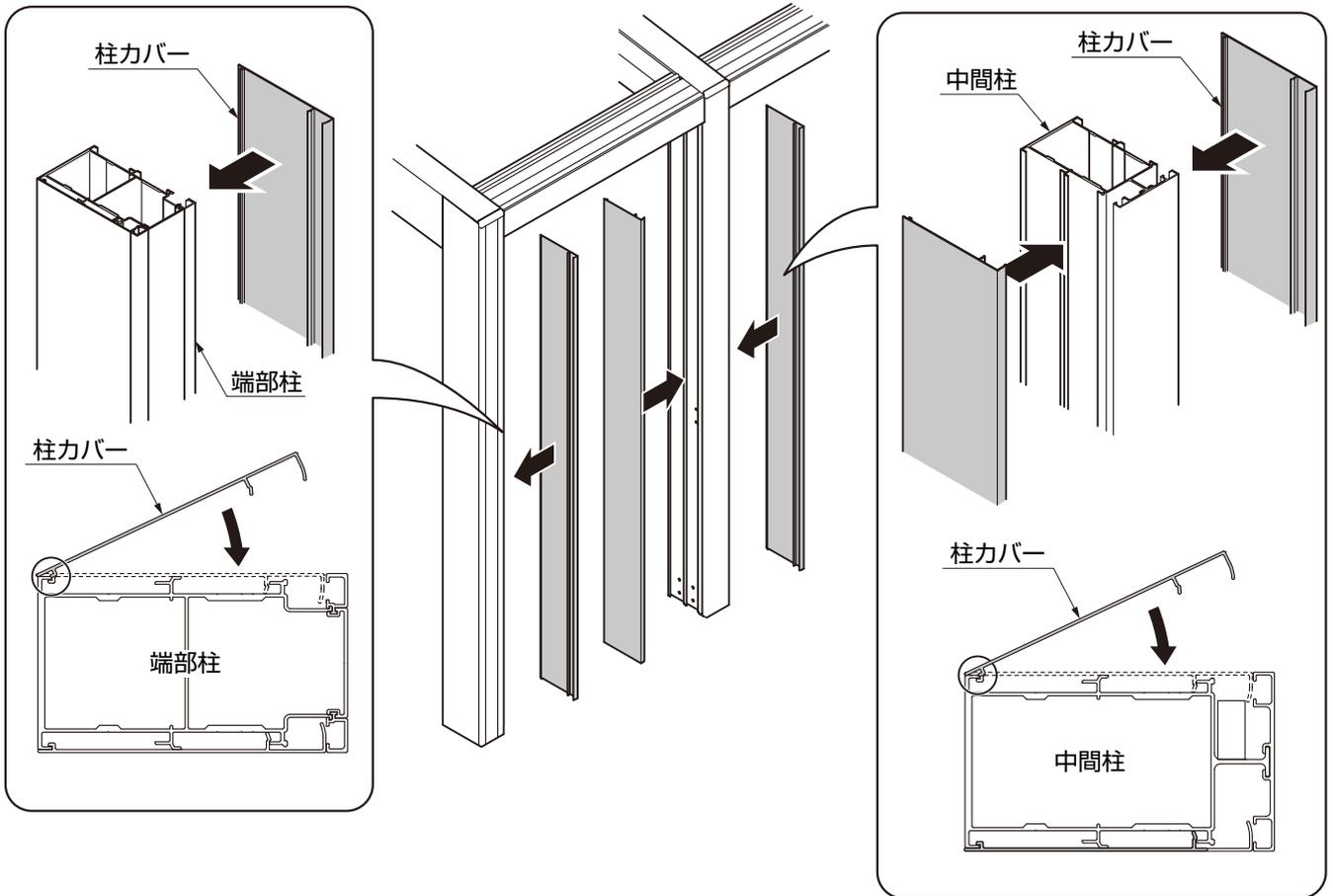


- ①テラス用上枠を柵に【1-2】で取付けてください。
- ②ネジ隠しフタをテラス用上枠にはめ込んでください。

17. 柱カバーの取付け

※基本オープンテラスタイプの場合の作業です。

タイプ	腰壁	床	F.L	柱固定	地域
基 OT					



補足

- タイプにより、部材が異なります。下図を確認してください。
- ガーデンルームタイプ、サイドスルータイプの場合は、「ココマII 開口部編 取付説明書 (E370)」にて取付けを行ないます。
- 腰壁オープンテラスタイプの場合は、「ココマII 乾式腰壁タイプ 腰壁編 取付説明書 (E369)」にて取付けを行ないます。

オープンテラスタイプ



ガーデンルームタイプ
サイドスルータイプ



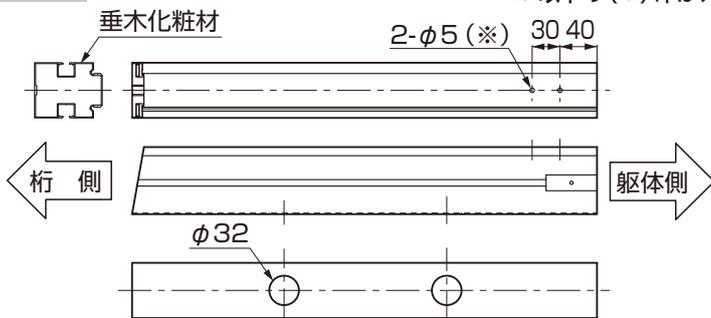
①柱カバーを柱にはめ込んでください。

※全タイプ（仕様）で行なう作業です。

18. 垂木化粧材の取付け

18-1 垂木内蔵LEDの取付け

※LED照明を取付ける場合の作業です。
 ※以下の(※)印は、トランス電源ユニット35W 屋外用での配線の場合は不要です。



図はLEDユニット2個使いの場合を示します。

⚠ 注意

- 電線の接続には電気工事士の資格が必要です。（コネクタ配線を除く）
- 取付けの際は安全のため、電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因になります。

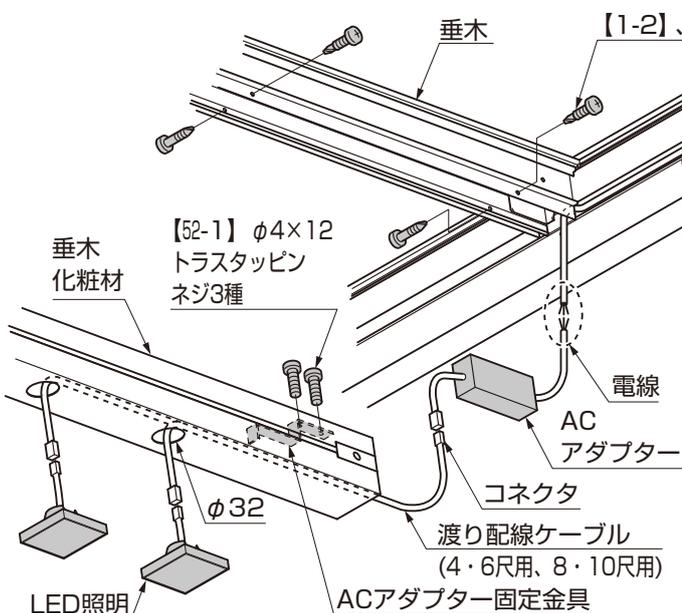


図18-1 ACアダプターで配線する場合

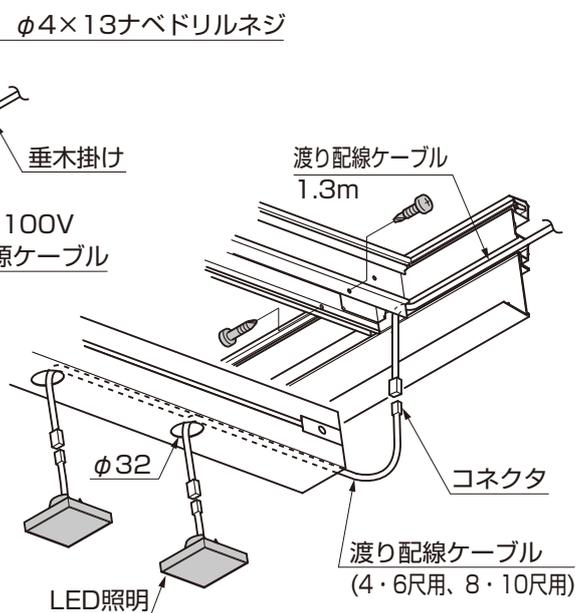
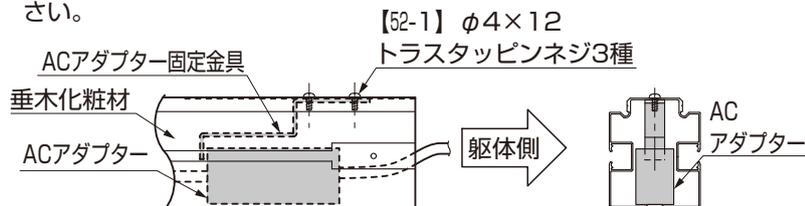


図18-2 トランス電源ユニットで配線する場合

🔑 ポイント

【ACアダプターで配線する場合】

- ACアダプターを下図の位置に収納してください。
- ACアダプター固定金具はACアダプターのズレ防止のため必ず取付けてください。

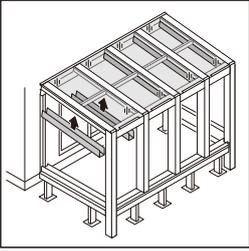


🔑 ポイント

- LED照明を垂木化粧材に取付けてください。



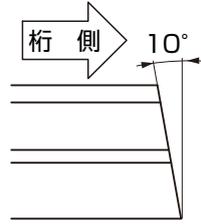
- ①垂木化粧材にφ5の穴加工をしてください。(※)
- ②ACアダプター固定金具を垂木化粧材に【52-1】で取付けてください。(※)
- ③渡り配線ケーブル(4・6尺用または8・10尺用)を垂木化粧材に配置してください。
- ④ACアダプターと渡り配線ケーブル(4・6尺用または8・10尺用)をコネクタ接続しながら、垂木化粧材を垂木に【1-2】、【3-1】で取付けてください。(※)
- ⑤渡り配線ケーブル(4・6尺用または8・10尺用)と渡り配線ケーブル1.3mを接続してください。
- ⑥渡り配線とLED照明をコネクタ接続してください。
- ⑦LED照明を垂木化粧材に取付けてください。



ポイント

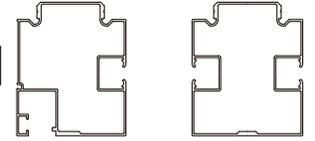
【垂木化粧材の向き】

- 垂木化粧材の端が10°切欠いている側を桁側にしてください。



妻側垂木化粧材 中間垂木化粧材

外側



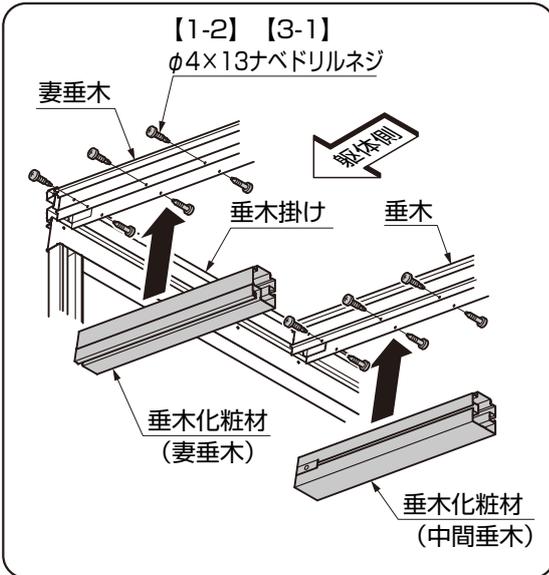
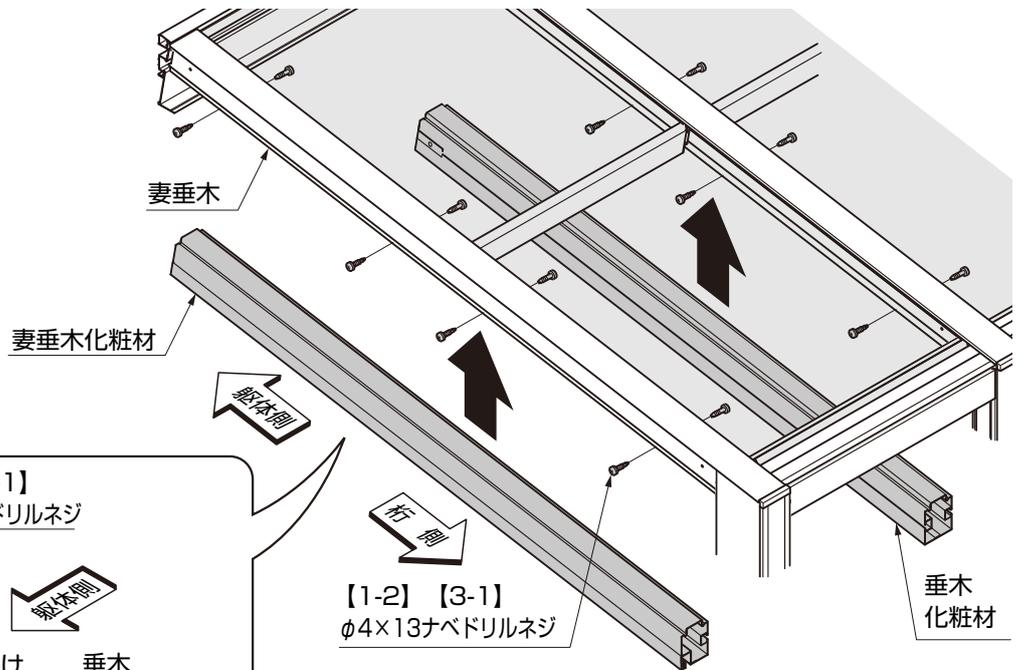
【積雪地域】



(積雪地域3000N(110cm相当)仕様の場合)

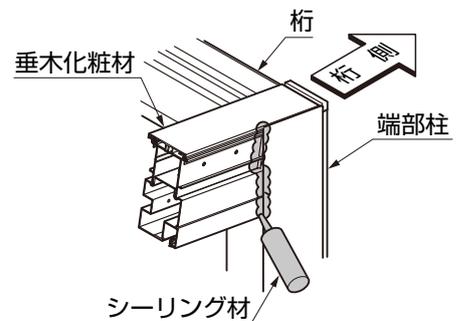
- 「18-3 サブ垂木化粧材の取付け」もあわせてご確認ください。

18-2 垂木化粧材の取付け



ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。



- ① 垂木化粧材キャップを垂木化粧材から取外してください。
- ② 垂木化粧材を垂木、妻垂木に【1-2】、【3-1】で取付けてください。
- ③ 妻垂木、垂木化粧材と端部柱の接合部を、シーリングしてください。

18. (つづき)

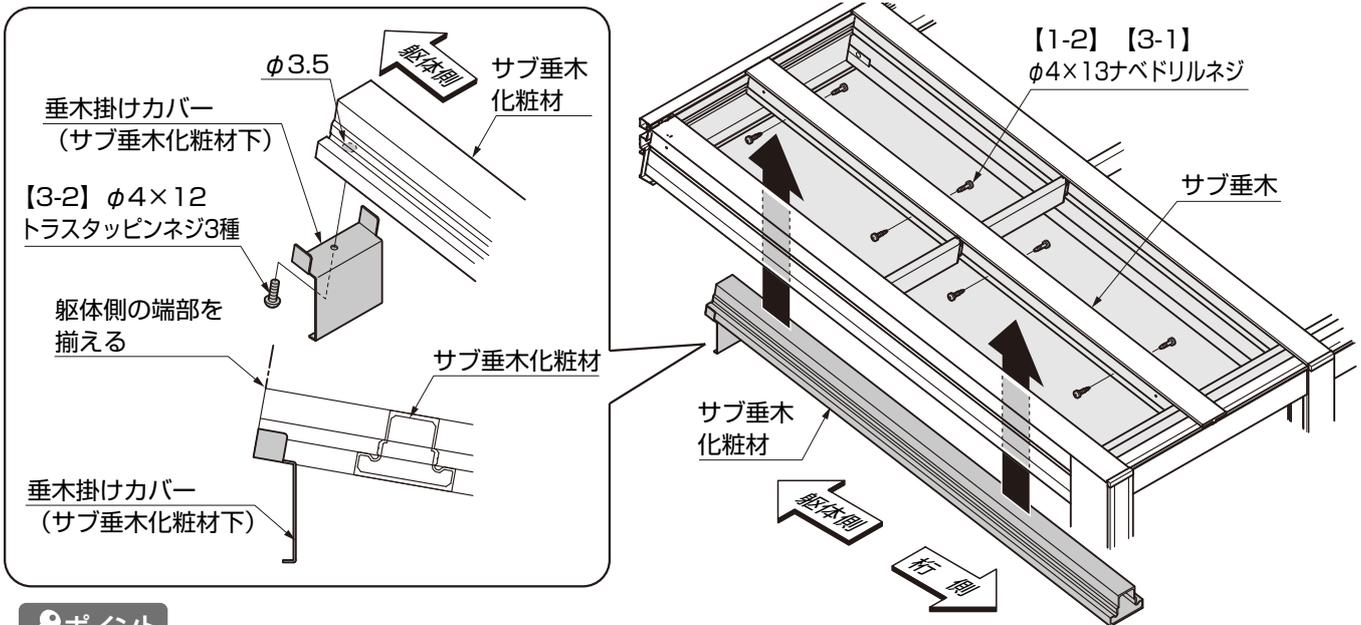
18-3 サブ垂木化粧材の取付け ※積雪地域3000N (110Cm相当) 仕様の作業です。

地域



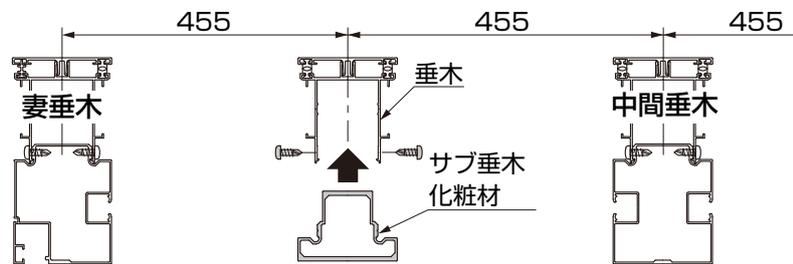
ポイント

- 前面に上げ下げ窓を取付ける場合は、サブ垂木化粧材の取付けは「ココマⅡ 開口部編 取付説明書 (E370)」を参照し、上げ下げ窓の取付け後に行なってください。



ポイント

- サブ垂木化粧材は妻垂木化粧材および垂木化粧材の間になるように取付けてください。



- ①サブ垂木化粧材の躯体側に垂木掛けカバー (サブ垂木化粧材下) を合わせてφ3.5の穴をあけてください。
- ②垂木掛けカバー (サブ垂木化粧材下) をサブ垂木化粧材に【3-2】で取付けてください。
- ③サブ垂木化粧材をサブ垂木に【1-2】、【3-1】で取付けてください。

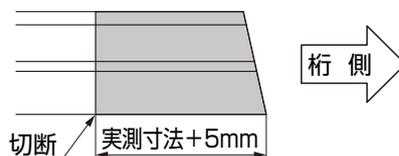
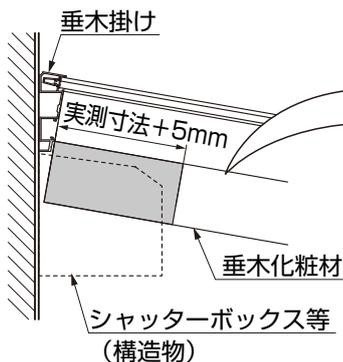
18-4 垂木化粧材が躯体側の障害物に干渉する場合

※躯体側の障害物を避けるため、垂木掛け下部を使用しない場合の内容を示します。

(1) 部材の加工

ポイント

- 垂木掛けを取付ける箇所にシャッターボックス等の構造物がある場合は、構造物を避けるように垂木化粧材の加工を行なってください。



- ①垂木化粧材が干渉する寸法を採寸し、加工してください。

(2) キャップの取付け

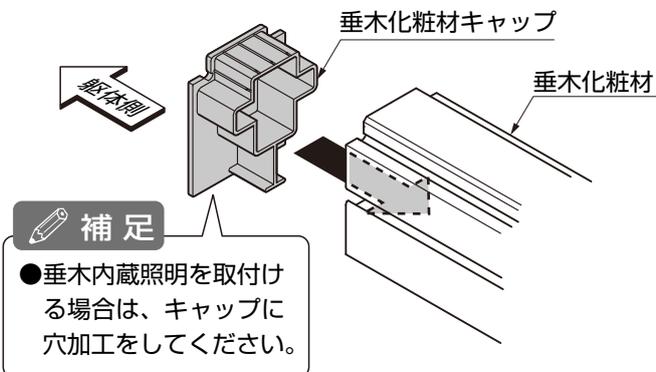


図18-3 垂木化粧材への取付け

【垂木の場合】

- ①垂木化粧材キャップを垂木化粧材に取付けてください。

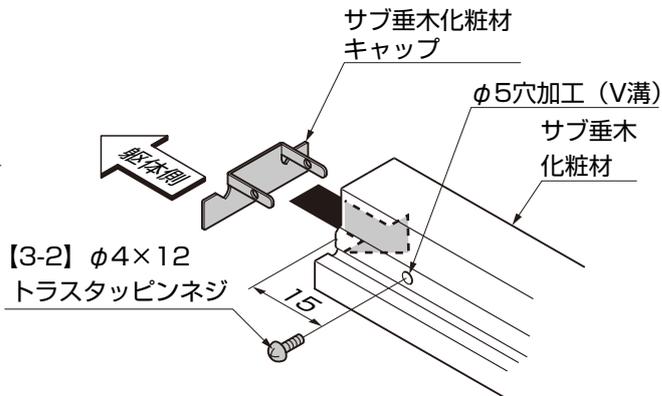


図18-4 サブ垂木化粧材への取付け

【サブ垂木の場合】

- ①サブ垂木化粧材にφ5の穴加工をしてください。
- ②サブ垂木化粧材キャップをサブ垂木化粧材に【3-2】で取付けてください。

18-5 ガーデンルームプラスタイプの場合

表18-1 ガーデンルームプラスLタイプの場合

使用箇所	妻垂木 左	折戸パネルを取付ける垂木	妻垂木 右
タイプ	サイドスルータイプ	ガーデンルームタイプ	
使用する垂木化粧材	垂木化粧材 L テラス用 (※1)	仕切り部垂木化粧材 L ガーデンルーム用 (※1)	垂木化粧材 R ガーデンルーム用 (※1)
納まり図			

表18-2 ガーデンルームプラスRタイプの場合

使用箇所	妻垂木 左	折戸パネルを取付ける垂木	妻垂木 右
タイプ	ガーデンルームタイプ		サイドスルータイプ
使用する垂木化粧材	垂木化粧材 L ガーデンルーム用 (※1)	仕切り部垂木化粧材 R ガーデンルーム用 (※1)	垂木化粧材 R テラス用 (※1)
納まり図			

- ①表18-1、表18-2参照して、垂木化粧材を取付けてください。

ポイント

- 各タイプの垂木化粧材 (※1) は、「【28】、【29】 右または左入 妻垂木化粧材セット」に梱包しています。

18. (つづき)

18-6 入隅の場合

(1) 妻垂木の加工

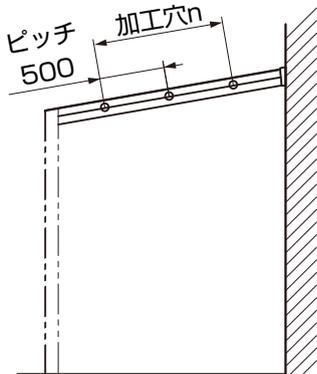
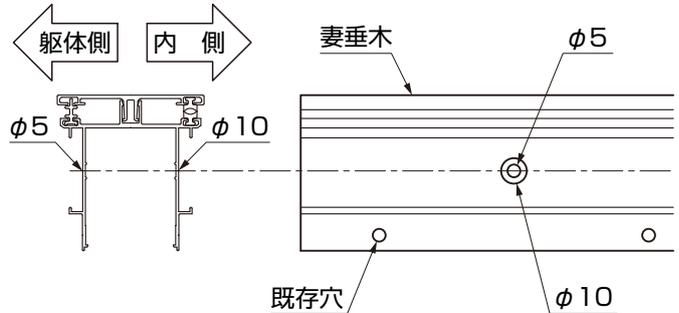


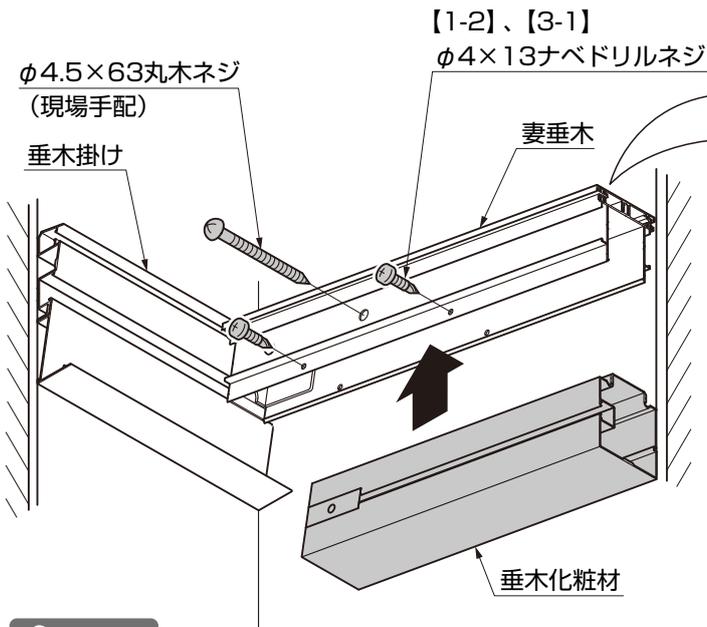
表18-2

	加工穴n
4尺	2
6尺	3
8尺	4
10尺	5



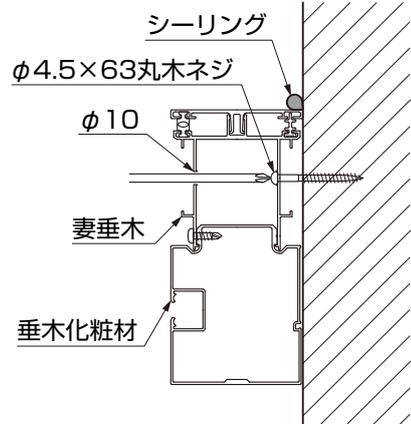
①妻垂木にφ10、φ5の穴をあけてください。

(2) 垂木化粧材の取付け



ポイント

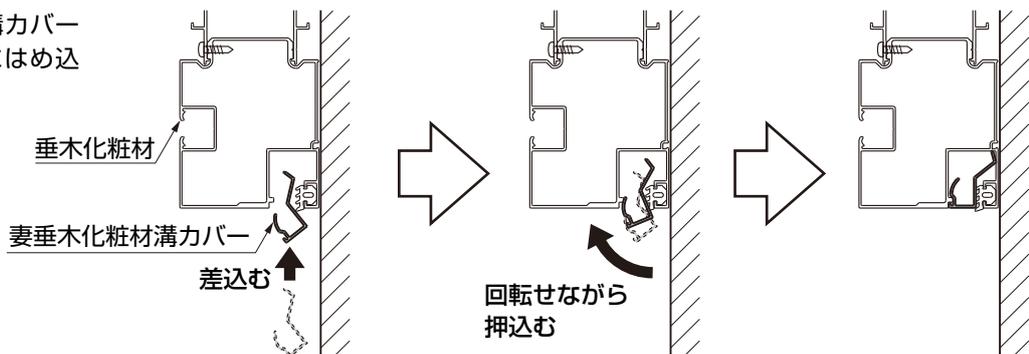
- 「φ4.5×63丸木ネジ」は現場で手配してください。
- 妻垂木を躯体に固定する際は、φ10の穴から「φ4.5×63丸木ネジ」を差し込み、φ5の穴から躯体に取付けてください。
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。



ポイント

【ガーデンルームタイプの場合】、【サイドスルータイプ、オープンテラスタイプで妻梁上部フィックスがある場合】

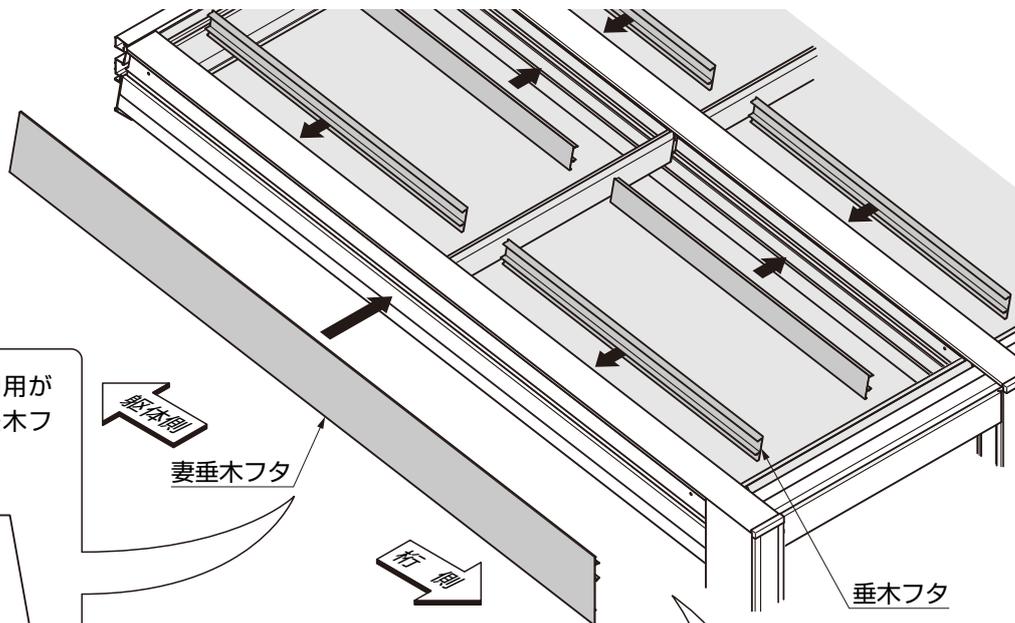
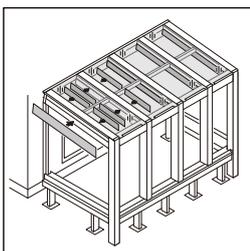
- 妻垂木化粧材溝カバーを垂木化粧材にはめ込んでください。



- ①垂木化粧材を妻垂木の既存穴に、【1-2】、【3-1】で取付けてください。
- ②妻垂木を躯体に「φ4.5×63丸木ネジ」で取付けてください。

タイプ	腰壁	床	F.L	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

19. 垂木フタの取付け



ポイント

- 垂木フタは端部用と中間用があります。端部には妻垂木フタを取付けてください。



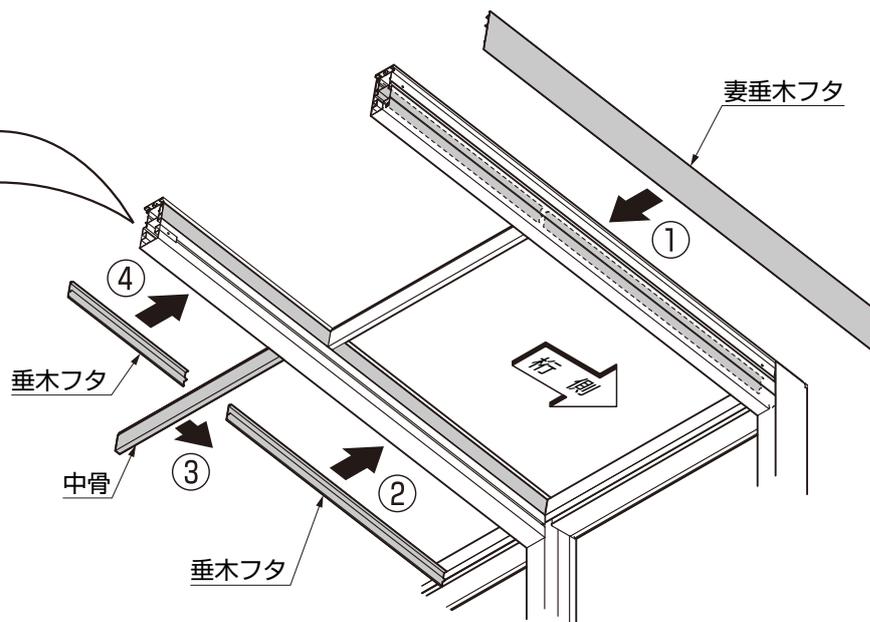
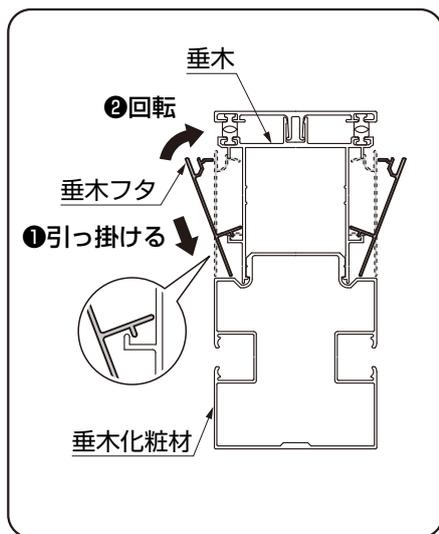
端部用（妻垂木フタ）



中間用（垂木フタ）

ポイント

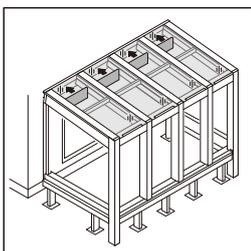
- 垂木フタは桁側に寄せて取付けてください。
- はめ込みは端部から行なってください。



- ①妻垂木フタを、妻垂木にはめ込んでください。
- ②桁側の垂木フタを、桁に突きあてて垂木にはめ込んでください。
- ③中骨を、取付けた垂木フタ側に寄せてください。
- ④垂木掛け側の垂木フタを、中骨に突きあてて、垂木にはめ込んでください。

※全タイプ（仕様）で行なう作業です。

20. 垂木掛けカバーの取付け



垂木掛け

垂木掛けカバー

躯体

垂木掛け

垂木掛けカバー

垂木掛けカバー

垂木掛け

ポイント

- 躯体側の構造物を回避した納まりの場合は、垂木掛けカバー（垂木掛け上用納まり）を使用してください。

垂木掛け

垂木掛けカバー（垂木掛け上用納まり）

シャッターボックス等
（構造物）

ポイント

【内部日除けを取付ける場合】

- 内部日除けを先に取付けてください。

E269

・内部日除けの取付け
(E269 内部日除け取付説明書 参照)



E368

20.垂木掛けカバーの取付け（本手順）

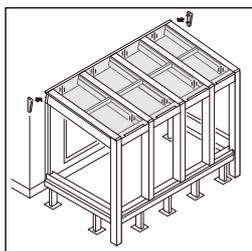
- ① 垂木掛けカバーを、垂木掛けにはめ込んでください。

ポイント

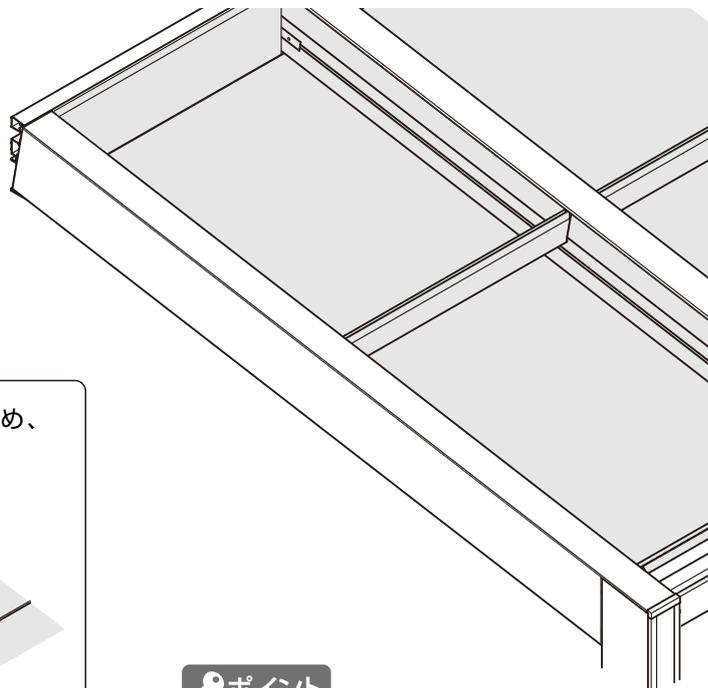
- 垂木掛けカバーを取付ける際に、端部で化粧部をキズつけないようにしてください。

タイプ	腰壁	床	F.L	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

21. 垂木掛けキャップの取付け

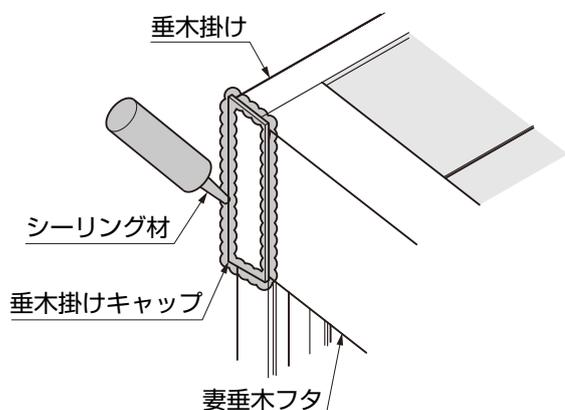


垂木掛けキャップ



ポイント

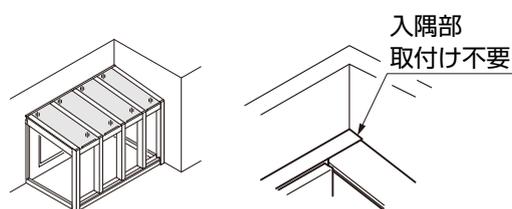
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。



ポイント

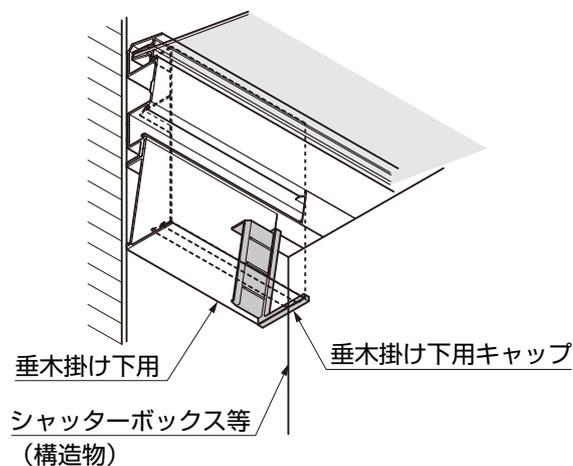
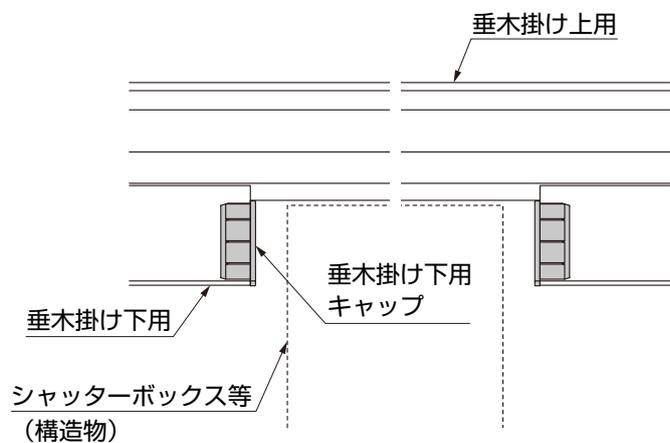
【入り隅仕様の場合】

- 入り隅側の垂木掛けキャップは取付けません。



ポイント

- 躯体側の構造物を回避した納まりの場合は、垂木掛け下用に垂木掛け下用キャップを取付けてください。



- ①垂木掛けキャップを、垂木掛けに取付けてください。
- ②垂木掛けキャップのまわりに、シーリングをしてください。

22. 妻梁上部FIXの取付け

※オープンテラスタイプで妻梁上部FIXを取付ける場合の作業です。

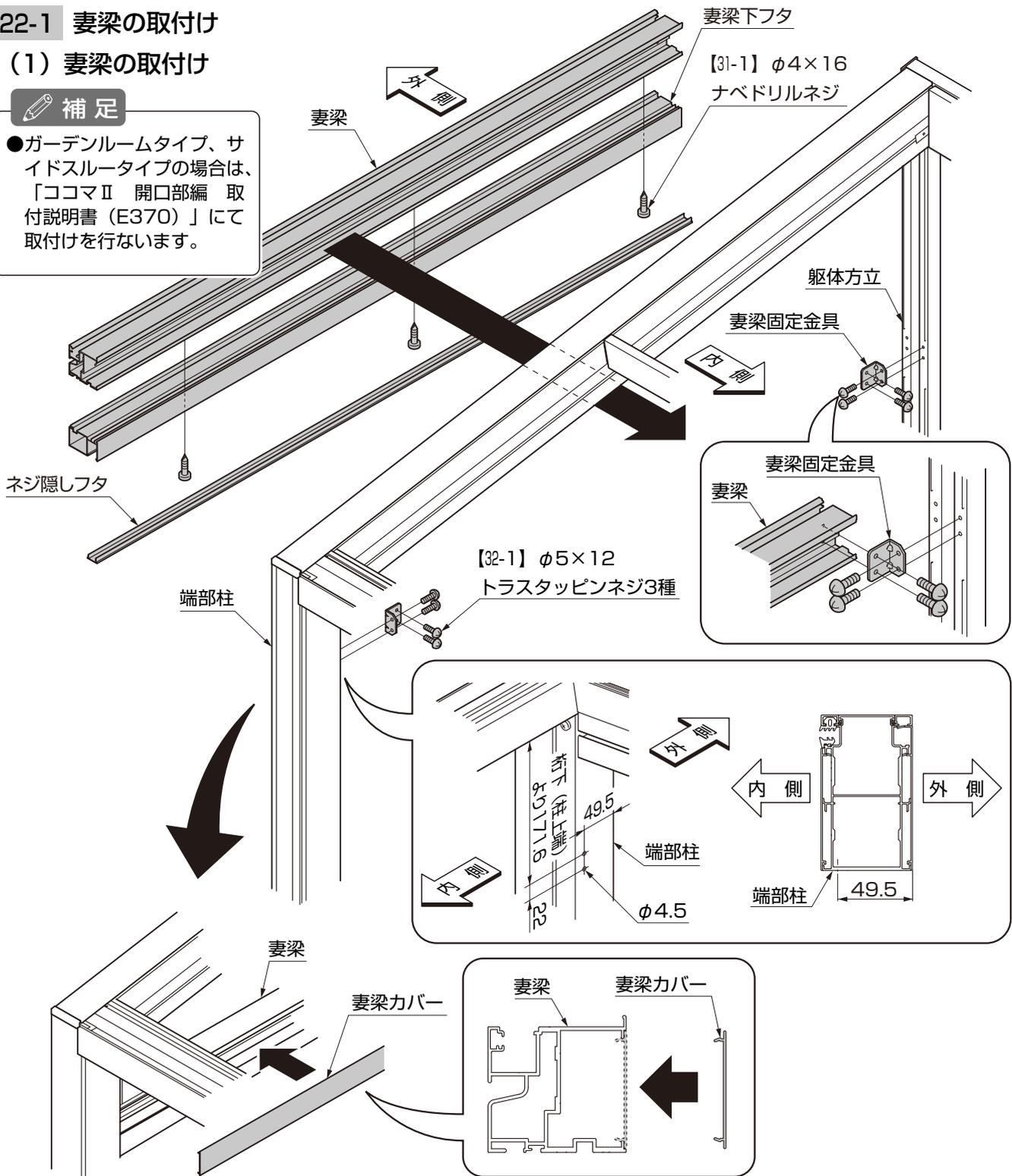
タイプ	腰壁	床	F.L	柱固定	地域
OT					

22-1 妻梁の取付け

(1) 妻梁の取付け

補足

- ガーデンルームタイプ、サイドスルータイプの場合は、「ココマII 開口部編 取付説明書 (E370)」にて取付けを行ないます。



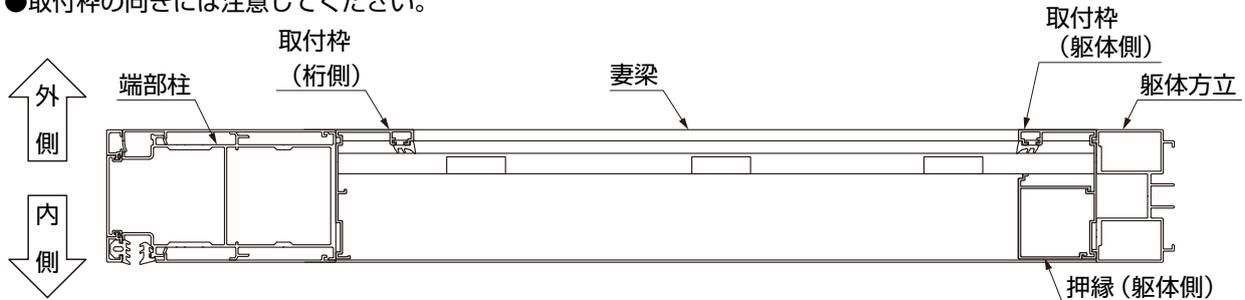
- ① 端部柱にφ4.5の穴加工を行なってください。
- ② 妻梁固定金具を端部柱、躯体方立に【32-1】で取付けてください。
- ③ 妻梁を妻梁固定金具に【32-1】で取付けてください。
- ④ 妻梁下フタを妻梁に【31-1】で取付けてください。
- ⑤ ネジ隠しフタを妻梁下フタに取付けてください。
- ⑥ 妻梁カバーを妻梁に取付けてください。

22. (つづき)

22-2 取付枠の取付け

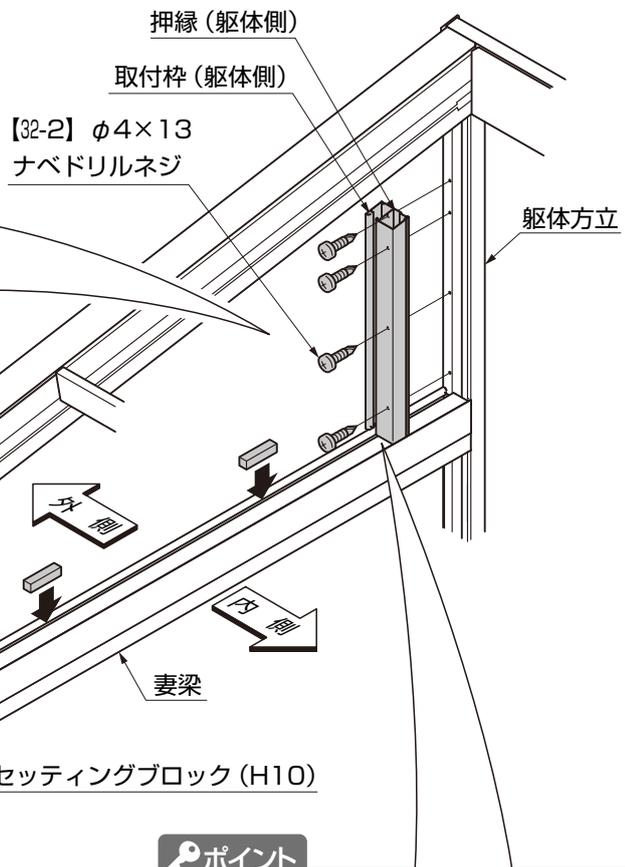
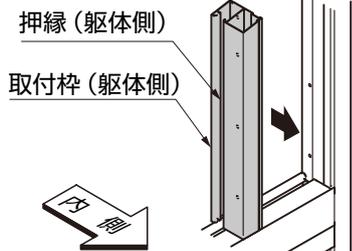
ポイント

- 取付枠の向きには注意してください。



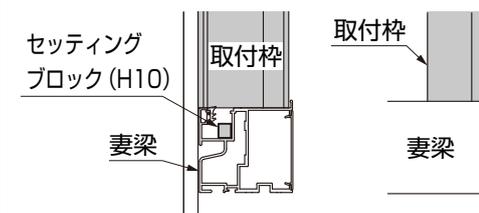
ポイント

- 躯体側の取付枠は押縁と一緒にスライド挿入の上、取付けてください。



ポイント

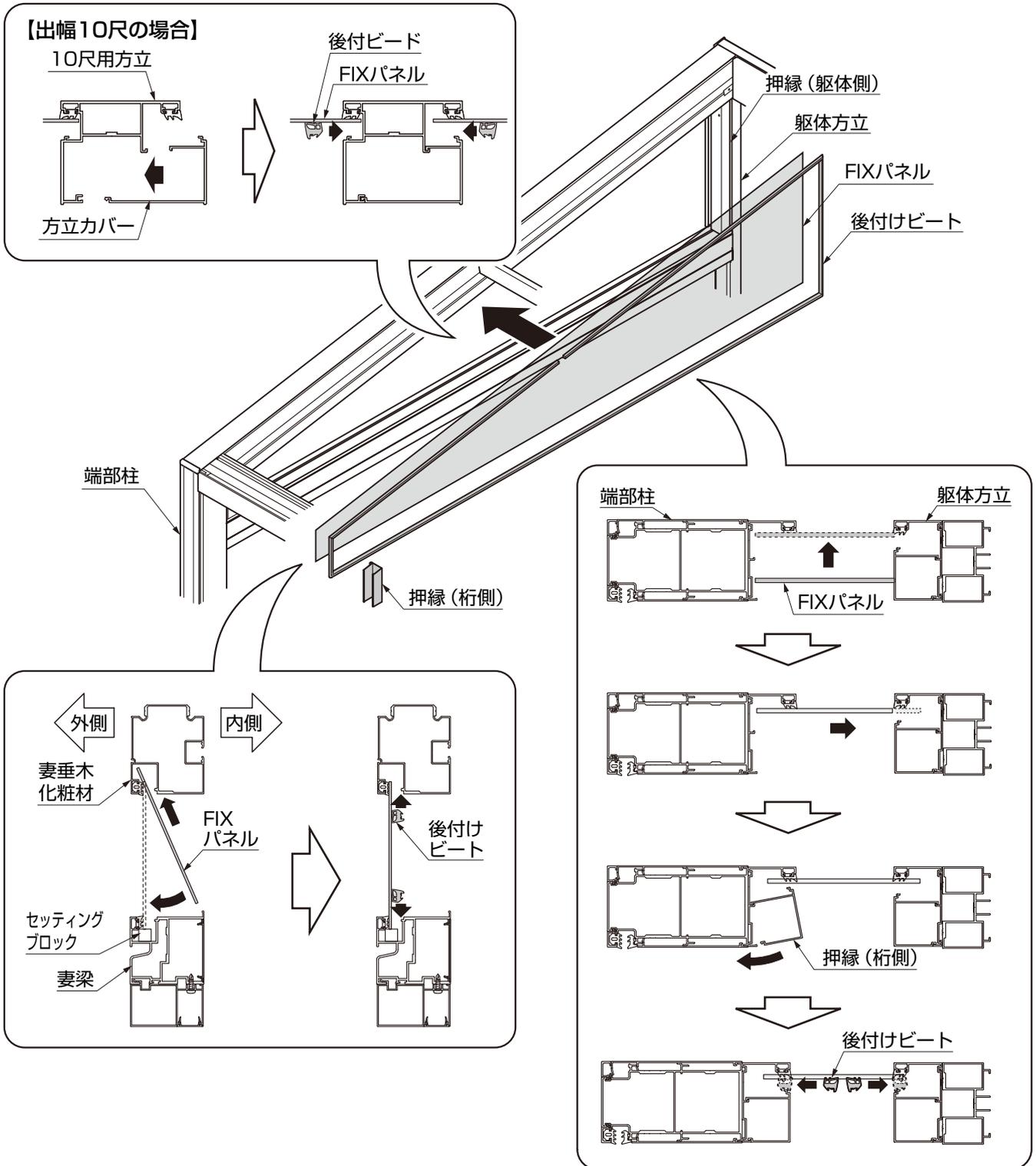
- 妻梁に乗せるようにして取付けてください。



【32-2】φ4×13ナベドリルネジ

- ①取付枠 (桁側、躯体側ともに)、押縁 (躯体側) を端部柱、躯体方立に 【32-2】 で取付けてください。
- ②妻梁にセッティングブロック (H10) を取付けてください。

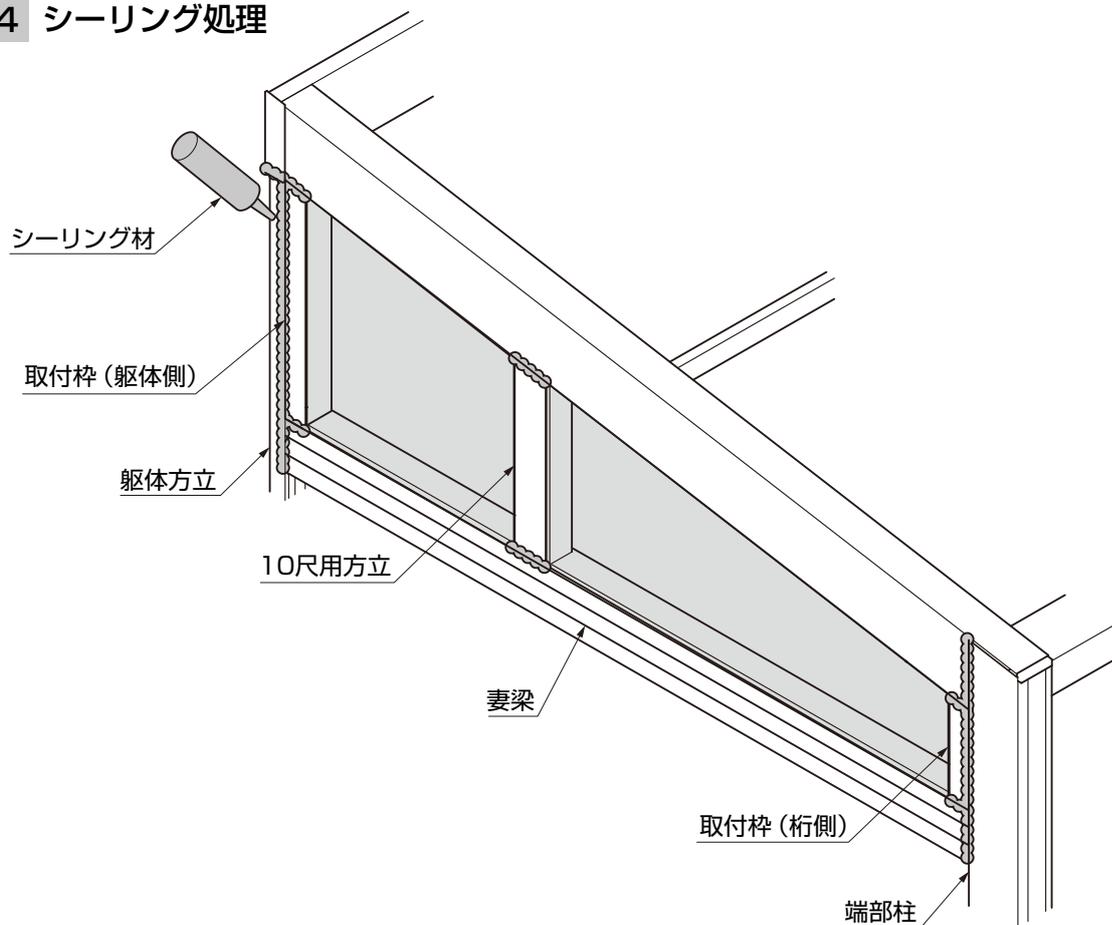
22-3 妻梁上部FIXパネルの取付け ※妻梁上部FIXパネルの場合の作業です。



- ① FIXパネルをけんどんし妻垂木化粧材と妻梁の溝部に入れ、桁側、躯体側の取付枠に均等に掛かるようパネル位置を調整してください。
- ② 押縁を取付枠に取付けてください。
- ③ 後付けビートをはめ込んでください。

22. (つづき)

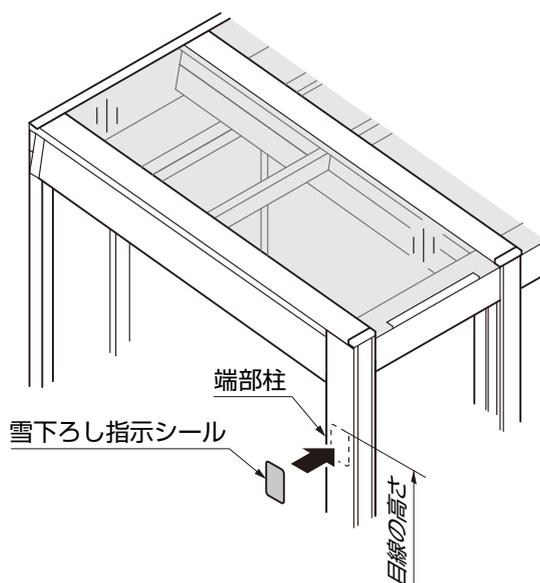
22-4 シーリング処理



① 指定の箇所にシーリングをしてください。

23. 雪下ろし指示シールの貼付け

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。					

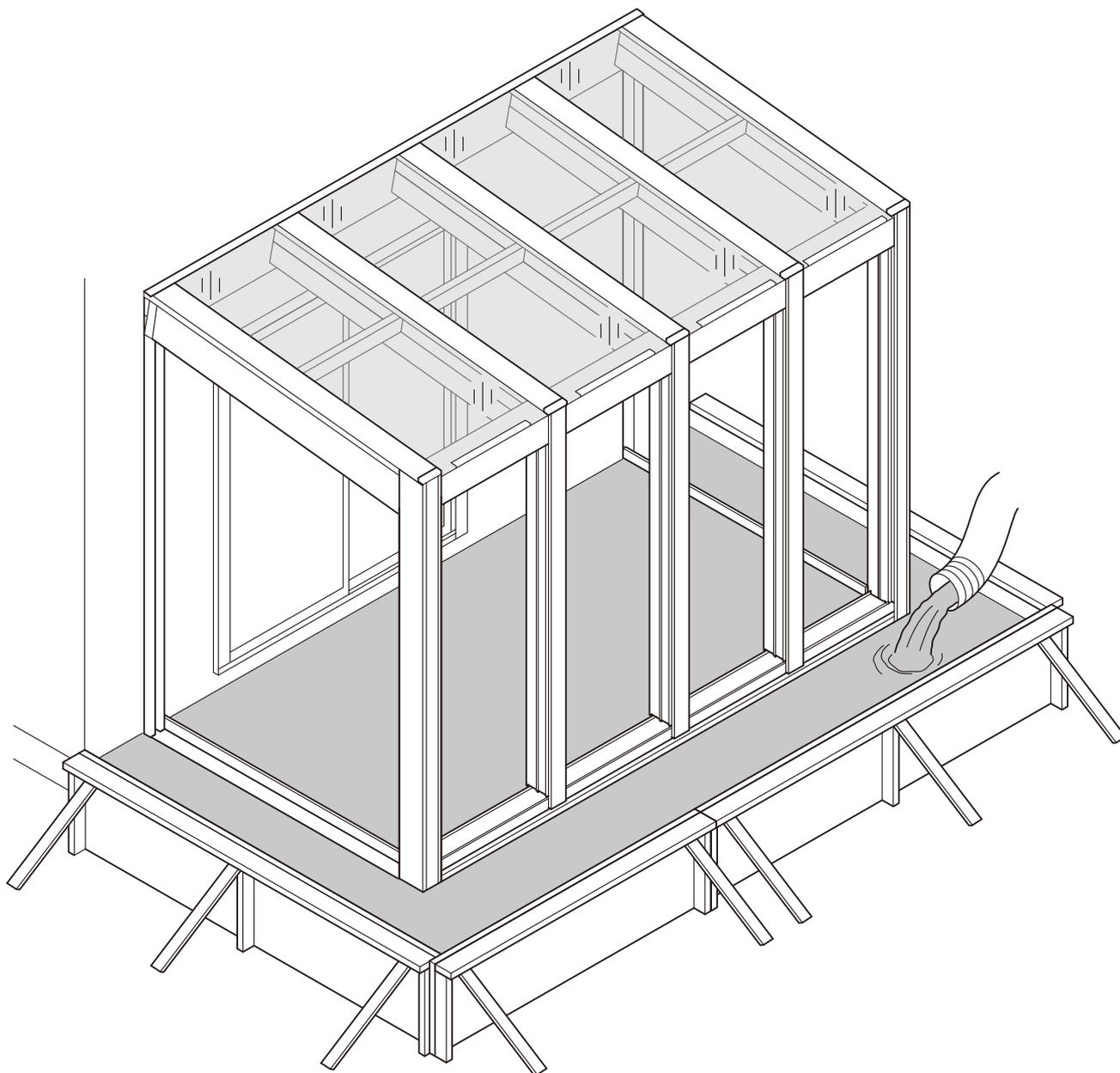


① 雪下ろし指示シールを端部柱の側面（目線高さ位置）に貼付けてください。

24. コンクリートの流し込み

※土間仕様の場合の作業です。

タイプ	腰壁	床	F.L	柱固定	地域
					



①土間を打設してください。

25. 雨樋の取付け

※基本仕様の場合の作業です。

タイプ	腰壁	床	土間	柱固定	地域
基					

ポイント

- 基本タイプで雨樋位置を変更しない場合は前排水用を取付けてください。
- 排水位置を変更した場合は下排水用を取付けてください。

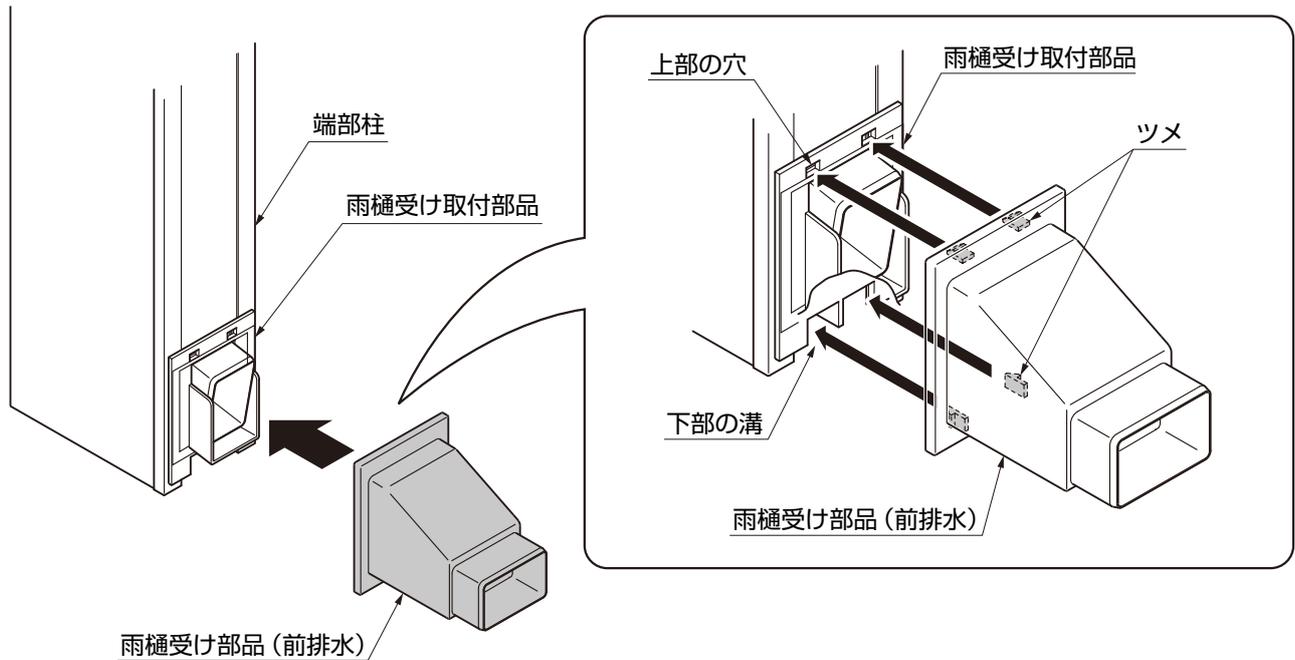


図25-1 前排水の場合

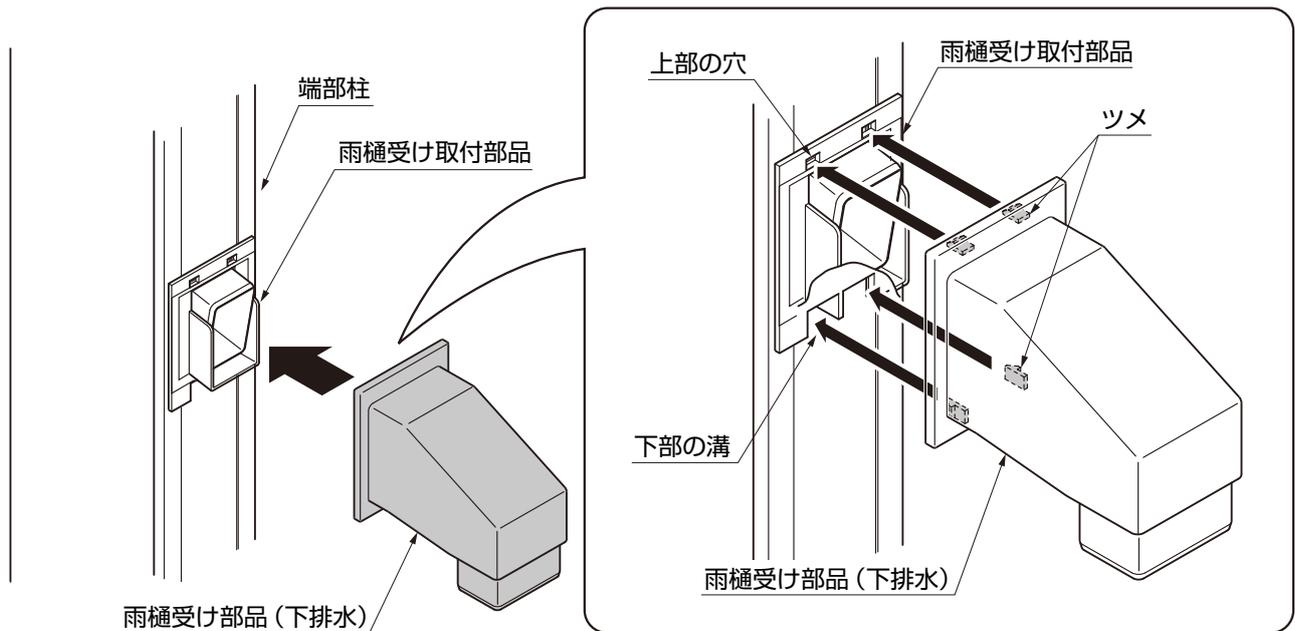


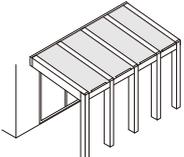
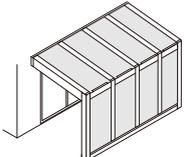
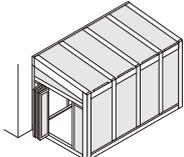
図25-2 下排水の場合

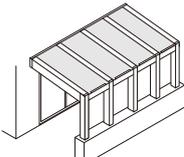
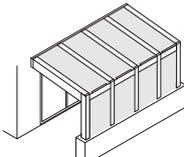
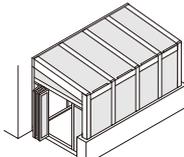
①雨樋受け部品のツメを雨樋受け取付部品の上部の穴、下部の溝に入れて取付けてください。

26. 施工が完了したら

ポイント

●本取付説明書での施工が完了したら、次の工程を確認して、参照する取付説明書の施工を行なってください。

タイプ	基本タイプ 		
	オープンテラスタイプ 	サイドスルータイプ 	ガーデンルームタイプ 
略図			
参照 取付説明書	<p>↓</p> <p>【施工終了】</p> <p>●本ページにて施工は終了になります。</p>	<p>↓</p> <p>ココマII -開口部編- 取付説明書 (E370)</p> <p>↓</p> <p>【施工終了】</p> <p>●引き続き「開口部」の施工を行なってください。</p>	

タイプ	腰壁タイプ 		
	オープンテラスタイプ 	サイドスルータイプ 	ガーデンルームタイプ 
略図			
参照 取付説明書	<p>↓</p> <p>ココマII 乾式腰壁タイプ -腰壁編- 取付説明書 (E369)</p> <p>●引き続き「腰壁部」の施工を行なってください。</p> <p>↓</p> <p>【施工終了】</p>	<p>↓</p> <p>ココマII 乾式腰壁タイプ -腰壁編- 取付説明書 (E369)</p> <p>●引き続き「腰壁部」の施工を行なってください。</p> <p>↓</p> <p>ココマII -開口部編- 取付説明書 (E370)</p> <p>↓</p> <p>【施工終了】</p> <p>●その後、「開口部」の施工を行なってください。</p>	

